

平成15年度～19年度 私立大学学術研究高度化推進事業

## 学術フロンティア推進事業 平成15～16年前期研究成果報告書

### 第5部門

# 生涯学習指導者の養成と 活用に関する研究

学術フロンティア推進事業 第5部門主任

聖徳大学人文学部児童学科

清水 英男

生涯学習の観点に立った  
「少子・高齢社会の活性化」  
に関する総合的な研究

研究代表者 所長・教授 福留 強

SEITOKU UNIVERSITY  
INSTITUTE OF LIFELONG LEARNING

聖徳大学 生涯学習研究所

## はじめに

平成15年度に、聖徳大学生涯学習研究所が提起した研究計画「生涯学習の観点にたった少子高齢社会の活性化に関する総合的研究」が、文部科学省の「私立大学高度化推進事業の学術フロンティア推進事業」に採択されました。このため学内外の総合的なプロジェクトが、5カ年にわたる研究を進めているところです。

この総合的な研究は、少子高齢社会の様々な研究をもとに、5つの分野に分けて具体的な研究を進めるものです。とくに少子化の課題とともに、中高年の生きがいづくりやそのための個人の学習の活性化、さらに地域の活性化方策等を探るための多面的な研究が特色となっています。

この研究は、研究プロジェクトの第5部門「生涯学習指導者の養成と活用に関する研究」を進めるものです。具体的には、次の3つの研究を実施しています。

- ① 短期大学のコミュニティカレッジ機能の開発に関する研究
- ② 大学における生涯学習指導者要請カリキュラムの開発に関する研究
- ③ 生涯学習指導者養成のIT化に関する研究

これらの研究は、指導者養成に関して現代的な課題として、5年間の研究の基礎になるものです。たとえば、これからの中大が地域の生涯学習機関として位置づくとともに、その指導者養成に関しても貢献することが可能ではないか、という視点で、指導者養成のカリキュラムの検討、養成活用の仕組みなど、検討すべき数多くの課題があります。

この研究報告書は、これらの研究の基礎となる調査結果をまとめたものです。特に短期大学については多くの大学のご協力をいただきました。資格取得、リカレントの試みなどについては今後深めていきたい分野などを概観しました。さらに、「地方公共団体が生涯学習指導者コースの卒業生(学生)に期待して資質・能力と採用の可能性に関する調査」では、新規採用の可能性などについて具体的な傾向が示されています。これらの調査を相互に関連させながらさらに研究を深めていきたいと考えています。

この報告書は、今後の研究にとって第1歩となる基礎資料となるものです。この研究成果が幅広く活用されることを念願しますとともに、この研究にご協力いただきました皆様に心から感謝いたします。

聖徳大学生涯学習研究所  
所長 福留強



平成15～19年度文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業「学術フロンティア推進事業」  
「生涯学習の観点に立った『少子・高齢社会の活性化』に関する総合的な研究」

第5部門

## 生涯学習指導者の養成と活用に関する研究

学術フロンティア推進事業 第5部門主任

聖徳大学人文学部児童学科

教授 清水英男

2005(平成17)年 3月

聖徳大学生涯学習研究所 発行

監修 研究代表者 福留強(聖徳大学生涯学習研究所 所長・教授)

# 目 次

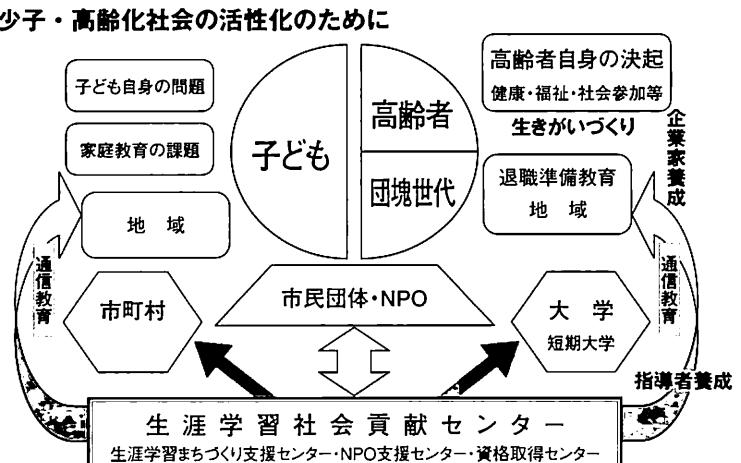
I. 学術フロンティア推進事業の概要 .....	5
II. 第5部門「生涯学習指導者の養成と活用に関する研究」の目的と5カ年計画 .....	7
1. 「生涯学習指導者の養成と活用に関する研究」の目的 .....	8
2. 短期大学のコミュニティカレッジ機能の開発に関する研究プロジェクト .....	9
3. 大学における生涯学習指導者養成カリキュラムの開発に関する研究プロジェクト .....	10
4. 生涯学習指導者養成のIT化に関する研究プロジェクト .....	11
III. 2003(平成15)年～2004(平成16)年度 研究報告 .....	13
1. 短期大学のコミュニティカレッジ機能の開発に関する研究	
1. 研究の背景と目的 .....	15
2. 調査方法 .....	17
3. アンケートの結果と考察について .....	18
(1) 生涯学習・公開講座の開講時期について .....	18
(2) 受講者数〔年間〕について .....	19
(3) 開講講座数について〔平均 25.48講座〕 .....	19
(4) 資格取得、リカレント教育の試みについて .....	19
4. 今後の計画について .....	27
資料1 短期大学における生涯学習の取り組みに関するアンケート .....	28
資料2 短期大学における生涯学習の取り組みに関するアンケート(結果) .....	32
資料3 短期大学における生涯学習の取り組みに関するアンケート集計(地域ブロック別) .....	37
資料4 今後の生涯学習の振興方策について .....	39
2. 大学における生涯学習指導者養成カリキュラムに関する研究	
1. 研究の目的・方法 .....	48
2. 市町村が求める大学の生涯学習指導者養成に関する調査研究 .....	50
3. 地方公共団体が生涯学習指導者コースの卒業者(学生)に期待している .....	51
資質・能力と採用の可能性に関する調査	
4. 大学における生涯学習指導者養成カリキュラム編成に関する提言 .....	53
5. 今後の課題 .....	55
資料1 「大学の生涯学習指導者養成に関する需要調査票」(抜粋) .....	56
資料2 「大学の生涯学習指導者採用に関する聞き取り調査方法の概要」 .....	57
資料3 社会教育主事、学芸員及び司書の養成、研修等の改善方策について(報告) .....	58
3. 生涯学習指導者養成のIT化に関する研究	
1. 研究の目的 .....	94
2. 調査の概要 .....	95
3. 調査結果 .....	96
4. 結果の分析と今後 .....	102
補遺 短期大学における資格取得等に関するデータ集 .....	103

# I. 学術フロンティア推進事業の概要

全国の自治体が当面する「少子化・高齢化社会」の課題について、生涯学習の観点から総合的に取り組むために「生涯学習社会貢献センター」(仮称)を拠点にして総合的な研究を行うものである。

具体的には、

- (1) 聖徳大学を中心に、全国の大学、自治体、公私の諸団体、研究者により研究組織を構成し、ネットワークを構築し、情報・研究発信の総合的拠点として「聖徳大学生涯学習社会貢献センター」の位置づけを図る。
- (2) 少子・高齢化をめぐる（特に子どもや中高年者を対象に）生涯学習の観点から次の5つの部門で情報を収集
  - ① 少子化に関する地域支援システムの研究
  - ② 少子社会における青少年の健全育成に関する研究
  - ③ 高齢者の生きがい対策と人材活性化に関する研究
  - ④ 大学と地域の協働による生涯学習システムの構築に関する研究
  - ⑤ 生涯学習指導者養成・活用に関する研究
- (3) 各部門で収集した情報をもとに分析・研究し、学習プログラム試案等を作成する。
- (4) 提案された試案を、「生涯学習社会貢献センター」において試行する。課題を検証し、具体的なプログラムを作成し、普及を図る。
- (5) 生涯学習の拠点として「生涯学習社会貢献センター」を構築し、全国をネットワーク化し、少子化に対する青少年教育、高齢化に対するリカレント教育に焦点化する。
- (6) 学習成果を活用する認定・資格制度を研究し、中高年者の学習の活性化を図る。自治体との連携を図り、学習の成果をキャリア開発や、ボランティア活動、地域の活性化へ活用など、地域で活用する方策に関する研究を行う。
- (7) 市民活動を支援する高等教育機関の課題の研究  
少子・高齢化に対応して活動している市民団体、NPOの支援や自治体の生涯学習まちづくり支援など、総合的なセンターを整備する。  
自治体、全国の中高年者、青少年指導者等との双方向の情報発信をする装置として、生涯学習社会会構築の様々な試みの実験センターとしての生涯学習の組織、ノウハウ、実施プログラムなどを本研究の場で構築する。
- (8) 当該研究を実施する期間内に、シンポジウム、研究会等を実施する。





## **II. 第5部門**

# **「生涯学習指導者の養成と活用に関する研究」の 目的と 5 カ年計画**



## 1. 「生涯学習指導者の養成と活用に関する研究」の目的

我が国の人団構造は、他国に例を見ないほど、少子・高齢化が急速にすすんでいる。この急激な人口の少子・高齢化現象は、社会構造や社会環境に様々な影響を与えていく。そのため、地方公共団体は、少子化を克服し活力ある高齢社会を目指すことを政策課題として捉え、住民と協働しながら総合行政として施策を策定し実践活動を展開している。

これらの施策の一環として、生涯学習社会の構築が注目されている。つまり、住民が、少子・高齢社会における様々な課題を、実生活上の課題や現代的課題として捉え、学習活動を展開する。そして、その学習の成果を活用し、自助、共助、公助の精神をもって住民自ら解決しようという気運が高まりつつあるからである。これら住民の生涯学習活動の気運を醸成し活動を活性化するためには、多様な学習機会の提供事業や弾力的な生涯学習センターの運営など生涯学習の基盤を整備充実することと、好ましい人間関係づくりや生涯学習全般についての知識・技術を身につけ、住民の実践活動活動を住民と協働しながら支援できる生涯学習指導者の存在が極めて大切である。

第5部門の研究は、このような生涯学習社会づくりに資するため、大学における生涯学習指導者の養成と活用の在り方に関する研究を目的にした。また、短期大学の新たな社会貢献の在り方についても研究の目的とした。

指導者の養成と活用の対象者については、社会教育主事をはじめ、図書館の司書や博物館の学芸員など専門職員、民間のカルチャーセンターやスポーツクラブなど教育・学習産業の専門職、N P O 法人や子育て支援など生涯学習にかかわるグループ・サークルのリーダー、社会教育指導員や博物館の嘱託解説員など指導系の非常勤職員（以下「指導系非常勤職員」という。）である。これらの生涯学習に関する専門家の標準的学习（研修）カリキュラムの編成や望ましい教材の作成と活用などを研究の具体的な目標としているのである。

短期大学の社会貢献としては、より地域に密着し、地域社会の教育・芸術・生活文化・スポーツの学習活動と研究活動の拠点となるための方策を明らかにすることを研究の具体的な目標としている。つまり、生涯学習センターと短期大学、職業訓練センターなどを内包した“コミュニティカレッジ”機能の在り方を探求することである。

平成15年度から平成16年度前期の第5部会は、以下のような研究プロジェクトにかかる組織を立ち上げ、5年間にわたる研究内容と活動計画を立案することを第一義とした。そして、それぞれの計画にしたがって研究活動に取り組んでいる。各研究プロジェクトの活動内容の概要は、以下のとおりである。

## 2. 短期大学のコミュニティカレッジ機能の開発に関する研究プロジェクト

本プロジェクトは、短期大学における生涯学習の取り組みに関する現状や課題を調査し、それ調査結果の分析や事例研究などを通して、短期大学のコミュニティカレッジ機能のあり方を明らかにすることを目的とした。

その第1年目である平成15年度と16年度の前期は、研究内容の5カ年計画の立案と事例研究対象短期大学の選定連携システムを構築した。

平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
① 5カ年計画の作成と研究組織の構築 ② 短期大学の公開講座に関する実態調査 ③ 事例研究対象短期大学の選定と連携システムの構築	① 自治体の短期大学における地域社会貢献（還元）への現状調査 ② 短期大学の将来展望に関する調査	短期大学のコミュニティカレッジ機能に関する中間まとめの作成	短期大学のコミュニティカレッジ機能に関する中間まとめの公表（一部試行）	「短期大学のコミュニティカレッジ機能の在り方」の作成と公表

表1-1 短期大学のコミュニティカレッジ機能の開発に関する研究計画(案)

また、59の私立短期大学と10の国立短期大学を調査対象として、公開講座の開設状況をはじめ、社会人入学制度や科目等履修生制度、通信教育制度等の実施状況などの把握を目的として、アンケート調査を実施した。

その調査結果の分析などを通じて、現状と課題を明らかにした報告書を作成した。

### 3. 大学における生涯学習指導者養成カリキュラムの開発に関する研究プロジェクト

本プロジェクトは、大学における生涯学習や社会教育に関する学科やコースなど（以下「生涯学習指導者養成学科」という。）の標準的カリキュラムを開発することを目的とした。また、このカリキュラムの開発が恒常的に行われるよう、これら生涯学習指導者養成学科を設置している大学の教員等の研究組織（仮称「全国生涯学習指導者養成カリキュラム開発連絡協議会」）を目指すこととした。

平成15年度から16年度の前期は、研究内容の5カ年計画を立案した。

平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
<p>① 5カ年計画の作成と研究組織の構築</p> <p>②自治体における生涯学習指導者養成に関する要望調査</p>	<p>①障害学習指導者養成に関する現状や要望を調査し、課題を明確にする。</p> <p>②大学の生涯学習指導者養成カリキュラムの収集</p>	<p>①生涯学習指導者養成大学連絡協議会設立準備会（仮称）の発足</p> <p>②大学における生涯学習指導者養成の標準的カリキュラム（試案）の作成</p>	<p>①生涯学習指導者養成大学連絡協議会設立準備会（仮称）の活動の促進</p> <p>②大学における生涯学習指導者養成の標準的カリキュラム（試案）を公表、研究会の開催</p>	<p>①「大学における生涯学習指導者養成の標準的カリキュラム」の作成と公表</p> <p>②全国生涯学習指導者養成大学連絡協議会（仮称）の発足</p>

表1-2 大学における生涯学習指導者養成に関するカリキュラム開発の研究計画（案）

また、生涯学習指導者養成学科の卒業生の主な就職先である地方公共団体が期待している卒業生の資質・能力（科目等）や資格、職員採用条件などを明らかにするためアンケート調査を実施した。調査対象は、全国生涯学習市町村協議会加盟の240の市町村である。それらの調査結果を分析や担当者からの聞き取り調査などを行い、市町村からみた望ましい大学の指導者養成カリキュラムについての提言などをまとめた報告書を作成した。

#### 4. 生涯学習指導者養成のIT化に関する研究プロジェクト

本プロジェクトは、社会教育指導員や博物館解説嘱託員など生涯学習に関する指導系の非常勤職員の資質向上を目指し、ITを活用した各種の研修プログラムの開発を研究の目的とした。

平成15年度から16年度前期の研究は、これらの基礎資料を得るために、全国生涯学習市町村協議会加盟の240の地方公共団体を対象として、指導系非常勤職員の職名や研修の実態、通信教育等で時間外研修への行政の支援方策などについて、アンケート調査を実施した。

それらの調査結果を分析や担当者からの聞き取り調査などを行い、市町村からみた望ましい大学の指導者養成カリキュラムについての提言などをまとめた報告書を作成した。

また、本プロジェクトの研究内容の5カ年計画を立案した。

平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
①5カ年計画の作成と研究組織の構築 ②自治体における生涯学習指導者養成に関する要望	調査 社会教育指導員と博物館解説嘱託員に関する研修プログラム(試案)の作成	社会教育指導員と博物館解説嘱託員に関する研修プログラム(試案)に基づき「通信教育教材(案)」の作成	社会教育指導員と博物館解説嘱託員等研修に関する通信教育の試行	①社会教育指導員と博物館解説嘱託員等研修に関する通信教育の稼動 ②主として高齢者を対象とした自治体における生涯学習リーダー養成のための通信教育システムの構築

表1－3 生涯学習指導者養成のIT化に関する研究計画(案)



**III. 2003(平成15)年～2004(平成16)年度  
研究報告**

# 【1】短期大学のコミュニティカレッジ機能の開発に関する研究

## ●研究員

水垣 玲子 (人文学部音楽文化学科)  
長江 曜子 (短期大学部総合文化学科)  
片桐 章子 (人文学部音楽文化学科)

## 1. 研究の背景と目的

21世紀の日本は、急激な少子化と高齢化を迎え、社会のシステムを変化させなければならない局面に立たされている。教育についてもその点においては、例外ではない。少子化について考えれば、平成5年に18歳年齢の人口がピークを迎える、その後急激に減り続け大学の経営を圧迫している。特に、地域密着型の短期大学においては深刻な学生減に苦悩している現状である。また、高齢化の観点からみれば、2006年には団塊の世代が60歳を迎える、生涯学習のニーズの高まりを予測できる。団塊の世代は、約700万人も存在する。また2006年には、50歳以上の人口が日本の人口の51パーセントを占めるようになり、生涯学習の多様化と幅広い学習の機会の提供が急務となっている。しかし、生涯学習が従来型—地域公共団体、行政—で対応するには、ハードの面でもソフトの面でも限界がある。なぜならば、新時代の高齢者は高学歴であり、学習のニーズも多様化しており大学教育に期待する傾向がある。そこで、18歳人口の激減に悩む短期大学が、かつて、アメリカがジュニアカレッジの経営危機をコミュニティカレッジ化で乗り切ったように、地域密着型の生涯学習の拠点として、コミュニティカレッジ機能を持つことで生き残ることができるのでないかと考える。

また、中央教育審議会生涯学習分科会の「今後の生涯学習の振興方策について」(審議経過の報告)(平成16年3月29日) **資料4** によれば、国民一人一人の学習ニーズを生かした、広い視野にたった多様な学習の展開が求められており、職業教育の面でも社会や経済が高度化、複雑化し、グローバル化が進展する中で、競争化がより激化する社会を生き抜くためには、高度な社会人教育と職業教育が大学や短期大学に求められている。もちろん大学、短期大学の公開講座だけではなく、社会人の受け入れ等の面でも改善が期待されている。しかし、現状は日本の大学院における社会人の割合は15.3% (平成15年、2003年)、大学学部における入学者に占める高校卒業後4年以上経過した学生の割合はわずか1.1% (平成15年、2003年) である。高等教育在学者に占める成人学生 (25歳以上) の割合は、米は39.0% (2000年)、英は47.1% (2001年)、独は53.1%(2003年)であり、日本との格差が顕著である。生涯学習における社会人学生の受け入れについて、大学や短期大学に期待されるものは、以上の面でも明らかである。

これらの大学の社会人受入れの現状を踏まえ、学術フロンティア推進事業第5部会の研究テーマである「生涯学習指導者の養成と活用に関する研究」の第一グループで

は、「短期大学のコミュニティカレッジ機能の開発に関する研究」を担当する。本プロジェクトは、短期大学における生涯教育の取り組みに関する現状や課題を調査し、その調査結果の分析や考察を通して、短期大学のコミュニティカレッジ機能のあり方を明らかにすることを目的とした。

以上の研究テーマにおける5年計画の第1年めである平成15年度は、聖徳大学短期大学部を含め60の私立短期大学と10の国公立短期大学を調査対象として、公開講座（エクステンションプログラム）の開設状況をはじめ、社会人入学制度や科目等履修生制度、通信教育制度等の実施状況等の把握を目的として、アンケート調査を実施した。

## 2. 調査方法

平成15年1月初旬に、上記の69校（私立短大59校と国公立短大10校）へアンケートを郵送した。また、聖徳大学短期大学を加えると総数70校となる。このアンケート調査には、特に日本私立短期大学協会のご協力をいただいたことを付記し感謝する。アンケートの質問項目については、下記に全文掲載する。回収は、同年1月末とした。私立短期大学44校と国公立短期大学6校の回収で、回収率71.43%と大変高い数値であった。調査校は、全国にわたり偏りがないように配慮した。

今回実施した「短期大学における生涯学習の取り組みに関するアンケート」と題する調査は、4つの部分に分かれている。

第一番目には、生涯学習や公開講座の取り組みについて訊いている。公開講座のスタート時期、講座の内容、受講生の構成、講座の運営方法、単位化の問題、プログラムの作成等の具体的な項目にした。

第二番目には、資格取得を目的とする講座について訊いている。通信教育制度や資格取得講座、インターネット活用の通信教育制度、期間限定の通学制の講座、独自の単位取得外の講座（夏季保育大学）等について具体的に質問した。

第三番目には、短期大学の社会人入学サポート制度や科目等履修生制度、生涯学習の単位認定制度等のシステムについて訊いた。

第四番目には、自由記述で専門学校でなく短期大学の独自性について訊いた。アンケートへの返信とともに生涯学習・公開講座のプログラム（小冊子）を郵送していただくことをお願いした。

具体的なアンケートの全文 **資料1** を添付するとともに、結果の数値的分析 **資料2** ブロック別データ **資料3** 等について表で提示したい。

また、アンケートの考察を試みるが、その中の各短期大学の番号は、主としてブロック別データ **資料3** によるが、それ以外の短期大学については便宜上つけたものである。

### 3. アンケートの結果と考察について

アンケートの内容について特に下記の五つのポイントについての考察して行きました。

- (1) 生涯学習・公開講座の開講時期について
- (2) 受講生数〔年間〕について
- (3) 開講講座数について
- (4) 資格取得とリカレント教育の試みについて
- (5) 行政やマスコミ、地域社会との連携について
- (6) 短期大学教育の独自性とメリットについて

#### (1) 生涯学習・公開講座の開講時期について

生涯学習の開講時期については、1970年代からスタートした短期大学は、大変少なく4校であった。1980年代は、7校であり同様に少ない。1990年代は、短大生涯学習元年とでも言うべき時代で14校に及び全国に広く分布している。33番（1992年）もその流れに入っている。

2000年代のスタートは、5校であった。

詳細は、下記の通りである。

- ① 1970年代からのスタートの短期大学 北海道・東北ブロック4番（1971）、北陸・上信越ブロック8番（1972）、近畿・中国・四国ブロック13番（1975）、国公立短期大学30番（1972）以上4校であった。
- ② 1980年代からのスタートの短期大学 首都圏ブロックの23番（1980）をはじめとして、甲州・中部・東海ブロック9番（1985）、11番（1984）、近畿・中国・四国ブロック15番（1983）、京阪神圏ブロック26番（1985）、国公立28番（1986）31番（1989）以上7校であり、全国的に広範囲に分布している。
- ③ 1990年代からのスタートは、33番（1992）をはじめとして14校であった。ほとんどの短期大学が生涯学習・公開講座に対して、積極的に取り組み始めたといえる。
- ④ 2000年代のスタートは、首都圏ブロックの24番（2003）をはじめとして5校であった。24番は、遅いスタートにもかかわらず受講生や開講講座数において我国有数の生涯教育の展開を行っている。首都圏にあるという立地条件とともに全学的な取り組みや、外部講師の比率等から見ると、充分研究してからのスタートであることが考えられる。

以上の事例をみても、生涯学習・公開講座の開講状況は、30校に過ぎず、全体の50校中30校のため60%であり、いまだ全体の半数をわずかに上まわっているにすぎない。短期大学の中でも、四年制大学の付属短期大学や、改組転換で四年制化した併設の短期大学は生涯学習・公開講座に取り組みやすい環境にあるといえる。しかし、地方に立地している短期大学の中で、意識の高い短期大学は、1970年代から取り組んでいるが、全体としては規模の小さな短期大学の場合は難しい状況にあるのではないだろうかと思われる。今後のブロック別の現地調査を通してより詳細に分析をしていかなければならぬと思う。

## (2) 受講者数〔年間〕について

年間の受講者数については、200人未満の短期大学は3校と少なく、200人台が3校、300人台が5校であった。400～500人台は、3校、700人台は2校、1000人台が9校、2000人台が1校（近畿・中国・四国ブロック 16番）、3000人台が1校（京阪神圏ブロック 25番）、3500人台1校（33番）、6000人台1校（首都圏ブロック 24番）であった。四年制大学併設の短期大学の方が開講講座の内容や、講師の多様性において有利に働き、多くの受講生を集めやすい傾向にあるといえる。

また、受講者数については立地条件が大きく影響することを示している。

## (3) 開講講座数について [平均 25.48講座]

開講講座数については、大変ばらつきがあった。10講座未満は、12校、20講座未満は9校、30講座～40講座は3校、50～60講座は2校、90講座が1校、ほか220講座（首都圏ブロック 33番）、600講座（首都圏ブロック 24番）と、首都圏の短期大学で立地条件や四年制大学併設校と、講師を外部からも得られる好条件の短期大学が開講講座数では圧倒的な強みを持っていることがわかった。

## (4) 資格取得、リカレント教育の試みについて

### ① リカレント教育の取り組みについて

さまざまな特色あるリカレント教育の試みがなされているが、全国的にはまだ少ない事例であった。

- 幼稚園教諭、保育士のためのリカレント教育を行っているケースは、4校であった。首都圏ブロックの22番、33番と、甲州・中部・東海ブロックの9番と10番であった。特に、少子化の今日、保育士資格取得者の再教育（資格の再活用のため）が、社会的に求められている。その状況に応じた教育と言える。
- 管理栄養士養成セミナーを開講しているケースは、4校であった。首都圏ブロックの33番と36番、北陸・上信越ブロックの6番と8番であった。管理栄養士養成講座は、資格取得講座であるが、短期大学の卒業生（栄養士取得者）の再教育とサポート講座という側面を持っている。平成17年以降には、管理栄養士の試験制度・方法が変更されるため、現行の制度での有利な合格を目指した受験を促進するためのサポートを積極的に展開している例と考えられる。

- 介護関連のリカレント教育を行っているケースは、3校であった。首都圏ブロックの33番、北陸・上信越ブロックの6番と8番であった。ヘルパー養成講座とより高度な資格へのサポート講座が、介護福祉系学科を設けている短期大学に開設されている。特に40才以上の再就職を考えている人々のための生涯学習に求められる講座でありながら、意外と開講の事例が少ない点がわかつた。
- 音楽関連のリカレント教育を行っているケースは、2校であった。北陸・上信越ブロックの35番と甲州・中部・東海ブロックの10番である。

10番の短期大学では、モスクワ国立音楽院と、短大教授によるセミナーを開講している。35番の短期大学では、客員教授による音楽療法基礎講座を開講し、学外の福祉施設職員等を対象として、夜間、休日集中講座を提供している。また、同校は、音楽科教授による「ピアノ教育研究会」の定期講座を、ウイークデイの午前に、年間7~8回開講しリカレント教育を行っている。音楽科の卒業生や教育者対象の、再教育機関としてのきめの細い対応と努力を読み取れる回答であった。

- 環境に関するリカレント教育を行っているケースは、1校であった。近畿・中国・四国ブロックの15番の短期大学では、「環境経営への招待」と題する講座を開講している。21世紀社会のキーワードである「環境に関する教育プログラムを、生涯学習、リカレント教育に生かしていくことが今後の課題と考える。しかし、現状は、きわめて少ない1校のみという点を認識しなければならないであろう。今後の課題であると思う。
- 福祉に関するリカレント教育を行っているケースは、2校であった。首都圏ブロックの33番と、北陸・上信越ブロックの6番であった。33番の短期大学では、福祉学科系の先生方のプロジェクトチームで、5~6回の特設講座（毎回講師が違う）や、住居学の専門家による「人にやさしい住まい（入門編）－福祉住環境コーディネーター検定3級に向けて－」という資格取得を目指す講座（平日午前10回コース）を開講し好評であった。特に、後者は、バリアフリーの家作り、リフォームの方法を直接学べるメリットがあり、生活者の視点＝特に女性の側からの視点が生かされることが何よりも支持された。また、介護する側の苦労が生かされる点が、女性には「生きがい」にもなっている。6番の短期大学では「福祉学科公開セミナー」や「楽しい福祉セミナー」と、2種類のセミナーを開講している。福祉に対して、気軽に楽しく学べる入門編のセミナーに力を入れているようだ。とかく、福祉は、肩に力が入りやすい問題になりがちで、暗く、重く、避けたいテーマになりやすい点を見事に社会人にわかりやすい工夫をしている。
- 心理学に関するリカレント教育を行っているケースは、2校であった。首都圏ブロックの33番と、近畿・中国・四国ブロックの15番である。

33番の短期大学では、心理学系の教授陣で交代制で担当する特設講座「お母さんボクたちの気持ちをわかってよ！」（児童心理）を、保育付き講座として開講し、30代のお母さんたちに好評であった。その他、心理学系のリカレ

ント教育を行っている。15番の短期大学では、「心理学アラカルト」と題する講座を開講している。心理学に対する関心が、大変高まっている社会状況下にあって、心理学系の学科を持つ短期大学が、大変少ないのか2校だけのケースだが、今後より求められる大切な分野であると考える。

- 高齢者関連のリカレント教育を行っているケースは、2校であった。首都圏ブロック33番と、近畿・中国・四国ブロック13番である。33番の短期大学では、「男のための料理教室」が約10年間好評で継続講座となっている。中には、妻に先立たれた60代男性も受講しており、「料理を生活技術として学びたい」「料理のための再婚は、相手の女性に失礼」と考え、同様の男性が受講しやすい食文化講座や中国料理と3講座も、継続的に学んでいる例もある。13番の短期大学では、高齢者男性支援事業（65才以上）の料理教室を開講している。

その講座は、2つに分かれている。その一つは、一年を前期と後期に分け、1年半（18回）で、本学独自の初級・中級・上級のライセンスを取得できるようにしている。単なる料理実技ではなく、栄養学的な理論授業も加えている。5名募集したところ60名もの応募者があり、10名を受け入れたそうだ、受講料は、実費のみである。

二つには、ライセンスとは無関係に、調理実習に栄養理論講座を加えたものを毎月1回実施し、40名募集、3ヵ年まで在学できるシステムをつくっている。より長期の在学希望者も多い。実費のみの受講料である。高齢者の男性支援事業としての料理講座は行政・地方公共団体でも実施しているケースが多いが、大学で開講するメリットは、受講生が単なる調理技術を学ぶことでは、あきてしまうので、大学の学問性、栄養学などの、より高い専門性に対する興味に対する、情報提供にあると言えよう。また、近年は、高齢者の食に対する高い関心－食の安全と安心や、食文化への興味、健康志向－が、その裏側に存在している。特に、男性は、理論に対して、信頼し、尊重する傾向がある。死ぬまで、健康で、心身ともに活動的な高齢者が、「理想」とされる現代社会においては、大変重要なリカレント教育と言える。33番の短期大学の「男のための料理教室」は、人気講座で、空席待ちのキャンセル待ちが出る程だという。

以上、7分野のリカレント教育が、積極的に展開されている。しかし、以上のリカレント教育は、開講されている短期大学の立地条件において、首都圏ブロック、北陸・上信越ブロック、甲州・中部・東海ブロック、京阪神ブロック、近畿・中国・四国ブロックの5地域に集中している点が顕著であった。また、リカレント教育に熱心な、ほんのわずかな短期大学が何度も登場して來るのである。全国的な視野から見れば、極めて限られた短期大学から、必要性を認められたりカレント教育の芽生えを感じられる程度であるかもしれない。いずれにせよ、今後の、各地域の重点校の決定に大きな選定要素であると共に、未開拓の分野に対するチャレンジ精神と現実の多くの問題点（講師の手配、報酬、採算、経営の問題、学内の理解者をいかに確保するか、サポート体制としての実務者、事務方の組織化の問題）をクリアしたものだけが、上記の事例と考えられる。それらの苦労は、直接担当者へのインタビューによってしか

知ることが出来ないであろう。

### ② 資格取得を目的とした講座の開講について

資格取得を目的とした講座の開講例については、以下に取り上げる2分野のみであった。ただし、先に掲げたリカレント教育の中で取り扱った、保育士、管理栄養士、ホームヘルパーの資格、福祉住環境コーディネーター検定3級等の資格に対するものは、重複するのでここでは取り上げない。

- 同時通訳集中講座の開講のケースは1校であった。九州・沖縄ブロックの21番の短期大学では、同時通訳集中講座の初級・上級コースを、毎年夏季に7日間講習として行っている。沖縄という立地条件も影響しているとは思われるが、他にはまったく見られないユニークな講座であると思う。
- コンピュータ・ワープロ検定関連の講座の開講のケースは、2校であった。首都圏ブロックの33番と、近畿・中国・四国ブロックの13番の短期大学であった。行政・民間とともに、現在多くのコンピュータ入門研修・講座が開講されている。そのため、短期大学での開講は、むしろ具体的に資格取得を目的とした講座のほうが、受講生が集まりやすい傾向が出てきた。出産子育て後の30代からの再就職希望の主婦層や、高齢者の再就職にもコンピュータ技術は、もはや常識となっている。そのニーズに応える形の開講とならざるを得ない。13番の短期大学では、県民カレッジ、一般対象のコンピュータ講座を開講している。今後は、より高度なコンピュータ講座と、多様化する検定に向けての受験準備講座が求められていくはずである。

さて、上記の2つの資格対応の講座以外に語学検定（英検、TOEIC、仏語検定、独語検定、西語検定、伊語検定、中国語検定）対応のバラエティ豊かな受験講座を開講し、好評を得ている首都圏ブロック33番の短期大学の事例もあった。この短期大学のメリットは、最寄り駅（JR）より徒歩5分の立地条件の良さと、四年制大学の併設校なので、豊富な講師の人材を活用できる点である。立地条件は、正に「駅前生涯学習」と言える。実際には、このような好条件に後押しされた短期大学ばかりではない。その中の工夫を、どのようにしていけば良いかについては、重点校の現地調査を待たなければならないであろう。

### ③ 行政やマスコミ、地域社会との連携をとっている事例

21世紀社会における、大学・短期大学は、従来のように「大学」として孤立化しているだけでは成り立たない。産・官・学・民の連携によって、それぞれの分野の成果をネットワーク化で共有し、「少子・高齢型社会」の難問を解決して行かなくてはならない。かつては、18歳人口～22歳までの教育を大学教育として扱い考えて行けば良かった。しかし、今後は、地域の教育力向上のための役割を大学教育が担い、極端なことを言えば、人間の誕生から死までの期間のすべてに大学の研究機関としての成果と教育機関としての機能を提供して行き、「幸せで豊かな地域づくり」に貢献しなけ

ればならない「使命」を持っていると言わねばならない時代となった。さて、その観点から現状がどのようにになっているのかをアンケート調査から読み取ってみる必要があると思う。

○ 教育委員会と連携した公開講座を開講しているケースは、6校であった。

北海道・東北ブロックの1番、首都圏ブロックの34番、36番、甲州・中部・東海ブロックの11番、近畿・中国・四国ブロックの15番と17番であった。1番の短期大学では、地元の教育委員会と連携した公開講座「ふるさと江別塾」に参加、公報に講座内容・案内を掲載するとともに、講座の後援も行ない、公共施設でのポスター・パンフレットを設置するなど積極的な連携を行なっている。首都圏ブロック34番の短期大学は、教育委員会との共催公開講座の開講。36番の短期大学は、地元の教育委員会からの委託講座を開講している。11番の短期大学では、地元の政府指定都市の生涯学習センターと共に講座の開講と運営協力をしている。近畿・中国・四国ブロックの15番は市の生涯学習課と連携した講座を、17番の短期大学は、県生涯学習センターとの連携を行なっている。

以上、アンケート調査に具体例を記入して頂いた短期大学以外でも、広く地方公共団体の教育委員会や生涯学習課との連携は行なわれていると考えられる。行政の事情としては、予算の縮少、合併推進による施設の合同化（しかし、生涯学習環境はむしろ悪化する状況にある）の問題等で、人材豊富で施設も充実している地元の短期大学との連携は、時代のニーズに合っているからである。しかし、その奥深いところにある真の問題点は、行政の利点は理解できるものの、コスト（費用）の負担が、行政側の赤字財政等のため、少ない点があげられる。短期大学の地域社会に対する貢献とPRと考えて、積極的に取り組んでいるケースが意外と少ないので、そんな裏側の事情も読み取れる。

○ 市や県の広報やインターネットを通じて情報を発信しているケースは、16校であった。北海道・東北ブロック1番、3番、首都圏ブロック24番、33番、北陸・上信越ブロック5番、35番、甲州・中部・東海ブロック9番、京阪神ブロック26番、近畿・中国・四国ブロック12番、13番、14番、17番、九州・沖縄ブロック21番、国公立大学 29番、31番であった。3番の短期大学は、広報用の共同冊子の発行を、地元の行政と一緒に行なっている。35番の短期大学では、県の生涯学習センターと連携して、広報の協力を依頼している。また、県の生涯学習センター刊行物に講座を掲載してもらっている。9番の短期大学では、県民コミュニティカレッジ事業運営協議会や、県の児童家庭課との連携で、公開講座の開講・企画立案や広報活動に対して共同で取り組んでいる。26番の短期大学では、講座案内や後援、ホームページの連携を行なっている。また、近畿・中国・四国ブロックの12番の短期大学では、県の生涯学習支援ネットワークの中で、県のインターチェンジのホームページに公開講座の内容を掲載している。17番の短期大学では、現在、県の生涯学習センターのインターネットによる公開を行なう方針を決め準備中である。九州・沖縄ブロックの27番の短期大学では、県の広域学習サービス講座（リカレントコース）との連携を行ない、案内や費用を県が負担している。国公立

の短期大学29番では、行政の生涯学習のホームページにリンクさせ、情報発信に努力している。国公立31番では、広報との連携でPRに努めている。上記の例で、目新しいものとしては、インターネット利用、ホームページのリンク等の情報発信が、もはや始まっている点であろう。また、短期大学の立地条件や、地域性－広範囲にカバーしなければならない条件－により、今後のIT化が何よりも重要な、キーワードになる九州・沖縄ブロックや北海道・東北ブロック等の短期大学も見られた。

- 県民カレッジ等との連携を行なっているケースは9校であった。北海道・東北ブロック4番、首都圏ブロック33番、37番、北陸・上信越ブロック6番、35番、甲州・中部・東海ブロック9番、九州・沖縄ブロック21番。国公立短期大学では、27番と28番であった。4番の短期大学では、生涯学習の取り組みについて、1971年より行なっている。そのため、財団法人県生涯学習文化財団と短大が地域住民を対象に「山形学」地域連携講座を実施している。テーマは、『民話』を中心とした講座と、地域色豊かであり、独自性がある。九州・沖縄ブロックの21番の短期大学では、前述した県広域学習サービス講座（リカレントコース）を開講している。また、国公立の短期大学27番では、県の弘道館アカデミーとの連携を行なっている。28番では、県民カレッジと連携し、本学講座修了者にはカレッジから単位認定を行なっている。以上のように国公立短期大学でも、積極的に県との連携を行なっている。

また、私学の短期大学では、北陸・上信越ブロックの6番の県民カレッジとの連携単位認定、また県の高等教育振興財団助成を受けているケースもあった。この例は、県の生涯学習に対する積極的な取り組みとともに、サポート体制の実例と言える。

- 商工会議所との連携を行なっているケースは、2校であった。首都圏ブロックの33番の短期大学では生涯学習の企画・運営に「協力者会議」を組織し、行政、商工会議所、短期大学の生涯学習担当者、受講生、地域のマスコミ（ケーブルTV）をネットワークし、積極的に産・官・学・民を実践しようと努力している。近畿・中国・四国ブロックの15番の短期大学では、地元商工会議所と連携し、共同の講座を開講している。今後は、地域雇用環境を踏まえた、職業教育、リカレント教育、再就職のためのブラッシュアップ講座等に、短期大学が地元商工会議所と連携、地域貢献しなければならない時代になってくると思われる。子育て終了後の30代、40代の女性の再就職と、年金不安のある50代、60代以上の高齢者の再就職や、起業準備のための生涯学習の位置づけである。学術フロンティアの研究分野では、第三部門の担当となる部分である。
- NPOとの連携を行なっているケースは、3校であった。北海道・東北ブロックの1番、首都圏ブロックの24番、甲州・中部・東海ブロックの9番、国公立短期大学の29番であった。1番9番と24番の3校の短期大学では、具体的にどのようなNPOとの連携を、どのように行ない、生涯学習プログラムにいかに生かしているのかについて、何もアンケートに記載されていないので全く解らなかった。国公立短大の東北地域の1校は、「定期的に民間企業、NPO団体等とのネットワーク連携を

行なっている」と回答している。その公立短大が、「美術工芸」に関する特殊な専門分野の短大のため、産学協働やNPOとの連携が行なわれやすいと考えられる。NPOとの連携、協働についても、学術フロンティアの研究分野では、第四部門が担当すべき部分である。今後、NPOとの連携については、全国的に広く展開されて行く可能性を持っていると思う。なぜならば、NPOが、積極的に認知されてきたのは、近年であるとともに、毎年数多くの新しい多様な分野のNPOが生み出されているからである。それを担い手として、2006年に60歳を迎える団塊の世代が新しくNPO活動と生涯学習へ参加してくることを考えると、まさにその考えを深めなければならない。

さて、以上の③行政、マスコミ、地域社会との連携を取っている短期大学は、全国70校の短期大学中、回答をいただいた50校の割合と比較すると、ほんのわずかな事例にすぎないかもしれない。しかし、時代は確実に変化し始めているのである。

中央教育審議会生涯学習分科会が、平成16年3月29日にまとめた「今後の生涯学習の振興方策について（審議経過の報告）」**【資料4】**の中で、大学、短期大学に求められる「社会人受け入れなど生涯機能をより一層果たすことが必要。このため、社会の要請にこたえたカリキュラム編成や実践的能力を持つ教員を広く社会から受け入れる生涯学習のニーズに対応した効果的な教育を達成することが重要。このような点を認識するとともに、「国・地方公共団体等とNPO・地域住民等との関係を、対等な立場の下に、積極的に協力し合う『協働』へと変えていく」ための協力者に、大学・短期大学がなって行かなければならない。それが、正に21世紀の日本の生涯学習の課題でもある。

#### ④ 短期大学教育の独自性とメリットについて

「専門学校でなく、短期大学教育の独自性とメリットは何だとお考えですか。」（自由記述）という最後の設問に対しては、多くの短大がすばらしい回答をいただいた。以下にその主なものを列挙させていただきたい。

- ☆ 専門科目のほかに、基礎科目・教養科目の充実による幅の広い総合的な教養を身に付けることが可能である。〔多数の同じような回答があり〕  
人格形成を中心に据えた人間教育を行なえること。  
専門的な科目だけにとどまらず、一般教養科目や社会に出る前の事前教育、各種行事への参加など幅広い教育と学問への探究心が養える場であると考える。
- ☆ 短期大学設置基準で、施設・設備・教員・教育課程等の面において規定されていることにより、教育研究環境の質が担保されている。  
文部科学省の認可の基で、運営の精神により、教育理念を具現化することが出来る。
- ☆ 2年間という短期間で、充実した教育をする。  
2年後の将来方向が、現実に即して選択できる。4年生大学への編入、就職、

留学など。

大学へ編入学する第一ステージの役割。

☆ 少人数制により、きめ細かく学生に対応できること。

☆ 教員免許の取得が可能。

資格を支える理論の習得。

社会に役立つ資格取得教育もできる。

☆ 実践的で即効性のある知識や技能を学ぶだけでなく、研究する機関でもある。

☆ 建学の精神を通しての人間教育。

専門技術の習得のみならず、建学の精神に基づいた人格形成のための教育が実施されること。

その短期大学の建学の精神をもしっかりと学ばせ、人間形成に大きく貢献できる。

☆ 多岐にわたる分野に、高い専門性をもった教員を多く擁している。そのことが、学生の教育のみならず、地域社会との連携において、大いに役立っていると思う。

地域との連携による教育が図られている。

#### 4. 今後の計画について

第1年目（平成15年度）には、短期大学における生涯学習の取り組みに関する現状把握を目的としたアンケート調査を土台とし、全国を5ブロックと首都圏、京阪神圏を加えた7ブロックの中で、それぞれの地区の、研究拠点校を選定した。（別添  
[資料3]）

2年目である、平成16年度には、第1点として全国を5ブロックに分け各地の拠点校の現地調査、インタビュー聞き取り調査を行ない、生涯学習を展開し、短期大学のコミュニティカレッジ機能への転換の問題点を抽出し、可能性の発見に力を入れて行きたい。

また、第2点として、今回報告したアンケート調査の詳細な結果分析と考察を行ない、現代日本の短期大学における生涯学習の現状と問題点を明らかにすることを目標として行きたい。

## 資料 1

### 短期大学における生涯学習の取り組みに関するアンケート

短期大学名

担当者氏名

連絡先

1. 貴短大では、生涯学習・公開講座についてどう取り組んでおられますか。

- (1) 公開講座を行っていますか？ 行っている いない 検討中  
いつから開講しておられますか？ \_\_\_\_\_年スタート  
定期的に行っていますか？ 年\_\_\_\_回 不定期に行っている  
単発的に行っていますか？

#### (2) 講座について

- 年間の開講の講座数はいくつですか？ \_\_\_\_\_講座  
開講座の分野（いくつでも ○ をして下さい）  
教養 文学 経済 外国語 社会学 心理学 趣味  
音楽 絵画 地域 食文化 福祉 教育 ジェンダー<sup>1</sup>  
歴史 自然科学 etc

#### (3) 受講者について

- 受講者数 年間 \_\_\_\_\_人  
受講者の性別比 男性\_\_\_\_\_% 女性\_\_\_\_\_%  
受講者の年齢層 20代 30代 40代  
50代 60代 70代以上  
受講生の満足度のアンケートを定期的に行っていますか？  
行っている いない 検討中

#### (4) 講座運営について

講師について

内部（学内）講師と外部講師の比率について

学内 \_\_\_\_\_ %      外部 \_\_\_\_\_ %

外部団体とのネットワークについて

行政とのネットワーク連係を      行っている      行っていない      検討中  
実例について      (その方法・内容)

民間企業とのネットワーク      行っている      行っていない      検討中  
NPO 等の団体とのネットワーク      行っている      行っていない      検討中

#### (5) 単位化の問題

単位を認定している公開講座がありますか？      ある      ない      検討中

あるのはどのような科目ですか

認定した単位をどう役立てていますか？

社会人として短大への入学・編入に      役立てている      役立てていない

#### (6) 公開講座のプログラム（小冊子）を作成しておられますか？

している      していない      検討中  
( 年 \_\_\_\_\_ 回)

プログラム（小冊子）を郵送していただけますか      郵送する      できない

## 2. 資格取得を目的とする講座について

### (1) 講座を開講していますか？

開講している	いない	検討中
<u>年度スタート</u>		

### (2) 通信教育制度がありますか

ある	ない	検討中		
開講資格分野				
保育士	看護士	介護福祉士	教職課程	その他の資格

### (3) インターネット活用の通信教育制度がありますか？

(IT化)	ある	ない	検討中
実施講座名			
内容・分野			

### (4) 期間限定通学制の講座を行っていますか？

図書館司書課程	ある	ない	検討中
教職課程（免許状）	ある	ない	検討中
二種→ 一種へ			
栄養士（管理栄養士へのステップアップ）	ある	ない	検討中
介護福祉士	ある	ない	検討中
ホームヘルパー資格	ある	ない	検討中
その他			

### (5) 単位取得外講座（独自のもの、何かありますか？）

自由記述

夏季保育大学など

### 3. 短期大学

- (1) 社会人入学サポート制度がありますか？ ある なし 検討中  
(高卒 → 短大へ)
- (2) 科目等履修生制度がありますか？ ある なし 検討中
- (3) 生涯学習で得た単位を受講生が短大教育で生かす方法を行っていますか？

### 4. 専門学校でなく、短期大学教育の独自性とメリットは、何だとお考えですか。

(自由記述)

資料 2

短期大学における生涯学習の取り組みに関するアンケート				
<b>1、貴短大では、生涯学習・公開講座についてどう取り組んでおられますか</b>				
	1校当たりの平均%	1校当たりの平均数	50校当たりの%	Total
<b>(1) 公開講座を行っていますか？</b>				
行っている			94%	47
いない			4%	2
検討中			0%	0
<b>いつから開講しておられますか？</b>				
____年スタート				
<b>定期的に行っていますか？</b>				
年 ____回		4		187
不定期に行っている				
単発的に行っていますか？				
<b>(2) 講座について</b>				
<b>年間の講座数はいくつですか？</b>				
講座		25		1274
<b>開講座の分野(いくつでも ○ をして下さい)</b>				
教養			72%	36
文学			32%	16
経済			20%	10
外国語			38%	19
社会学			20%	10
心理学			38%	19
趣味			36%	18
音楽			46%	23
絵画			24%	12
地域			18%	9
食文化			46%	23
福祉			38%	19
教育			44%	22
ジェンダー			8%	4
歴史			20%	10
自然科学			22%	11
etc.			18%	9

(3)受講者数について				
受講者数				
年間	人		830	41496
受講者数の性別比				
男性	%	24%		
女性	%	77%		
受講者の年齢層				
20代			46%	23
30代			50%	25
40代			58%	29
50代			64%	32
60代			58%	29
70代以上			32%	16
受講生の満足度のアンケートを定期的に行っていますか？				
行っている			66%	33
いない			22%	11
検討中			0%	0
(4)講師運営について				
講師について				
内部(学内)講師と外部講師の比率について				
学内	%	77%		
外部	%	34%		
外部団体とのネットワークについて				
行政とのネットワーク連携を				
行っている			54%	27
行っていない			28%	14
検討中			6%	3
実例について(その方法・内容)				
民間企業とのネットワーク				
行っている			12%	6
行っていない			74%	37
検討中			4%	2
NPO等の団体とのネットワーク				
行っている			6%	3
行っていない			80%	40
検討中			2%	1

(5) 単位化の問題				
単位を認定している公開講座がありますか？				
ある			12%	6
ない			72%	36
検討中			2%	1
あるのはどのような科目ですか？				
認定した単位をどう役立てていますか？				
社会人として短大への入学・編入に				
役立てている			4%	2
役立てていない			18%	9
(6) 公開講座のプログラム(小冊子)を作成しておられますか？				
している			50%	25
(年__回)		1		34
していない			36%	18
検討中			4%	2
プログラム(小冊子)を郵送していただけますか？				
郵送する			52%	26
できない			2%	1

2. 資格取得を目的とする講座について				
	1校当たりの平均%	1校あたりの平均数	50校当たりの%	total
(1) 講座を開講していますか？				
開講している			36%	18
いない			52%	26
検討中			8%	4
年度スタート				
(2) 通信教育制度がありますか				
ある			0%	0
ない			96%	48
検討中			0%	0
開講資格分野				
保育士			0%	0
看護士			0%	0
介護福祉士			0%	0
教職課程			0%	0
その他の資格			0%	0
(3) インターネット活用の通信教育がありますか				
(IT化)	ある		0%	0
	ない		94%	47
	検討中		2%	1
実施講座名				
内容・分野				
(4) 期間限定通学制の講座を行っていますか？				
図書館司書課程				
ある			2%	1
ない			92%	46
検討中			0%	0
教職課程(免許状)二種→一種へ				
ある			2%	1
ない			90%	45
検討中			0%	0
栄養士(管理栄養士へのステップアップ)				
ある			30%	15
ない			58%	29
検討中			0%	0
介護福祉士				
ある			2%	1

ない			76%	38			
検討中			2%	1			
<b>ホームヘルパー資格</b>							
ある			12%	6			
ない			66%	33			
検討中			2%	1			
<b>その他</b>							
(5)単位取得外講座(独自のもの、何かありますか?)		自由記述					
夏季保育など							
<b>3短期大学</b>							
(1)社会人入学サポートがありますか(高卒→短大へ)							
ある			52%	26			
なし			36%	18			
検討中			6%	3			
(2)科目等履修生制度がありますか?							
ある			92%	46			
なし			4%	2			
検討中			0%	0			
(3)生涯学習で得た単位を受講生が短大教育で生かす方法を行っていますか?							
4、専門学校でなく、短期大学教育の独自性とメリットは、何だとお考えですか。				(自由記述)			

### 資料 3

#### 『短期大学における生涯学習の取り組みに関するアンケート』集計(地域ブロック別)

第5部会 水垣 玲子

長江 曜子

片桐 章子

#### 1. 北海道・東北ブロック

候補No.	スタート年	受講者数	講座数	
			(頻度/年)	(分野、講座数)
1	1991	1,500	2回	90
2	1999	450	2回	5分野
3	1998	1,293	10回	6
4	1971	130～200	3～4回	5分野

#### 2. 北陸・上信越ブロック

候補No.	スタート年	受講者数	講座数	
			(頻度/年)	(分野、講座数)
5	1992	707	2回	30
6	1989	190	2回	8
7	1999	300	1～2回	1～2
8	1972	200	1回	11～14

#### 3. 甲州・中部・東海ブロック

候補No.	スタート年	受講者数	講座数	
			(頻度/年)	(分野、講座数)
9	1985	550	1～10回	6
10	?	1,681	1回	6
11	1984ごろ	750		7種類

#### 4. 近畿・四国・中国ブロック

候補No.	スタート年	受講者数	講座数	
			(頻度/年)	(分野、講座数)
12	1995	1,200	2回	各40
13	1975	1,146	2回	15
14	1993	387	10回	10
15	1983	6,444(5年間)	1回	10分野
16	1994	2,300	3回	3
17	2001	359		48

5. 九州・沖縄ブロック

候補No.	スタート年	受講者数	講座数	
			(頻度/年)	(分野、講座数)
18	2003	440	2回	30
19	1998	1,266	2回	15
20	1999	1,277	4年で4回	59
21	?	282	2回	10

6. 首都圏ブロック

候補No.	スタート年	受講者数	講座数	
			(頻度/年)	(分野、講座数)
22	2001	1,500	2回	60
23	1980	約1,000	10回	10
24	2003	約6,000	不定期	600

7. 京阪神ブロック

候補No.	スタート年	受講者数	講座数	
			(頻度/年)	(分野、講座数)
25	?	約3,000	1~2回	18
26	1985	995	59回	10

8. 国公立短期大学

候補No.	スタート年	受講者数	講座数	
			(頻度/年)	(分野、講座数)
27	1996	300	15回	15
28	1986	354	定期的	33
29	1996	174	1回	10
30	1972	5年間1,547	不定期	6
31	1989	50~300		2
32	1990	242	2回	2

9. 聖徳大学

候補No.	スタート年	受講者数	講座数	
			(頻度/年)	(分野、講座数)
33	1992	3,547	3回	220

## 今後の生涯学習の振興方策について (審議経過の報告)

平成16年 3月29日

中央教育審議会生涯学習分科会

平成15年3月の中央教育審議会の答申「新しい時代にふさわしい教育基本法と教育振興基本計画の在り方について」においては、少子高齢化社会の進行などの社会の大きな変化の潮流を踏まえ、我が国の教育を新しい時代にふさわしいものにすることの必要性について提言され、教育の教育理念として生涯学習の理念を明確化することや、家庭教育の支援、社会教育の振興の重要性が提言された。

このことを踏まえ、中央教育審議会生涯学習分科会においては、平成15年7月から、生涯学習の振興方策全般について、委員間の自由討議、都道府県等の関係者や文部科学省内関係各局・文化庁、関係各省等からのヒアリング、課題別討議等、計13回に及ぶ審議を行ってきた。

本報告は、これまでの審議の際に出た意見をまとめ、とりあえず、生涯学習の振興方策に関する「審議経過の報告」として、総会に提出するものである。

## これまでの生涯学習振興施策の経緯と課題

### 1. これまでの生涯学習振興施策の経緯

#### (1) ユネスコの提言

生涯教育の考え方は、昭和40年のユネスコの成人教育に関する会議において、人生の諸段階、生活の諸領域におけるフォーマル、ノンフォーマル、インフォーマルな教育・学習のすべてを含む総合的・統一的な概念として初めて提案されて以来、国際的に普及してきたものである。

#### (2) 昭和56年の中央教育審議会答申

我が国では、昭和56年の中央教育審議会(以下「中教審」という。)答申「生涯教育について」において、初めて本格的に生涯学習の考え方を取り上げている。この答申では、「今日、変化の激しい社会にあって、人々は、事故の充実・啓発や生活の向上のため、適切かつ豊かな学習の機会を求めている。これらの学習は、各人が自発的意思に基づいて行うことを基本とするものであり、必要に応じ、自己に適した手段・方法は、これら自ら選んで、生涯を通じて行うものである。この意味では、これを生涯学習と呼ぶのがふさわしい。この生涯学習のために、自ら学習する意欲と能力を養い、社会の様々な教育機能を相互の関連性を考慮しつつ総合的に整備・充実しようとするのが生涯教育の考え方である。」と指摘している。

#### (3) 臨時教育審議会答申

昭和59年から65年にかけての臨時教育審議会の4次にわたる答申においては、「生涯学習社会の実現」が、「個性重視の原則」、「国際化・情報化などの変化への対応」と並ぶ教育改革の3つの基本理念の一つとして提言された。

#### (4) 生涯学習に係る体制の整備

生涯学習に係る体制の整備については、昭和63年に、文部省（当時）に生涯学習を担う局が置かれた。また、平成2年に、「生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律」（以下「生涯学習振興法」という。）が制定されたこと等により、文部省（当時）に生涯学習に係る機会の整備に関する重要事項を調査審議する生涯学習審議会（以下「生涯審」という。平成13年1月の中央省庁再編により、中教審学習分科会に再編。）が設置された。さらに、現在、すべての都道府県に生涯学習担当部局が設置され、37都道府県に生涯学習審議会が設置されている。平成11年には、全国生涯学習市町村協議会が発足し、現在216市町村が加盟している。このように、都道府県及び市町村における生涯学習??のための体制の整備等は一定程度進展している。

#### (5) 近年の動き

平成12年の生涯審報告等を踏まえ、平成13年には社会教育法の一部改正が行われ？

その内容は、①家庭教育の向上のための社会教育行政の体制の整備、②ボランティアなど社会奉仕体験活動、自然体験活動等の体験活動の促進（学校教育法についても平成13年に同趣旨の改正が行われた。）、③社会教育主事の資格要件の緩和④社会教育行政と学校教育との連携の確保及び家庭教育の向上への配慮に関する規定を置くというものである。その後、家庭教育に関する学級・講座数が増加しているほか、子育てサークルのリーダーなどの「家庭教育の向上に資する活動を行う者」の社会教育委員への委嘱が進んでいる。また、奉仕活動・体験活動については、平成14年の中教審答申も踏まえ、学校内外における奉仕活動・体験活動の充実が図られているところである。

## 2. 生涯学習振興施策の課題

これまでの取組を踏まえつつ、今後、生涯学習振興施策を進めるに当たって、次のような課題について意見等があったところである。①生涯学習が、家庭の持つ教育機能をはじめ、学校教育、社会教育、さらには民間の行う各種の教育・文化事業・企業内教育等にわたるあらゆる教育活動、及び、スポーツ活動、文化活動、趣味・レクリエーション活動、ボランティア活動などにおける学習の中でも行われるものであるということが、都道府県、市町村等の関係者や国民の間に共通認識として浸透していない。また、「生涯教育」と「社会教育」との混同が見られる。

### 生涯学習を振興していく上で今後重視すべき観点

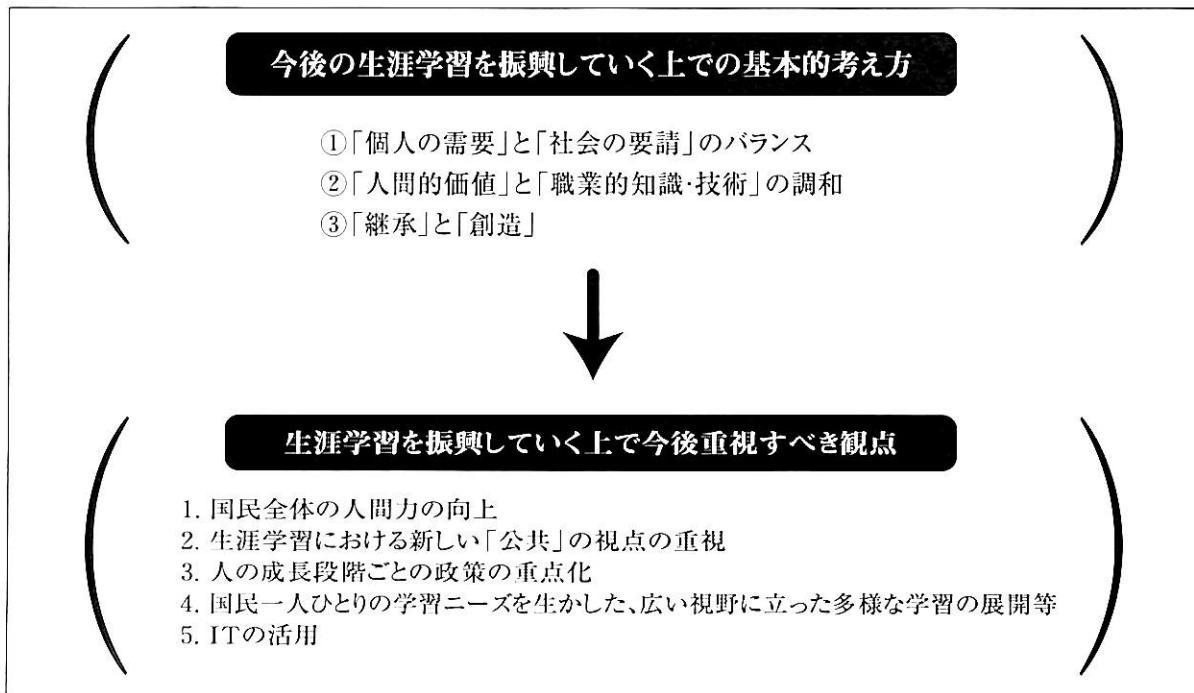


図1；基本的考え方と今後重視すべき観点の関係図

## 今後の重点分野

上記の5つの観点と近年の社会の変化を踏まえ、我々は、今後、重点的に取り組むべき分野として議論した中では、次の5点を重要と考えた。

- ①職業能力の向上
- ②家庭教育への支援
- ③地域の教育力の向上
- ④健康対策等高齢者への対応
- ⑤地域課題の解決

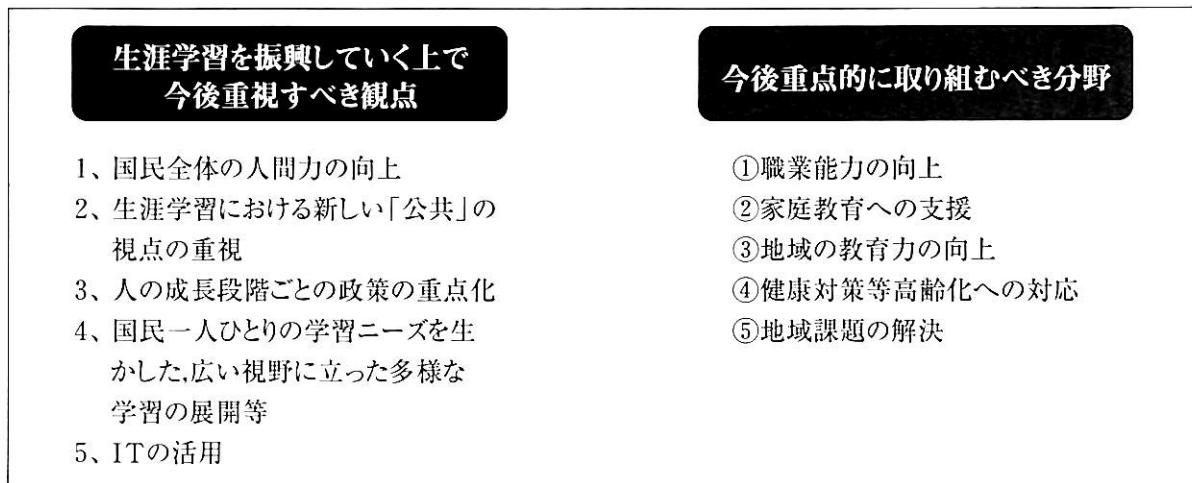


図2；今後重視すべき観点と今後重点的に取り組むべき分野と関係図  
(今後重視すべき観点については、P?の図1の関係図を参照)

### (1) 職業能力の向上

職業能力の向上を図るためにには、学校教育段階から、勤労観・職業観の育成を図るとともに、社会教育施設等においても、若者や働き盛りの世代の人のための職業能力の向上につながる学習支援を充実していくことが重要である。

この際、フリーターなどの中でも、就きたい職が見つからない若者、自分がどう生きたらよいのか分からぬといったことのために自分探しをしている若者などが多数存在しているとの指摘があるため、こうした人への対応を検討していく必要がある。また、働く期間が長期化していることに対応し、高齢者の職業能力を高めていくとともに、男女ともに、生き方を主体的に選択し、生涯にわたり学び、力を付け、その成果を生かして様々な分野で能力を発揮できるような学習環境の整備を図ることにより、男女共同参画社会の形成を促進するという視点も重要である。

### (2) 家庭教育への支援

家庭の教育力の向上を図るためにには、学校や地域において、できるだけ早い段階から、親になるための学習の充実を図るとともに、親になった後も、広く子どもから学び、仲間同士の親とも学び合うことなどにより、地域全体で学び合って、親が親とし

て育ち、力をつけるような学習を大幅に充実するための方策を検討する必要である。

### (3) 地域の教育力の向上

子どもが「生きる力」をはぐくむためには、学校、家庭、地域が相互に連携しつつ、家庭や地域社会における教育力を充実させ、社会全体で子どもを育てていくことが重要である。このため、異年齢の子どもや異世代の地域の人々とのかかわりの中で、様々な体験の機会を提供し、子どもの自主性・創造性・社会性を涵養するとともに、触れる・体験するといった感覚を通して情操を養うなど、地域の大人の力を結集して子どもを育てる環境を整備することが求められる。

### (4) 健康対策等高齢者への対応

元気な高齢者づくりのためには、様々な生活の場や企業の中で気軽に体を動かすことから始め、地域全体が健やかな意思と健康な体を持つための取組が求められている。

また、高齢化する地域社会を活性化していくためには、高齢者の学習活動について、生きがいづくりとともに、能力開発関係のものなども含めて、高齢者の多様な学習ニーズにこたえるとともに、学習成果を活用できる機会を充実していくことが求められる。

### (5) 地域課題の解決

各地域において、まちづくりや地域の文化の継承・創造、自然環境の保全、地域に根ざした経済活動の活性化の促進、介護・福祉、男女共同参画等の現代の切実な地域の課題に適切に対応していくことにより、個性豊かな活力ある地域社会を築いていく必要がある。

## 関係機関・団体等の重点的に取り組むべき分野に関する意見

### 職業能力の向上

#### 学校

##### ① 小中高等学校

- 人々の生涯学習の基礎を培うためには、初等中等教育の段階において、生涯にわたる学習の必要性や学び続ける意思と方法、技術を教育することが重要である。
- 初等中等教育段階から、児童・生徒の一人ひとりに勤労観・職業観の育成を図る教育を充実するために、インターンシップ（就業体験）の充実やキャリアアドバイザーの活用などを進めることにより、職業に関する知識・技能の習得を図ることも重要である。
- 学校内外を通じた奉仕活動・体験活動等の充実を図ることにより、勤労の貴さや社会性、情緒等を養うことが必要である。

- ・ インターンシップの実施については、地域の企業、自営業者、高齢者やN P Oなどの関係者の理解を求め、一層の協力を得ていくことが必要である。

## ② 大学等

- ・ 近年、社会・経済が高度化・複雑化し、グローバル化が進展する中で競争化していく社会を生きていくためには、職業能力の向上につながる学習の支援や、国民の教育レベルの高度化に対応することが重要である。このため、大学（大学院も含む。）、短期大学、高等専門学校（以下「大学等」という。）の高等教育機関の役割が極めて重要である。
- ・ 社会人の受入れが拡大するような入学、履修形態の改善、より多くの社会人をひきつける魅力あるものになるような教育内容・方法の改善に取り組んでいくことが求められる。
- ・ 学生の学習意欲を喚起し、高い職業意識を育成する上で、在学中に将来のキャリアに関連した就業経験を行うインターンシップの促進が重要である。しかしながら、企業やN P Oにおけるインターンシップの受け入れについての体制が十分ではないという指摘もある。したがって、今後、大学等は、インターンシップについて、実践と理論の学習を結びつけて質を高めることを検討するとともに、企業やN P Oなどの地域社会の関係者との連携を更に強化していくことが必要である。
- ・ 職業能力の向上につながる学習を支援するためには、大学等が都道府県、市町村、社会教育施設等の連携（ネットワーク、コンソーシアム（共同事業体））を強化することが必要である。
- ・ 働き盛りの世代の社会人等の職業能力の向上を図るために、ITを活用した遠隔教育を充実することも必要である。

## ③ 専門学校・高等専修学校等

- ・ 文部科学省の「専修学校社会人キャリアアップ教育推進事業」等の委託事業により、社会人等を対象としたキャリアアップのためのモデル・プログラムの開発・導入が行われている。専門学校、高等専修学校、専修学校一般課程、各種学校（以下「専門学校・高等専修学校等」という。）においては、このようなモデル事業の成果を活用して、社会人等に対する職業能力の開発機関として取組を一層推進していくことが望まれる。
- ・ 専門学校・高等専修学校等では、情報処理、建築、自動車整備などの分野について多くの講座が「教育訓練給付制度」に指定されている。また、離職者等に対する「委託 訓練」が行われるなど、職業能力向上のために大きな役割を果たしており、今後、この面で一層重要な役割を担っていくことが期待される。
- ・ 専門学校・高等専修学校等の多くは、社会人等を対象として、パソコン、語学、ファッション、手芸等多様な公開講座を開催するなど、社会人等に対する能力開発の場としての役割を担っており、今後、これらの取組を一層進めることが必要である。
- ・ 専門学校・高等専修学校等が、実践的で専門的な技術・技能の教育機会を提

供する中核的な職業教育機関であることを明確に位置づけることが必要である。また、ITや福祉等の短期教育プログラムや実務・教育連結型人材育成システム（日本版デュアルシステム）の開発・導入により、フリーター等の再教育や社会人の能力開発など、社会の要請に一層こたえることが必要である。さらに、公開講座等を通して地域の人々の生涯教育の場としての役割を一層果たしていくことが重要である。このほか、専門学校の出前講座や土日解放講座など、子どもたちの職業意識や勤労観の育成のための学習機械の提供に積極的に貢献していくことも重要である。

## 関係機関・団体等の活動の活性化の方策に関する意見

### 学校

- 「学社連携・融合」が強調されて久しいが、公民館、図書館、博物館、青少年教育施設等の社会教育施設や、児童館などの地域の施設・人材等との連携が十分とは言えないのではないかと考えられる。特に、学校教育関係者の理解が不足しているのではないかと考えられるため、これらの機関との連携を促進し、学校教育関係者の理解を深めていくことが必要である。

### (大学等)

- 高等教育機関については、欧米と比べて、社会人の受け入れが少なく、社会人が履修しにくいのではないかと考えられる。

- 高等教育在学者に占める成人学生（25歳以上）の割合  
米…39%（2000年）、英…47.1%（2001年）、独…53.1%（2000年）
- 日本の大学院における社会人の割合…15.3%（平成15年（2003年））
- 日本の大学学部における入学者に占める高校卒業後4年以上経過した学生の割合…1.1%（平成15年（2003年））

- 公開講座等は増加しているが、内容が学習者のニーズに必ずしも合っていないなど、PRが不足しているのではないかと考えられる。
- 社会人の受入れなどの生涯学習機能をより一層果たすことが必要である。このため、社会の要請にこたえたカリキュラム編成や実践的能力を持つ教員を広く社会から受け入れるなど生涯学習のニーズに対応した効果的な教育を達成することが重要である。

## 参考事例

### ① 【学習成果の評価・活用に関する取組】

平成7年に開館した佐賀県立生涯学習センター・女性センター（アバンセ）（佐賀県佐賀市）では、生涯学習の成果をゲスト講師やボランティアなどとして社会に還元していく手立てを提案したハンドブック（「学習成果の活用を求めて」）を作成している。ハンドブックには、有効な人材バンクのつくり方、学習プログラムの企画の方法のほか、ゲストティーチャーへの謝金や、ボランティア活動の保険についてのQ&Aも入っている。また、アバンセでは、県民カレッジの高単位取得者等を対象に、講師や指導者としてのスキルアップを図るための「マイスター講座」を実施している。

### ② 【生涯大学システムにおける生涯学習パスポート】

東広島市では、平成15年度から、16機関・団体からなる「東広島市生涯大学システム運営協議会」（以下、運営協議会）の参加による「東広島市生涯大学システム」を運営している。運営協議会等が開催する講座等の受講者には、受講した記録を「生涯学習パスポート」に記入の上、単位として認定しており、単位が目標に達した人には運営協議会から奨励のために表彰状を発行している。本パスポートは、「学びの記録」以外にも「自分史」（過？からの学習歴や地域活動・ボランティア活動など）も記載できるファイルとなっている。一般用（発行料500円）と児童・生徒用を作成しており、児童・生徒用パスポート「5日制ノート」は、市内の全小中学生に無料で配布している。

### ③ 【ギャップイヤー】

イギリスでは、習慣として、大学入試資格を得た18～25歳までの若者に、入学を1年遅らせて社会的な見聞を広めるための猶予期間が与えられている。

ギャップイヤーを利用する若者の多くは、高校が終了する6月から大学が始まる翌年の10月までの16か月間のうち、はじめの5か月間はアルバイトで資金をつくり、次の5か月間でボランティア活動を行い、残りの6か月間を世界旅行をしたり会社で職業体験をしたりするなどの期間に充てている。

ギャップイヤーを取得した若者は、大学を中退する割合が3～4%と少なく（平均は20%）、ギャップイヤーの利用は、大学での専攻についての目的が明確になる等の効果があるとされている。企業においても、ギャップイヤーによって様々な社会体験を経た若者を評価している。

## 【2】大学における生涯学習指導者養成カリキュラムに関する研究 ——市町村が求める卒業者像を中心として

### ●研究員

清水英男（人文学部児童学科）

市瀬陽子（人文学部音楽文化学科）

### 1. 研究の目的・方法

#### （1）研究の目的

昨今の我が国は、生涯学習という観点に立って、家庭教育と学校教育と社会教育など、すべての教育・学習の領域にわたる改革が行われている。そして、現在、生涯学習による“まち”づくりという、住民が主体者となり、学習で得た成果を活用し、行政と協働した総合的な地域社会づくりへと進展しつつある。例えば、生涯学習にかかわる教育・学習産業やNPOなどのグループサークルをはじめ、小・中・高・大学や公民館・図書館・博物館などの生涯学習機関・施設と一体となって、各種事業の連携や融合をすすめることなどである。

つまり、我が国は、学歴偏重社会から脱却し、生涯学習社会の構築を目指しているのである。その生涯学習社会は、「人々が、生涯のいつでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価されるような社会」（生涯学習審議会答申「今後の社会の動向に対応した生涯学習の振興方策について」1992年）といえよう。

そのため、国や地方公共団体は、生涯学習の振興を総合行政として取り組んでいる。また、教育・学習産業やNPOなど民間団体も、住民の学習機会の提供事業など生涯学習にかかわる活動を展開している。そこで、大学では、これら住民の生涯にわたる学習活動を支援する資質・能力を身につけた卒業生（学生）、いわゆる“生涯学習の指導者”（以下「指導者」という。）の養成が、緊要な課題となっている。

すでに、大学では、生涯学習の指導者養成の重要性を認識し、生涯学習・社会教育にかかわる行政職員や企業等の専門職を目指す学生を対象とした学部や学科、コースなど（以下「生涯学習指導者コース」という。）を設置しているところもある。そして、関係法令<sup>1)</sup>に基づき、社会教育主事の任用資格をはじめ、博物館の学芸員、図書館司書などの資格を有する指導者の養成に努めてきた。また、これらの資格取得に関するカリキュラムは、時代の変化に対応して改善されている。例えば、中央教育審議会等諮問機関の答申<sup>2)</sup>などの提言に基づき、関係法法令が改正され、習得すべき科目や単位などが定められる。大学は、これらのことと踏まえて生涯学習指導者コースのカリキュラムを再編成しているのである。

本研究は、今日のような生涯学習社会の急激な進展に主体的に対応できる指導者を大学で養成するための具体的な方策を明らかにすることを主な目的としている。例えば、生涯学習に関する行政や教育・学習産業などの求める指導者像を明らかにし、学

生の資質・能力や興味・関心等を視野に入れた標準的なカリキュラムの編成や教科書づくりなどである。

また、これらの調査・研究を進める過程で、生涯学習指導者を養成する大学の研究者や行政職員等を対象とし、カリキュラム編成や教科書づくりをはじめ、新たな資格づくりなどに関する調査研究を深める全国レベルの組織を立ち上げることも目的としている。

## (2) 研究の方法

研究方法は、具体的な研究の目的を達成できるよう、先行研究や文献による調査に加えて、実証的な研究方法を多用することとした。例えば、対象者に対するアンケート調査や既存資料の活用、現地調査や聞き取り調査などの統計的方法や事例的方法を重視するということである。

## 2. 市町村が求める大学の生涯学習指導者養成に関する調査研究

### (1) 調査研究の目的

平成15年度の前期は、本研究の全体構想（5カ年計画）の策定と研究組織の基礎づくりを行った。また、平成15年度の後期と平成16年度の前期にかけて、地方公共団体が指導者（大学の生涯学習指導者コースの卒業生）に期待している資質や能力、資格と採用の可能性を把握し、もって指導者養成の標準的カリキュラムの開発と教科書づくりの基礎資料とするすることを目的とした。

### (2) 調査研究の方法

聖徳大学学術フロンティア推進事業の第4部門と第5部門は、平成15年に地方公共団体を対象とした「生涯学習システムと指導者に関する調査」を実施した。第5部門は、これらの調査の中で「市町村における大学の生涯学習指導者養成に関する需要について」というアンケート調査（以下「本調査」という。）を実施した。

この本調査は、地方公共団体が指導者である卒業生（学生）に期待している資質・能力や資格と採用の可能性を把握することを目的とした。

研究方法は、これらの調査結果の分析を中心とし、平成13年4月に国立教育政策研究所社会教育実践研究センターが発行した「社会教育主事の教育的実践力に関する調査研究報告書<sup>3)</sup>」（「社会教育主事調査」という。）など既存の統計資料を活用し、研究の目的の実現に努めた。

### 3. 地方公共団体が生涯学習指導者コースの卒業者（学生）に期待している資質・能力と採用の可能性に関する調査

#### （1）本調査の実施概要

##### ① 本調査の内容

- ア. 地方公共団体が生涯学習指導者コースの卒業生（学生）に期待している資質・能力や資格について
- イ. 生涯学習指導者コースの卒業生を職員として採用する可能性について

##### ② 調査方法 アンケート調査票による郵送法

##### ③ 調査期間 2003年9月21日～2003年11月30日

##### ④ 調査対象 293市町村

- ア. 全国生涯学習市町村協議会加盟240市町村（悉皆）
- イ. 全国生涯学習まちづくり協会加盟53市町村（①を除き悉皆）

##### ⑤ 回収の結果 有効回収数（率）162（55.5%）

#### （2）調査結果の概要

##### ① 卒業までに学生が取得することを期待されている資格

市町村が生涯学習指導者コースの学生が卒業までに取得を期待している資格については、表2-1のとおりであった。

第1位から第3位までが「社会教育主事の任用資格」（77.8%）、「まちづくりボランティアに関する資格」（67.90%）、「レクリエーション・インストラクター」（42.40%）の順となった。また、第4位が「学芸員」（32.10%）、第5位は「司書」（28.40%）であった。つまり、生涯学習・社会教育に関する行政職員としての実務を遂行するために必要な幅広い資格取得が上位を占めているのである。

期待している取得資格	回答数(%)
社会教育主事任用資格	126 (77.78)
司書	46 (28.40)
学芸員	52 (32.10)
レクリエーション・インストラクター	69 (42.60)
余暇生活相談員	35 (21.60)
キャンプインストラクター	25 (15.43)
教育カウンセラー	45 (27.78)
英会話等に関する資格	14 (8.64)
情報処理に関する資格	34 (21.00)
まちづくりボランティアに関する資格	110 (67.90)
社会調査の技術者の資格	18 (11.11)
その他(教員免許、コーディネーター等)	3 (1.85)

表2-1 取得が期待されている資格

## ② 学生に求められている 資質や能力

市町村が学生に身につけることを期待している資質・能力は表の2-2のとおりであった。

第1位は、「学級・講座イベントなどの企画・運営・評価」(79.01%)であった。また第2位から第3位は、「生涯学習の理論」(62.96%)と「社会教育の理論」(46.30%)の順であった。

さらに、第4位は、「人間関係の向上」(42.59%)であり、第5位は「常識・マナー」(39.51%)であった。そして、第6位は「行政に対する理解」(37.04%)となっている。

身につけてもらいたい資質・能力	回答数(%)
学級・講座・イベント等の企画・運営・評価	128 (79.01)
生涯学習の理論	102 (62.96)
社会教育の理論	75 (46.30)
人間関係の向上	69 (42.59)
青少年等の対象者の理解	59 (36.42)
学校教育の理論	41 (25.31)
体育・スポーツの理論	28 (17.28)
指導技術	59 (30.25)
常識・マナー	64 (39.51)
行政に対する理解	60 (37.04)
その他(社会心理学、経営感覚、社会性等)	5 ( 3.09)

表2-2 身につけてもらいたい資質・能力

## (3) 生涯学習指導者コース卒業生の採用

### ① 本調査結果の概要

本調査の時点で62の市町村が、2004年度に指導者（卒業予定の学生を含む。）を新規採用したい（「できればしたい」を含む。）と考えていた。

これは、回答された162市町村の38.27%にあたる。

一方、5割弱（77）の市町が、「なんともいえない」と回答している。

学生の新規採用の可能性	回答数(%)
採用したい	16 ( 9.87)
できれば採用したい	46 (28.40)
なんともいえない	77 (47.53)
採用しない	0 ( 0)
その他 (人事部門でない、合併を控えている等)	7 ( 4.32)

表3-1 新規採用の可能性

### ② 電話による聞き取り調査の概要

卒業生の採用について、「なんともいえない」という理由を明らかにするため、該当する23（30%）市町村をランダムに選び、電話による聞き取り調査<sup>4)</sup>を行った。なお、以下の（ ）内の数値は、市町村（回答者）数である。

その調査結果は、「人事部門でないからわからない」（7）、「財政減で職員費を抑制しているから」（12）、「合併を控えているので職員定数がはっきりしない」（4）という回答であった。これらの理由は、選択肢「その他」での記述された理由〔「人事部門ではないからわからない（3）」、「合併するのでわからない（1）」、「個人的には採用したくても財政難（2）」、「専門職として採用すべき（1）」〕とほぼ同じであった。

つまり、現時点での新規採用は、総合行政として取り組む生涯学習社会づくりなどの必要性だけでなく、市町村の財政難などからスタートした“平成の大合併”といわれている市町村合併に影響を受けているといえよう。

## 4. 大学における生涯学習指導者養成カリキュラム編成に関する提言

(1) 大学は、学生が生涯学習と社会教育に携わる行政職員としての基本的な知識・技術を身につけられる資格を取得できるような配慮が必要である。

本調査で市町村が期待している指導者に求めている資格は、第1位から第3位までが「社会教育主事の任用資格」(77.8%)、「まちづくりボランティアに関する資格」(67.90%)、「レクリエーション・インストラクター(42.40%)」の順となった。また、第4位が「学芸員」(32.10%)、第5位は「司書」(28.40%)であった。

また、平成13年に現職の3,908名の社会教育主事を対象とした社会教育主事調査では、社会教育主任用資格以外で有していた資格は、「教育職員免許」(62.2%)が第一位であり、次にレクリエーション・コーディネーターなど「公益法人の認定資格」(10.6%)、「学芸員」(4.9%)、「司書」(3.0%)、余暇生活相談員などの「その他の民間団体等認定資格」(2.9%)の順であった。また、「資格は有していない」が26.7%であった<sup>5)</sup>。

これらのことから、大学は、生涯学習と社会教育に携わる行政職員としての仕事に役立つ資格等を学生が選択し取得できるような配慮が必要である。特に、これらの資格取得に関する科目や実習などをカリキュラム上に位置づけることが必要といえる。また、学生に「教職員免許」や「まちづくりボランティアに関する資格」など、生涯学習行政職員として必要な資格を取得する意義を周知させることが肝要といえよう。

(2) 大学は、学生に対して、生涯学習と社会教育についての実証的な知識・技術と、好ましい社会性や人間関係を体得させることが必要である。

本調査で市町村が指導者に求めている資質・能力の第1位が「学級・講座の企画運営」(79.01%) あった。また、第2位から第3位は、「生涯学習の理論」(62.96%)と「社会教育の理論」(46.30%)の順であった。さらに、第4位は、「人間関係の向上」(42.59%) であり、第5位は「常識・マナー」(39.51%) であった。

一方、社会教育主事調査では、現職の社会教育主事が職務を遂行する上で必要と考えている主な能力（資質）（3つ以内の複数回答）として、以下のことが示されている。

その第一位は「学習課題の把握と企画立案能力」(63.1%)、第2位が「コミュニケーション能力」(54.4%)、第3位は「幅広い視野と探究心」(48.7%) であった。第4位が「調整者としての能力」(41.0%) であり、第5位は「各分野の指導に必要な知識や技術」(31.3%) であった<sup>6)</sup>。さらに、現在学習したい内容（3つ以内の複数回答）としては、第一位が「学習プログラムの立案」と「様々な学習手法」(40.2%) であった。また、第3位が「生涯学習計画・社会教育計画」(35.9%)、第4位は「情報機器の活用」(32.9%)、第5位が「学習相談・情報提供」(22.6%) であり、「生涯学習の理論」(8.0%) は11位であった<sup>7)</sup>。

これらのことから、大学における指導者養成のカリキュラムには、生涯学習・社会教育に関する計画・運営・評価など、より実務的な資質能力が体得できる科目の設定が求められているといえる。また、コミュニケーション能力などの人間関係に関する

科目や幅広い視野と探究心が身につく科目が受講できるようなカリキュラムの編成に留意することが必要といえよう。

- (3) 大学は、地方公共団体に対して、社会貢献活動をとおして、生涯学習指導者コースの設置目的などの理解を深める方策を構築するとともに、養成した指導者の採用の促進に努めることが必要である。

本調査から、約4割弱の市町村は、生涯学習・社会教育に関する資格や専門的な資質・能力をもった学生を採用したいと考えていることが理解できた。また、「なんともいえない」との回答した市町村の中の23市町村に対して行った電話による聞き取り調査によると、これら資格や資質・能力をもった学生の採用を全面的に否定するではなく、「採用したいが、採用を抑える要因が強いから」という回答が多く、むしろ「採用に関する条件が整えば採用したい」と推測できるのである。

しかし、今回の電話による聞き取り調査や地方公共団体の職員との日常的会話の中から推測すると、地方公共団体の人事担当者などは、大学における生涯学習の指導者養成の現状認識が必ずしも充分ではないことがうかがえる。

一方、大学の社会貢献活動の充実が喫緊の課題となっている。ここでいう生涯学習・社会教育にかかる社会貢献活動は、従来から取り組まれている。例えば、公開講座や講師派遣、生涯学習による“まち”づくりなどの学社融事業や図書館等の施設開放、社会人入学や聴講制度などである。

そこで、大学は、生涯学習・社会教育に関する社会貢献活動を盛んにするとともに、これらの活動を進める中で、生涯学習指導者コースや卒業生（学生）が身につけている専門的な資質・能力についての理解の深化をはかり、生涯学習・社会教育の専門職を採用する必要性の周知に務めることが肝要といえる。また、在学生が、生涯学習・社会教育の機関や施設で実習できる科目（生涯学習・社会教育施設実習等）やインターンシップとして派遣できるシステムの設置をはじめ、ボランティアとしての活動を奨励することも極めて意義のあることといえよう。

## 5. 今後の課題

本調査の対象は、生涯学習・社会教育に関心の高い、しかも、生涯学習推進計画に基づき実践活動が充実している市町村ばかりであった。したがって、この調査から全国の市町村の生涯学習指導者コースに対する期待や需要を一般化して推測することには、無理があるといえよう。しかし、生涯学習・社会教育の振興に関心の高い市町村のニーズが把握できたのである。つまり、生涯学習・社会教育の先導的な取り組みを開拓している市町村の生涯学習指導者コースの卒業生（学生）に期待する資格や資質・能力をはじめ、新規採用の可能性が理解できたのである。

今後、この調査を契機として、多くの大学と市町村が連携・融合しながら実証的な調査研究ができるシステムを構築し実践することが課題といえる。そして、在学生が市町村の行政職員としての基礎的・基本的な資質や能力を効果的に身につけることができるカリキュラムの編成など教育・学習システム全般の改善・充実に結びつくような研究を深めたい。

最後に、本調査にご協力いただいた市町村の方々をはじめ、調査票の集計に尽力された聖徳大学学術フロンティア推進事業研究協力員の皆様に、心から感謝の意を表する次第である。

- 1) 社会教育法（第9条の4第3号、社会教育主事講習規定第11条）、図書館法（第5条の2、同施行規則第1条）、博物館法（第5条の1、同施行規則第1条）
- 2) 生涯学習審議会社会教育分科審議会報告「社会教育主事、学芸員及び司書の養成、研修等の改善方策について」（平成8年4月24日、資料3参照）
- 3) 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター発行「社会教育主事の教育的実践力に関する調査研究」〔平成14年3月、伊藤俊夫調査研究委員長、回収数3,908（名）、但し、3,908名の回答者の44%は、発令される前の勤務先が学校（教員）であった。〕
- 4) 「大学の生涯学習指導者採用に関する聞き取り調査方法の概要」（参考資料2参照）
- 5) 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター発行「社会教育主事の教育的実践力に関する調査研究」 p11、p33
- 6) 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター発行「社会教育主事の教育的実践力に関する調査研究」 p21、p43  
国立教育政策研究所社会教育実践研究センター発行「社会教育主事の教育的実践力に関する調査研究」 p22、p43

## 資料1

### 「大学の生涯学習指導者養成に関する需要調査票」(抜粋)

質問1 大学等で生涯学習・社会教育にかかる行政職員をめざす学科やコースなど（以下「生涯学習指導者コース」という。）を設置しています。この生涯学習指導者コースの学生に修得させると効果的な資格はどのようなもののがよいと思いますか。該当する項目すべてに○をつけてください。

- |              |                     |       |
|--------------|---------------------|-------|
| ア 社会教育主任用資格  | イ 司書                | ウ 学芸員 |
| エ 幼稚園教員免許状   | オ 小学校・中学校等の教員免許状    |       |
| カ 社会福祉主任用資格  | キ レクリエーション・インストラクター |       |
| ク 余暇生活相談員    | ケ キャンプインストラクター      |       |
| ク 教育カウンセラー   | ケ 英会話等に関する資格        |       |
| コ 情報処理に関する資格 |                     |       |
| サ その他（ ）     |                     |       |

質問2 生涯学習指導者コースの学生に身につけてもらいたい資質や能力は、どのようなものですか。該当する項目すべてに○をつけてください。

- |                        |                |
|------------------------|----------------|
| ア 学級・講座・イベント等の企画・運営・評価 |                |
| イ 人間関係の向上              | ウ 青少年など対象者への理解 |
| エ 国際理解など学習内容の理解        | オ 生涯学習の理論      |
| カ 社会教育の理論              | キ 学校教育の理論      |
| ケ 指導技術                 | ク 体育・スポーツの理論   |
| コ 常識・マナー               | サ 行政に関する理解     |
| シ その他（ ）               |                |

質問3 質問2の資質を身につけた生涯学習指導者コースを卒業した学生を、貴地方公共団体では採用したいと思いますか。あなた自身の考え方結構です。

- |         |             |            |
|---------|-------------|------------|
| ア 採用したい | イ できれば採用したい | ウ なんともいえない |
| エ 採用しない | オ その他（ ）    |            |

## 資料2

### 「大学の生涯学習指導者採用に関する聞き取り調査方法の概要」

1 調査期間 平成16年4月15日から4月30日

2 調査対象 「大学の生涯学習指導者養成に関する需要調査」の質問3「質問2の資質を身につけた生涯学習指導者コースを卒業した学生を、貴地方公共団体では採用したいと思いますか。あなた自身の考え方で結構です。」のウ「なんともいえない」と回答した77の市町村の中から、乱数表でランダムに選んだ生涯学習課や社会教育課などの回答者

#### 3 質問内容

質問1 生涯学習指導者養成コースの卒業予定の学生への新規採用について、「なんともいえない」と答えた理由を、お聞かせください。

[ ]

質問2 もし財政事情や市町村合併が終了したら、新規採用をしたいと思いますか。  
[ ]

質問3 その他指導者養成や新規採用について、要望等があればお聞かせください。

ご協力有難うございました。

資料 3

社会教育主事、学芸員及び司書の養成、  
研修等の改善方策について（報告）

平成 8 年 4 月 24 日

生涯学習審議会社会教育分科審議会

～ 目 次 ～

I	審議経過	61
II	改善の必要性	61
III	改善の基本的方向	62
1	養成内容の改善・充実と資格取得方法の弾力化	
2	研修内容の充実と研修体制の整備	
3	高度な専門性の評価	
4	幅広い人事交流等の配慮と有資格者の積極的活用	
IV	社会教育主事	64
1	改善の必要性	
2	改善方策	
V	学芸員	70
1	改善の必要性	
2	改善方策	
VI	司書	76
1	改善の必要性	
2	改善方策	
VII	おわりに	81

社会教育主事、学芸員及び司書の養成、  
研修等の改善方策について（報告）

## I 審議経過

生涯学習審議会社会教育分科審議会では、計画部会を中心に、平成5年3月から「社会教育主事、学芸員及び司書の養成、研修等の改善方策について」調査審議を行ってきた。

検討に当たっては、地域における生涯学習の一層の推進と社会の様々な変化への対応という視点から、平成4年7月の生涯学習審議会答申「今後の社会の動向に対応した生涯学習の振興方策について」で提示された、リカレント教育の推進、ボランティア活動の支援・推進、青少年の学校外活動の充実、現代的課題に関する学習機会の充実という4つの当面の課題も踏まえ、生涯学習社会における社会教育を推進する上で重要な役割を担う社会教育主事、学芸員及び司書の一層の資質の向上と専門性の養成を図るという基本的考え方のもとに審議を進めた。

計画部会での審議とともに、平成5年12月からは、部会の下に、社会教育主事、学芸員及び司書の3つの専門委員会を設置し、専門的な調査審議を行った。この間、審議の参考とするため、大学団体及び関係団体への意見照会も行った。

本分科審議会は、こうした審議を経て、社会教育主事、学芸員及び司書の養成、研修等の改善方策をとりまとめた。なお、国庫補助を受ける場合の公立図書館の館長の司書資格及び司書の配置基準等については、引き続き計画部会において検討する。

## II 改善の必要性

所得水準の向上や自由時間の増大など社会の成熟化に伴う学習ニーズの増大や、情報化、国際化、高齢化等の社会の急激な変化に伴う生涯を通じた学習の必要性の高まりを背景に、「人々が、生涯のいつでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価されるような生涯学習社会」（平成4年7月生涯学習審議会答申より）を構築することが、重要な課題となっている。

このような生涯学習社会の構築のために、人々の学習活動を援助する社会教育主事、学芸員、司書等の社会教育指導者の果たす役割は極めて重要である。

社会教育主事は、社会教育法に基づき都道府県・市町村教育委員会事務局に置かれる社会教育に関する専門的職員である。これからの中の社会教育主事は、地域における人々の自由で自主的な学習活動を側面から援助する行政サービスの提供者としての役割に加え、社会教育事業と他分野の関連事業等との適切な連携協力を図り、地域の生涯学習を推進するコーディネーターとしての役割を担うことが一層期待されており、その養成及び研修の改善・充実を図る必要がある。

学芸員は、博物館法に基づき博物館に置かれる専門的職員である。これからの中の学芸員は、地域における生涯学習推進の中核的な拠点としての機能の充実や、地域文化の創造・継承・発展を促進する機能や様々な情報を発信する機能の向上等により、社会の進展に的確に対応し、人々の知的関心にこたえる施設として一層発展することが期待されている。学芸員は、多様な博物館活動の推進のために重要な役割を担うものであり、その養成及び研修の改善・充実を図る必要がある。

司書は、図書館法に基づき図書館に置かれる専門的職員である。これからの中の司書は、地域における生涯学習推進の中核的な拠点として、現代的課題に関する学習の重要性や

住民の学習ニーズの高まりにこたえて、広範な情報を提供し、自主的な学習を支援する開かれた施設として一層発展することが期待されている。司書は、幅広い図書館活動の推進のために重要な役割を担うものであり、その養成及び研修の改善・充実を図る必要がある。

また、生涯学習社会にふさわしい開かれた資格とする観点から、幅広い分野から多様な能力、経験を有する人材が得られるように、専門的資質の確保に留意しつつ、資格取得の途を弾力化する必要がある。

社会教育主事、学芸員及び司書の養成、研修の改善・充実を図る一方で、教育委員会事務局及び博物館、図書館における組織や運営体制を充実していくことが必要であり、教育委員会等の積極的な努力が期待される。併せて、これらの専門的職員の資質向上に対応する任用や処遇の改善等について、関係者の配慮が望まれる。

なお、博物館・図書館以外の社会教育施設やその他の生涯学習関連施設においても、その事業や施設運営の充実のため、社会教育主事、学芸員、司書のような社会教育についての専門的知識経験を有する職員が置かれることが望ましい。特に、公民館は、地域における最も身近な社会教育施設であり、生涯学習推進のための地域の拠点として他の生涯学習関連施設等との連携の中心的な役割を担うことが期待されており、社会教育主事の資格を有する職員の配置など、専門的知識・技術を有する職員体制の整備が進むことが望まれる。

### III 改善の基本的方向

#### 1 養成内容の改善・充実と資格取得方法の弾力化

大学（短期大学を含む。以下、同じ。）及び資格取得講習における養成内容については、それぞれの業務を的確に遂行し得る基礎的な資質を養成する観点から、見直しを行う必要がある。特に、生涯学習及び社会教育の本質についての理解は、生涯学習時代における社会教育指導者に求められる基本的な内容であり、社会教育主事、学芸員及び司書の3資格に共通的な科目として、「生涯学習概論」を新たに設ける。学芸員及び司書については、情報化等の社会の変化や学習ニーズの多様化、博物館・図書館の機能の高度化に対応する観点から、科目構成を見直し、必要な修得単位数を増やす。

大学における社会教育主事の修得単位数は現行通り24単位以上、学芸員の修得単位数については現行の10単位以上から2単位増やし12単位以上とし、司書講習における修得単位数は現行の19単位以上から1単位増やし20単位以上とする。

社会教育主事及び学芸員については、社会教育主事講習及び学芸員試験認定の科目代替の対象となる学習成果の認定範囲並びに資格取得及び講習受講等の要件としての実務経験の対象範囲を拡大する。司書については新たに、司書講習において実務経験等による科目代替措置を設ける。

#### 2 研修内容の充実と研修体制の整備

多様化、高度化する人々の学習ニーズ、社会の変化や新たな課題等に的確に対応していくためには、現職研修の内容を充実し、専門的な知識・技術等の一層の向上を図る必要がある。また、情報の活用や高齢化社会の進展などの現代的課題や、ボランテ

ィア活動との連携などの新たな課題への対応などを含め、常に研修内容の見直しを図りながら、効果的な研修の実施に努めることが必要である。

研修方法については、従来からの講義や実習・演習形式の研修に加え、国内外の大学、社会教育施設等への研修・研究派遣、大学院レベルのリカレント教育など、高度で実践的な研修機会を充実する必要がある。

現職研修の抜本的な充実のためには、国、都道府県、市町村、関係機関・団体等が相互の連携と役割分担の下に、研修体制の整備を進め、体系的・計画的な研修機会を提供していく必要がある。

教育委員会等においては、研修体制の整備に積極的に取り組むとともに、研修への参加の奨励・支援に努めることが望まれる。

### 3 高度な専門性の評価

今後、社会教育主事、学芸員、司書等の社会教育指導者は、高度な専門的職業人として一層の資質向上を図ることが期待される。特に、学芸員及び司書については、社会教育施設の専門的職員としての資質・能力をより一層高めていくために、その業績・経験等が適切に評価され、それが任用や待遇の面にも反映されるシステムを作っていくことが重要である。このため、養成内容の充実や研修体制の体系的整備を図る中で、高度で実践的な能力を有する学芸員及び司書に対し、その専門性を評価する名称を付与する制度を設けることが有意義と考えられる。

このような制度は、学芸員・司書の資格制度のみならず博物館・図書館制度全体の在り方とも関連するものであり、その具体化のために、国をはじめ関係機関や関係団体等が連携しながら研究を進めていくことを期待したい。

また、社会教育主事についても、今後、職務内容の高度化等に伴い、その専門性の評価の在り方が課題となっていくことが考えられる。

### 4 幅広い人事交流等の配慮と有資格者の積極的活用

社会教育主事、学芸員、司書等の社会教育指導者の幅広い人事交流を進めることは、生涯学習の一層の推進の上で有意義である。異なる種類の施設・機関等や他部局も含めた交流により、業務運営の活性化とともに、それぞれの資格を持つ者が実務を通じて幅広い経験と視野を得ることが可能となる。さらに、今後とも、公民館等の社会教育施設やその他の生涯学習関連施設に社会教育主事等の有資格者を積極的に配置し、その専門的な知識や能力を施設運営の充実のために活用することが必要と考えられる。このような人事交流や組織運営体制の充実という課題とも関連し、社会教育主事、学芸員、司書の任用や待遇などについて、教育委員会等の積極的な配慮が望まれる。

また、大学等において資格を取得しても、実際はその職に就いていない人が相当数いる。一方、その資格取得を通して得られた知識や技術を生かして、社会教育施設等でボランティアとして活躍している人も増えつつある。こうした状況を踏まえ、社会教育主事等の有資格者のうち希望する者を登録し、その専門的知識・経験等の活用を図る「有資格者データベース（人材バンク）」制度等を設け、これら有資格者の専門的な知識・能力や幅広い経験等を、地域の生涯学習・社会教育の推進のために活用することは極めて有意義である。国と関係機関・団体等の連携・協力により、その早急な整備が期待される。

## IV 社会教育主事

### 1 改善の必要性

社会教育主事は、社会教育法に基づき都道府県及び市町村教育委員会に置かれる社会教育に関する専門的職員であり、都道府県及び市町村の社会教育行政の中核として、地域の社会教育行政の企画・実施及び専門的技術的な助言と指導に当たることを通じ、人々の自発的な学習活動を援助する重要な役割を果たしてきた。

近年、所得水準の向上や自由時間の増大など社会の成熟化に伴い、心の豊かさや生きがいなどを求めて人々の学習ニーズは増大し、かつ、多様化、高度化してきている。また、情報化、国際化、高齢化等の進展による社会の急速な変化に伴い、情報の活用、国際理解の促進、高齢化社会への対応等多くの新しい学習課題が生じている。学校週5日制の導入に伴い、青少年の学校外における多様な活動機会の充実も強く求められている。

現在、生涯学習社会の構築が、学校教育、社会教育はもとより、文化・スポーツ等の各分野にわたる共通の課題となっており、そのための基盤整備が進展しつつある。社会教育行政に関しても、従来の固有の枠組みにとどまらず、生涯学習社会における社会教育の振興という観点からの一層幅広い積極的な取組みが必要となっている。

このような状況の中で、社会教育主事は、地域における幅広い人々の自由で自主的な学習活動を側面から援助する行政サービスの提供者としての役割を果たすことが、従来に増して求められている。また、社会教育に関する専門的知識・技術を生かし、公民館等社会教育施設を中心に行われる社会教育事業と学校教育、文化、スポーツ、さらには社会福祉や労働等の様々な分野の関連事業等との適切な連携・協力を図り、地域の生涯学習を推進するコーディネーターとしての役割を担うことが一層期待されている。

このため、人々の多様な学習ニーズや新たな課題等に対応し得る社会教育主事の資質の向上に向け、社会教育主事の養成及び研修の一層の改善・充実を図る必要がある。また、生涯学習社会に対応する観点から、社会教育主事の養成制度を柔軟化し、様々な分野から多様な人材を広く求めることが必要である。

なお、社会教育主事の資格を有しながら、教育委員会事務局の社会教育主事として勤務していない人が相当いる。生涯学習推進の観点から、公民館、博物館、図書館等の地域の諸施設やその他の生涯学習関連施設における事業や地域住民の自主的な学習活動、さらには最近活発となっている民間や企業等の実施する教育関連事業・活動等のために、これらの人々の持つ社会教育に関する知識・能力を、積極的に活用することは有意義であり、そのための方策を推進していくことも重要である。

### 2 改善方策

#### 1. 養成内容の改善・充実と資格取得方法の弾力化

社会教育主事の養成については、社会の変化に対応する社会教育主事の資質の向上等

を図る観点から、昭和61年の社会教育審議会成人教育分科会報告『社会教育主事の養成について』に基づき、昭和62年に社会教育主事講習等規程の改正が行われており、大学の養成段階における基本的な科目構成及び内容についての大きな変更は要しないものと考える。

しかしながら、この間、生涯学習社会の構築が我が国の重要な課題として広く認識されるようになり、各教育委員会における生涯学習振興のための組織体制の整備と施策の積極的推進が必要となっている。このため、社会教育主事の養成内容について、幅広い生涯学習・社会教育行政を推進する専門家としての役割を一層發揮できるように見直す必要がある。

また、生涯学習時代に対応した広い視野に立った社会教育行政の展開を図るために、様々な分野から多様な知識・経験を有する人材を広く求めるにも有意義である。このため、社会教育主事講習を受講しやすくするよう実施方法を工夫するとともに、大学以外の学習成果や様々な実務経験で培われた職務遂行能力を積極的に評価することにより、社会教育主事の資格取得の途を弾力化する必要がある。

#### (1) 大学における養成内容の改善・充実

これからの中等教育主事は、生涯学習の動向と十分関連を図りながら、社会教育の推進に当たることが必要であるとともに、人々の学習ニーズを踏まえつつ学習活動を効果的に援助する能力の向上も求められている。このため、生涯学習の本質や学習情報提供及び学習相談についての理解を深めることができるように、養成内容の充実を図る必要がある。

なお、生涯学習及び社会教育の本質や学習情報提供及び学習相談についての理解は、生涯学習時代における社会教育指導者に求められる基本的内容として、社会教育主事のみならず、司書、学芸員の養成においても充実を図るべきものと考えられる。

以上から、大学における社会教育主事の養成内容を、次のように見直すことが適当である。

- ① 現行の「社会教育の基礎(社会教育概論)」(4単位)を、「生涯学習概論」(4単位)に改める。「生涯学習概論」は、従来の「社会教育の基礎(社会教育概論)」の内容を根底に置きながら、生涯学習時代における社会教育指導者養成の基本的内容として、生涯学習及び社会教育の本質について理解を深めるとともに、学習者の特性や教育相互の連携について理解を図る内容とする。
- ② 「社会教育計画」は、社会教育の計画・立案についての理論と方法の理解を図る内容から構成されているが、特に、学習支援能力の向上の観点から、学習情報提供・学習相談に係る実践的な内容の充実を図る。
- ③ 総単位数は、現行と同じく24単位以上とする。

各科目的単位数・内容等を一覧の形でまとめたのが、別紙1である。

「生涯学習概論」は、社会教育主事、学芸員及び司書の養成における共通的な基礎科目として位置づけられるが、幅広い社会教育行政推進のための中核的役割を果たす社会教育主事の性格から、社会教育主事の養成科目としては4単位とする。なお、その内容の取扱いに当たっては、「生涯学習概論」の他に、例えば、「社会教育の基礎」

のような社会教育の基礎的内容からなる科目を設定し、合計4単位以上として実施するような工夫を行うことも考えられる。

各大学においては、先の成人教育分科審議会報告の趣旨も改めて踏まえ、幅広い視野と実践的能力を備えた社会教育主事の養成のために、教育内容全体の充実に引き続き努力していくことが望まれる。

#### (2) 養成を行っている大学の連携・協力の推進

現在、社会教育主事の養成を行っている大学は130ほどあるが、今後、これらの大学の連携・協力により、社会教育主事養成に関する情報交換・交流が活発化し、養成内容の一層の充実が図られることが期待される。

#### (3) 講習における養成内容の改善・充実及び講習実施上の配慮

社会教育主事講習における養成内容についても大学における養成内容と同様の見直しを図る。

社会教育主事講習は、現在、国立教育会館社会教育研修所及び20近い国立大学が文部大臣の委嘱を受け実施しているが、実施大学によって、講習内容や方法にかなりの相違が見られるとの指摘もある。各大学においては、教育委員会の要望なども踏まえ、講習の一層効果的な実施と内容の充実に努めるとともに、特に、関係機関等の協力を得て、実践的な内容を充実することが期待される。国立教育会館社会教育研修所が、標準的な講習カリキュラム案を作成し、各大学における講習の企画や実施上の参考とすることも有意義と考えられる。

また、社会教育主事講習に参加しやすくなるように、各実施機関において、受講期間の分割、修得単位の累積による講習修了など、現行でも可能となっている運用上の工夫を行い、受講者の要望に積極的に対応することが望まれる。今後は、社会教育主事の養成者数の推移や地域的バランス等も考慮し、必要に応じて委嘱先を増やすことも考えられる。

#### (4) 講習の科目代替措置としての学習成果の認定範囲の拡大

社会教育主事の講習科目については、大学において修得した科目による代替措置が制度上認められている。しかしながら、實際には、講習実施機関においては、受講者からの科目代替希望を認めない場合がほとんどであり、この制度の趣旨が生かされていない。

生涯学習社会にふさわしい資格制度とする観点から、今後は、科目代替措置の適用対象と認められる受講者の希望に各実施機関が適切に対応する必要がある。また、専門的資質の確保に留意しつつ、大学以外における学習成果についても、社会教育主事資格取得のための専門的知識・技術の習得として評価し得るものについては、この科目代替措置を積極的に活用できるようにすることが適当である。

新たに講習科目に相当するものとして認定すべき学習成果として、次のようなものが考えられる。

ア 国立教育会館社会教育研修所や国立社会教育施設における研修のうち相当と考

### えられる学習

- イ 地方公共団体が実施する研修のうち相当と考えられる学習
  - ウ 学芸員、司書等の資格取得のための試験・講習における科目合格・履修
  - エ 専門学校での相当科目的修得
  - オ 文部大臣認定の技能審査のうち相当と考えられる学習
  - カ 文部大臣認定の社会通信教育での相当と考えられる学習
  - キ 大学公開講座での相当と考えられる学習
- なお、講習科目の代替に当たって、その学習の内容・程度等に基づいた適切な取扱いが講習実施機関により行われるよう、国において一定の基準を示す必要がある。

### (5) 資格取得及び講習受講の要件としての実務経験の対象範囲の拡大

社会教育主事の資格取得及び講習受講の要件として、一定の実務経験が必要とされる場合があるが、現在は、教育委員会等において社会教育に関する事務に従事する職員の職や学校教育法第1条に規定する学校の教員の職などに限定されている。

生涯学習時代における広い視野に立った社会教育行政の展開が求められていることに対応し、今後は、現在認められている実務経験以外にも、社会教育主事の職務遂行の上で意義があると考えられる実務経験を積極的に評価していくことが適当である。

新たに評価すべき実務経験として、次のようなものが考えられる。なお、その際必要とされる経験年数については、社会教育主事の講習科目を修得した短期大学卒業者が社会教育主事資格を取得するまでに3年以上の実務経験が必要とされていることを考慮し、原則として、3年以上とすることが適当である。

#### ① 社会教育に關係のある職

- ア 教育委員会・首長部局等における生涯学習（文化・スポーツを含む）に関する職務に従事する職
- イ 介護福祉士、社会福祉士、勤労青少年ホーム指導員、勤労者家庭支援施設指導員等の社会福祉等に関する職
- ウ 社会教育関係団体の事業の企画・実施に当たる専門的職員
- エ 学芸員、司書その他の社会教育施設職員
- オ 公民館等において事業の企画・実施を担当する非常勤職員又はボランティア
- カ 民間生涯学習関連事業所において事業の企画・実施に当たる専門的職員

#### ② 教育に関する職

- ア 学校の助手、教頭、養護助教諭
- イ 専修学校の校長及び教員

なお、上記の実務経験の評価に関しては、適切な取扱いが図られるよう、国において一定の基準を示す必要がある。

## 2. 研修内容の充実と研修体制の整備

社会教育主事が、多様化、高度化する人々の学習ニーズや社会の変化に的確に対応できるようにしていくために、現職研修を充実し、専門的な指導力や企画・調整能力などの社会教育主事として必要な資質の一層の向上を図る必要がある。

現在、国レベル（文部省及び国立教育会館社会教育研修所、国立社会教育施設）、都道府県レベル、市町村レベルにおいて、研修が行われているが、全体として見た場合、必ずしも体系的なものとはなっていない。今後は、相互の連携の下に、体系的・計画的な研修機会を提供できるよう研修体制を整備していくことが重要な課題となっている。

また、各教育委員会においては、社会教育主事の資質の向上のため、社会教育主事が積極的に各種の研修に参加できるよう、奨励・支援することが期待される。

#### (1) 研修内容及び方法

社会教育主事の研修機会として、初任者、中堅職員、管理職など経験や職階に応じた研修の充実とともに、生涯学習社会の進展、男女共同参画社会の形成、情報化、国際化、高齢化等の社会の変化に伴う新たな学習課題に対応するための課題別研修や、学習ニーズの高度化、専門化に対応するための専門別研修など、社会教育主事の職務遂行の上で有効な研修内容が提供される必要がある。

このため、国立教育会館社会教育研修所においては、標準的な研修カリキュラムや教材の開発・普及等を行うこと、また、国立教育研究所においては、生涯学習全般にわたる学習内容・方法等の研究の一環として、社会教育主事を含む社会教育関係職員等の研修に関する基礎的かつ実際的な研究を行うことを通し、研修内容の充実を支援することが期待される。国は、これらの内容等を都道府県等に示すことなどにより、研修の充実を促進していく必要がある。

研修の方法としては、従来から行われている講義や実習・演習形式の研修に加え、国立教育会館社会教育研修所、国内外の大学、社会教育施設等への研修・研究派遣など、高度で実践的な研修機会を充実していく必要がある。また、大学院等関係機関による科目等履修生制度等も活用したりカレント教育も望まれる。

#### (2) 研修体制の整備

国レベル、都道府県レベル、市町村レベルの各段階で実施されている研修の有機的連携を図り、体系的・計画的に社会教育主事の研修機会を提供していくため、それぞれの役割分担の下に、研修体制の整備を図っていく必要がある。

国レベルでは、各都道府県における管理的・指導的立場の社会教育主事を対象に、課題別・専門別研修のうち高度なものを行うとともに、都道府県、市町村あるいは社会教育施設が行う研修を支援するため、都道府県レベルの研修を担当できる指導者の育成、社会教育主事の活動に関連する情報の収集・提供、標準的な研修プログラムの開発・普及などを行う必要がある。特に、国立教育会館社会教育研修所においては、社会教育に関する専門的・技術的研修を実施する中核機関として、生涯学習推進センター等の都道府県レベルの研修実施機関とのネットワーク形成や、地方公共団体における研修内容のデータベース化を進めるなど、そのナショナルセンター機能を一層強化することが望まれる。また、国立オリンピック記念青少年総合センターや国立婦人教育会館等の国立社会教育施設において、対象別の専門的な研修を行うことも有意義である。

都道府県においては、各都道府県内の初任・中堅の社会教育主事を対象に、課題別

・専門別研修のうち基礎的なもの、地域の課題に関する研修、経験年数別の実務研修等を行うとともに、市町村あるいは社会教育施設が行う研修を支援するため、市町村レベルの研修を担当できる指導者の育成、関連する情報の収集・提供を行う必要がある。

また、市町村においては、各市町村内の初任・中堅の社会教育主事を対象に、経験年数に応じた実務研修を行う必要がある。複数の市町村が、都道府県の支援を受けて協力して研修を実施することも考えられる。

各地方公共団体において、社会教育主事の研修への参加を促進するとともに、社会教育主事の研修歴や専門的能力を適切に評価し、その待遇等について配慮することが望まれる。

社会教育主事の研修体系についての考え方を整理したものが、別紙7である。

なお、研修のうち適当なものについては、社会教育主事、学芸員及び司書の共通の研修機会とすることにより、相互の理解や交流等を深めることも有意義である。また、公民館の主事や青少年教育施設の専門的職員など研修機会の得にくい社会教育関係職員の資質の向上のために、これらの研修を活用することも望まれる。

### 3. 幅広い人事交流等の配慮と有資格者の積極的活用

生涯学習の一層の推進を図るために、社会教育主事は、従来の社会教育行政の枠を越えた地域の生涯学習の企画・実施や調整にも積極的な役割を果たしていくことが期待されている。教育委員会事務局と社会教育施設や学校、首長部局等との間の幅広い人事交流を進めることにより、実務を通じて従来以上に幅広い視野を実務を通じて広げるという効果ももたらされる。公民館の主事等の社会教育施設の職員や教育委員会以外の生涯学習関連部局の職員についても、施設の運営の充実を図る観点から、社会教育主事の資格を有する者を積極的に任用し、その専門的な指導力や企画・調整能力などの活用を図ることが望まれる。

また、大学等において社会教育主事となる資格を取得してもその職には就いていない人が地域には相当いる。生涯学習を推進する観点から、社会教育主事の有資格者の持つ社会教育に関する知識・能力や経験等が、地域の生涯学習・社会教育の活動の充実のために幅広く生かされることは極めて有意義である。

このため、社会教育主事有資格者のうち希望者を、都道府県等の生涯学習推進センターや国立教育会館社会教育研修所に登録し、公民館その他の社会教育施設における活動の指導者や住民の自主的な活動の助言者などとして活用を図る「社会教育主事有資格者データベース(人材バンク)」制度等を創設することが考えられる。その際、都道府県・市町村等における情報収集・提供体制の整備とともに、教育委員会と首長部局との円滑な連携が図られることが重要である。こうした制度は、民間の教育事業や企業等の学習関連部門において必要とする専門的な人材の確保・供給といった面からも、今後必要性が増大することが考えられる。国と関係機関、地方公共団体等の連携・協力により、その早急な整備が進められることを期待する。

## V 学芸員

### 1 改善の必要性

博物館は、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料の収集、保管、調査研究、展示、教育普及活動等を通して、社会に対し様々な学習サービスを提供するとともに、我が国の教育、学術及び文化の発展に大きく寄与してきた。

近年、所得水準の向上や自由時間の増大などの社会の成熟化に伴い、心の豊かさや生きがいなどを求めて人々の学習ニーズは増大し、かつ、多様化、高度化してきている。また、一方で、科学技術の高度化、情報・通信技術の進展や、教育、学術、文化などの各分野にわたる広域的・国際的な交流の活発化、さらには地域文化への関心の高まりなど、博物館を取り巻く状況には様々な変化が生じている。こうした中で、博物館は、社会の進展に的確に対応し、人々の知的関心にこたえる施設として一層発展することが期待されている。また、情報化の進展の中で、実物資料に身近に触れることができる博物館の意義が改めて認識されている。

特に、今後は、地域における生涯学習推進のための中核的な拠点としての機能を充実するとともに、地域文化の創造・継承・発展を促進する機能や、様々な情報を発信する機能を高めていく必要がある。また、博物館は、青少年にとって実物資料等による魅力ある体験学習ができる場であり、学校教育以外の活動あるいは学校教育と連携した学習のために、一層重要な役割を發揮することが期待されている。

学芸員は、博物館法に基づき博物館に置かれる専門的職員であり、資料の収集、保管、調査研究、展示、教育普及活動などの多様な博物館活動の推進のために、重要な役割を担っている。また、国際博物館会議（イコム）の職業倫理規定にも示されているように、人類や地域にとって貴重な資料や文化遺産等を取り扱い、人々の新しい知識の創造と普及のために役立てるという業務の特性から、学芸員には極めて高い職業倫理が必要とされている。

今後、人々の生涯学習への支援を含め博物館に期待されている諸機能の強化、さらに情報化、国際化等の時代の変化に的確に対応する博物館運営の観点から、学芸員の養成及び研修の一層の改善・充実を図ることが必要となっている。また、これに関連して、学芸員の資質向上に対応する処遇の改善等について、関係者の積極的な配慮が望まれる。

なお、学芸員の資格を有しながら、博物館には勤務していない人が相当いる。博物館活動の充実や生涯学習推進の観点から、その専門的な知識・能力を博物館の諸活動への協力はもとより、地域の様々な学習活動や事業等への支援のために積極的に活用することは有意義であり、そのための方策を推進していくことも重要である。

### 2 改善方策

#### 1. 養成内容の改善・充実と資格取得方法の弾力化

学芸員の養成は、博物館法及び同法施行規則に基づき、基本的には大学で行われてい

るが、昭和30年以降、大学における養成内容についての制度的な見直しは行われていない。これから博物館には、社会の変化への的確な対応や生涯学習推進の拠点としての機能等の充実が強く求められており、学芸員がこうした時代の要請にこたえる博物館活動を担う専門的職員として必要な基礎的知識・技術を養うことができるよう、養成内容の改善・充実を図る必要がある。

また、生涯学習時代に対応した幅広い博物館活動や特色ある博物館活動を推進していくために、様々な分野の多様な人材が、その知識や経験を生かし学芸員として活躍できるようにすることが有意義である。このため、大学以外の学習成果や様々な実務経験で培われた職務遂行能力を積極的に評価することにより、学芸員の資格取得の途を弾力化する必要がある。

#### (1) 大学における養成内容の改善・充実

社会の進展の中で高度化・専門化する学芸員の業務を的確に遂行できるように、博物館の目的と機能、博物館倫理、関係法規など博物館に関する基礎的知識に加え、博物館経営や博物館における教育普及活動、博物館資料の収集・整理保管・展示、博物館情報とその活用等に関する理解と必要な知識・技術の習得を図る必要がある。このため、博物館学に関する内容を充実する。

博物館実習は、体験を通して博物館業務を理解する有意義な学習であり、その一層効果的な実施のため、大学における事前・事後の指導を充実する必要がある。なお、実習内容の充実のため、学芸員を養成する大学側と実習を受け入れる博物館側又はこれらの関係団体等の協力により、博物館実習に関する適切なガイドラインを設定し、活用することを期待したい。現状では、博物館の組織運営体制の問題から博物館側の実習受け入れが必ずしも円滑には行われていないとの指摘があり、関係者による協議組織の設置などにより、実習受け入れのための大学と博物館の緊密な協力を図る必要がある。大学においては、その研究実績等に応じ大学博物館（ユニバーシティ・ミュージアム）を整備することにより、学芸員養成教育の場を自ら責任を持って確保する努力も求められる。

また、学芸員には、生涯学習社会における社会教育指導者として、人々の多様な学習ニーズを把握し学習活動を効果的に援助する能力が求められている。このため、生涯学習の本質や学習情報提供及び学習相談についての理解を図ることができるように、大学における養成内容を充実する必要がある。

以上から、大学における学芸員の養成内容を、次のように改善・充実することが適当である。

- ① 現行の「社会教育概論」(1単位)を「生涯学習概論」(1単位)に改め、生涯学習及び社会教育の本質について理解を深める内容とする。
- ② 現行の「博物館学」(4単位)を、博物館機能の高度化や情報化の進展等に対応する観点から拡充し、「博物館概論」(2単位)、「博物館経営論」(1単位)、「博物館資料論」(2単位)及び「博物館情報論」(1単位)の4科目(合計6単位)に編成する。なお、この4科目(合計6単位)は、「博物館学」(6単位)として統合して実施することができるものとする。また、「博物館経営論」、「博物館資料論」及び「博

物館情報論」の3科目(合計4単位)は、「博物館学各論」(4単位)として統合して実施することができるものとする。

- ③ 「博物館実習」は現行通り3単位とするが、実習の効果的実施を図るため、その中に大学における事前・事後の指導の1単位を含むものとする。
- ④ 現行の「視聴覚教育」(1単位)を「視聴覚教育メディア論」(1単位)に、現行の「教育原理」(1単位)を「教育学概論」(1単位)に、それぞれ名称変更するとともに、時代の変化に対応した幅広い内容とする。
- ⑤ 総単位数は、現行の10単位以上から12単位以上に2単位増やす。

各科目的単位数・内容等を一覧の形でまとめたのが、別紙2である。

各大学においては、これに基づき、学芸員養成のための適切なカリキュラムを編成するとともに、学芸員の専門性を高めるための所要の科目の開設とその内容の充実により、専門分野についての必要な知識・技術を備えた学芸員を養成することを期待したい。

なお、学芸員の試験認定における科目構成についても、大学における養成内容と同様の見直しを図る。

#### (2) 養成を行っている大学の連携・協力の推進

現在、学芸員の養成を行っている大学は230ほどあるが、今後、これらの大学の連携・協力により、学芸員養成に関する情報交換・交流が活発化し、養成内容の一層の充実が図られることが期待される。

#### (3) 試験認定科目免除措置の対象となる学習成果の認定範囲の拡大

学芸員の試験科目の免除については、現在、大学又は文部大臣の指定する講習において、試験科目に相当する特定の科目を修得した場合や講習を修了した場合に認められている。

生涯学習社会にふさわしい開かれた資格制度とする観点から、今後は、専門的資質の確保に留意しつつ、これら以外の学習成果についても、学芸員資格取得のための専門的知識・技術の習得として評価し得るものは、この試験科目免除措置を積極的に活用できるようにすることが適当である。

新たに試験科目に相当する科目として認定すべき学習成果として、次のようなものと考えられる。

- ア 国立教育会館社会教育研修所における研修のうち相当と考えられる学習
- イ 国立科学博物館・文化庁施設等機関における研修のうち相当と考えられる学習
- ウ 地方公共団体が実施する研修のうち相当と考えられる学習
- エ 専門学校での相当科目の修得
- オ 大学公開講座での相当と考えられる学習

なお、試験科目免除に当たって、その学習の内容・程度等に基づいた適切な取扱いが図られるように、試験実施機関である国において一定の基準を示す必要がある。

#### (4) 資格取得及び試験認定受験資格の要件としての実務経験の対象範囲の拡大

学芸員の資格取得及び試験認定受験資格の要件として、一定の実務経験が必要とさ

れる場合があるが、現在は、学芸員補の職や学校教育法第1条に規定する学校において博物館資料に相当する資料の収集、保管、展示及び調査研究に関する職務に従事する職員の職などに限定されている。

生涯学習時代における広い視野に立った博物館活動の展開が求められていることに対応し、今後は、現在認められている実務経験以外にも、学芸員の職務遂行の上で意義があると考えられる実務経験を積極的に評価していくことが適当である。

新たに評価すべき実務経験として、次のようなものが考えられる。なお、その際必要とされる経験年数については、学芸員の養成科目を修得した短期大学卒業者が学芸員資格を取得するまでに3年以上の実務経験が必要とされていることを考慮し、原則として、3年以上とすることが適当である。

ア 社会教育主事、司書その他の社会教育施設職員

イ 教育委員会等において、生涯学習、社会教育、文化振興、文化財保護に関する職務に従事する職

ウ 博物館等において専門的事項を担当する非常勤職員又はボランティア（展示解説員など）

なお、上記のウの実務経験の評価に関しては、適切な取扱いが図られるように、国において一定の基準を示す必要がある。

## 2. 研修内容の充実と研修体制の整備

学芸員が、多様化、高度化する人々の学習ニーズや社会の変化に的確に対応できるようにしていくために、現職研修を充実し、専門分野に関する知識・技術や学習活動を効果的に援助する能力等の一層の向上を図る必要がある。

現在、国レベル（文部省及び国立教育会館社会教育研修所、国立の博物館等）、都道府県レベル、博物館関係団体などにおいて研修が行われているが、全体として見た場合、必ずしも体系的なものとはなっていない。今後は、相互の連携の下に、体系的・計画的な研修機会を提供できるような研修体制を整備していくことが重要な課題となっている。

また、各博物館やその設置者においては、学芸員の資質の向上に関する研修の意義を十分に理解し、学芸員が積極的に各種の研修に参加できるよう、奨励・支援することが期待される。

### (1) 研修内容及び方法

研修の企画・実施に当たっては、学芸員の業務に関する各専門分野の知識・技術の向上を目指すにとどまらず、生涯学習社会の進展、情報化、国際化等の社会の変化に対応して、広い視野から学芸員の業務に取り組めるような研修内容を設定する必要がある。

生涯学習社会の進展や社会の変化に対応する観点から、生涯学習の理念と施策の動向、情報技術の動向、利用者のニーズの多様化への対応、青少年の科学技術離れなど様々な現代的課題、外国語による案内や資料説明など国際化に対応した博物館活動の展開方法、博物館経営に関する研修などが考えられる。

また、高度かつ専門的な知識・技術を習得する観点から、各専門分野の博物館資料

の収集・整理・保存、企画展示の方法、教育普及活動、種々のメディアの操作と習熟に関する研修などが考えられる。

研修の方法としては、従来から行われている講義や実習・演習形式の研修に加え、国内外の大学、博物館、研究機関等への留学又は研修・研究派遣や、海外から経験の深いキュレーター等を指導者として招致する制度の創設など、高度で実践的な研修機会を充実していく必要がある。また、大学院等関係機関による科目等履修生制度等も活用したりカレント教育も望まれる。

## (2) 研修体制の整備

国レベル、都道府県レベル、博物館関係団体など、各段階で実施されている研修の有機的連携を図り、体系的・計画的に学芸員の研修機会を提供していくため、それぞれの役割分担の下に、研修体制の整備を図っていく必要がある。

国レベルでは、全国又はブロックの指導的立場の職員、博物館長等の管理職を対象に、課題別・専門分野別の研修のうち高度なものを行う。さらに、都道府県が行う研修を支援するため、都道府県レベルの研修を担当できる指導者の育成、学芸員の活動に関する情報の収集・提供などを行なう必要がある。特に、国立教育会館社会教育研修所においては、社会教育に関する専門的・技術的研修を実施する中核機関として、都道府県レベルでの研修実施機関とのネットワーク形成や、地方公共団体における研修内容のデータベース化を進めるなど、そのナショナルセンター機能を一層強化することが望まれる。

また、国立の博物館等においては、その高度な研究機能や博物館資料等を活用し、高度で専門的な研修機会を提供することが期待される。

都道府県においては、各都道府県内の初任者、中堅職員を対象に、経験年数別の実務研修等を行うとともに、博物館を支援するため、関連する情報の収集・提供などをを行う必要がある。

また、博物館関係団体においても、博物館相互の情報交換とともに、専門分野別の課題に関する研修などを充実することが期待される。

なお、博物館の設置者においては、学芸員の研修参加への奨励・支援とともに、科学研究費申請が可能となる学術研究機関の指定制度等を活用し、学芸員の自主的研究活動や共同研究活動等の促進や支援に努めることが期待される。

学芸員の研修体系についての考え方を整理したものが、別紙8である。

## 3. 高度な専門性の評価

博物館機能の充実と高度化を推進していくためには、学芸員の専門的な資質・能力をより一層高めていくことが必要であり、そのためには学芸員の専門的な業績・経験等が適切に評価され、それが任用や処遇の面でも反映されるシステムを作っていくことが重要である。そのことによって、学芸員の資質向上に向けての意欲も益々喚起されるという望ましい効果も生ずることと考えられる。

このため、高度で実践的な専門的能力を有する学芸員に対し、その専門性を評価する名称を付与する制度を設けることが有意義と考えられる。こうした名称付与制度が定着

することによって、当該名称を付与された学芸員の任用や処遇について、設置者等が適切な配慮を行うことも期待される。

このような高度な専門性を評価する名称付与制度は、学芸員制度のみならず博物館制度全体の在り方とも関連を有するものであり、その具体化のために、実施機関、評価の対象、具体的名称、評価の方法等について、国をはじめ関係機関や博物館関係団体等が連携しながら研究を進めていくことが必要である。

この制度についての基本的考え方を整理したものが、別紙10である。

なお、学芸員は、特定分野の専門性を備えた専門的職員という特性があり、学芸員の専門性を踏まえた任用等の促進を図るため、学芸員資格自体において、その専門分野を示すようにすることが考えられる。このことについては、今回の養成、研修等の改善の実施状況を踏まえ、上記の高度な専門性を評価する名称付与制度との関連も考慮しつつ、対応していく必要がある。大学における博物館に関する科目修得者に対する科目修得証明書に、その専門科目又は専門分野を記載する等の方法により、専門性を表示することも考えられ、各大学がこのような配慮や工夫を行うことを期待したい。

#### 4. 幅広い人事交流等の配慮と有資格者の積極的活用

今後の博物館活動の一層の充実・活発化のためには、学芸員がその専門性を一層高めるとともに、生涯学習を援助するために必要な幅広い知見や経験が得られるような機会を確保していくことが必要である。また、博物館の活力ある運営を確保するために、博物館相互や博物館と他の社会教育施設等との間の異動など、学芸員の任用や処遇について、教育委員会等の積極的な配慮が望まれる。

また、大学等において学芸員となる資格を取得しても、実際には博物館に勤務していない人が相当いる。生涯学習を推進する観点から、こうした学芸員有資格者の持つ専門的知識やその多様な経験等が、博物館活動の充実や館内の様々な事業の支援のために活用されることは極めて有意義である。

このため、学芸員有資格者のうち博物館等で活躍することを希望する者を、都道府県、国立教育会館社会教育研修所又は博物館関係団体に登録し、高度な博物館ボランティア等として活用を図る「学芸員有資格者データベース（人材バンク）」制度等を創設することが考えられる。国と関係機関・団体等との連携・協力のもとに、その早急な整備が進められることを期待する。

## VI 司書

### 1 改善の必要性

図書館は、住民の身近にあって、図書やその他の図書館資料を収集、整理、保存し、その提供を通じて住民の学習を支援するという役割を担っており、昭和40年代以降、それまでの図書保存を重視した館内閲覧を中心とする施設から、レファレンスサービスの一層の充実を図るとともに、資料の館外貸出しにも重点を置き、積極的なサービスを行なう施設に変化している。

近年、情報化、国際化、高齢化等の進展による社会の急速な変化に伴い、人間の生き方や価値観、行動様式が変化し、人々が社会生活を営む上で理解しておくことが望まれる新たな学習課題が生じている。また、所得水準の向上、自由時間の増大等に伴い、心の豊かさや生きがいなどを求め、人々の学習ニーズはますます強まり、かつ多様化・高度化している。今日、これらに適切に対応し、学習機会の充実を図り、人々の学習活動がより活発に行われるよう支援していくことが求められている。

こうした中にあって、図書館は、住民の生涯にわたる学習活動を積極的に援助する上で、地域における中核的役割を担う施設として、現代的課題に関する学習の重要性や住民の学習ニーズの高まりにこたえて、広範な情報を提供し、自主的な学習を支援する開かれた生涯学習施設として、一層発展することが期待されている。

司書は、図書館法に基づき図書館に置かれる専門的職員であり、図書等の資料の選択・収集・提供、住民の資料の利用に関する相談への対応などの業務に従事し、図書館活動に重要な役割を果たしている。今日、社会における図書館に期待される役割を理解し、多種多様な資料に関する豊富な知識を備え、様々な住民の学習ニーズにこたえる広範な情報提供サービスを積極的に行なうことが求められている。

このため、司書の養成及び研修については、時代の要請に応じ、住民の学習ニーズ等に適切に対応できる能力を養うとともに、情報化をはじめとする社会の急速な変化に的確に対応した図書館運営の向上を図る観点から、その改善・充実を図る必要がある。また、図書館には、専門的職員として司書補が置かれ、司書の職務を助け図書館の業務に従事している。したがって、司書の養成及び研修の見直しに当たっては、司書補についても同様な観点から見直すことが必要である。さらに、これらに関連して、司書及び司書補の資質向上に対応する処遇の改善等についても、関係者の積極的な配慮が望まれる。

なお、司書及び司書補となる資格を有しながら、図書館には勤務していない人が相当いるが、図書館サービスの充実や生涯学習推進の観点から、それらの人々を活用することは有意義であり、そのための方策を推進していくことも重要である。

### 2 改善方策

#### 1. 養成内容の改善・充実と資格取得方法の弾力化

司書の養成については、昭和43年に司書講習の科目・内容の改善が行われているが、

司書補の養成については、その制度創設以来、見直しは行われていない。昭和40年代以降、図書館は、住民に積極的なサービスを行う施設に変化している。さらに今日では生涯学習推進の中核的な拠点としての役割を果たすためにも、情報化等の社会の変化への対応が強く求められている。司書及び司書補がこうした時代の要請にこたえ、図書館の専門的職員として活躍するために必要な基礎を養うことができるよう、養成内容を見直し、充実する必要がある。

また、司書及び司書補の養成においても、生涯学習による学習成果を適正に評価していくことは重要であり、様々な実務経験等で培われた職務遂行能力を積極的に評価することが必要と考えられる。

#### (1) 講習における養成内容の改善・充実

##### ア 司書

司書講習は、司書となる資格を付与するため、図書館法及び同法施行規則に基づき、文部大臣の委嘱を受けた大学が実施する講習である。司書の養成内容の見直しに当たっては、これから図書館において、専門的職員としての職務を遂行するための基礎を培う観点から、生涯学習の理念・施策や他の社会教育施設との関係の理解、図書館経営に関する基礎的知識の修得、情報サービスや児童サービス、高齢者・障害者サービスなど各種の図書館サービスの基礎の履修、図書館における情報化に関する知識・技術の修得などを重視する必要があると考えられる。

以上から、司書講習の養成内容を、次のように改善・充実することが適当である。

- ① 生涯学習時代における基本的養成内容として「生涯学習概論」を新設し、生涯学習及び社会教育の本質について理解を深める内容とする。
  - ② 生涯学習社会における図書館という視点を重視して、「図書館経営論」を新設し、図書館の管理、運営等に関する内容により構成する。
  - ③ 今日の情報化社会に対応するため、「情報サービス概説」、「情報検索演習」を設置し、情報関係科目の充実を図る。
  - ④ 子どもの読書の振興にかんがみ、「児童サービス論」を設置し、充実を図る。
  - ⑤ 図書館を取り巻く社会の変化に的確に対応できるよう「図書館特論」を新設し、図書館における今日的な諸課題に即応する内容により構成する。
  - ⑥ 選択科目を整理するとともに、必修科目を拡大する。
  - ⑦ 総単位数は、現行の19単位以上から20単位以上に1単位増やす。
- 各科目の単位数・内容等を一覧の形でまとめたのが、別紙3である。

##### イ 司書補

司書補講習は、司書補となる資格を付与するため、図書館法及び同法施行規則に基づき、文部大臣の委嘱を受けた大学が実施する講習である。現行の講習科目は、司書補講習が開始されて以来見直しは行われていない。

司書補は、図書館法上、「司書の職務を助ける」と位置付けられており、その養成内容の見直しに当たっても、生涯学習についての理解、図書館に関する基礎的知識、情報サービスや児童サービスなどの各種図書館サービスの基本など、時代の要請に即した内

容とし、これから図書館の専門的職員として必要な基礎的知識、技術を身に付けさせる必要がある。

以上から、司書補講習の養成内容を、次のように改善・充実することが適当である。

- ① 生涯学習時代における基本的養成内容として「生涯学習概論」を新設し、生涯学習及び社会教育の本質について理解を深める内容とする。
- ② 今日の情報化社会に対応するため、「情報検索サービス」を設置し、充実を図る。
- ③ 子どもの読書の振興にかんがみ、「児童サービスの基礎」を設置し、充実を図る。
- ④ 「図書館特講」を新設し、図書館業務に係る基礎的な内容や、図書館における今日的な諸課題に即応する内容により構成する。
- ⑤ 図書館の基礎的事項を習得する観点から、選択科目を廃止し、全科目必修とする。
- ⑥ 総単位数は、現行と同じく15単位以上とする。

各科目の単位数・内容等を一覧の形でまとめたのが、別紙4である。

### (2) 養成を行っている大学の連携・協力の推進

現在、司書講習科目に相当する科目を設置して、司書の養成を行っている大学は、220ほどある。今後、大学における養成内容等の一層の充実を図るために、司書養成に関する情報交換・交流の推進等をはじめ、大学間の連携・協力が進められることが期待される。

### (3) 講習における実務経験等の評価

生涯学習社会にふさわしい開かれた資格制度とする観点から、司書講習においては、司書資格の水準の維持に留意しつつ、司書資格取得のための専門知識の修得として適当と思われる実務経験又は他の資格を適正に評価して、相当する分野の科目を免除することが適当である。具体的には、各種の図書館の職員で、一定以上の経験年数のある者や、司書補、司書教諭、社会教育主事、学芸員の資格の保持者、国家公務員採用試験（Ⅱ種図書館学）合格者について、一部の科目を免除することが適当である。

また、司書補講習における実務経験等の評価についても、司書に準じて適正に評価して、相当する分野の科目を免除することが適当である。

その際の経験年数、免除する科目などの具体的な内容は、別紙5及び別紙6である。

## 2. 研修内容の充実と研修体制の整備

現在の司書及び司書補資格は、図書館の専門的職員としての基礎的な資格であり、社会の変化等に適切に対応して、より高度な図書館サービスを実施していくためには、現職者の職場内、職場外での研修を充実する必要がある。

現在、国レベル（文部省及び国立教育会館社会教育研修所）、都道府県レベル、市町村レベル、図書館関係の団体等において、それぞれ研修が行われているが、全体として見た場合、必ずしも体系的なものとはなっていない。今後は、相互の連携の下に、体系的・計画的な研修機会を提供できるような研修体制を整備していくことが重要な課題となっている。

また、各図書館やその設置者においては、司書及び司書補の業務の向上に資する研修の意義を十分に理解し、司書及び司書補が積極的に各種の研修に参加できるよう、奨励

- ・支援することが期待される。

#### (1) 研修内容及び方法

研修内容に関しては、図書館業務の各専門領域における知識・技術の向上を目指すにとどまらず、生涯学習社会の進展、情報化、国際化等の社会の変化に対応して、広い観点から図書館サービスの充実が図られるよう、研修領域・内容を設定することが求められる。

生涯学習社会の進展や社会の変化に対応する観点から、生涯学習の理念と施策の動向、情報技術の動向、新しい教育メディアの利用、図書館における著作権の処理、障害者・高齢者へのサービスなど多様化した利用者のニーズへの対応、地球環境問題などの現代的課題、地域の国際化に対応した語学と多文化サービス、カウンセリングやインター・パーソナル・コミュニケーションなどに関する研修のほか、一般教養的な研修、行政実務に関する研修なども有効である。その際、教育委員会以外の行政機関で実施する研修を活用することも考えられる。

また、高度かつ専門的な知識・技術を習得する観点から、情報サービスの動向と技術、レンタルサービス及びレフェラルサービスの実務、資料の収集・整理・保存の実務、児童サービスの技術、種々のメディアの操作と習熟、図書館経営に関する研修などが望まれる。

研修の方法としては、従来から行われている都道府県立図書館等における集合研修によるほか、国内外の大学、図書館、民間企業等への留学及び研修派遣や、海外の図書館との交流事業などが考えられる。さらに、大学におけるリカレント教育のための特別のコース、プログラムの設置等が期待される。

#### (2) 研修体制の整備

国レベル、都道府県レベル、市町村レベル、図書館関係団体等の各段階で実施されている研修の有機的連携を図り、体系的・計画的に司書等の研修機会を提供していくため、それぞれの役割分担の下に、研修体制の整備を図っていく必要がある。

国レベルでは、各都道府県における指導的立場の司書、図書館長等の管理職を対象に、高度かつ専門的内容の研修を行う。さらに、都道府県が行う研修を支援するため、都道府県レベルでの研修を担当できる指導者の育成、司書等の活動に関連する情報の収集・提供などを行う必要がある。特に、国立教育会館社会教育研修所においては、社会教育に関する専門的・技術的研修を実施する中核機関として、都道府県レベルでの研修実施機関とのネットワーク形成や、地方公共団体における研修内容のデータベース化を進めること、そのナショナルセンター機能を一層強化することが望まれる。

都道府県・市町村においては、都道府県教育委員会、都道府県立図書館、都道府県の図書館協会等の連携の下に、初任者研修、中堅研修など、経験年数に応じた研修や、地域の課題や日常業務に関わる実務研修等を充実していくことが望まれる。

司書等の研修体系についての考え方を整理したものが、別紙9である。

### 3. 高度な専門性の評価

司書が、意欲をもって研修等に取り組み、その専門性を高め、図書館の専門的職員と

して各種の図書館サービスを向上させていくためには、研修等による専門性の向上が図書館の内外において適切に評価されることが重要である。

このため、実務経験、研修等を積んで、図書館の業務について、高度で実践的な専門性を有する司書に対し、その専門性を評価する名称を付与する制度を設けることも有意義と考えられる。こうした名称付与制度が定着することによって、当該名称を付与された司書の任用や処遇について、設置者等が適切な配慮を行うことも期待される。

このような高度な専門性を評価する名称付与制度の具体的な検討に当たっては、図書館の現状等を考慮しつつ、その実施機関、評価の対象、具体的な名称、評価の方法等について、国をはじめ関係機関や図書館関係団体等が連携しながら研究を進めていくことを期待したい。

この制度についての基本的考え方を整理したものが、別紙11である。

#### 4. 幅広い人事交流等の配慮と有資格者の積極的活用

司書及び司書補の専門性を生かし、生涯学習を援助するために必要な広い知見を得させるとともに、図書館の活力ある運営を確保するため、図書館相互や図書館と関連する施設、学校等との間の異動など、司書及び司書補の任用や処遇などについて、教育委員会等の積極的な配慮が望まれる。

また、司書及び司書補の資格を有しながら、実際には図書館関係の職に就いていない人も相当いる。これらの司書等の資格を有する者の持つ専門的知識や経験等を積極的に活用することができれば、図書館サービスの充実や生涯学習を推進する観点から有意義である。

このため、司書及び司書補有資格者のうち図書館等で活躍することを希望する者を、都道府県、国立教育会館社会教育研修所又は図書館関係団体に登録し、各種の図書館や地域の文庫のボランティア等として活用を図る「司書有資格者データベース（人材バンク）」制度等を創設することが考えられる。国と関係機関・団体等との連携・協力のもとに、その早急な整備が進められることを期待する。

## VII おわりに

本分科審議会では、生涯学習社会における社会教育行政の推進、博物館及び図書館の機能の充実への対応等の観点から、これらの業務に携わる専門的職員である社会教育主事、学芸員及び司書の資質の向上を図るために養成、研修等の改善・充実方策を検討し、提言をとりまとめた。

本報告の趣旨を踏まえ、国においては、関係規程等の改正など必要な措置を速やかに講ずるとともに、現職研修の充実の方策の推進や、これらの資格を有する者の知識経験等を活用する仕組みの整備などにより、幅広い社会教育指導体制の充実に積極的に取り組む必要がある。

また、これらの専門的職員の養成に当たる大学等においては、改善の趣旨を踏まえた教育内容や教育方法の充実、工夫を図るとともに、高度な再教育の機会の提供にも努力することが期待される。なお、今後の科学技術の進歩に伴い、コンピュータ、光ファイバー等の高度情報通信網、衛星通信、衛星放送等の情報手段が一層発展すると予想される。これらを活用した遠隔教育等による養成や研修の実施も有効と考えられ、大学関係者等により、その活用方策について検討されることも期待される。

教育委員会等においては、現職研修機会の確保により、関係職員の一層の資質向上に努めるとともに、公民館等の社会教育施設やその他の生涯学習関連施設等を含め、適切な人材の確保による地域全体の社会教育指導体制の充実に従来に増して努力することにより、生涯学習・社会教育の指導体制の一層の整備促進と関係施設の運営の充実を図ることを期待したい。

社会教育主事、学芸員及び司書の養成は、生涯学習社会の進展や社会の様々な変化の中における社会教育行政の在り方や、博物館、図書館に期待される役割と密接に関連するものである。特に、今後の社会の進展に伴う社会教育主事、学芸員及び司書の職務の一層の高度化、多様化に対応するためには、高度な専門的職業人の養成という観点が、これまで以上に重要となると考えられる。このため、今回提言した改善方策の実施状況を踏まえながら、今後も適切な時期に見直しを行っていくことが必要である。

## 別紙1

## 社会教育主事養成科目の改善

科目名・単位数	ね ら い	内 容
生涯学習概論 〔4単位〕	生涯学習及び社会教育の本質について理解を図るとともに、学習者の特性や教育相互の連携について理解を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習の意義</li> <li>・学習者の特性と学習の継続・発展</li> <li>・生涯学習と家庭教育、学校教育、社会教育</li> <li>・生涯学習社会における教育相互の連携と学習システム</li> <li>・生涯学習関連施策の動向</li> <li>・社会教育の意義</li> <li>・社会教育と社会教育行政</li> <li>・社会教育の内容・方法・形態</li> <li>・社会教育指導者</li> <li>・社会教育施設の概要</li> <li>・学習情報提供と学習相談の意義</li> </ul>
社会教育計画 〔4単位〕	社会教育の計画・立案についての理論と方法の理解を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会と社会教育</li> <li>・社会教育調査とデータの活用</li> <li>・社会教育事業計画</li> <li>・社会教育の対象の理解と組織化</li> <li>・学習情報の収集・整理・提供システムの構築運用と学習相談の進め方</li> <li>・社会教育の広報・広聴</li> <li>・社会教育施設の経営</li> <li>・社会教育の評価</li> </ul>
社会教育演習 社会教育実習 社会教育課題研究 〔選択必修4単位〕	専門的な知見を踏まえた実践的な能力の向上及び学習者とのコミュニケーション能力の向上を図る。	社会教育計画の講義と対応した形で行う
社会教育特講 〔12単位〕	社会教育主事としての幅広い視野、社会的関心を持たせるとともに、専門的内容についての理解を図る。	<p>社会教育特講Ⅰ (現代社会と社会教育)</p> <p>社会教育特講Ⅱ (社会教育活動・事業・施設)</p> <p>社会教育特講Ⅲ (その他必要な科目)</p>
合 計	24 单位	

(備考) 「生涯学習概論」の内容の取扱いに当たっては、「生涯学習概論」の他に、例えば「社会教育の基礎」のような社会教育の基礎的内容からなる科目を設定し、合計4単位以上として実施するような工夫を行うことも考えられる。

## 学芸員養成科目的改善

科目名・単位数	ね ら い	内 容
生涯学習概論 [1単位]	生涯学習及び社会教育の意義を理解し、学習活動を効果的に援助する方法等の理解を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習の意義</li> <li>・生涯学習と家庭教育、学校教育、社会教育</li> <li>・生涯学習関連施策の動向</li> <li>・社会教育の意義</li> <li>・社会教育の内容・方法・形態</li> <li>・社会教育指導者</li> <li>・社会教育施設の概要</li> <li>・学習情報提供と学習相談の意義</li> </ul>
博物館概論 [2単位]	博物館に関する基礎的知識の習得を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館の目的と機能</li> <li>・博物館の歴史</li> <li>・博物館の現状</li> <li>・博物館倫理</li> <li>・博物館関係法規</li> <li>・生涯学習と博物館</li> </ul>
博物館経営論 [1単位]	博物館経営及び博物館における教育普及活動について理解を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館の行財政制度</li> <li>・ミュージアム・マネジメント</li> <li>・博物館の職員及び施設・設備</li> <li>・博物館における教育普及活動の意義と方法</li> </ul>
博物館資料論 [2単位]	博物館資料の収集、整理保管、展示等に関する理論や方法に関する知識・技術の習得を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館資料の収集</li> <li>・博物館資料の整理保管</li> <li>・博物館資料の保存</li> <li>・博物館資料の展示</li> <li>・博物館における調査研究活動の意義と方法</li> </ul>
博物館情報論 [1単位]	博物館における情報の意義と活用方法について理解を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館における情報の意義</li> <li>・博物館における情報の提供と活用の方法</li> <li>・博物館における情報機器</li> </ul>
博物館実習 [3単位]	博物館における実習を通じ学芸員の業務の理解を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館資料の収集、整理保管、展示等についての博物館における実習</li> </ul>
視聴覚教育メディア論 [1単位]	視聴覚教育メディアの意義と学習支援の方法について理解を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴覚教育の意義</li> <li>・視聴覚教育メディアの意義と種類</li> <li>・視聴覚教育メディアを活用した学習支援の方法</li> </ul>
教育学概論 [1単位]	教育の本質及び目標について理解を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の本質及び目標</li> <li>・生涯発達と教育</li> <li>・教育制度</li> <li>・教育評価の目標と方法</li> </ul>
合 計	12 単位	

## (備考)

- 博物館概論以下の4科目は、「博物館学」として統合して実施することができる。ただし、その単位数は、6単位を下らないものとする。  
また、博物館経営論以下の3科目は、「博物館学各論」として統合して実施することができる。ただし、その単位数は4単位を下らないものとする。
- 博物館実習の単位数には、博物館実習に係る大学における事前及び事後の指導の1単位を含む。

### 別紙3

#### 司書養成科目の改善

科目名・単位数	ね ら い	内 容
必修科目 生涯学習概論 [1単位]	生涯学習及び社会教育の本質について理解を図る。	1)生涯学習の意義 2)生涯学習と家庭教育、学校教育、社会教育 3)生涯学習関連施策の動向 4)社会教育の意義 5)社会教育の内容・方法・形態 6)社会教育指導者 7)社会教育施設の概要 8)学習情報提供と学習相談の意義
図書館概論 [2単位]	図書館の意義、図書館の種類、図書館の機能・課題・動向、図書館政策、関係法規、図書館と類縁機関等との関係について解説する。	1)図書館の意義（生涯学習と図書館、社会の変化と図書館を含む） 2)図書館の種類 3)図書館の機能と課題（館種別） 4)図書館の動向（図書館の現状と歴史、情報技術の図書館への影響、外国の図書館事情を含む） 5)図書館行政（図書館政策、図書館法、社会教育法、地方自治法、著作権法等を含む） 6)他の図書館及び類縁機関等との関係（図書館相互協力・ネットワークを含む） 7)図書館の自由、図書館関係団体等
図書館経営論 [1単位]	生涯学習社会における図書館という視点を重視して、図書館経営にかかる組織、管理・運営、各種計画について解説する。	1)図書館経営の在り方 2)自治体行政と図書館（他部局等との関係を含む） 3)図書館の組織と管理・運営 4)図書館長・館員の資務及び養成・研修（ボランティアの養成・活用を含む） 5)図書館サービス計画の意義と方法（各種調査、広報を含む） 6)図書館の整備計画と施設、設備、備品 7)図書館業務・サービスの評価 8)情報ネットワーク形成の意義と方法（類縁機関等との連携を含む）
図書館サービス論 [2単位]	利用者と直接関わる図書館サービスの意義、特質、方法について解説するとともに各種サービスの特質を明らかにする。	1)図書館サービスの意義と種類（貸出、読書案内、情報サービス、利用者援助、教育・文化活動など） 2)利用者理解と利用対象別サービス（多文化サービスを含む） 3)図書館サービスと著作権 4)図書館サービスとボランティア 5)図書館サービスの協力（他の図書館、関連機関との連携・協力等）
情報サービス概説 [2単位]	図書館における情報サービスの意義を明らかにし、レファレンスサービス、情報検索サービス等について総合的に解説する。	1)情報サービス一般の広がりと図書館が行う情報サービスの位置付け 2)図書館における情報サービスの意義と種類（レファレンスサービス、フェラルサービス、カレントウェアネスサービス等） 3)情報及び情報探索行動についての基本的理解 4)レファレンスプロセス（レファレンス質問の受付から回答まで、マニュアル検索とコンピュータ検索を含む） 5)情報検索サービスの方法・プロセス・評価 6)主要な参考図書、データベースの解説と評価 7)参考図書及びその他の情報源の組織（二次資料の作成にも触れる） 8)各種情報源の特質と利用法
レファレンスサービス演習 [1単位]	参考図書その他の情報源の利用や作成、レファレンス質問の回答処理の演習を通して、実践的な能力の養成を図る。	1)レファレンスサービスの方法と実際 2)参考図書評価の実際 3)レファレンスコレクション構築の実際 4)インフォメーションファイルの編成の実際 5)二次資料作成の実際 6)レファレンスインタビュー・質問回答の実際
情報検索演習 [1単位]	データベースの検索の演習を通して、実践的な能力の養成を図る。	1)データベース検索の実際（オンラインの他、オンラインの演習も含む）

科目名・単位数	ね ら い	内 容
図書館資料論 〔2単位〕	図書館資料全般の特質を論じ、その出版と流通、選択、選書ツール、保存管理について解説する。新しいメディアの特質やその利用等についても触れる。	1)情報と資料、資料の類型とその特質（資料の歴史、一次・二次資料についても触れる） 2)資料の出版と流通（外国事情にも触れる） 3)蔵書構築の方針・評価（資料選択の基準を含む） 4)選書ツールの利用法 5)資料の受入・除籍・保存・管理（紙の劣化防止、共同保管等を含む） 6)新しいメディアの収集、整理、利用等及び留意点
専門資料論 〔1単位〕	人文科学、社会科学、自然科学・技術の各分野における知識の構造と資料との関係についての理解を図るために、それぞれの分野の資料の特性とその分野を代表する資料について解説する。	1)専門分野の特性 2)主題文献の特性と種類 3)主要な一次・二次資料
資料組織概説 〔2単位〕	資料組織の意義・目的と方法、図書館資料の組織化について解説し、併せてコンピュータ目録について言及する。	1)書誌コントロール・資料組織の意義、資料組織と利用者 2)目録の意義・機能・種別、目録規則の解説と適用（主題目録形成を含む） 3)分類の意義、日本十進分類法（NDC）等の解説と適用 4)件名標目表の解説と適用 5)コンピュータ目録の意義と構成、管理・運用（書誌ユーティリティの利用を含む） 6)機械的処理の方法（情報処理機器の種類と概要を含む）
資料組織演習 〔2単位〕	資料組織の演習を通して、実践的な能力の養成を図る。	1)目録記入・資料分類・件名目録作成の実際 2)書誌ユーティリティ利用の実際 3)データの収集と編集、データの入力・加工
児童サービス論 〔1単位〕	児童を対象とする各種のサービス、児童室の運営、児童図書等について総合的に解説する。併せてヤングアダルトサービスについても解説する。	1)児童サービスの意義及びその企画・立案 2)児童室の運営 3)集会・展示サービス 4)児童サービスの実際と技術（ストーリーテリング、読み聞かせ、ブックトーク等） 5)児童図書の収集・整理、利用上の留意点 6)児童資料の特色と主要な資料の解説 7)ヤングアダルトサービスの意義及びその企画・立案等 8)学校図書館等との連携・協力
必修科目小計 18 単位		
選択科目		
図書及び図書館史 〔1単位〕	図書の形態、印刷、普及、流通等に關し歴史的に概説し、併せて図書館の歴史的発展について解説する。	
資料特論 〔1単位〕	郷土資料、行政資料、視聴覚資料などの各種資料の特質を論じ、その生産と流通、評価、選択・収集、利用等について解説する。	
コミュニケーション論 〔1単位〕	インターパーソナルなコミュニケーションを中心には、現代におけるコミュニケーションの特性とその概要について解説する。	
情報機器論 〔1単位〕	各種情報機器の機能、種類、利用等について解説する。	
図書館特論 〔1単位〕	図書館における今日的な諸課題について取り上げ解説する。	
選択科目小計 2 単位		
合 計 20 単位		

## 別紙4

## 司書補養成科目の改善案

科目名・単位数	ね ら い
生涯学習概論 [1単位]	生涯学習及び社会教育の本質について理解を図る。
図書館の基礎 [2単位]	図書館の意義、種類、機能及び図書館の組織、運営、計画等について基礎的事項を中心に解説し、併せて図書館員の責務、図書館協力、図書館の課題・動向、図書館の歴史、図書館政策、関係法規等についても言及する。
図書館サービスの基礎 [2単位]	図書館サービスの意義、特質、方法や図書館における情報サービス等について基礎的事項を中心に解説し、図書館サービスと著作権にも言及する。
レファレンスサービス [1単位]	レファレンスの意義、レファレンス質問の受付から回答に至るレファレンスプロセス、レファレンスコレクション構築等の情報源の組織について解説する。
レファレンス資料の解題 [1単位]	参考図書のほか、電子形態やマイクロ形態の二次資料を中心に、その種類と特質を解説し、代表的なレファレンス資料を解題する。
情報検索サービス [1単位]	情報検索サービスの意義、方法等や情報検索の実際等について解説する。
図書館の資料 [2単位]	図書館の資料全般について、その特質を論じ、出版と流通、選択と蔵書構築、保存管理と利用方法等について解説する。
資料の整理 [2単位]	図書館における資料組織の意義・目的と方法について基礎的事項を中心に解説する。
資料の整理演習 [1単位]	図書、視聴覚メディアの各資料の整理・組織化について演習を行い、実践的な能力の養成を図る。
児童サービスの基礎 [1単位]	児童を対象とする各種のサービス、児童室の運営、児童図書等について解説し、併せてヤングアダルトサービスについても解説する。
図書館特講 [1単位]	図書館業務に係る基礎的な内容や、図書館における今日的な諸課題について広く取り上げ解説する。
合 計 15単位	

## 司書講習における実務経験等の評価

評価する実務経験（経験年数）	免除する科目（単位数）
公・私立図書館の職員(2年以上)	図書館サービス論(2)
国立国会図書館、大学・高等専門学校の図書館の職員(2年以上)	資料組織概説(2)
司書補として公・私立図書館に勤務する者(2年以上)	生涯学習概論(1) 図書館サービス論(2) 資料組織概説(2) 資料組織演習(2)
国立国会図書館、大学・高等専門学校図書館の職員で司書補に相当する者(2年以上)	生涯学習概論(1) 資料組織概説(2) 資料組織演習(2)

評価する他の資格	免除する科目（単位数）
司書補	生涯学習概論(1) 資料組織概説(2)
司書教諭	児童サービス論(1) コミュニケーション論(1)
社会教育主事	生涯学習概論(1)
学芸員	生涯学習概論(1) 情報機器論(1)
国家公務員採用試験合格者(図書館学)	図書館概論(2) 図書館資料論(2) 資料組織概説(2)

## 別紙 6

### 司書補講習における実務経験等の評価（案）

評価する実務経験（経験年数）	免除する科目（単位数）
公・私立図書館の職員(2年以上)	図書館サービスの基礎(2)
国立国会図書館、大学・高等専門学校の図書館の職員(2年以上)	資料の整理(2)

評価する他の資格	免除する科目（単位数）
司書教諭	児童サービスの基礎(1)
学芸員、社会教育主事	生涯学習概論(1)
国家公務員採用試験合格者(図書館学)	図書館の基礎(2) 図書館の資料(2) 資料の整理(2)

## 社会教育主事の研修体系について

	国（関係機関を含む）	都道府県	市町村
目的 ・ ね ら い	<p>① 高度かつ専門的な知識・技術の習得を図る</p> <p>② 管理職の資質向上を図る</p> <p>③ 社会の変化等に伴う新たな課題についての研修を都道府県等に普及するため、モデルとなるような研修を実施する</p>	<p>① 初任者、中堅職員等が職務を遂行する上での能力の向上を図る</p> <p>② 地域の課題についての理解を図る</p>	<p>① 初任者、中堅職員等が職務を遂行する上での能力の向上を図る</p> <p>② 地域の課題についての理解を図る</p>
対象	都道府県・市町村の管理職又は指導的立場の職員を対象	都道府県内の初任者、中堅職員を対象	市町村内の初任者、中堅職員を対象
研修内容	<p>① 生涯学習社会の進展に対応する研修のうち高度なもの（設定例） ・生涯学習と高等教育 ・社会教育施設とボランティア</p> <p>② 課題別・専門別研修のうち高度なもの（設定例） ・現代的課題に対応する学習プログラムの開発 ・学習相談の理論方法</p>	<p>① 生涯学習社会の進展に対応する研修のうち基礎的なもの（設定例） ・生涯学習社会における社会教育の役割 ・生涯学習の理念と施策の動向</p> <p>② 課題別・専門別研修のうち基礎的なもの（設定例） ・社会教育計画の策定 ・学習ニーズの動向</p> <p>③ 地域の課題に関する研修</p> <p>④ 経験年数別の実務研修</p>	<p>① 地域の課題に関する研修</p> <p>② 経験別の実務研修</p>
研修方法	<p>① 講義、実習・演習形式による研修</p> <p>② 社研、国内外の大学、社会教育施設への短期研修・研究派遣</p> <p>③ 大学院等関係機関による科目等履修生制度等も活用したリカレント教育</p>	<p>① 講義、実習・演習形式による研修</p> <p>② 社研、国内外の大学、社会教育施設への短期研修・研究派遣</p> <p>③ 大学院等関係機関による科目等履修生制度等も活用したリカレント教育</p>	<p>① 講義、実習・演習形式による研修</p> <p>② 社研、国内外の大学、社会教育施設への短期研修・研究派遣</p> <p>③ 大学院等関係機関による科目等履修生制度等も活用したリカレント教育</p>
支援体制	<p>① 都道府県における研修を企画・指導できる人材の育成を図る</p> <p>② 関連する情報の収集・提供、研修プログラムの開発・提供などを通じて都道府県・市町村・社会教育施設を支援</p>	<p>① 市町村における研修を企画・指導できる人材の育成を図る</p> <p>② 関連する情報の収集・提供を通じて市町村・社会教育施設を支援</p>	<p>① 関連する情報の収集・提供を通じて社会教育施設を支援</p> <p>② 各市町村が共同して、研修を実施</p>

## 学芸員の研修体系について

	国（関係機関を含む）	都道府県	博物館関係団体
目的 ・ ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 高度かつ専門的な知識・技術の習得を図る</li> <li>② 管理職の資質向上を図る</li> <li>③ 社会の変化等に伴う新たな課題についての研修を都道府県等に普及するため、モデルとなる研修を実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 初任者、中堅職員等が職務を遂行するまでの能力の向上を図る</li> <li>② 地域の特色に応じた課題について理解を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 専門分野別の課題について理解を図る</li> </ul>
対象	全国又はブロック内の指導的立場の職員、博物館長等の管理職を対象	都道府県内の初任者、中堅職員を対象	全国、ブロック内又は都道府県内の職員を対象
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 課題別・専門分野別の研修のうち高度なもの（設定例）           <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者ニーズの把握と対応</li> <li>・特別展の企画・運営</li> <li>・ミュージアム・マネジメント</li> <li>・博物館における防災体制と緊急時への対応</li> <li>・自然史博物館における資料の収集と分類</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 生涯学習社会の進展に対応するもの（設定例）           <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習社会における博物館の役割</li> <li>・生涯学習の理念と施策の動向</li> <li>・博物館とボランティア</li> </ul> </li> <li>② 課題別・専門分野別の研修のうち基礎的なもの（設定例）           <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報技術の動向</li> <li>・青少年の科学技術離れ</li> <li>・展示企画の方法</li> </ul> </li> <li>③ 経験年数別の実務研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 専門分野別の課題に関する研修（設定例）           <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物標本の保存方法</li> <li>・考古資料の整理保管</li> <li>・美術品の修理</li> <li>・三次元画像の活用方法</li> </ul> </li> </ul>
研修方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 講義、実習・演習形式による研修</li> <li>② 国内外の大学、博物館、研究機関等への留学又は研修・研究派遣</li> <li>③ 海外から招致したキュレーターによる指導助言</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 講義、実習・演習形式による研修</li> <li>② 国内外の大学、博物館、研究機関等への留学又は研修・研究派遣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 講義、実習・演習形式による研修</li> <li>② 研究協議会等の開催</li> </ul>
支援体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 都道府県における研修を企画・指導できる人材の育成を図る</li> <li>② 関連する情報の収集・提供、研修プログラムの開発・提供などを通じて都道府県・博物館を支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 関連する情報の収集・提供を通じて博物館を支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 博物館相互の情報交換</li> </ul>

## 司書等の研修体系について

	国 (関係機関を含む)	都道府県 (関係機関を含む)	市町村
目的・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 高度かつ専門的な内容の研修を行う。</li> <li>② 全国的・国際的動向の理解など広い視野から職務を遂行するための研修を行う。</li> <li>③ 管理職の資質向上を図る。</li> <li>④ 参加者相互の研鑽と交流により、全国的な人的ネットワークの形成に資する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 経験年数に対応して実務上必要な事項の研修を行う。</li> <li>② 地域社会の動向に対応した図書館の運営に関する研修を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 日常業務に係わる実務研修を中心に行い図書館サービスの向上を図る。</li> </ul>
対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館長</li> <li>・指導的立場にある中堅の司書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村立図書館長</li> <li>・当該都道府県内の司書及び司書補</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館職員全般</li> </ul>
研修領域・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 高度かつ専門的内容の研修（レファレンスサービス、児童サービス等）</li> <li>② 全国的・国際的動向に関する研修（情報化と図書館、施策等）</li> <li>③ 図書館経営に関する高度な研修（サービス計画、マネジメント等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 初任者・中堅等の経験別の実務全般についての研修（事業計画、各種サービス、図書館間協力等）</li> <li>② 地域社会の動向に関する研修（ニーズの把握、関係機関との連携等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 図書館業務全般</li> </ul>
研修方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 講義の他、課題別のグループワークによる演習等</li> <li>② 長期にわたる宿泊研修</li> <li>③ 海外研修</li> <li>④ 通信教育、遠隔教育等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 講義・研究協議等</li> <li>② 図書館等視察研修</li> <li>③ 市町村立図書館からの長期派遣研修の受入れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 館内研修</li> <li>② 職員相互の指導・助言</li> </ul>
支援体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 都道府県レベルの研修を企画・指導できる人材を育成</li> <li>② 関連する情報の収集・提供、研修プログラムの開発・提供などを通じて都道府県・市町村を支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 関連する情報の収集・提供を通じて市町村を支援</li> </ul>	

# 別紙10

## 学芸員の高度な専門性を評価する名称の付与制度について

### 1. 趣旨

博物館機能の充実・高度化を推進していくためには、学芸員の専門的な業績・経験等が適切に評価されるシステムを作ることが重要であり、それにより、学芸員の資質向上に向けての意欲は一層喚起され、学芸員の専門的資質・能力が高められるものと考えられる。

このため、高度で実践的な専門的能力を有する学芸員に対し、その専門性を評価する名称を付与する制度を設けるものである。

### 2. 実施についての基本的事項

#### (1) 実施機関

国立教育会館社会教育研修所又は博物館の全国的な統括団体が実施する。

#### (2) 評価の対象・名称

学芸員のそれぞれの専門分野に対応した「高度で実践的な専門的能力」を評価の対象とする。具体的な名称は、例えば、専門学芸員（仮称）、上級学芸員（仮称）などとすることが考えられ、その専門分野が明確になるように次のような分野名を付記する。

分野名の例：歴史、民俗、科学・技術、自然科学、芸術、産業、教育普及（又は学習援助）

名称例：専門学芸員（歴史）又は上級学芸員（歴史）など

#### (3) 評価の方法

実施機関の審査により、名称付与を認定する。

##### ① 申請要件

- ア. 一定年数（例えば、10年）以上の実務経験を有していること。
- イ. 国立の博物館、国立教育会館社会教育研修所などが実施する一定の専門的な研修を修了し、博物館資料の収集、保存、調査研究、展示、教育普及活動等において優れた業績を有していること。

##### ② 審査

専門分野における博物館活動に関する論文等の提出又は面接（口頭試験）等の方法により行う。

#### (4) 評価の手続き

- ① 実施機関に（2）の専門分野別に、当該分野の専門家、博物館長等により構成する審査委員会を設置する。
- ② 名称付与を希望する学芸員は、原則としてその所属する博物館の館長を通じて審査を申請する。
- ③ 実施機関は、当該分野に関する審査委員会の審査を経て合否を決定し、申請者及び所属館長に通知するとともに、認定された者を名簿に登載する。

## 司書の高度な専門性を評価する名称の付与制度について

### 1 趣旨

司書が、意欲を持って研修等に取り組み、その専門性を高め、図書館の専門的職員として各種の図書館サービスを向上させていくためには、研修等による専門性の向上が図書館の内外において適切に評価されることがきわめて重要である。

このため、職務経験、研修等を積んで、図書館の専門的業務について、高度で実践的な専門性を有する司書に対し、その専門性を評価する名称を付与する制度を設けることが適当である。

### 2 実施についての基本的事項

#### (1) 実施機関

国立教育会館社会教育研修所又は図書館関係の全国的団体が実施する。

#### (2) 評価の対象・名称

司書の専門業務全般にわたる高度な専門性を評価し、総合的な名称とする。

#### (3) 評価の方法

実施機関の審査により、名称付与を認定する。

##### ① 申請要件（ア及びイをともに満たすこと）

ア 一定年数（例えば10年）以上司書（国立国会図書館又は大学若しくは高等専門学校の付属図書館の職員で司書に相当するものを含む）として勤務した経験を有していること。

イ 国立教育会館社会教育研修所などが主催する一定の専門的な研修を修了し、かつ、所属する図書館の館長が図書館の専門的業務について高度で実践的な専門性を有すると認めていること。

##### ② 審査

論文又は口頭試験等の方法により行うものとする。

#### (4) 評価の手続き

##### ① 実施機関に審査委員会を設置する。

② 名称の付与を希望する司書の所属する図書館の館長が推薦し、教育委員会を経由して、実施機関に申請する。

③ 実施機関は審査委員会を開催し、その意見を聴いた上で合否を決定する。

### **【3】生涯学習指導者養成のIT化に関する研究 —— 地方公共団体における指導系非常勤の現状と 研究の実態を中心として ——**

●研究員

石田嘉和（短期大学部総合文化学科）

---

#### **1. 研究の目的**

この報告書は、第4部門（大学と地域の共創による生涯学習システム）と第5部門（生涯学習指導者の養成と活用に関する研究）が共同で行った「生涯学習システムと指導者に関する調査」のうち、「2. 非常勤職員の研修」部分の結果と分析である。

この調査は、実施要項にあるように、学術フロンティア推進事業の一環として、全国の自治体を対象に、生涯学習システムと、生涯学習指導者に関する基礎的なデータを得るとともに、自治体の実態を把握し、今後の方策について研究資料とするものである。

第5部門第3プロジェクトは「生涯学習者養成のIT化に関する研究」として、自治体が雇用している生涯学習に関する嘱託職員に対する研修プログラムを作成し、それを通信教育システムにのせて実施しようとする研究である。第1ステップとして、各自治体の生涯学習に関する嘱託職員の雇用の実態、研修の実施状況等を把握し、研修プログラムの需要をはかることにした。

調査は次のように実施された。

## 2. 調査の概要

### (1) 調査内容

- ① 大学と地方公共団体との関係
- ② 非常勤職員の研修
- ③ 大学の生涯学習指導者養成に関する需要

### (2) 調査方法

調査票調査

### (3) 調査期間

平成15年9月20日～11月30日

### (4) 調査対象

全国の市町村	300	
内 訳		
全国生涯学習市町村協議会加盟団体	240	
全国生涯学習まちづくり協会	60	

### (5) 回収数

「2. 非常勤職員の研修」は調査対象300自治体のうち、回答数は115自治体であった。

### 3. 調査結果

以下「非常勤職員の研修」分野の質問にしたがって結果をみていく。

#### (1) 非常勤職員の雇用状況

質問5. 貴方の町では、生涯学習・社会教育にかかる非常勤の指導系職員を雇用していますか。

ア.	雇用している	116	74.8%
イ.	検討中である	0	0.0%
ウ.	雇用していない	39	25.2%
エ.	その他		0.0%

回答数155自治体のうち116自治体、ほぼ75%が非常勤職員を雇用しており、うち2自治体は「常勤職員」とのコメントがあった。

質問6. 前問5で、アと答えた方にお聞きします。どのような職種で雇用していますか。該当するものすべてに○をつけてください。

ア.	社会教育指導員	96	40%
イ.	図書館司書などの図書館職員	38	16%
ウ.	図書展示解説員など博物館・美術館・郷土資料館等の職員	26	7%
エ.	家庭教育指導員や家庭教育電話相談員等、家庭教育支援職員	18	7%
オ.	市民大学事務局職員等学習機会の提供事業にかかる職員	4	2%
カ.	体育指導員等スポーツ関係職員	35	15%
キ.	IT	5	2%
ク.	その他	19	8%

「社会教育指導員」が40%近くを占め、「図書館職員」、「スポーツ関係職員」が15%前後、「博物館・美術館・郷土資料館等の職員」が約10%, 「家庭教育指導員等」7%で、上位5職種で90%近くを占めている。

その他として

高齢者学習相談員	発掘調査調査員
青少年育成指導員・女性活動指導員	青少年委員
ボランティアコーディネーター	生涯学習センター嘱託員
生涯学習推進員	音楽担当嘱託員
生涯学習指導員	図書室及び相談員
生涯学習相談員	公民館主事
生涯学習専門員	PTA関係、子ども活動支援、視聴覚
生涯学習推進アドバイザー	市民大学学長
市史編纂業務職員	放課後児童対策事業主任

地域活動指導員  
公民館職員

学習プランナー  
地区館指導員

などがあがっている。

## (2) 非常勤職員の研修の現状

質問7. 前問5で、アと答えした方に再度お聞きします。非常勤の指導系職員に対して貴行政としてどのような研修を実施していますか。該当するものすべてに○をつけてください。

ア.	都道府県が主催する研修に派遣している	65
イ.	雇用した自治体で自ら研修を実施している	18
ウ.	実施していない	36
エ.	その他	16

「実施していない」自治体は30%余りである。「その他」はコメントを見る限り、広域市町村や関連団体の研修会である。

質問8. 前問7で「ア」と「イ」とお答えした方にお聞きします。まず、実施した研修名を下記欄にご記入ください。わかる範囲で結構です。

都道府県で実施した研修名

学びすとアドバンストセミナー生	職場研修
生涯学習推進アドバイザーコース	県市町村社会教育指導員研修会
社会教育実践事例研修会	社会教育指導員研修会
地域生涯学習活動実践セミナー	体育指導員研修会
文部科学省認定社会通信教育生涯	県及び県中地区社会教育指導員研修会
学習指導者養成講座	職員研修会（学習プログラムの企画）
体験活動ボランティアコーディネーター育成セミナー	地区社会教育指導員研修
社会教育指導員研修	平成15年度社会教育指導員会議
社会教育指導員研修	生涯学習推進初任者研修等
接遇研修、パソコン研修	地区社会教育振興協議会指導員部会研修等
公共図書館初任者研修会	社会教育指導員等研修講座
職員研修会1・2	市社会教育関係職員研修会
社会教育職員研修	図書館司書専門講座（県主催）など
図書館職員研修	公務員倫理研修など
レファレンス研修	県社会教育指導員研修会
資料保存研修会	南部社会教育指導員研修会
新任科学館職員研修	県社会教育指導員研修会

地区別ブロック研修会	社会教育指導員研修会
県外視察研修会	市町村人権教育担当者研修会等
関東体育指導員研究大会	社会教育主事等研修会
地域スポーツ活動促進事業、他	人権教育講座
ブロック研修会、実技研修会	社会教育指導者連絡協議会研修会
都研修会	県社会教育指導者連絡協議会研修会
多摩地区研修会	公民館等研修講座
同和教育	アドバイザー養成講座
公民館研究大学	地域活動指導員研修
ドメスティクバイオレンス研修	自然体験生活体験指導研修
公民館等職員研修会	社会教育主事等研修会
公民館主事研修	県北社会教育指導員等連絡協議会研修会
生涯学習指導者研修会等	社会教育行政研修会
県社会教育指導員会の研修会	社会教育主事等研修会
県社会教育指導会研修会等	社会教育研究会夏季セミナー
社会教育指導員研修会	同和人権教育中央研修
生涯学習研修講座等	まなびすとアドバイスセミナー
社会教育指導員研修会	県体育指導委員研修会
子育てサポーター養成講座	フォーラム家庭教育
青少年の奉仕	生涯学習研修会
体験コーディネーター養成講座	人権教育等研修会
子育て支援アドバイザー養成講座	社会教育主事等研修会
行政担当コースほか	図書館職員研修会
青少年人権問題担当者連絡会議	県体育実技講習会
職場研修他	中体指講
子育て支援キャラバン研究会	県社会教育指導研修会
家庭教育講演会	生涯学習アドバイザー研修
社会教育主事等指導者研修会	社教主事研修
府下青年の家等連絡協議会総会	ボランティアコーディネーター研修
県市町村社会教育指導員連絡協議会視察研修	社会教育主事研修
人権教育指導者研修会	社会教育振興協議会
社会教育指導員研修会	指導者研修会

以上、研修内容が不明なものも多くあるが、研修対象が明確なものをまとめてみると、

社会教育指導員等研修	3 6
生涯学習指導者等研修	9
人権教育等研修	7

体育指導員等研修	6
図書館職員等研修	6
子育て支援・家庭教育等研修	5
公民館等職員研修	4

ここでも社会教育指導員等研修が突出していることがわかる。

#### 雇用自治体で実施した研修名

人権教育講座	社会教育指導員部会
人権研修・職務研修	公民館担当者会
市体育指導委員全体研修会	子育てサポーター養成講座
人権学習推進研修	中部地区自治体研修会
新規採用者研修会	パソコン実務・人権学習
ISO研修	

#### その他

国公立青年教育施設職員研修会	今年度は不参加
県社会教育指導者連絡協議会研修会	郡図書館職員等研修会
ポランティアコーディネーター 養成講座	郡体育指導委員研修会

#### (3) 非常勤指導権職員に対する研修の現状認識と

質問9. 前問7で、お答えした方に再度お聞きします。非常勤の指導系職員に対する研修は、現状で十分だと思いますか。

ア.	十分である	6	8.6%
イ.	まあまあだと思う	40	57.1%
ウ.	不十分である	23	32.9%
エ.	その他	1	1.4%

現状の認識であるが、非常勤の指導系職員に対する研修は、「十分である」、「まあまあだと思う」、つまりほぼ満足だと回答した自治体は合わせて65.7%にのぼる。

その他は、「課によって異なる」である。

#### (4) 非常勤指導系職員の研修についての研修奨励と支援に関する意識

質問10. もし、非常勤の指導系職員に対して、通信教育など勤務時間以外での研修の機会が与えられたら、あなたのまちの行政として、受講を奨励しますか。

ア.	奨励する	29	21.8%
イ.	研修は本人の意志に任せる	95	71.4%
ウ.	奨励しない	8	6.0%
エ.	その他	1	0.8%

その他は、「勤務時間外については職務権限は無い」である。

「ア. 奨励する」と「イ. 研修は本人の意志に任せる」を合わせると93%あまりになる。

質問11. もし、非常勤の指導系職員に対して、通信教育など勤務時間以外での研修の機会が与えられたら、あなたのまちの行政として、受講を支援しますか。

ア.	経営等の補助など積極的に支援したい	6	4.5%
イ.	何らかの支援方策を考えたい	76	57.6%
ウ.	支援は考えられない	45	34.1%
エ.	その他	5	3.8%

その他

わからない

内容次第で情報の提供

職員の場合は制度があります。ただし、非常勤特別職についてこの制度を適用できるかどうかは、研修担当課及び研修委員会において決定されるため、現在回答できません。

現在わかりません

合併初年度のため検討中

「ア. 経営等の補助など積極的に支援したい」と「イ. 何らかの支援方策を考えたい」を合わせると62%あまりとなる。

#### (5) 求められている非常勤指導刑職員に対する研修内容

質問12. もし、非常勤の指導系職員に対して、通信教育など勤務時間以外での研修の機会が与えられたら、どのような内容が必要だと思いますか。該当する項目すべてに○をつけてください。(ウ, ケ設問無し)

ア.	学級・講座	71	19%
イ.	イベント等の企画・運営・評価	83	22%
エ.	人間関係の向上	27	7%
オ.	青少年などの対象者への理解	62	16%
カ.	国際理解など学習内容の深化	22	6%
キ.	生涯学習の理論	68	18%
ク.	体育・スポーツの理論	25	7%
コ.	各種のマナー	12	3%
サ.	その他	8	2%

### その他

勤務時間外であれば本人の学習意欲  
 本人の希望するもの  
 人権教育  
 青少年カウンセリング  
 ボランティア活動に関する理論と実践計画  
 ボランティア  
 自然体験・生活体験学習の指導法

「イ. イベント等の企画・運営・評価」、「ア. 学級・講座」、「キ. 生涯学習の理論」、「青少年などの対象者への理解」の上位 4 項目で 75% を占めている。

## 4. 結果の分析と今後

「I. 調査の結果」から分析を試みるならば、回答を寄せられた自治体のうち75%が、生涯学習・社会教育にかかわる非常勤の指導系職員を雇用しており、職種としては「社会教育指導員」が40%近くを占めており、「図書館職員」、「スポーツ関係職員」が15%前後、「博物館・美術館・郷土資料館等の職員」が約10%，「家庭教育指導員等」7%で、上位5職種で90%近くを占めている。

非常勤の指導系職員の研修についてみると、約70%の自治体が、都道府県や各自治体での研修を実施しており、都道府県主催の研修では以下のような研修が行なわれている。

社会教育指導員等研修	36
生涯学習指導者等研修	9
人権教育等研修	7
体育指導員等研修	6
図書館職員等研修	6
子育て支援・家庭教育等研修	5
公民館等職員研修	4

職種による雇用実績が示すように、ここでも「社会教育指導員等研修」が高い数値を示している。

各自治体の現状の研修に対する評価は、約33%の自治体が「不十分である」との認識を示し、ほぼ66%の自治体が「十分である・まあまあだと思う」としている。

通信教育など勤務時間以外での受講を奨励する自治体は約22%であるが、「研修は本人の意志に任せる」自治体が71%であり、これを消極的奨励とみてもよいものだろうか？積極的に奨励しない（時間外の通信教育などによる研修に反対？）自治体は6%である。受講に際しては62%あまりの自治体が「経営等の補助など積極的に支援したい・何らかの支援方策を考えたい」としている。

これをみると自治体の6、7割は、非常勤の指導系職員に対して、現状の研修では満足しているが、本人の通信教育受講などによる研修には、何らかの支援を考慮している、と理解できる。

研修の具体的内容としては、「イベント等の企画・運営・評価」、「学級・講座」、「生涯学習の理論」、「青少年などの対象者への理解」など、それぞれ約20%ほどを占めている。

今回の調査は、雇用者のみに対する調査であったが、雇用状況、雇用職種、研修内容、研修に対する認識度、通信教育による研修の需要度等についてある程度把握することができた。来年度は開催されてる研修内容の分析、被雇用者への（調査）ヒアリング等をとおして、自治体が雇用している生涯学習に関する嘱託職員に対する研修プログラムの作成、および通信教育システムの開発をはかりたい。



**補遺 短期大学における資格取得等に  
関するデータ集**

本データ集は、平成16年度における短期大学での資格取得などの現状を明らかにしたものである。その方法としては、まず、各短期大学が表明している取得可能な資格等がどのくらいあるのかをインターネット上で各短期大学をアクセスして調査した。アクセス先は、独立行政法人「大学入試センター」(〒153-8501 東京都目黒区駒場2-19-23) のHEART SYSTEM 大学進学案内の短期大学一覧から各大学のホームページにアクセスした。

[http://www.heart.dnc.ac.jp/daigakulink\\_base.html](http://www.heart.dnc.ac.jp/daigakulink_base.html)

そして、各短期大学のホームページから資格取得の情報を出来るだけ集めて整理し表としてまとめた。しかし、短期大学のホームページによっては、資格取得についての表記がないところもあり、これを不明扱いとした。一方このことを避けるために、それらの大学については、「短期大学受験案内2005(晶文社)」などから情報を得て、出来るだけ空白にならないように努めた。

資格等は、取得出来る資格、取得を奨励する資格、取得を支援、バックアップしている資格など、表記されているものは、出来るだけ集めて表記した。しかし、不十分な部分、洩れがある、分類の間違い、単純ミスなど、また、学校、学科の名称などが変更されているとか、旧名称で表現されているなど不備な点もご容赦頂きたい。

リスト上の短期大学は、北海道から順に沖縄まで431校をリストアップした。都道府県内の表記順は郵便番号に従った。

- ・ 別表-1は、各短期大学に於ける学科毎の同種資格の出現数が5以上のものについてまとめた。
- ・ 別表-2は、資格の出現数(●の数)の多い順に表示、どの資格に人気があるか、取得に力を入れているかを示している。

別表-1表の資格欄は、省略した形で書いてあるので、別表-2でその補足欄を設けた。

なお、似通った資格については、次の(例)のように一つにまとめて表示してある。

(例) フードスペシャリスト、コーディネーター	→ フードスペシャリスト
初級、上級システムアドミニストレーター	→ 初級、上級システム
ビジネス文書、ビジネスコンピューター	→ ビジネス文書関連
介護福祉士資格、主事任用資格	→ 介護福祉士資格
オフィススペシャリストMOUS、表計算検定(エクセル、ワード等)	→ オフィススペシャリスト
インターネット検定、ドットコムマスター、IC3(PCとインターネット)	→ インターネット関連

(文責：田邊 道弘)



短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上に掲載	未掲載
18 横川大学女子短期大学部	生活学科	●	社旗教育主事、補
19 希広天谷短期大学	幼児教育学科 認知文化学科 社会福祉科	●	学芸員
20 鉄路短期大学	生活科学科 生活科学学科 生活教育学科	●	司書
21 市立名寄短期大学	生活科学科 看護学科	●	司書教諭
22 青森中央短期大学	食物栄養学科 幼児保育学科／要支援者福祉 ビジネス創造学科	●	介護福祉士資格
23 青森短期大学	生活福祉学科 幼児保育学科	●	社会福祉士
24 青森短期の里短期大学	音楽科 現代コミュニケーション学科 幼児保育学科／要支援者福祉	●	社会福祉主事任用資格
25 光星学院芦短期大学	現代ビジネス学科 生活福祉学科	●	訪問介護員関連
26 弘前福和短期大学	生活科 被服科	●	スポーツ指導員など
27 東北女子短期大学	被服科 看護学科／専攻科	●	ソーシャルワーカー
28 岩手看護短期大学	幼児教育科 生活科／専攻科	●	介護保険
29 盛岡大学短期大学部	食物栄養科 看護学科	●	福祉住環境コーディネーター
30 岩手県立大学盛岡短期大学部	生活科／専攻科 国際文化学科	●	福祉レックワーカー
31 修紅短期大学	幼児教育科 食物栄養科 経営情報学科 英会話	●	音楽療法士
32 岩手県立大学宮古短期大学部	生活文化学科 保健科 英会話	●	保育士
33 商廟学院院天理女子短期大学部	生活文化学科 保健科 英会話	●	幼稚園教諭
34 堅和学園短期大学	アート解説認定学科	●	レクリエーション関連
35 美形生活文化短期大学部	生活文化学科 保健科	●	キャンファインストラクター
36 宮城県短期大学	生物工学科	●	小学校教諭
37 秋田県立大学短期大学部	看護学科	●	小学校、児童英語指導者
38 聖園学園短期大学	看護学科	●	中学校教諭（保健、体育）
39 日本赤十字秋田短期大学	看護学科	●	中学校教諭（音楽）
		●	中学校教諭（美術）
		●	中学校教諭（国語）
		●	中学校教諭（英語）（仏語）
		●	中学校教諭（家庭）
		●	中学校教諭（社会）
		●	看護教諭
		●	公務員試験
		●	医療秘書実務士
		●	医療秘書士
		●	医療管理秘書士
		●	医療事務管理士
		●	医事コンピューター技能
		●	診療報酬請求事務
		●	秘書関連
		●	情報処理関係
		●	ビジネス実務士
		●	ビジネス能力検定
		●	ビジネス文書関連

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上に繋がり	
日本赤十字秋田短期大学	介護福祉学科 工芸美術学科	社旗教育主事、補 学芸員	
秋田公立美術工芸短期大学	産業デザイン学科 商経情報学科		
41 秋田経済法科大学短期大学部	生活文化学科 文化コミュニケーション学科		
42 聖霊女子短期大学	生活文化学科		
43 秋田桂城短期大学 (秋田看護福祉大学になる)	看護学科 人間福祉学科 地域社会学科	●介護福祉士資格 社会福祉士 ●社会福祉主事任用資格 訪問介護員関連 スポーツ指導員など ソーシャルワーカー 介護保険 福祉住環境コーディネーター 福祉レックワーカー 音楽療法士 保育士 幼稚園教諭 ●レクリエーション関連 キャンファインストラクター 小学校教諭 小学校、児童英語指導者 中学校教諭（保健、体育） 中学校教諭（音楽） 中学校教諭（美術） 中学校教諭（国語） 中学校教諭（英語）（仏語） 中学校教諭（家庭） 中学校教諭（社会） 養護教諭 公務員試験 医療秘書実務士 医療秘書士 医療管理秘書士 医療事務管理士 医事コンピューター技能 診療報酬請求事務 秘書関連 情報処理関係 ビジネス実務士 ビジネス能力検定 ビジネス文書関連	
44 山形短期大学	看護文化学科 子ども学科 人間福祉学科 国語国文学科 英語英文学科 日本史学科 社会情報学科 健康栄養学科 食物栄養学科／等攻科		
45 山形県立米沢女子短期大学			
46 羽場字園短期大学 福島学院大学短期大学部	保育科第一部 情報ビジネス学科 英語学科 生活学科 家政科 保育科 生活芸術科 看護学科 文化学科		
47 桜の聖母短期大学			
48 郡山女子大学短期大学部			
49 郡山女子大学短期大学部			
50 瑞穂大学短期大学部	食物栄養学科 社会福祉学科 幼児教育科／等攻科 大間生活学科 保育科 看護学科		
51 いわき短期大学			
52 つづば国際短期大学			
53 破波技術短期大学	機械工学科 デザイン学科		

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出張認定100以上 に繋がる	
砺波技術短期大学	建築工学科 電子情報学科 機械学科 情報処理学科 理学療法学科 経営情報学科 幼稚園教育学科 生活学科／専攻科 キャリア教育学科 国文科 保育科	社旗教育主事、補 学芸員 司書 司書教諭 介護福祉士資格 社会福祉士 社会福祉主任用資格 訪問介護員関連 スポーツ指導員など ソーシャルワーカー 介護保険 福祉住環境コーディネーター 福祉レックワーカー 音楽療法士 保育士 幼稚園教諭 レクリエーション関連 キャンフインストラクター 小学校教諭 小学校、児童英語指導者 中学校教諭（保健、体育） 中学校教諭（音楽） 中学校教諭（美術） 中学校教諭（国語） 中学校教諭（英語）（仏語） 中学校教諭（家庭） 中学校教諭（社会） 養護教諭 公務員試験 医療秘書実務士 医療秘書士 医療管理秘書士 医療事務管理士 医事コンピューター技能 診療報酬請求事務 秘書関連 情報処理関係 ビジネス実務士 ビジネス能力検定 ビジネス文書関連	
東邦薬科短期女子大学短期大学部			
水戸短期大学			
常磐短期大学			
茨城女子短期大学			
宇都宮短期大学			
作新学院大学女子短期大学部			
日躊大学女子短期大学部			
足利短期大学			
佐野短期大学			
獨協大学短期大学部			
英英短期大学			
高崎産業短期大学短期大学部			
新潟短期大学			
高崎商科大学短期大学部			
明和学院短期大学			
群馬県立医療短期大学	看護学科		

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上に繋がる	出典
群馬県立医療短期大学	診療放射線学科	社旗教育主事、補	
群馬社会福祉短期大学	介護福祉学科	学芸員	
群馬松島短期大学	大間福祉学科	司書	
関東短期大学	日本語文化学科	司書教諭	
群馬ハイテク短期大学	経済経営情報学科	介護福祉士資格	
桐生短期大学	看護学科	社会福祉士	
国際学院埼玉短期大学	看護学科	社会福祉主任用資格	
川口短期大学	理学療法学科	訪問介護員関連	
浦和工業大学短期大学部	生活科	スポーツ指導員など	
79 王野学園大学短期大学部	看護学科／専攻科	ソーシャルワーカー	
80 埼玉県立大学短期大学部	幼稚保健学科	介護保険	
81 其栄学園短期大学	経営実務科	福祉住環境コーディネーター	
82 埼玉短期大学	経営情報科	福祉レックワーカー	
83 埼玉純真女子短期大学	英語コミュニケーション学科	音楽療法士	
84 城西(女子)短期大学(部)	日本文化コミュニケーション学科	保育士	
85 山村学園短期大学	国際コミュニケーション学科	幼稚園教諭	
86 埼玉医科大学短期大学	英語コミュニケーション学科	レクリエーション関連	
87 埼玉女子短期大学	心理学科	キャンファインストラクター	
	看護学科	小学校教諭	
	看護学科	小学校、児童英語指導者	
	看護学科	中学校教諭(保健、体育)	
	看護学科	中学校教諭(音楽)	
	看護学科	中学校教諭(美術)	
	看護学科	中学校教諭(国語)	
	看護学科	中学校教諭(英語)(ム語)	
	看護学科	中学校教諭(家庭)	
	看護学科	中学校教諭(社会)	
	看護学科	養護教諭	
	看護学科	公務員試験	
	看護学科	医療秘書実務士	
	看護学科	医療秘書士	
	看護学科	医療管理秘書士	
	看護学科	医療事務管理士	
	看護学科	医事コンピューター技能	
	看護学科	診療報酬請求事務	
	看護学科	秘書関連	
	看護学科	情報処理関係	
	看護学科	ビジネス実務士	
	看護学科	ビジネス能力検定	
	看護学科	ビジネス文書関連	

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出張費100円以上に係り	に係り
尚玉女子短期大学			
武藏野短期大学	国際コミュニケーション学科		
千文字学園女子大学短期大学部	幼児教育学科		
90 武藏丘短期大学	文学科		
91 枝草学園短期大学	健康生活科		
92 千葉明徳短期大学	日本文化表現学科		
93 千葉県立衛生短期大学	ビジネススマネジメント学科		
	幼稚教育学科第一部、第二部		
	地域保育学科第一部、第二部		
	保健福祉学科		
94 日本基督教短期大学	第1看護学科		
	歯科衛生学科		
	実践学科		
95 千葉経済大学短期大学部	英語コミュニケーション学科		
	キリスト教学科		
	じご宅学科		
96 稲草学園短期大学	ビニススクワイフ学科		
97 東洋女子短期大学	福祉学科		
江戸川短期大学	英語コミュニケーション学科		
98 聖心女子短期大学	文化コミュニケーション学科		
99 聖心大学短期大学部	保育科第二部	●	●
	介護福祉学科第一部	●	●
	介護福祉学科第二部	●	●
100 東京経営短期大学	総合文化学科		
昭和学院短期大学	経営認定学科		
102 千葉歴史短期大学	人間生活学科		
帝京平成短期大学	初等教育学科		
104 潤和大学短期大学部	看護学科		
三育学院短期大学	児童教育学科		
105	英語コミュニケーション学科		
106 日本大学短期大学部・2	看護学科		
	建設学科		
	耐用化学科		
	基礎工学科		
	生活科学科		
	又科第一部		
107 共立女子短期大学	又科第二部		
	看護学科		

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上 に繋がり	出現数100以上 に繋がり
108 日本大学短期大学部-1	商経学科 食物栄養学科 生活科学科	社旗教育主事、補 学芸員 司書 司書教諭	
109 東京家政学院短期大学 天理女子大学短期大学部	国文科 英文科 家政科	介護福祉士資格 社会福祉士 社会福祉主事任用資格 訪問介護員関連	
110 戸板女子短期大学	食物栄養科 服飾芸術科 英文科 家政科	スポーツ指導員など ソーシャルワーカー 介護保険 福祉住環境コーディネーター 福祉レックワーカー 音楽療法士 保育士 幼稚園教諭 レクリエーション関連 キャンプインストラクター 小学校教諭 小学校、児童英語指導者 中学校教諭（保健、体育） 中学校教諭（音楽） 中学校教諭（美術） 中学校教諭（国語） 中学校教諭（英語）（仏語） 中学校教諭（家庭） 中学校教諭（社会） 養護教諭 公務員試験 医療秘書実務士 医療秘書士 医療管理秘書士 医療事務管理士 医事コンピューター技能 診療報酬請求事務 秘書関連	● 情報処理関係 ビジネス実務士 ビジネス能力検定 ビジネス文書関連
111 山陽学院短期大学	情報科 音楽科 家政科 生活芸術科 言語文化科 英語英文学科 言語文化コミュニケーション学科 幼児教育科 ビニス心理学科		
112 東海大学短期大学部（高崎）	情報科 音楽科 家政科 生活芸術科 言語文化科 英語英文学科 言語文化コミュニケーション学科 幼児教育科 ビニス心理学科		
113 東邦音楽短期大学	情報科 音楽科 家政科 生活芸術科 言語文化科 英語英文学科 言語文化コミュニケーション学科 幼児教育科 ビニス心理学科		
114 諏訪学院女子大学短期大学部	情報科 音楽科 家政科 生活芸術科 言語文化科 英語英文学科 言語文化コミュニケーション学科 幼児教育科 ビニス心理学科		
115 文京学院短期大学	情報科 音楽科 家政科 生活芸術科 言語文化科 英語英文学科 言語文化コミュニケーション学科 幼児教育科 ビニス心理学科		
116 東京成徳短期大学	情報科 音楽科 家政科 生活芸術科 言語文化科 英語英文学科 言語文化コミュニケーション学科 幼児教育科 ビニス心理学科		
117 駿河短期大学	情報科 音楽科 家政科 生活芸術科 言語文化科 英語英文学科 言語文化コミュニケーション学科 幼児教育科 ビニス心理学科		
118 増進短期大学	情報科 音楽科 家政科 生活芸術科 言語文化科 英語英文学科 言語文化コミュニケーション学科 幼児教育科 ビニス心理学科		
119 聖心短期短期大学	情報科 音楽科 家政科 生活芸術科 言語文化科 英語英文学科 言語文化コミュニケーション学科 幼児教育科 ビニス心理学科		
120 美國学院短期大学	情報科 音楽科 家政科 生活芸術科 言語文化科 英語英文学科 言語文化コミュニケーション学科 幼児教育科 ビニス心理学科		
121 改正工科短期大学	情報科 音楽科 家政科 生活芸術科 言語文化科 英語英文学科 言語文化コミュニケーション学科 幼児教育科 ビニス心理学科		
122 彩野服飾大学短期大学部	情報科 音楽科 家政科 生活芸術科 言語文化科 英語英文学科 言語文化コミュニケーション学科 幼児教育科 ビニス心理学科		
123 青山学院女子短期大学	情報科 音楽科 家政科 生活芸術科 言語文化科 英語英文学科 言語文化コミュニケーション学科 幼児教育科 ビニス心理学科		
124 帝京短期大学	情報科 音楽科 家政科 生活芸術科 言語文化科 英文科		
125 文化女子大学短期大学部	情報科 音楽科 家政科 生活芸術科 言語文化科 英文科		
126 駒澤短期大学	情報科 音楽科 家政科 生活芸術科 言語文化科 英文科		
127 昭和女子大学短期大学部	情報科 音楽科 家政科 生活芸術科 言語文化科 英文科 人間文化学科第二部		

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上に繋がり	
昭和女子大学短期大学部			社旗教育主事、補 学芸員 司書 司書教諭 介護福祉士資格 社会福祉士 社会福祉主任用資格 訪問介護員関連 スポーツ指導員など ソーシャルワーカー 介護保険 福祉住環境コーディネーター 福祉レックワーカー 音楽療法士 保育士 幼稚園教諭 レクリエーション関連 キャンプインストラクター 小学校教諭 小学校、児童英語指導者 中学校教諭（保健、体育） 中学校教諭（音楽） 中学校教諭（美術） 中学校教諭（国語） 中学校教諭（英語）（仏語） 中学校教諭（家庭） 中学校教諭（社会） 護理教諭 公務員試験 医療秘書実務士 医療秘書士 医療管理秘書士 医療事務管理士 医事コンピューター技能 診療報酬請求事務 秘書関連 情報処理関係 ビジネス実務士 ビジネス能力検定 ビジネス文書関連
東京農業大学短期大学部			
日本体育大学女子短期大学部	生活文化学科 生활文化学科第二部 食物学科 初等教育学科 生物生産技術学科 環境綠地学科 保健学科		
成城大学短期大学部	教育科 体育科 言語コミュニケーション学科 ライフデザイン学科 保育科 能率科第一部 能率科第二部 生活科 子ども学科 保育学科 造形藝術学科 英語学科／専攻科 情報スクールワーク学科 現代コミュニケーション学科 造型学科 英語科 幼兒教育科／専攻 運動科第一部 運動科第二部 服飾美術科 栄養科 国際コミュニケーション学科 食物栄養学科 看護学科 芸術科	●●	
東邦大学短期大学			
東京女子大学短期大学部			
東京家政大学短期大学部			
東京交通短期大学			
文教大学短期大学部			
東京家政大学短期大学部			
淑徳短期大学			
日本赤十字武藏野短期大学			
帝國大学短期大学部			
帝京女子体育短期大学			
東京女子体育短期大学			

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現回数100回以上に掲載	
148 日海宇短期大学	教員科 福祉保健科 保育科	●	社旗教育主事、補 学芸員 司書 司書教諭 介護福祉士資格 社会福祉士 社会福祉主任任用資格 訪問介護員関連 スポーツ指導員など ソーシャルワーカー 介護保険 福祉住環境コーディネーター 福祉レックワーカー 音楽療法士 保育士 ● 幼稚園教諭 レクリエーション関連 キャンファインストラクター 小学校教師 小学校、児童英語指導者 中学校教師（保健、体育） 中学校教師（音楽） 中学校教師（美術） 中学校教師（国語） 中学校教師（英語）（仏語） 中学校教師（家庭） 中学校教師（社会） 難堪教諭 公務員試験 医療秘書実務士 医療秘書士 医療管理秘書士 医療事務管理士 医事コンピューター技能 診療報酬請求事務 秘書関連 ● 情報処理関係 ● ビジネス実務士 ビジネス能力検定 ビジネス文書関連
149 義塾大学短期大学部	心理学科 ビジネスコミュニケーション学科 日本語コミュニケーション学科 英語コミュニケーション学科 生活福祉学科 食物栄養学科	●	
150 実践女子短期大学	動物看護学科 動物看護学科 国際コミュニケーション学科 情報ビジネス学科 美容芸術学科 美容保健学科 現代ビジネス学科 英語英文科 幼児教育学科 創造形態学科 じこ毛学科	● ● ●	
151 ヤマツギ動物看護短期大学	美容芸術学科 美容保健学科 現代ビジネス学科 国際コミュニケーション学科 情報ビジネス学科 美容芸術学科 美容保健学科 現代ビジネス学科 英語英文科 幼児教育学科 創造形態学科 じこ毛学科	●	
152 帝京大学短期大学	経営情報学科一部 経営情報学科二部 経営システム学科 都市生活学科 健栄栄養学科 健栄栄養学科 保健学科 看護学科 英会話科	● ● ●	
153 山野美容芸術短期大学	経営情報学科一部 経営情報学科二部 経営システム学科 都市生活学科 健栄栄養学科 健栄栄養学科 保健学科 看護学科 英会話科	● ● ●	
154 刷研女子短期大学	経営情報学科一部 経営情報学科二部 経営システム学科 都市生活学科 健栄栄養学科 健栄栄養学科 保健学科 看護学科 英会話科	● ● ●	
155 横浜美術大学短期大学部	経営情報学科一部 経営情報学科二部 経営システム学科 都市生活学科 健栄栄養学科 健栄栄養学科 保健学科 看護学科 英会話科	● ● ●	
156 鶴川女子短期大学	経営情報学科一部 経営情報学科二部 経営システム学科 都市生活学科 健栄栄養学科 健栄栄養学科 保健学科 看護学科 英会話科	● ● ●	
157 東京田中短期大学	経営情報学科一部 経営情報学科二部 経営システム学科 都市生活学科 健栄栄養学科 健栄栄養学科 保健学科 看護学科 英会話科	● ● ●	
158 東京都立短期大学	経営情報学科一部 経営情報学科二部 経営システム学科 都市生活学科 健栄栄養学科 健栄栄養学科 保健学科 看護学科 英会話科	● ● ●	
159 駒沢女子短期大学	経営情報学科一部 経営情報学科二部 経営システム学科 都市生活学科 健栄栄養学科 健栄栄養学科 保健学科 看護学科 英会話科	● ● ●	
160 川崎市立看護短期大学	経営情報学科一部 経営情報学科二部 経営システム学科 都市生活学科 健栄栄養学科 健栄栄養学科 保健学科 看護学科 英会話科	● ● ●	
161 洗足学園短期大学	経営情報学科一部 経営情報学科二部 経営システム学科 都市生活学科 健栄栄養学科 健栄栄養学科 保健学科 看護学科 英会話科	● ● ●	
162 田園調布学園大学短期大学部	経営情報学科一部 経営情報学科二部 経営システム学科 都市生活学科 健栄栄養学科 健栄栄養学科 保健学科 看護学科 英会話科	● ● ●	
163 フジタズ女子短期大学	経営情報学科一部 経営情報学科二部 経営システム学科 都市生活学科 健栄栄養学科 健栄栄養学科 保健学科 看護学科 英会話科	● ● ●	
164 横浜美術短期大学	経営情報学科一部 経営情報学科二部 経営システム学科 都市生活学科 健栄栄養学科 健栄栄養学科 保健学科 看護学科 英会話科	● ● ●	
165 横浜美術短期大学部	経営情報学科一部 経営情報学科二部 経営システム学科 都市生活学科 健栄栄養学科 健栄栄養学科 保健学科 看護学科 英会話科	● ● ●	
166 相模女子大学短期大学部	経営情報学科一部 経営情報学科二部 経営システム学科 都市生活学科 健栄栄養学科 健栄栄養学科 保健学科 看護学科 英会話科	● ● ●	
167 和泉短期大学	経営情報学科一部 経営情報学科二部 経営システム学科 都市生活学科 健栄栄養学科 健栄栄養学科 保健学科 看護学科 英会話科	● ● ●	

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出場数(100以上に統計)	に統計
168 鹿児島短期大学部	国文科 保健科／専攻科 歯科衛生科 保育科 英語科 看護学科 商経学科	●	社旗教育主事、補 学芸員
169 福井女子短期大学	国文科 保健科／専攻科 歯科衛生科 保育科 英語科 看護学科 商経学科	●	司書 司書教諭
170 福井川原立外語短期大学	国文科 保健科／専攻科 歯科衛生科 保育科 英語科 看護学科 商経学科	●	介護福祉士資格
171 福井市立天文学部講短期大学部	国文科 保健科／専攻科 歯科衛生科 保育科 英語科 看護学科 商経学科	●	社会福祉士
172 湘南短期大学	国文科 保健科／専攻科 歯科衛生科 保育科 英語科 看護学科 商経学科	●	社会福祉主事任用資格
173 聖マリアン女子短期大学	国文科 保健科／専攻科 歯科衛生科 保育科 英語科 看護学科 商経学科	●	訪問介護員関連
174 湘北短期大学	国文科 保健科／専攻科 歯科衛生科 保育科 英語科 看護学科 商経学科	●	スポーツ指導員など
175 昭和音楽大学短期大学部	国文科 保健科／専攻科 歯科衛生科 保育科 英語科 看護学科 商経学科	●	ソーシャルワーカー
176 豊富女子大学短期大学部	国文科 保健科／専攻科 歯科衛生科 保育科 英語科 看護学科 商経学科	●	介護保険
177 小田原女子短期大学	国文科 保健科／専攻科 歯科衛生科 保育科 英語科 看護学科 商経学科	●	福祉住環境コーディネーター
178 湘南国際女子短期大学部	国文科 保健科／専攻科 歯科衛生科 保育科 英語科 看護学科 商経学科	●	福祉レックワーカー
179 日本大学短期大学部	国文科 保健科／専攻科 歯科衛生科 保育科 英語科 看護学科 商経学科	●	音楽療法士
180 文教大学女子短期大学部	国文科 保健科／専攻科 歯科衛生科 保育科 英語科 看護学科 商経学科	●	保育士
181 工習短期大学	国文科 保健科／専攻科 歯科衛生科 保育科 英語科 看護学科 商経学科	●	幼稚園教諭
182 第二工業高等専門学校短期大学	国文科 保健科／専攻科 歯科衛生科 保育科 英語科 看護学科 商経学科	●	レクリエーション関連
183 新潟工業短期大学	国文科 保健科／専攻科 歯科衛生科 保育科 英語科 看護学科 商経学科	●	キャンファインストラクター
184 明徳短期大学	国文科 保健科／専攻科 歯科衛生科 保育科 英語科 看護学科 商経学科	●	小学校教諭
185 岐阜新潟女子短期大学	国文科 保健科／専攻科 歯科衛生科 保育科 英語科 看護学科 商経学科	●	小学校、児童英語指導者
186 新潟青陵大学短期大学部	国文科 保健科／専攻科 歯科衛生科 保育科 英語科 看護学科 商経学科	●	中学校教諭（保健、体育）
187 日本医科大学新潟短期大学	国文科 保健科／専攻科 歯科衛生科 保育科 英語科 看護学科 商経学科	●	中学校教諭（音楽）
188 新潟中央短期大学	国文科 保健科／専攻科 歯科衛生科 保育科 英語科 看護学科 商経学科	●	中学校教諭（美術）
189 蒜山短期大学	国文科 保健科／専攻科 歯科衛生科 保育科 英語科 看護学科 商経学科	●	中学校教諭（国語）
			中学校教諭（英語）（仏語）
			中学校教諭（家庭）
			中学校教諭（社会）
			薬剤教諭
			公務員試験
			医療秘書実務士
			医療秘書士
			医療管理秘書士
			医療事務管理士
			医事コンピューター技能
			診療報酬請求事務
			秘書関連
			情報処理関係
		●	ビジネス実務士
			ビジネス能力検定
			ビジネス文書関連

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上 に繋がる	出現数100以上 に繋がらない
富山短期大学			
高岡短期大学	食物栄養学科	●	
	産業造形学科		●
	児童教育学科		●
	産業デザイン学科	●	
	地域ビジネス学科		●
	在芸介護児童福祉専攻		●
富山県立大学短期大学部	生物資源学科		●
	環境システム工学科	●	
	経営実務科		●
星陵女子短期大学	生活デザイン学科	●	
益沢学院短期大学	食物栄養学科	●	
	英語コミュニケーション学科		●
	教養学科		●
	保育学科		●
	食物栄養学科		●
	人間福祉学科		●
	産業情報科		●
石川県立短期大学 (石川県立大学へ)	履業工学科	●	
	食品科学科		●
	産業情報科		●
	幼児教育学科		●
	ビニス＆業務学科		●
	生活科学学科		●
	幼児教育学科		●
	音楽学科		●
仁愛女子短期大学	経営学科	●	
	日本史学科		●
	看護学科		●
	音楽学科		●
教養短期大学	保育科	●	
	経営学科		●
	日本史学科		●
	看護学科		●
山梨県立看護大学短期大学部	食物栄養科	●	
	保健科		●
	生活科学科		●
	生活科学科		●
天理短期大学	経営学科	●	
帝京学園短期大学	保健科	●	
長野女子短期大学	生活科学科	●	
	幼児教育学科		●
	多文化コミュニケーション学科		●
	経済学科		●
長野経済短期大学	国際コミュニケーション学科	●	
清泉女子短期大学			

短大名	学部、学科名、専攻	資格	
		出身割100以上 に掲載	に掲載
清泉女子短期大学	幼児教育科 経営情報学科 ライフルマネジメント学科	社旗教育主事、補 学芸員 司書 図書教諭 介護福祉士資格 社会福祉士 社会福祉主事任用資格 訪問介護員関連 スポーツ指導員など ソーシャルワーカー 介護保険 福祉住環境コーディネーター 福祉レックワーカー 音楽療法士	
信州短期大学	認言文化学科 商学科 経営情報学科 家政学科／専攻科	保育士 幼稚園教諭学科 幼稚園教諭学科第三部 英語英文学科 国際文化学科 食物栄養学科 生活デザイン学科 診療放射線技術学科 看護学科／専攻科	●
工田女子短期大学	幼児教育学科 経営情報学科 ライフルマネジメント学科	○	●
210 松本女子短期大学部	認言文化学科 商学科 経営情報学科 家政学科／専攻科	○	●
211 松本大学松商短期大学部	幼児教育学科 経営情報学科 家政学科／専攻科	○	●
212 飯田女子短期大学	幼児教育学科 経営情報学科 家政学科／専攻科	○	●
213 松本短期大学	看護学科／専攻科 介護福祉学科 幼児保育学科 言語コミュニケーション学科 生活学科 幼児教育学科第一部 英語英文学科 国際文化学科 食物栄養学科 生活デザイン学科 診療放射線技術学科 看護学科／専攻科	○	●
214 達柄喜南短期大学	○	●	●
215 敦賀聖慈学院大学短期大学部	○	●	●
216 敦賀市立女子短期大学	○	●	●
217 蛤草医療技術短期大学	○	●	●
218 中部学院大学短期大学部	○	●	●
219 天理女子短期大学	○	●	●
220 美海女子短期大学	○	●	●
221 正眼短期大学	○	●	●
222 中日本自動車短期大学	○	●	●
223 高山短期大学	○	●	●
224 中京短期大学	○	●	●
225 常葉大学短期大学	○	●	●
	日本語日本文学科 保育科	○	●

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上に統計	出願用
常葉大学短期大学	英語英文科 看護科 人間環境学科 食物栄養学科 児童教育学科 経営情報学科 食物学科 第二看護学科 歯科衛生学科 社会福祉学科 介護福祉学科 幼稚教育科第一部 幼稚教育科第二部 幼兒教育科 幼兒教育科 保育科	社旗教育主事、補 学芸員 ●司書 ●司書教諭 介護福祉士資格 社会福祉士 社会福祉主任任用資格 訪問介護員関連 スポーツ指導員など ソーシャルワーカー 介護保険 福祉住環境コーディネーター 福祉レックワーカー 音楽療法士 保育士 ●幼稚園教諭 ●レクリエーション関連 キャンプインストラクター 小学校教師 小学校、児童英語指導者 中学校教師（保健、体育） 中学校教師（音楽） 中学校教師（美術） 中学校教師（国語） ●中学校教師（英語）（仏語） 中学校教師（家庭） 中学校教師（社会） 看護教諭 公務員試験 医療秘書実務士 医療秘書士 医療管理秘書士 医療事務管理士 医事コンピューター技能 診療報酬請求事務 秘書関連 ●情報処理関係 ビジネス実務士 ビジネス能力検定 ビジネス文書関連	未登記
東海大学短期大学部（静岡）	英語英文科 看護科 人間環境学科 食物栄養学科 児童教育学科 経営情報学科 食物学科 第二看護学科 歯科衛生学科 社会福祉学科 介護福祉学科 幼稚教育科第一部 幼稚教育科第二部 幼兒教育科 幼兒教育科 保育科	未登記	未登記
静岡英和学院大学短期大学部	英語英文科 看護科 人間環境学科 食物栄養学科 児童教育学科 経営情報学科 食物学科 第二看護学科 歯科衛生学科 社会福祉学科 介護福祉学科 幼稚教育科第一部 幼稚教育科第二部 幼兒教育科 幼兒教育科 保育科	未登記	未登記
静岡県立大学短期大学部	英語英文科 看護科 人間環境学科 食物栄養学科 児童教育学科 経営情報学科 食物学科 第二看護学科 歯科衛生学科 社会福祉学科 介護福祉学科 幼稚教育科第一部 幼稚教育科第二部 幼兒教育科 幼兒教育科 保育科	未登記	未登記
静岡福祉情報短期大学部	英語英文科 看護科 人間環境学科 食物栄養学科 児童教育学科 経営情報学科 食物学科 第二看護学科 歯科衛生学科 社会福祉学科 介護福祉学科 幼稚教育科第一部 幼稚教育科第二部 幼兒教育科 幼兒教育科 保育科	未登記	未登記
浜松学院大学短期大学部	英語英文科 看護科 人間環境学科 食物栄養学科 児童教育学科 経営情報学科 食物学科 第二看護学科 歯科衛生学科 社会福祉学科 介護福祉学科 幼稚教育科第一部 幼稚教育科第二部 幼兒教育科 幼兒教育科 保育科	未登記	未登記
豊橋創造大学短期大学部	英語英文科 看護科 人間環境学科 食物栄養学科 児童教育学科 経営情報学科 食物学科 第二看護学科 歯科衛生学科 社会福祉学科 介護福祉学科 幼稚教育科第一部 幼稚教育科第二部 幼兒教育科 幼兒教育科 保育科	未登記	未登記
愛知新城大学短期大学部	英語英文科 看護科 人間環境学科 食物栄養学科 児童教育学科 経営情報学科 食物学科 第二看護学科 歯科衛生学科 社会福祉学科 介護福祉学科 幼稚教育科第一部 幼稚教育科第二部 幼兒教育科 幼兒教育科 保育科	未登記	未登記
愛知工科大学短期大学部	英語英文科 看護科 人間環境学科 食物栄養学科 児童教育学科 経営情報学科 食物学科 第二看護学科 歯科衛生学科 社会福祉学科 介護福祉学科 幼稚教育科第一部 幼稚教育科第二部 幼兒教育科 幼兒教育科 保育科	未登記	未登記
愛知産業大学短期大学部	英語英文科 看護科 人間環境学科 食物栄養学科 児童教育学科 経営情報学科 食物学科 第二看護学科 歯科衛生学科 社会福祉学科 介護福祉学科 幼稚教育科第一部 幼稚教育科第二部 幼兒教育科 幼兒教育科 保育科	未登記	未登記
岡崎女子短期大学	英語英文科 看護科 人間環境学科 食物栄養学科 児童教育学科 経営情報学科 食物学科 第二看護学科 歯科衛生学科 社会福祉学科 介護福祉学科 幼稚教育科第一部 幼稚教育科第二部 幼兒教育科 幼兒教育科 保育科	未登記	未登記
愛知県短期大学	英語英文科 看護科 人間環境学科 食物栄養学科 児童教育学科 経営情報学科 食物学科 第二看護学科 歯科衛生学科 社会福祉学科 介護福祉学科 幼稚教育科第一部 幼稚教育科第二部 幼兒教育科 幼兒教育科 保育科	未登記	未登記
名古屋文理大学短期大学部	英語英文科 看護科 人間環境学科 食物栄養学科 児童教育学科 経営情報学科 食物学科 第二看護学科 歯科衛生学科 社会福祉学科 介護福祉学科 幼稚教育科第一部 幼稚教育科第二部 幼兒教育科 幼兒教育科 保育科	未登記	未登記
名古屋文化短期大学	英語英文科 看護科 人間環境学科 食物栄養学科 児童教育学科 経営情報学科 食物学科 第二看護学科 歯科衛生学科 社会福祉学科 介護福祉学科 幼稚教育科第一部 幼稚教育科第二部 幼兒教育科 幼兒教育科 保育科	未登記	未登記
愛知県短期大学	英語英文科 看護科 人間環境学科 食物栄養学科 児童教育学科 経営情報学科 食物学科 第二看護学科 歯科衛生学科 社会福祉学科 介護福祉学科 幼稚教育科第一部 幼稚教育科第二部 幼兒教育科 幼兒教育科 保育科	未登記	未登記
南山短期大学	英語英文科 看護科 人間環境学科 食物栄養学科 児童教育学科 経営情報学科 食物学科 第二看護学科 歯科衛生学科 社会福祉学科 介護福祉学科 幼稚教育科第一部 幼稚教育科第二部 幼兒教育科 幼兒教育科 保育科	未登記	未登記
愛知女子短期大学部	英語英文科 看護科 人間環境学科 食物栄養学科 児童教育学科 経営情報学科 食物学科 第二看護学科 歯科衛生学科 社会福祉学科 介護福祉学科 幼稚教育科第一部 幼稚教育科第二部 幼兒教育科 幼兒教育科 保育科	未登記	未登記
名古屋女子短期大学	英語英文科 看護科 人間環境学科 食物栄養学科 児童教育学科 経営情報学科 食物学科 第二看護学科 歯科衛生学科 社会福祉学科 介護福祉学科 幼稚教育科第一部 幼稚教育科第二部 幼兒教育科 幼兒教育科 保育科	未登記	未登記

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上 に掲げ	出現数100以上 に掲げ
名古屋女子大学短期大学部	英語科	保育士	社旗教育主事、補
246 光陵女子短期大学	国際コミュニケーション学科	言語コミュニケーション学科	学芸員
名古屋学芸短期大学	ビジネス情報学科	ビジネス情報学科	司書
247 談田保健衛生短期大学	生活科学科	衛生技術科	図書教師
248 談田保健衛生短期大学	医療情報技術科	医療教養学科	介護福祉士資格
249 名古屋短期大学	現代教養学科	英語コミュニケーション学科	社会福祉士
250 中京女子大学短期大学部	保育科	生活科学科	社会福祉主任用資格
251 名古屋芸術大学短期大学部	体育学科	体育学科	訪問介護員関連
252 愛知江南短期大学	保育科	音楽科	スポーツ指導員など
253 名古屋経済大学短期大学部	教育学科	教養学科	ソーシャルワーカー
254 名古屋造形芸術短期大学部	社会福祉学科	社会福祉学科	介護保険
255 名古屋経営短期大学	人間情報学科	現代幼児学科第一部	福祉住環境コーディネーター
256 二宮女子短期大学	生活文化学科	現代幼児学科第三部	福祉レックワーカー
257 穂知文教女子短期大学	保健科	保健科	音楽療法士
258 鈴鹿国際大学短期大学部	現代コミュニケーション学科	現代コミュニケーション学科	保育士
259 三重短期大学	造形芸術科	ビジネス実務学科	幼稚園教諭
260 高田短期大学	生活学科	人間情報学科	幼稚園教諭
	法経科第一部	生活文化学科	小学校教諭
	法経科第二部	生活文化学科	小学校教諭(保健、体育)
	生活科学科	生活文化学科	小学校教諭(音楽)
	オフィス情報学科	生活文化学科	小学校教諭(美術)
	幼児教育学科	生活文化学科	小学校教諭(国語)
	デザインノート学科第一部	生活文化学科	中学校教諭(英語)(仏語)
	生活学科	生活文化学科	中学校教諭(家庭)
	法経科第一部	生活文化学科	中学校教諭(社会)
	法経科第二部	生活文化学科	養護教諭
	生活科学科	生活文化学科	公務員試験
	オフィス情報学科	生活文化学科	医療秘書実務士
		生活文化学科	医療秘書士
		生活文化学科	医療管理秘書士
		生活文化学科	医療事務管理士
		生活文化学科	医事コンピューター技能
		生活文化学科	診療報酬請求事務
		生活文化学科	秘書関連
		生活文化学科	情報処理関係
		生活文化学科	ビジネス実務士
		生活文化学科	ビジネス能力検定
		生活文化学科	ビジネス文書関連

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上 に絞りけ	社旗教育主事、補
261 松阪大学短期大学部 (三重中京大学短期大学部)	食物栄養学科 幼児教育・保育学科 生活学科	○	○
262 滋賀女子短期大学	ビジネスコミュニケーション学科 介護福祉学科 企業マスマント学科	○	○
263 聖泉大学短期大学部	国文科 初等教育科 生活文化学科 人間福祉学科／専攻科	○	○
264 滋賀文教短期大学	環境文化学科 文化芸術学科 環境文化学科 文化学科	○	○
265 滋賀文化短期大学	国文科 初等教育科 生活文化学科 人間福祉学科／専攻科	○	○
266 泡沢短期大学	環境文化学科 文化学科	○	○
267 天谷大学短期大学部	国文科 幼児教育科 看護科	○	○
268 京都市立看護短期大学	看護科 看護学科 生活学科	○	○
269 華頂短期大学	国文科 初等教育学科 生活造形学科 経営情報学科 家政学科 児童教育学科／専攻科 国際文化学科 看護文化学科／専攻科 英語学科第一部 美術学科 伝統文化学科 生活福祉学科 看護放射線技術学科 柔道整復学科 看護看護学科 児童教育学科／専攻科	○	○
270 京都女子大学短期大学部	国文科 初等教育学科 生活造形学科 経営情報学科 家政学科 児童教育学科／専攻科 国際文化学科 看護文化学科／専攻科 英語学科第一部 美術学科 伝統文化学科 生活福祉学科 看護放射線技術学科 柔道整復学科 看護看護学科 児童教育学科／専攻科	○	○
271 京都経済短期大学	国文科 初等教育学科 生活造形学科 経営情報学科 家政学科 児童教育学科／専攻科 国際文化学科 看護文化学科／専攻科 英語学科第一部 美術学科 伝統文化学科 生活福祉学科 看護放射線技術学科 柔道整復学科 看護看護学科 児童教育学科／専攻科	○	○
272 京都文教短期大学	国文科 初等教育学科 生活造形学科 経営情報学科 家政学科 児童教育学科／専攻科 国際文化学科 看護文化学科／専攻科 英語学科第一部 美術学科 伝統文化学科 生活福祉学科 看護放射線技術学科 柔道整復学科 看護看護学科 児童教育学科／専攻科	○	○
273 聖母女学院短期大学	国文科 初等教育学科 生活造形学科 経営情報学科 家政学科 児童教育学科／専攻科 国際文化学科 看護文化学科／専攻科 英語学科第一部 美術学科 伝統文化学科 生活福祉学科 看護放射線技術学科 柔道整復学科 看護看護学科 児童教育学科／専攻科	○	○
274 天谷大学短期大学部	国文科 初等教育学科 生活造形学科 経営情報学科 家政学科 児童教育学科／専攻科 国際文化学科 看護文化学科／専攻科 英語学科第一部 美術学科 伝統文化学科 生活福祉学科 看護放射線技術学科 柔道整復学科 看護看護学科 児童教育学科／専攻科	○	○
275 京都光華女子大学短期大学部	国文科 初等教育学科 生活造形学科 経営情報学科 家政学科 児童教育学科／専攻科 国際文化学科 看護文化学科／専攻科 英語学科第一部 美術学科 伝統文化学科 生活福祉学科 看護放射線技術学科 柔道整復学科 看護看護学科 児童教育学科／専攻科	○	○
276 京都外國語短期大学	国文科 初等教育学科 生活造形学科 経営情報学科 家政学科 児童教育学科／専攻科 国際文化学科 看護文化学科／専攻科 英語学科第一部 美術学科 伝統文化学科 生活福祉学科 看護放射線技術学科 柔道整復学科 看護看護学科 児童教育学科／専攻科	○	○
277 京都建誠短期大学	国文科 初等教育学科 生活造形学科 経営情報学科 家政学科 児童教育学科／専攻科 国際文化学科 看護文化学科／専攻科 英語学科第一部 美術学科 伝統文化学科 生活福祉学科 看護放射線技術学科 柔道整復学科 看護看護学科 児童教育学科／専攻科	○	○
278 京都西山短期大学	国文科 初等教育学科 生活造形学科 経営情報学科 家政学科 児童教育学科／専攻科 国際文化学科 看護文化学科／専攻科 英語学科第一部 美術学科 伝統文化学科 生活福祉学科 看護放射線技術学科 柔道整復学科 看護看護学科 児童教育学科／専攻科	○	○
279 京都医療短期大学	国文科 初等教育学科 生活造形学科 経営情報学科 家政学科 児童教育学科／専攻科 国際文化学科 看護文化学科／専攻科 英語学科第一部 美術学科 伝統文化学科 生活福祉学科 看護放射線技術学科 柔道整復学科 看護看護学科 児童教育学科／専攻科	○	○
280 京都医療技術短期大学	国文科 初等教育学科 生活造形学科 経営情報学科 家政学科 児童教育学科／専攻科 国際文化学科 看護文化学科／専攻科 英語学科第一部 美術学科 伝統文化学科 生活福祉学科 看護放射線技術学科 柔道整復学科 看護看護学科 児童教育学科／専攻科	○	○
281 明治薬科大学医療技術短期大学部	国文科 初等教育学科 生活造形学科 経営情報学科 家政学科 児童教育学科／専攻科 国際文化学科 看護文化学科／専攻科 英語学科第一部 美術学科 伝統文化学科 生活福祉学科 看護放射線技術学科 柔道整復学科 看護看護学科 児童教育学科／専攻科	○	○
282 天阪成蹊短期大学	国文科 初等教育学科 生活造形学科 経営情報学科 家政学科 児童教育学科／専攻科 国際文化学科 看護文化学科／専攻科 英語学科第一部 美術学科 伝統文化学科 生活福祉学科 看護放射線技術学科 柔道整復学科 看護看護学科 児童教育学科／専攻科	○	○

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上に納か	に納か
大阪成蹊短期大学			
天阪工業大学短期大学部	表現文化学科 建築学科第一部 工木工学科第二部 電気工学科第三部 機械工学科第四部 人間環境学科 初等教育学科 英語科	社説教育生事、補 字芸員 司書 司書教員 介護福祉士資格 社会福祉士 社会福祉主任用資格 訪問介護員関連 スポーツ指導員など ソーシャルワーカー 介護保険 福祉住環境コーディネーター 福祉レックワーカー 看護療法士 保育士 幼稚園教諭 レクリエーション関連 キャンフインストラクター 小学校教諭 小学校、児童英語指導者 中学校教諭（保健、体育） 中学校教諭（音楽） 中学校教諭（美術） 中学校教諭（国語） 中学校教諭（英語）（仏語） 中学校教諭（家庭） 中学校教諭（社会） 養護教諭 公務員試験 医療秘書実務士 医療秘書士 医療管理秘書士 医療事務管理士 医事コンピューター技能 診療報酬請求事務 秘書関連 情報処理関係 ビジネス実務士 ビジネス能力検定 ビジネス文書関連	
天阪慈愛女子学院短期大学	天阪女子大学短期大学 (天阪夕陽女子短期大学)	食物学科 幼稚教育学科 国際教育学科 総合保健学科／専攻科 人間福祉学科 英米文化学科 広報学科 保育学科第1部 保育学科第2部 経営デザイン学科	
天阪城南女子短期大学			
天阪芸術大学短期大学部			
常磐会短期大学	相模女子短期大学	幼稚教育科 人間關係学科 生活学科 音楽科	
天阪音楽大学短期大学部		生徒学科 幼児教育・保健科 こども文化学科	
天阪短期大学		国際文化学科 生活科学科 現代社会講師学科 生活科学科 兒童教育学科 看護学科	
千里金蘭大学短期大学部			
天阪精英女子短期大学			
藍野学院短期大学			
梅花女子大学短期大学部		英語科 英語科	

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上に絞りけ	社会
海北女子大学短期大学部	日本語表現科		社旗教育主事、補
289 平安女子学院大学短期大学部	英語コミュニケーション学科		学芸員
300 天阪国際大学短期大学部	保育科		司書
301 天阪電気通信大学短期大学部	国際文化学科		図書教諭
302 関西外国语大学短期大学部	英采語学科		介護福祉士資格
303 四国芸術短期大学	国際コミュニケーション学科		社会福祉士
304 天阪産業大学短期大学部	ライフケア・認知学科		社会福祉主事任用資格
305 近畿大学短期大学部	リハビリテーション学科		訪問介護員関連
306 第天阪大学短期大学部	自動車工業科		スポーツ指導員など
307 関西女子短期大学	看護科第二部		ソーシャルワーカー
308 関西女子短期大学	幼稚教育学科		介護保険
309 四天王寺短期大学	生活学科		福祉住環境コーディネーター
310 天阪女子短期大学	保健科		福祉レックワーカー
311 天谷女子短期大学	幼稚園学科		音楽療法士
312 天阪千代田短期大学	幼児教育科		保育士
313 奈文子短期大学	園芸衛生学科		幼稚園教諭
314 天阪健康福祉短期大学	英語科		レクリエーション関連
315 フジル学院大学短期大学部	生活学科		キャンファインストラクター
316 天阪体育大学短期大学部	保健科		小学校教員
317 神戸山手短期大学	保健科		小学校、児童英語指導者
318 神戸女子短期大学	生活学科		中学校教諭（保健、体育）
	英語文化学科		中学校教諭（音楽）
	日本文化学科		中学校教諭（美術）
	表現芸術学科		中学校教諭（国語）
			中学校教諭（英語）（仏語）
			中学校教諭（家庭）
			中学校教諭（社会）
			養護教諭
			公務員試験
			医療秘書実務士
			医療秘書士
			医療管理秘書士
			医療事務管理士
			医事コンピューター技能
			診療報酬請求事務
			秘書関連
		●●●	情報処理関係
		●●●	ビジネス実務士
		●●●	ビジネス能力検定
		●●●	ビジネス文書関連

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出願数100以上 に網かけ	出願数100以下 に網かけ
神戸女子短期大学		社旗教育主事、補	
319 神戸常盤短期大学	初等教育学科 幼稚教育科 衛生技術科 看護学科	学芸員	
320 神戸学院女子短期大学 (神戸学院短期大学へ)	文芸科 家政科 国際教養科 英語コミュニケーション学科 生活整形学科 保健科 家政学科	司書	
321 神戸松陵女子学院短期大学	幼稚教育学科 電気電子工学科 情報処理工学科 機械工学科	司書教諭	
322 鳴美短期大学	生徒指導科	介護福祉士資格	
323 芦屋女子短期大学	幼稚教育学科 情報処理工学科	社会福祉士	
324 産業技術短期大学	機械工学科	社会福祉主任用資格	
325 国田学園女子大学短期大学部	生徒文化学科 幼稚教育学科 保健科	訪問介護員関連	
326 聖和大学短期大学部	保健・デaign学科 人間コミュニケーション学科	スポーツ指導員など	
327 滝川学院短期大学	家政学科	ソーシャルワーカー	
328 甲子園短期大学	幼稚教育保健学科 文化情報学科	介護保険	
329 武庫川女子大学短期大学部	日本語文化学科 英語コミュニケーション学科 幼稚教育学科 人間關係学科 健康・スポーツ学科 食生活学科	福祉住環境コーディネーター 福祉レックワーカー 音楽療法士 保育士 幼稚園教諭 レクリエーション関連 キャンフインストラクター ● 小学校教諭 小学校、児童英語指導者 中学校教諭（保健、体育） 中学校教諭（音楽） 中学校教諭（美術） 中学校教諭（国語） 中学校教諭（英語）（仏語） 中学校教諭（家庭） 中学校教諭（社会） 養護教諭 公務員試験 医療秘書実務士 医療秘書士 医療管理秘書士 医療事務管理士 医事コンピューター技能 診療報酬請求事務 秘書関連 情報処理関係 ビジネス実務士 ビジネス能力検定 ビジネス文書関連	
330 天手前短期大学			
331 東洋食品工業短期大学	生活整形学科 ラブアーティスト秘書学科		
332 近畿大学豊島短期大学	保健製造科		
333 漢川短期大学	幼稚教育・福祉学科 人間生活学科		

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上に掲載	未掲載
愛川短期大学	英語科	○	●
愛明女子学院短期大学	英語科 生活学科 福祉支援学科 服飾学科 デザイン美術科	○	●
神戸文化短期大学	保育科第二部 美術科第三部 美術デザイン学科第一部 美術デザイン学科第三部	○	●
兵庫天文学短期大学部	保育科第三部 幼稚園教員学科ア・専文科 幼稚教育科 美術科 兒童教育学科 教養学科	○	●
姫路日ノ本短期大学	幼稚教育学科第一部 幼稚教育学科第三部 衛生看護学科 環境教養学科	○	●
奈良佐保短期大学	生活文化学科 保健科 国際文化交流学科 生活学科 幼兒教育学科 衛生看護学科 環境教養学科	○	●
奈良芸術短期大学	保育科 兒童教育学科 幼稚园教諭	●	●
畿央天文学短期大学部	幼稚教育学科第一部 衛生看護学科	●	●
奈良文化女子短期大学	大都市開発科 生活文化学科 保健科 国際文化交流学科 生活学科 幼兒教育学科 家政科 看護学科	●	●
大阪篠原女子大学短期大学部	保健科 看護学科 第二看護科 放射線技術科 臨床検査科 職業工学科 介護福祉科 情報ビジネス学科 英語コミュニケーション学科 総合生活学科	●	●
和歌山信愛女子短期大学	●	●	●
鳥取短期大学	●	●	●
島根県立島根女子短期大学	●	●	●
島根県立看護短期大学	●	●	●
川崎医療短期大学	●	●	●
中国短期大学	●	●	●

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100回以上に絞り	に絞り
中国短期大学	音楽科		
山陽学院短期大学	保育学科		
349 山陽学院短期大学	幼稚教育学科		
	食物栄養学科		
	チヤリニアデザイン学科		
	生活科		
	文化コミュニケーション学科		
	幼稚教育保育学科		
	栄養学科		
	幼稚教育学科		
	音楽科		
	幼稚教育学科		
	保育学科		
	幼稚教育学科		
	保健科		
	幼稚教育学科		
	音楽学科		
	地域福祉学科		
	健康福祉学科		
	生活学科		
	保育科		
	食物栄養学科		
	保育学科		
	音楽学科		
	コミュニケーション学科		
	生活科		
	幼稚教育学科		
	保健科		
	音楽学科		
	アートデザイン学科		
	美術科		
	書道文化学科		
	教養学科		
	食物栄養学科		
	保育学科		
	幼稚教育学科		
	音楽学科		
	アートデザイン学科		
	大間生活学科		
	食物栄養学科		
	自動車工業科		
	幼稚教育科		
351 美作大学短期大学部			
352 佐賀短期大学			
353 関山短期大学			
354 菅原市立短期大学			
355 順正短期大学			
356 新見公立短期大学			
357 関山県立女子短期大学部			
358 福山市立女子短期大学			
359 広島文化短期大学			
360 安田女子短期大学			
361 比治山女子短期大学部			
363 吴大学短期大学部			
364 山陽女子短期大学			
365 北國短期大学附属短期大学部			
366 岩国短期大学			

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上に繋がり	社旗教育主事、補
吉田短期大学	ビジネス実務科		
山口短期大学	児童教育学科		
367 下関短期大学	電子情報学科		
	栄養健康学科		
368 山口芸術短期大学	保育学科		
	芸術文化学科		
369 山口芸術短期大学	音楽学科		
	生活福祉学科		
370 宇都プロアカデミア大学短期大学部	食物栄養学科		
	保育学科		
371 德島文理大学短期大学部	情報システム学科		
	商科		
	音楽学科		
372 四国大学短期大学部	英語コミュニケーション		
	ビジネス・コミュニケーション		
373 徳島工業短期大学	生活科学科		
	初等教育科		
374 高松短期大学	音楽科		
	音楽科		
375 四国学院短期大学	自動車工学科		
	音楽科		
376 福井丙短期大学	農業教育学科		
	音楽科		
377 香川短期大学	経営情報科		
	生吉文化学科		
	初等教育学科第Ⅰ部		
	幼兒教育学科第Ⅱ部		
378 松山東雲短期大学	保育科		
	生吉科学専攻		
	王古文化学科 / 専攻		
379 松山短期大学	幼稚教育学科		
	バイブルアカデミー学科		
380 号令明徳短期大学	幼兒教育学科		
381 美媛女子短期大学	保育科		

短大名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上 に塗り分け	出現数100以上 に塗り分け
愛媛女子短期大学	農作物栄養科		
聖カタリナ大学短期大学部	健栄栄養学科		
382 萬知学園短期大学	保育系 食物栄養科 幼児教育科 衛生技術科 保健科		
383 高知短期大学	看芸科 第二部		
384 工科女子短期大学	英語科 機電科		
385 九州電機短期大学	電気電子科 情報システム科 テクノフロンティンク学科		
386 西南文学院大学短期大学部	生活創造学科 保健科 生活文化学科 食物栄養学科		
387 築城短期大学	保育科 初等教育科 養護教育科 体育科 学科第一部	●	●
388 折尾愛賀短期大学	経営科 法科第二部 五科第二部 造園科 社会福祉学科	●	●
389 久洲女子短期大学	経営科 初等教育科 養護教育科 体育科 学科第一部	●	●
390 西日本短期大学	法科第二部 五科第二部 造園科 社会福祉学科	●	●
391 福岡工業大学短期大学部	ビジネス情報学科 情報メディア学科 被服学科	●	●
392 香川女子短期大学	被服学科 被服系 総合学科	●	●
393 福岡女子短期大学	被服学科 被服系 総合学科	●	●
394 福岡女子学院大学短期大学部	情報処理学科 英語科	●	●
395 東海大学福岡短期大学	国際文化学科	●	●
396 九州造形短期大学	美術科 デザイン科 写真科 藝術系	●	●
397 福岡医療短期大学	歯科衛生学科	●	●

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出張数100以上 に継がれ	未継
398 中村学園短期大学	保健福祉学科	社旗教育主事、補	
399 純真女子短期大学	家政経済科 食物栄養科 幼児保育科 現代コミュニケーション学科	学芸員	
400 精華女子短期大学	家政学科	司書	
401 端葉女子短期大学	生活科学科／専攻科 幼児保育科／専攻科	司書教諭	
402 福岡女子短期大学	幼稚教育科 現代教育学科	介護福祉士資格	
403 第二保育短期大学	保育学科 生活福祉情報科	社会福祉士	
404 近畿女子短期大学	保育科 看護学科	社会福祉主任用資格	
405 黒マリア学院短期大学	表現学科	訪問介護員関連	
406 九州天谷短期大学	広報学科 幼稚教育学科	スポーツ指導員など	
407 久留米醫愛女子短期大学	幼稚教育学科 保健栄養学科 情報社会学科	ソーシャルワーカー	
408 在賀短期大学	保健栄養学科 幼稚教育学科 保健栄養学科 情報社会学科	介護保険	
409 在賀女子短期大学	生吉保健学科／専攻科 文化コミュニケーション学科 くらし環境学科	福祉住環境コーディネーター	
410 九州龍谷短期大学	人間生活学科／専攻科 保健学科	福祉レックワーカー	
411 玉木女子短期大学	幼児教育学科 生活科学科	音楽療法士	
412 長崎女子短期大学	教師デaign学科 幼児教育学科	保育士	
413 長崎外國語短期大学	英語学科	幼稚園教諭	

短大名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上 に繋がり	出現数100以上 に繋がり
414 長崎純心女子短期大学部	保育科	社旗教育主事、補	
415 長崎短期大学	保育科 英語科 家庭教育専攻	学芸員	
416 商期短期大学	家庭教育科 幼稚教育科	司書	
417 中九州短期大学	商経学科	司書教諭	●
418 天才県立芸術文化短期大学	幼児教育学科 国際文化学科 情報コミュニケーション学科	介護福祉士資格	
419 天才短期大学	美術科 音楽科	社会福祉士	
420 福元城短期大学	園芸科	社会福祉主事任用資格	●
421 郡府大学短期大学部	家政学科 幼稚教育学科 食物栄養学科 経営情報文化科	訪問介護員関連	
422 南九州短期大学	保健科 国際教養学科	スポーツ指導員など	
423 聖心フルーツ女子短期大学	幼稚教育学科 言葉科／専攻	ソーシャルワーカー	
424 宮崎女子短期大学	人間文化学科	介護保険	
425 鹿児島県立短期大学	文学科	福祉住環境コーディネーター	
426 鹿児島純心女子短期大学	生活学科 英語科 生活学科	福祉レックワーカー	
427 鹿児島女子短期大学	商経学科第一部 商経学科第二部	音楽療法士	
428 鹿児島国際大学短期大学部	児童教育学科 情報文化学科 音楽科	保育士	●
429 第一幼兒教育短期大学	幼児教育科	幼稚園教諭	●
430 沖縄女子短期大学	図書ビジネス科	レクリエーション関連	
		キャンフインストラクター	
		小学校教諭	
		小学校、児童英語指導者	
		中学校教諭（保健、体育）	
		中学校教諭（音楽）	
		中学校教諭（美術）	
		中学校教諭（国語）	
		中学校教諭（英語）（仏語）	
		中学校教諭（家庭）	
		中学校教諭（社会）	
		養護教諭	
		公務員試験	
		医療秘書実務士	
		医療秘書士	
		医療管理秘書士	
		医療事務管理士	
		医事コンピューター技能	
		診療報酬請求事務	
		秘書関連	
		情報処理関係	
		ビジネス実務士	
		ビジネス能力検定	
		ビジネス文書関連	

431 沖縄キャリア下教短期大学	短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	出現数100以上に繋がり
	英語科	英語科	社旗教育主事、補	
	保育科	保育科	学芸員	
			司書	
			司書教諭	
			介護福祉士資格	
			社会福祉士	
●			社会福祉主任任用資格	
			訪問介護員関連	
			スポーツ指導員など	
			ソーシャルワーカー	
			介護保険	
			福祉住環境コーディネーター	
			福祉レックワーカー	
			音楽療法士	
●			保育士	
●			幼稚園教諭	
●			レクリエーション関連	
			キャンプインストラクター	
			小学校教諭	
			小学校、児童英語指導者	
			中学校教諭（保健、体育）	
			中学校教諭（音楽）	
			中学校教諭（美術）	
			中学校教諭（国語）	
			中学校教諭（英語）（仏語）	
			中学校教諭（家庭）	
			中学校教諭（社会）	
			養護教諭	
			公務員試験	
			医療秘書実務士	
			医療秘書士	
			医療管理秘書士	
			医療事務管理士	
			医事コンピューター技能	
			診療報酬請求事務	
●			秘書関連	
●			情報処理関係	
●			ビジネス実務士	
			ビジネス能力検定	
			ビジネス文書関連	

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格														
		出張費1000円以上 に備かり														
1 北海道武蔵女子短期大学	英文学科 経済学科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2 礼幌国際大学短期大学部	英語コミュニケーション学科 総合生活学科 幼児教育保育学科 英文学科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3 北星学園大学短期大学部	英語コミュニケーション学科 総合生活学科 幼児教育保育学科 英文学科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4 光藍学園女子短期大学	英語コミュニケーション学科 保健栄養学科ノードプロコース 食物栄養学科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
5 北海道文教大学短期大学部	英語コミュニケーション学科 幼児教育保育学科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6 鹿鳴天香短期大学	英語コミュニケーション学科 幼児教育保育学科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7 函館短期大学	英語コミュニケーション学科 保育科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
8 小樽短期大学	英語コミュニケーション学科 保育科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
9 文化女子大学・室蘭短期大学	英語コミュニケーション学科 自動車工業科第一部 自動車工業科第二部 経営学科 保健科 美術科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
10 北海道自動車短期大学	英語コミュニケーション学科 自動車工業科第一部 自動車工業科第二部 経営学科 保健科 美術科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
11 礼幌女子大学短期大学部	英語コミュニケーション学科 保健科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
12 礼幌天香短期大学	英語コミュニケーション学科 保健科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
13 鹿鳴天香短期大学部	英語コミュニケーション学科 保健科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
14 北海道凌洋学園大学短期大学部	英語コミュニケーション学科 保健科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
15 國學院短期大学	英語コミュニケーション学科 幼児教育保育学科 経営経済学科 保健科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
16 拓殖大学北海道短期大学	英語コミュニケーション学科 保健科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
17 審修大学北海道短期大学	英語システム学科 環境学科 園芸緑地学科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現回数100以上 に備用	出現回数100以上 に備用
旭川女子短期大学部	学部、学科名、専攻	デジタル技術	
帝広大谷短期大学	生活学科 幼児教育学科 社会福祉科 生活科学科	ワープロ検定	
創路短期大学	生活科学科 幼児教育学科 生活科学科	パソコン操作関係	
市立名古屋短期大学	生活科学科 幼児教育学科 音楽科	オフィススペシャリスト	
青森中央短期大学	幼児保育学科／専攻科福祉専攻 ビニーズ・創造学科	初級、上級シニアド	
青森短期大学	現代コミュニケーション学科	ビジネスマナー	
光星学院八戸短期大学	幼児保育学科 現代ビジネス学科	マルチメディア検定	
弘前福祉短期大学	生活福祉学科	インターネット関連	
東北女子短期大学	生活学科 被服科 看護科	ウェブページ関連	
岩手県立短期大学	食物栄養学科／専攻科	基本情報技術者	
盛岡短期大学部	幼児教育科 生活科学科／専攻科	DTP検定	
岩手県立大学盛岡短期大学部	国語文化学科 食物栄養学科 経営情報学科	CG検定	
移転短期大学	幼児教育学科 食物栄養学科 生活創造学科／専攻科	画像処理検定	
岩手県立大学宮古短期大学部	英文科 平文法アート開発総合学科	データベース	
尚潤学院大学女子短期大学部	保健科 生活学科 英文科	コンピューターサービス	
聖和学院短期大学	保健科 生活文化学科	フレゼンテーション実務士	
東北生活文化大学短期大学部	生活文化学科	日本語コミュニケーション	
宮城城南短期大学	保健科 生活文化学科	文章能力、デザイン検定	
秋田県立大学短期大学部	生物工学科 機械工学科 保健科	日本語力測定	
聖國学院短期大学	看護学科	実用英語技能検定	
日本赤十字秋田短期大学		TOEIC, TOEFL	

短大名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数(100件以上に統計)	未統計
日本赤十字学校田短期大学	介護福祉学科 芸術美術学科	デジタル技術	
40 枝田公立美術工芸短期大学	産業デザイン学科	ワープロ検定	
41 枝田経済法科大学短期大学部	商経情報学科 生活文化学科	パソコン操作関係	
42 聖心女子短期大学	生活文化学科 生活文化学科	オフィススペシャリスト	
43 枝田短期大学 (枝田看護福祉大学になる)	言語学科 音楽学科 人間福祉学科 他専社会学科 認知文化学科 子ども学科	初級、上級シニアド	
44 山形短期大学	国語国文学科 英語英文学科 社会情報学科	ビジネスマナー	
45 山形県立米沢女子短期大学	健康栄養学科 幼児教育学科／等級学科 食物栄養科	マルチメディア検定	
46 福島学院大学短期大学部	保育科第一部 保育科第二部 情報ビジネス学科	インターネット関連	
47 桜の聖母短期大学	王浩学科 家政科 保健科 王浩芸術科 音楽科	ウェブページ関連	
48 都山女子大学短期大学部	文化学科 産業情報学科 社会福利学科 初等教育学科／専攻科	基本情報技術者	
49		DTP検定	
50 芽津大学短期大学部	文化学科 産業情報学科 食物栄養学科 社会福利学科	CG検定	
51 ひづき短期大学	初等教育学科／専攻科 人間生活学科	画像処理検定	
52 つばさ国際短期大学	保育科 看護学科 アサマン学科	データベース	
53 研修技術短期大学	機械工学科	コンピューターサービス	
		フレゼンテーション実務士	
		日本語コミュニケーション	
		文章能力、デザイン検定	
		日本語力測定	
		実用英語技能検定	
		TOEIC, TOEFL	
		工業英検	
		商業英語検定、国連英語	
		通訳関連	
		韓国、仏語他能力	
		漢字検定	
		硬筆毛筆書写検定	
		FP技能検定	
		CAD利用技術者検定	
		建築CAD検定	
		トレース検定	
		(管理)栄養士	
		調理師	
		キッチンスペシャリスト	
		栄養教諭	
		フードスペシャリスト	
		フードサイエンティスト	
		製菓衛生士	
		家庭料理検定	
		食品衛生関係	

短大名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上 に繋げる	出現数100以上 に繋げる
筑波技術短期大学			デジタル技術
	建築工学科		ワープロ検定
	電子情報学科		パソコン操作関係
	群众学科		オフィススペシャリスト
	生活科学科		初級、上級シニアド
	情報処理学科		ビジネスマナー
	経済情報学科		マルチメディア検定
	幼稚教育保育学科		インターネット関連
	音楽学科		ウェブページ関連
	生活科学科		基本情報技術者
	国際学科		DTP検定
	保健学科		CG検定
	地政学科		画像処理検定
	音楽科		データベース
	人間福祉学科		コンピューターサービス
	幼稚教育科		プレゼンテーション実務士
	経営科		日本語コミュニケーション
	幼児教育科		文章能力・デザイン検定
	第二部		日本語力測定
			実用英語技能検定
			TOEIC, TOEFL
			工業英検
			商業英語検定、国連英語
			通訳関連
			韓国、仏語他能力
			漢字検定
			硬筆毛筆書写検定
			FP技能検定
			CAD利用技術者検定
			建築CAD検定
			トレース検定
			(管理) 栄養士
			調理師
			キッチンスペシャリスト
			栄養教諭
			フードスペシャリスト
			フードサイエンティスト
			製菓衛生士
			家庭料理検定
			食品衛生関係
東京農業大学筑波女子大学短期大学部	建築工学科	●	
常磐短期大学	電子情報学科	●	
茨城女子短期大学	群众学科	●	
宇都宮文星短期大学	生活科学科	●	
宇都宮短期大学	情報処理学科	●	
作新学院大学女子短期大学部	保健学科	●	
白鶴大学女子短期大学部	音楽科	●	
足利短期大学	人間福祉学科	●	
佐野短期大学	幼稚教育科	●	
国学院大学都市短期大学	経営科	●	
青英短期大学	国文学科	●	
高崎短期大学	保健学科	●	
新潟大学園短期大学	音楽学科	●	
高崎商科大学短期大学部	群众学科	●	
明和学院短期大学	現代ゴミユーティリティ学科	●	
群馬県立医療短期大学	保健学科	●	

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出身数100以上 に編掛け	
群馬県立医療短期大学	診療放射線学科		デジタル技術
群馬社会福祉短期大学 短期大学部	介護福祉学科	●	ワープロ検定
群馬松葉福祉短期大学	大曾福井学科	●	パソコン操作関係
73 南東短期大学	日本語文化学科	●	オフィススペシャリスト
74 群馬ハイテク短期大学	経済社会情報学科	●	初級、上級シニアド
75 布生短期大学	こども学科	●	ビジネスマナー
76 国際学院埼玉短期大学	看護学科	●	マルチメディア検定
77 川口短期大学	生活科学科	●	インターネット関連
78 浦和短期大学部	看護法医学科	●	ウェブページ関連
79 上野学園大学短期大学部	看護実践学科	●	基本情報技術者
80 埼玉県立大学短期大学部	看護学科	●	DTP検定
81 弁榮学園短期大学	第1看護学科	●	CG検定
82 埼玉短期大学	第2看護学科	●	画像処理検定
83 埼玉短期女子短期大学	歯科衛生学科	●	データベース
84 埼玉女子短期大学(部)	看護衛生学科	●	コンピューターサービス
85 町村学園短期大学	国際コミュニケーション学科	●	プレゼンテーション実務士
86 埼玉医科大学短期大学	英語コミュニケーション学科	●	日本語コミュニケーション
87 埼玉女子短期大学	情報メディア学科	●	文章能力、デザイン検定
	乳幼児保健学科	●	日本語力測定
	経営情報実務学科	●	実用英語技能検定
	現代文化学科	●	TOEIC, TOEFL
	コミュニケーション学科	●	工業英検
	こども学科	●	商業英語検定、国連英語
	経営情報実務学科	●	通訳関連
	保健学科	●	韓国、仏語他能力
	臨床検査学科	●	漢字検定
	看護学科	●	硬筆毛筆書写検定
	商学科	●	FP技能検定
		●	CAD利用技術者検定
		●	建築CAD検定
		●	トレース検定
		●	(管理)栄養士
		●	調理師
		●	キッチンスペシャリスト
		●	栄養教諭
		●	フードスペシャリスト
		●	フードサイエンティスト
		●	製菓衛生士
		●	家庭料理検定
		●	食品衛生関係

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上に統計	出願用
埼玉女子短期大学	国際コミュニケーション学科	デジタル技術	
武藏野短期大学	幼児教育学科	ワープロ検定	
千文字学園女子大学短期大学部	文学科	パソコン操作関係	
90 武蔵丘短期大学	健康生活科	オフィススペシャリスト	
91 株式会社短期大学	日本文化表現学科	初級、上級シニアド	
92 千葉明徳短期大学	ビジネススマネジメント学科	ビジネスマナー	
93 千葉県立衛生短期大学	幼児教育学科第一部、第二部 地乳保健学科第一部、第二部 保健創造学科	マルチメディア検定	
94 日本基督教短期大学	第2看護学科 歯科衛生学科 栄養学科	インターネット関連	
95 千葉経済大学短期大学部	英語コミュニケーション学科 キリスト教学科 じごとく学科	ウェブページ関連	
96 植草学園短期大学	福祉学科	基本情報技術者	
97 東洋女子短期大学	英語コミュニケーション学科	DTP検定	
98 江戸川短期大学	文化コミュニケーション学科	CG検定	
99 聖心大学短期大学部	保育科 保育科第二部 介護福祉学科第一部 介護福祉学科第二部	画像処理検定	
100 東京経営短期大学	総合文化学科 経営芸術学科 人間生活学科 初等教育科	データベース	
101 昭和学院短期大学	大日本アート栄養学科	コンピューターサービス	
102 千葉敬愛短期大学	看護学科	プレゼンテーション実務士	
103 帝京平成短期大学	児童教育学科	日本語コミュニケーション	
104 清和大学短期大学部	英語コミュニケーション学科	文章能力デザイン検定	
105 三善学院短期大学	看護学科	日本語力測定	
106 日本大学短期大学部二年	建設学科 応用化学科 基礎工学科	実用英語技能検定	
107 共立女子短期大学	生活科学 文科第一部 文科第二部 看護学科	TOEIC, TOEFL	
		工業英検	
		商業英語検定、国連英語	
		通訳関連	
		韓国、仏語他能力	
		漢字検定	
		硬筆毛筆書写検定	
		FP技能検定	
		CAD利用技術者検定	
		建築CAD検定	
		トレース検定	
		(管理)栄養士	
		調理師	
		キッチンスペシャリスト	
		栄養教諭	
		フードスペシャリスト	
		フードサイエンティスト	
		製菓衛生士	
		家庭料理検定	
		食品衛生関係	

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格		
		出現数100以上に掲載	未掲載	
日本女子短期大学部①	商経学科 食物栄養学科 生活科学科 国文科 英文科 家政科 看護科 食物栄養科 情報コミュニケーション学科	デジタル技術 ワープロ検定 パソコン操作関係 オフィススペシャリスト 初級、上級シニアド ビジネスマナー マルチメディア検定 インターネット閑連 ウェブページ閑連 基本情報技術者 DTP検定 CG検定 画像処理検定 データベース コンピューターサービス プレゼンテーション実務士 日本語コミュニケーション 文章能力、デザイン検定 日本語力測定 実用英語技能検定 TOEIC, TOEFL 工業英検 商業英語検定、国連英語 通訳閑連 韓国、仏語他能力 漢字検定 硬筆毛筆書写検定 FP技能検定 CAD利用技術者検定 建築CAD検定 トレース検定 (管理)栄養士 調理師 キッチンスペシャリスト 栄養教諭 フードスペシャリスト フードサイエンティスト 製菓衛生士 家庭料理検定 食品衛生関係	●	
東京家政学院短期大学部	生活科学科 国文科 英文科 家政科 看護科 食物栄養科 情報コミュニケーション学科	●		
天理女子短期大学部	生活科学科 国文科 英文科 家政科 看護科 食物栄養科 情報コミュニケーション学科	●		
戸板女子短期大学	生活科学科 国文科 英文科 家政科 看護科 食物栄養科 情報コミュニケーション学科	●		
山陽学院短期大学	商経学科 食物栄養学科 生活科学科 国文科 英文科 家政科 看護科 食物栄養科 情報コミュニケーション学科	●		
東海大学短期大学部(高輪)	商経学科 食物栄養学科 生活科学科 国文科 英文科 家政科 看護科 食物栄養科 情報コミュニケーション学科	●		
東邦音楽短期大学	商経学科 食物栄養学科 生活科学科 国文科 英文科 家政科 看護科 食物栄養科 情報コミュニケーション学科	●		
跡見学園女子短期大学部	商経学科 食物栄養学科 生活科学科 国文科 英文科 家政科 看護科 食物栄養科 情報コミュニケーション学科	●		
文京学院短期大学	商経学科 食物栄養学科 生活科学科 国文科 英文科 家政科 看護科 食物栄養科 情報コミュニケーション学科	●		
東京成徳短期大学	商経学科 食物栄養学科 生活科学科 国文科 英文科 家政科 看護科 食物栄養科 情報コミュニケーション学科	●		
星美学園短期大学	商経学科 食物栄養学科 生活科学科 国文科 英文科 家政科 看護科 食物栄養科 情報コミュニケーション学科	●		
聖德栄養短期大学	商経学科 食物栄養学科 生活科学科 国文科 英文科 家政科 看護科 食物栄養科 情報コミュニケーション学科	●		
愛國学園短期大学	商経学科 食物栄養学科 生活科学科 国文科 英文科 家政科 看護科 食物栄養科 情報コミュニケーション学科	●		
汐玉短期大学	商経学科 食物栄養学科 生活科学科 国文科 英文科 家政科 看護科 食物栄養科 情報コミュニケーション学科	●		
杉野服飾短期大学部	商経学科 食物栄養学科 生活科学科 国文科 英文科 家政科 看護科 食物栄養科 情報コミュニケーション学科	●		
青山学院女子短期大学	商経学科 食物栄養学科 生活科学科 国文科 英文科 家政科 看護科 食物栄養科 情報コミュニケーション学科	●		
帝京短期大学	商経学科 食物栄養学科 生活科学科 国文科 英文科 家政科 看護科 食物栄養科 情報コミュニケーション学科	●		
文化女子短期大学部	商経学科 食物栄養学科 生活科学科 国文科 英文科 家政科 看護科 食物栄養科 情報コミュニケーション学科	●		
向島短期大学	商経学科 食物栄養学科 生活科学科 国文科 英文科 家政科 看護科 食物栄養科 情報コミュニケーション学科	●		
昭和女子短期大学部	商経学科 食物栄養学科 生活科学科 国文科 英文科 家政科 看護科 食物栄養科 情報コミュニケーション学科	●		

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上 に統計	出典
128 東京農業大学短期大学部	生活文化学科 生活文化学科 第二部	デジタル技術	
	食物栄養学科	ワープロ検定	
	初等教育学科	ハソコン操作関係	
	生物生産技術学科	オフィススペシャリスト	
	環境緑地学科	初級、上級シスアド	
	園芸学科	ビジネスマナー	
129 成城大学短期大学部	保健学科	マルチメディア検定	
130 日本体育大学女子短期大学	保育科	インターネット関連	
131 東横字園女子短期大学	言語コミュニケーション学科	ウェブページ関連	
132 産能短期大学	ファーティック学科	基本情報技術者	
133 目白大学短期大学部	能率学科 第二部	DTP検定	
	能率学科 第一部	CG検定	
	生活科学科	画像処理検定	
	子ども学科	データベース	
	保健学科	コンピューターサービス	
134 宝仙学院短期大学	造形藝術学科	フレゼンテーション実務士	
135 東京文化短期大学	英語コミュニケーション学科	日本語コミュニケーション	
136 国際短期大学	情報ネットワーク学科	文章能力・デザイン検定	
137 東京立正女子短期大学	現代コミュニケーション学科	日本語力測定	
138 文子美術大学短期大学部	造形学科	実用英語技能検定	
139 立教女子短期大学	英語科	TOEIC, TOEFL	
140 東京交通短期大学	幼児教育科 / 幼児教育科 第二部	工業英検	
141 文子美術大学短期大学部	造形学科	商業英語検定、国連英語	
142 東京家政大学短期大学部	保健学科	通訳関連	
	栄養学科	韓国、仏語他能力	
	保健科	漢字検定	
	国際コミュニケーション科	硬筆毛筆書写検定	
143 初徳短期大学	社会福祉学科	FP技能検定	
144 日本赤十字武藏野短期大学	食物栄養学科	CAD利用技術者検定	
145 藤郷短期大学短期大学	看護学科 / 看護科	建築CAD検定	
146 南朋学院短期大学	経営科	トレース検定	
147 東京女子体育短期大学	保健体育学科	(管理)栄養士	
	児童教育学科	調理師	
		キッチンスペシャリスト	
		栄養教諭	
		フードスペシャリスト	
		フードサイエンティスト	
		製菓衛生士	
		家庭料理検定	
		食品衛生関係	

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上に編入	に編入
148 日海字国短期大学	歯科 歯科補助学科		
149 薬院女子短期大学部	心理学科 保健科		
150 実践女子短期大学	ビジネスコミュニケーション学科 日本語コミュニケーション学科 英語コミュニケーション学科	●	●
151 帝京大学短期大学	生活福祉学科 食物栄養学科 運動器讀学科	●	●
152 ヤマサギ動物看護短期大学	情報ビジネス学科 美容芸術学科	●	●
153 山野美容芸術短期大学	美容保健学科 現代ビジネス学科	●	●
154 刷画女子短期大学	英語英文科 英語英文科	●	●
155 桜美林女子短期大学部	幼児教育学科 師範形科	●	●
156 桜京田中短期大学	こども学科		
158 東京都立短期大学	経営情報学科一部 経営情報学科二部 経営システム学科 都市生活学科 健康栄養学科 食物栄養学科	●	●
159 嘉祥女子短期大学	保健科 看護学科 英文科	●	●
160 川崎市立藝術短期大学	幼稚教育科 人間文化学科	●	●
161 洋足字園短期大学	情報学科	●	●
162 田園調布全国短期大学短期大学部	造形美術科	●	●
163 フリーダム短期大学	文ディアブ情報学科	●	●
164 横浜創英短期大学	生活整形学科	●	●
165 横浜美術短期大学	生物栄養学科	●	●
166 相模女子大学短期大学部	児童福祉学科	●	●
167 相模女子大学短期大学部	和樂短期大学		

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上に網掛け	
168 鹿児島大学短期大学部	国文科 保健科／専攻科 歯科衛生科 英語科 看護学科 高経学科 歯科衛生学科 初期教育学科 ビーマンコミュニケーション学科 生活フロデューズ学科 体育学科 情報ビジネス学科 総合ビジネス学科 音楽科 初等教育学科 家政学科 幼児教育学科 国語ビジネス学科 教学科 生活環境学科 健康栄養学科 英語科 看護学科 自動車工業科 システィムデザイン学科 国際技工工学科 歯科衛生士学科 国際教養学科 英文学科 国語教育学科 生活文化学科 幼児教育学科 国際文化学科 人間総合学科 歯科衛生学科 経営情報学科 福祉学科	デジタル技術 ワープロ検定 パソコン操作関係 オフィススペシャリスト 初級、上級シスアド ビジネスマナー マルチメディア検定 インターネット関連 ウェブページ閲覧 基本情報技術者 DTP検定 CG検定 画像処理検定 データベース コンピューターサービス ●プレゼンテーション実務士 日本語コミュニケーション 文章能力、デザイン検定 日本語力測定 実用英語技能検定 TOEIC, TOEFL 工業英検 商業英語検定、国連英語 通訳翻訳 韓国、仏語他能力 漢字検定 硬筆毛筆書写検定 FP技能検定 CAD利用技術者検定 建築CAD検定 トレース検定 (管理)栄養士 調理師 キッチンスペシャリスト 栄養教諭 フードスペシャリスト フードサイエンティスト 製菓衛生士 家庭料理検定 食品衛生関係	デジタル技術 ワープロ検定 パソコン操作関係 オフィススペシャリスト 初級、上級シスアド ビジネスマナー マルチメディア検定 インターネット関連 ウェブページ閲覧 基本情報技術者 DTP検定 CG検定 画像処理検定 データベース コンピューターサービス ●プレゼンテーション実務士 日本語コミュニケーション 文章能力、デザイン検定 日本語力測定 実用英語技能検定 TOEIC, TOEFL 工業英検 商業英語検定、国連英語 通訳翻訳 韓国、仏語他能力 漢字検定 硬筆毛筆書写検定 FP技能検定 CAD利用技術者検定 建築CAD検定 トレース検定 (管理)栄養士 調理師 キッチンスペシャリスト 栄養教諭 フードスペシャリスト フードサイエンティスト 製菓衛生士 家庭料理検定 食品衛生関係
169 福井女子短期大学			
170 神奈川県立外語短期大学			
171 福井市立大学看護短期大学部			
172 湘南短期大学			
173 聖マリアンナ女子短期大学			
174 浅井短期大学			
175 昭和音楽大学短期大学部			
176 豊富女子大学短期大学部			
177 小田原女子短期大学			
178 湘南国際女子短期大学			
179 日本大学短期大学部			
180 文教大学女子短期大学部			
181 工習短期大学			
182 東洋工業大学医療技術短期大学			
183 新潟工業大学短期大学			
184 明徳短期大学			
185 県立新宿女子短期大学			
186 新潟青陵大学短期大学部			
187 日本医科大学新潟短期大学			
188 新潟中央短期大学			
189 畠山短期大学			

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出願数100以上に範囲け	
190 高崎短期大学	食物栄養学科 幼稚園教員学科 産業デザイン学科 地域ビジネス学科 社会介護福祉士専攻 生物資源学科 環境システム工学科 経営実務科 生活デザイン学科 食物栄養学科 英語コミュニケーション学科 教養学科 保育学科 食物栄養学科 人間福祉学科 生物生産学科 農業工学科 食品科学科 農業情報科 幼稚園教育学科 美術学科 ビジネス実務学科 生活科学学科 初歩教育学科 音楽学科 経営学科 日本史学科 看護学科 復興栄養科 保健学科 経済学科 経営学科 生活科学科 保健学科 多文化コミュニケーション学科 経済学科 国際コミュニケーション学科	デジタル技術 ワープロ検定 パソコン操作関係 オフィススペシャリスト 初級、上級シスアド ビジネスマナー マルチメディア検定 インターネット関連 ウェブページ閲覧 基本情報技術者 DTP検定 CG検定 画像処理検定 データベース コンピューターサービス プレゼンテーション実務士 日本語コミュニケーション 文書能力、デザイン検定 日本語力測定 実用英語技能検定 TOEIC, TOEFL 工業英検 商業英語検定、国連英語 通訳関連 韓国、仏語他能力 漢字検定 硬筆毛筆書写検定 FP技能検定 CAD利用技術者検定 建築CAD検定 トレース検定 ● (管理)栄養士 調理師 キッチンスペシャリスト 栄養教諭 ● フードスペシャリスト フードサイエンティスト 製菓衛生士 家庭料理検定 食品衛生関係	
191 箱山福祉短期大学	箱山福祉短期大学短期大学部		
192 箱山県立大学短期大学部			
193 星稜女子短期大学	星稜女子短期大学		
194 亞沢学院短期大学	亞沢学院短期大学		
195 北陸学院短期大学	北陸学院短期大学		
196 石川県立農業短期大学	(石川県立大学へ)		
197 小松短期大学	小松短期大学		
198 金城女子短期大学部	金城女子短期大学部		
199 比翼女子短期大学	比翼女子短期大学		
200 教養短期大学	教養短期大学		
201 山梨県立看護大学短期大学部	山梨県立看護大学短期大学部		
202 山梨学院短期大学	山梨学院短期大学		
203 天理短期大学	天理短期大学		
204 帝京女子短期大学	帝京女子短期大学		
205 裕野女子短期大学	裕野女子短期大学		
206 裕野県短期大学	裕野県短期大学		
207 長野経済短期大学	長野経済短期大学		
208 清葉女子学院短期大学	清葉女子学院短期大学		

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上に掲げ	
信州短期大学			
210 玉田女子短期大学	経営情報学科 ライフルマニシメント学科 観光学科 商学科	デジタル技術 ワープロ検定 パソコン操作関係 オフィススペシャリスト 初級、上級シスアド ビジネスマーク マルチメディア検定 インターネット関連 ウェブページ関連 基本情報技術者 DTP検定 CG検定 画像処理検定 データベース コンピューターサービス プレゼンテーション実務士 日本語コミュニケーション 文章能力、デザイン検定 日本語力測定 実用英語技能検定 TOEIC, TOEFL 工業英検 商業英語検定、国連英語 通訳関連 韓国、仏語他能力 漢字検定 硬筆毛筆書写検定 FP技能検定 CAD利用技術者検定 建築CAD検定 トレース検定 (管理)栄養士 調理師 キッチンスペシャリスト 栄養教諭 フードスペシャリスト フードサイエンティスト 製菓衛生士 家庭料理検定 食品衛生関係	
211 松本大学松商短期大学部	経営情報学科 ライフルマニシメント学科 観光学科 商学科		
212 飯田女子短期大学	経営情報学科 ライフルマニシメント学科 観光学科 商学科		
213 松本短期大学	経営情報学科 ライフルマニシメント学科 観光学科 商学科		
214 信州聖南短期大学短期大学部	経営情報学科 ライフルマニシメント学科 観光学科 商学科		
215 破早市立女子短期大学	経営情報学科 ライフルマニシメント学科 観光学科 商学科		
216 破早医療技術短期大学	経営情報学科 ライフルマニシメント学科 観光学科 商学科		
217 破早医療技術短期大学	経営情報学科 ライフルマニシメント学科 観光学科 商学科		
218 中部学院大学短期大学部	経営情報学科 ライフルマニシメント学科 観光学科 商学科		
219 天理女子短期大学	経営情報学科 ライフルマニシメント学科 観光学科 商学科		
220 東海女子短期大学	経営情報学科 ライフルマニシメント学科 観光学科 商学科		
221 正眼短期大学	経営情報学科 ライフルマニシメント学科 観光学科 商学科		
222 中日本官修専修短期大学	経営情報学科 ライフルマニシメント学科 観光学科 商学科		
223 高山短期大学	経営情報学科 ライフルマニシメント学科 観光学科 商学科		
224 中京短期大学	経営情報学科 ライフルマニシメント学科 観光学科 商学科		
225 常葉学園短期大学	経営情報学科 ライフルマニシメント学科 観光学科 商学科		

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出願認定100以上に掲げ	
226 筑波大学短期大学部(静岡)	英語英文科 看護科 音楽科 大同環境学科 食物栄養学科 児童教養学科 経営情報学科 現代コミュニケーション学科 最初字科 第二音讀字科 菌科衛生学科 社会福祉学科 介護福祉学科 幼兒教育科第一部 幼兒教育科第二部 幼兒教育・保健科 美術教育科 介護福祉学科 ライフデザイン学科 自動車工業学科 経営学科 英語科	● ワープロ検定 ● パソコン操作関係 ● オフィススペシャリスト ● 初級、上級シスアド ● ビジネスマナー ● マルチメディア検定 ● インターネット関連 ● ウェブページ閲覧 ● 基本情報技術者 ● DTP検定 ● CG検定 ● 画像処理検定 ● データベース ● コンピューターサービス ● フレゼンテーション実務士 ● 日本語コミュニケーション ● 文章能力、デザイン検定 ● 日本語力測定 ● 実用英語技能検定 ● TOEIC, TOEFL ● 工業英検 ● 商業英語検定、国連英語 ● 通訳関連 ● 韓国、仏語他能力 ● 漢字検定 ● 硬筆毛筆書写検定 ● FP技能検定 ● CAD利用技術者検定 ● 建築CAD検定 ● トレイス検定 ● (管理)栄養士 ● 調理師 ● キッチンスペシャリスト ● 栄養教諭 ● フードスペシャリスト ● フードサイエンティスト ● 製菓衛生士 ● 家庭料理検定 ● 食品衛生関係	デジタル技術
227 静岡英和学院短期大学部	静岡県立大学短期大学部		
228 静岡県立大学短期大学部	静岡県立大学短期大学部		
229 静岡福祉短期大学部	五松学院短期大学部		
230 豊橋創造大学短期大学部	愛知新城百合短期大学部		
231 豊橋創造大学短期大学部	愛知工科大学短期大学部		
232 豊橋産業大学短期大学部	愛知産業大学短期大学部		
233 愛知工科大学短期大学部	豊橋女子短期大学		
234 愛知工科大学短期大学部	豊橋女子短期大学		
235 愛知工業大学短期大学部	豊橋女子短期大学		
236 豊橋女子短期大学	豊橋女子短期大学		
237 愛知県短期大学	豊橋女子短期大学		
238 名古屋文理大学短期大学部	名古屋文化短期大学部		
239 名古屋文化短期大学部	愛知県立大学短期大学部		
240 愛知県立大学短期大学部	東邦大学短期大学		
241 名古屋短期大学	名古屋短期大学		
242 南山短期大学	南山短期大学		
243 愛知女子短期大学部	愛知女子短期大学部		
244 愛知女子短期大学部	名古屋女子大学短期大学部		
245 名古屋女子大学短期大学部	名古屋女子大学短期大学部		

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上に繋げる	出典
246 光陵女子短期大学	英語科	デジタル技術	
247 名古屋芸術短期大学部	国際コミュニケーション学科 言語コミュニケーション学科 ビジネス情報学科	ワープロ検定	
248 藤田保健衛生大学短期大学	生活科学科 衛生技術科 医療情報技術科	パソコン操作関係	
249 名古屋短期大学	現代教養学科 英語コミュニケーション学科	オフィススペシャリスト	
250 中京女子大学短期大学部	保育科 言語科 教養学科	初級、上級シニアド	
251 名古屋芸術短期大学部	生活科学科 社会福祉学科 現代幼児学科第一部	ビジネスマナー	
252 美知江南短期大学	商経科 生活文化学科 保育科	マルチメディア検定	
253 名古屋経済大学短期大学部	現代コミュニケーション学科 人間情報学科 ビデオ又は美術学科	インターネット閲覧	
254 名古屋造形芸術大学短期大学部	造形藝術科第二部／専攻科	ウェブページ閲覧	
255 名古屋経営短期大学	人間情報学科 造形藝術科	基本情報技術者	
256 二宮女子短期大学	生活文化学科第一部 幼児教育学科第一部 生活文化学科第三部	DTP検定	
257 美知文教女子短期大学	生活文化学科第二部／専攻科 幼児教育学科第一部 デザインノート学科第一部	CG検定	
258 静鹿国际大学短期大学部	生活科学科 生涯科第二部	画像処理検定	
259 三重短期大学	生活科学科 オフィス情報学科	データベース	
260 高田短期大学	幼児教育学科	コンピューターサービス	

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上に範囲付	
261 松坂大学短期大学部 (三重中京大学短期大学部)	食物栄養学科 幼児教育・保育学科 生活学科	デジタル技術	
262 滋賀女子短期大学	幼稚教育保育学科 ビッグスコミュニケーション学科 介護福祉学科	ワープロ検定	
263 聖泉大学短期大学部	企業マネジメント学科 国文科	パソコン操作関係	
264 滋賀文教短期大学	初等教育学科 人間福祉学科／専攻科	オフィススペシャリスト	
265 滋賀文化短期大学	国文科 初等教育学科 文化芸術学科	初級、上級システム	
266 池坊短期大学	環境文化学科 文化学科	ビジネスマナー	
267 天谷大学短期大学部	初等教育学科 文化学科	マルチメディア検定	
268 京都市立看護短期大学	看護科 看護福祉学科	インターネット関連	
269 華頂短期大学	生活学科 幼児教育学科 看護科	ウェブページ関連	
270 京都女子大学短期大学部	文学科 生活学科 英語学科	基本情報技術者	
271 京都産業短期大学	経営情報学科 家政学科	DTP検定	
272 京都文教短期大学	生活整形学科 美術学科	CG検定	
273 聖母文学院短期大学	児童教育学科 国際文化学科 看護福祉科／専攻科	画像処理検定	
274 龍谷大学短期大学部	看護福祉科／専攻科	データベース	
275 京都光華女子大学短期大学部	生活健康学科 英語科第二部	コンピューターサービス	
276 京都外國語短期大学	美術学科	プレゼンテーション実務士	
277 京都嵯峨美術短期大学部	伝統藝術科	日本語コミュニケーション	
278 京都西山短期大学	伝統藝術科	文章能力、デザイン検定	
279 京都短期大学	修養成駆築技術学科	日本語力測定	
280 京都医療技術短期大学	柔道整復学科	実用英語技能検定	
281 明治薬業大学医療技術短期大学部	看護学科	TOEIC、TOEFL	
282 大阪成蹊短期大学	看護学科	工業英検	
大坂成蹊短期大学	觀光学科	商業英語検定、国連英語	
		通訳関連	
		韓国、仏語他能力	
		漢字検定	
		硬筆毛筆書写検定	
		FP技能検定	
		CAD利用技術者検定	
		建築CAD検定	
		トレース検定	
		(管理)栄養士	
		調理師	
		キッチンスペシャリスト	
		栄養教諭	
		フードスペシャリスト	
		フードサイエンティスト	
		製菓衛生士	
		家庭料理検定	
		食品衛生関係	

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上に網掛け	
283 大阪工業大学短期大学部	表現文化学科 経営会計学科 建築学科第一部 土木工学科第二部 電気工学科第二部 機械工学科第二部 人間環境学科 初等教育学科 英語科 ファーリッシュ表現学科 最初教育学科 国際教養学科 神学科	●	デジタル技術
285 大阪音楽短期大学	日本語表現学科 舞台芸術学科 人間保健学科／専攻科 英米文化学科 広報学科 保健学科第一部 経営テクノロジー学科 幼児教育科 大商關係学科 王古学科 音楽科	●	ワープロ検定
286 大阪女子大学短期大学 (大阪夕陽丘国短期大学)	アートショウ表現学科 最初教育学科 国際教養学科 神学科	●	パソコン操作関係
287 大阪ギフト下教短期大学	生活情報学科 舞台芸術学科 人間保健学科 英米文化学科 広報学科 保健学科第一部 経営テクノロジー学科 幼児教育科 大商關係学科 王古学科 音楽科	●	オフィススペシャリスト
288 大阪城南女子短期大学	日本語表現学科 舞台芸術学科 人間保健学科 英米文化学科 広報学科 保健学科第一部 経営テクノロジー学科 幼児教育科 大商關係学科 王古学科 音楽科	●	初級、上級シスアド
289 大阪芸術短期大学部	日本語表現学科 舞台芸術学科 人間保健学科 英米文化学科 広報学科 保健学科第一部 経営テクノロジー学科 幼児教育科 大商關係学科 王古学科 音楽科	●	ビジネスマナー
290 常習会短期大学	●	マルチメディア検定	
291 相愛女子短期大学	●	インターネット関連	
292 大阪音楽短期大学部	●	ウェブページ関連	
293 大阪青山短期大学	●	基本情報技術者	
294 大阪学院短期大学	●	DTP検定	
295 千里金蘭短期大学部	●	CG検定	
296 大阪薫英女子短期大学	●	画像処理検定	
297 藍野学院短期大学	●	データベース	
298 鹤花女子大学短期大学部	●	コンピューターサービス	
	●	プレゼンテーション実務士	
	●	日本語コミュニケーション	
	●	文筆能力、デザイン検定	
	●	日本語力測定	
	●	実用英語技能検定	
	●	TOEIC, TOEFL	
	●	工業英検	
	●	商業英語検定、国連英語	
	●	通訳関連	
	●	韓国、仏語他能力	
	●	漢字検定	
	●	硬筆毛筆書写検定	
	●	FP技能検定	
	●	CAD利用技術者検定	
	●	建築CAD検定	
	●	トレース検定	
	●	(管理)栄養士	
	●	調理師	
	●	キッチンスペシャリスト	
	●	栄養教諭	
	●	フードスペシャリスト	
	●	フードサイエンティスト	
	●	製菓衛生士	
	●	家庭料理検定	
	●	食品衛生関係	

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上 に絞りけ	
299 平安女子学院大学短期大学部	日本語表現科 英語コミュニケーション学科 保育科	デジタル技術 ● ワープロ検定 ● ハソコン操作関係 オフィススペシャリスト 初級、上級シスアド ビジネスマナー マルチメディア検定 インターネット関連 ウェブページ関連 基本情報技術者 DTP検定 CG検定 画像処理検定 データベース コンピューターサービス フレゼンテーション実務士 ● 日本語コミュニケーション ● 文章能力、デザイン検定 日本語力測定 実用英語技能検定 TOEIC, TOEFL 工業英検 商業英語検定、国連英語 通訳関連 韓国、仏語他能力 ● 漢字検定 ● 硬筆毛筆書写検定 FP技能検定 CAD利用技術者検定 建築CAD検定 トレース検定 (管理)栄養士 調理師 キッチンスペシャリスト 栄養教育 フードスペシャリスト フードサイエンティスト 製菓衛生士 家庭料理検定 食品衛生関係	
300 天阪国際大学短期大学部	国際コミュニケーション学科 英語コミュニケーション学科 保育科		
301 天阪電気通信大学短期大学部	国際コミュニケーション学科 英語コミュニケーション学科 保育科		
302 関西外国语大学短期大学部	国際コミュニケーション学科 英語コミュニケーション学科 保育科		
303 四條畷学園短期大学	国際コミュニケーション学科 英語コミュニケーション学科 保育科		
304 天阪産業短期大学短期大学部	国際コミュニケーション学科 英語コミュニケーション学科 保育科		
305 近畿短期大学短期大学部	国際コミュニケーション学科 英語コミュニケーション学科 保育科		
306 東天阪短期大学短期大学部	国際コミュニケーション学科 英語コミュニケーション学科 保育科		
307 優勝東女子短期大学	国際コミュニケーション学科 英語コミュニケーション学科 保育科		
308 関西女子短期大学	国際コミュニケーション学科 英語コミュニケーション学科 保育科		
309 四天王寺国际弘教短期大学短期大学部	国際コミュニケーション学科 英語コミュニケーション学科 保育科		
310 天阪女子短期大学	国際コミュニケーション学科 英語コミュニケーション学科 保育科		
311 天谷女子短期大学	国際コミュニケーション学科 英語コミュニケーション学科 保育科		
312 天阪千代田短期大学	国際コミュニケーション学科 英語コミュニケーション学科 保育科		
313 女子短期大学	国際コミュニケーション学科 英語コミュニケーション学科 保育科		
314 天阪健康福祉短期大学	介護福祉学科 介護福祉学科		
315 フジル学園短期大学部	介護福祉学科 介護福祉学科		
316 天阪体育短期大学部	介護福祉学科 介護福祉学科		
317 神戸山手短期大学	日本語・日本文化学科 英語文化学科 生活学科		
318 神戸女子短期大学	表現芸術学科 舞台芸術学科		

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上に統計	
319 神戸常盤短期大学	初等教育学科 幼稚教育科 衛生技術科 看護学科 健康文化学科 文芸科 家政科 国際教養科 英語コミュニケーション学科 生活適応学科 保健科	●	デジタル技術
320 神戸学院女子短期大学 (神戸学院大学へ)	幼児教育学科 電気電子工学科 情報処理工学科 機械工学科 システムデザイン工学科 生活文化学科 幼稚教育学科 保健科 家庭教育学科 児童教育学科 美術・デザイン学科 人間コミュニケーション学科 家庭学科 幼児教育保育学科 文化情報学科 日本語文化学科 英語コミュニケーション学科 人間関係学科 健生活学科 生活整形学科 アーツディザイン総合学科	●	ワープロ検定
321 神戸松蔭女子学院短期大学	●	●	パソコン操作関係
322 慶柔短期大学	●	●	オフィススペシャリスト
323 声望女子短期大学	●	●	初級、上級シニアド
324 産業技術短期大学	●	●	ビジネスマナー
325 國田学園女子大学短期大学部	●	●	マルチメディア検定
326 望和大学短期大学部	●	●	インターネット関連
327 尼川学院短期大学	●	●	ウェブページ関連
328 甲子園短期大学	●	●	基本情報技術者
329 武蔵川女子大学短期大学部	●	●	DTP検定
330 天主教短期大学	●	●	CG検定
331 東洋食品工業短期大学	●	●	画像処理検定
332 近畿大学豊國短期大学	●	●	データベース
333 渡辺短期大学	●	●	コンピューターサービス
	●	●	フレゼンテーション実務士
	●	●	日本語コミュニケーション
	●	●	文章能力・デザイン検定
	●	●	日本語力測定
	●	●	実用英語技能検定
	●	●	TOEIC, TOEFL
	●	●	工業英検
	●	●	商業英語検定、国連英語
	●	●	通訳関連
	●	●	韓国、仏語他能力
	●	●	漢字検定
	●	●	硬筆毛筆書写検定
	●	●	FP技能検定
	●	●	CAD利用技術者検定
	●	●	建築CAD検定
	●	●	トレース検定
	●	●	● (管理)栄養士
	●	●	調理師
	●	●	キッチンスペシャリスト
	●	●	栄養教諭
	●	●	● フードスペシャリスト
	●	●	● フードサイエンティスト
	●	●	製菓衛生士
	●	●	家庭料理検定
	●	●	食品衛生関係

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出認数100以上 に備用	
334 聖明女子学院短期大学	英語科 生活学科 福祉支援学科 看護学科 保育科第三部	幼児教育保育学科 生活学科 福祉支援学科 看護学科 保育科第三部	デジタル技術 ワープロ検定 パソコン操作関係 オフィススペシャリスト 初級、上級シニアド ビジネスマナー マルチメディア検定 インターネット関連 ウェブページ関連 基本情報技術者 DTP検定 CG検定 画像処理検定 データベース コンピューターサービス プレゼンテーション実務士 日本語コミュニケーション 文章能力、デザイン検定 日本語力測定 実用英語技能検定 TOEIC, TOEFL 工業英検 商業英語検定、国連英語 通訳間連 韓国、仏語他能力 漢字検定 硬筆毛筆書写検定 FP技能検定 CAD利用技術者検定 建築CAD検定 トレース検定 （管理）栄養士 調理師 キッチンスペシャリスト 栄養教諭 フードスペシャリスト フードサイエンティスト 製菓衛生士 家庭料理検定 食品衛生関係
335 神戸文化短期大学	英語科 生活学科 福祉支援学科 看護学科 保育科第二部	英語テクノロジー学科第一部 英語教育学科 生活学科／専攻科 幼稚教育科 美術科 教養学科 幼稚教育学科第一部 幼稚教育学科第三部 衛生看護学科 保健学科 大同關係科 生活文化学科 保健学科 家政科 国際文化交流学科 主修学科 幼兒教育学科 衛生看護学科 英語学科 第二看護科 第二看護科 成羽療養科 臨床検査科 臨床工学科 介護福祉科	● ●
336 兵庫大学短期大学部			
337 姫路日ノ本短期大学			
338 亲良佐保短期大学			
339 亲良芸術短期大学			
340 亲良文化女子短期大学			
341 天理薄瀬女子大学短期大学部			
342 和歌山短期大学			
343 鹿取短期大学			
344 關根東京短期大学			
345 關根東京短期大学			
346 關根東京短期大学			
347 川崎医療短期大学			
348 中国短期大学	情報ビジネス学科 英語コミュニケーション学科 総合生活学科		

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出願数100以上に範囲	に範囲
349 山陽学院短期大学	音楽科 保育学科 幼稚教育学科 食文化実践学科 キャラクターデザイン学科 生活科学科 文化コミュニケーション学科 幼児教育保育学科 栄養学科	デジタル技術 ワープロ検定 ハソコン操作関係 オフィススペシャリスト 初級、上級シスアド ビジネスマナー マルチメディア検定 インターネット関連 ウェブページ関連 基本情報技術者 DTP検定 CG検定 画像処理検定 データベース コンピューターサービス プレゼンテーション実務士 日本語コミュニケーション 文章能力・デザイン検定 日本語力測定 実用英語技能検定 TOEIC, TOEFL 工業英検 商業英語検定、国連英語 通訳関連 韓国、仏語他能力 漢字検定 硬筆毛筆書写検定 FP技能検定 CAD利用技術者検定 建築CAD検定 トレース検定 (管理) 栄養士 調理師 キッチンスペシャリスト 栄養教諭 フードスペシャリスト フードサイエンティスト 製菓衛生士 家庭料理検定 食品衛生関係	
350 新美短期大学			
351 美作短期大学部	音楽科 保育教育学科 音楽科 幼稚教育学科 保健教育学科 文化コミュニケーション学科 幼児教育保育学科 栄養学科		
352 佐鳴短期大学	音楽科 保健教育学科 音楽科 幼稚教育学科 保健教育学科 文化コミュニケーション学科 幼児教育保育学科 栄養学科		
353 磐城市立短期大学	音楽科 保健教育学科 音楽科 幼稚教育学科 保健教育学科 文化コミュニケーション学科 幼児教育保育学科 栄養学科		
355 順正短期大学	音楽科 保健教育学科 音楽科 幼稚教育学科 保健教育学科 文化コミュニケーション学科 幼児教育保育学科 栄養学科		
356 新見公立短期大学	音楽科 保健教育学科 音楽科 幼稚教育学科 保健教育学科 文化コミュニケーション学科 幼児教育保育学科 栄養学科		
357 岡山県立大学短期大学部	音楽科 保健教育学科 音楽科 幼稚教育学科 保健教育学科 文化コミュニケーション学科 幼児教育保育学科 栄養学科		
358 福山市立女子短期大学	音楽科 保健教育学科 音楽科 幼稚教育学科 保健教育学科 文化コミュニケーション学科 幼児教育保育学科 栄養学科		
359 法島文化短期大学	音楽科 保健教育学科 音楽科 幼稚教育学科 保健教育学科 文化コミュニケーション学科 幼児教育保育学科 栄養学科		
360 安田女子短期大学	音楽科 保健教育学科 音楽科 幼稚教育学科 保健教育学科 文化コミュニケーション学科 幼児教育保育学科 栄養学科		
361 比治山大学短期大学部	音楽科 保健教育学科 音楽科 幼稚教育学科 保健教育学科 文化コミュニケーション学科 幼児教育保育学科 栄養学科		
362 結婚女子短期大学	音楽科 保健教育学科 音楽科 幼稚教育学科 保健教育学科 文化コミュニケーション学科 幼児教育保育学科 栄養学科		
363 吾妻短期大学部			
364 山陽女子短期大学	音楽科 保健教育学科 音楽科 幼稚教育学科 保健教育学科 文化コミュニケーション学科 幼児教育保育学科 栄養学科		
365 広島国際学園大学自動車短期大学部			
366 若園短期大学	音楽科 保健教育学科		

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出認数100以上に掲出	
367 山口短期大学	ビジネス英語科 児童教育学科 電子情報学科 栄養健康学科 保育学科 芸術文化学科 言葉学科	デジタル技術 ワープロ検定 パソコン操作関係 オフィススペシャリスト 初級、上級シスアド ビジネスマナー マルチメディア検定 インターネット関連 ウェブページ関連 基本情報技術者 DTP検定 CG検定 画像処理検定 データベース コンピューターサービス プレゼンテーション実務士 日本語コミュニケーション 文章能力、デザイン検定 日本語力測定 実用英語技能検定 TOEIC, TOEFL 工業英検 商業英語検定、国連英語 通訳関連 韓国、仏語他能力 漢字検定 硬筆毛筆書写検定 FP技能検定 CAD利用技術者検定 建築CAD検定 トレース検定 (管理)栄養士 調理師 キッチンスペシャリスト 栄養教諭 フードスペシャリスト フードサイエンティスト 製菓衛生士 家庭料理検定 食品衛生関係	
368 下関短期大学			
369 山口芸術短期大学			
370 宇都プロフェッショナル短期大学部	宇都プロフェッショナル短期大学部 德島文理短期大学部 四国短期大学部 高松短期大学 德島工業短期大学 神戸内短期大学 四国学院短期大学 香川短期大学 松山東雲短期大学 松山短期大学 今治明徳短期大学 愛媛女子短期大学	食物栄養学科 生活福祉学科 保健学科 音楽学科 ビデオ・コミュニケーション 商科 生活科学学科 保健科 音楽科 ビジネス・コミュニケーション 商科 生活科学科 保健科 音楽科 白鷺重工業学科 栄養学科 音楽科 絵画科 英語科 食糧教育学科／専攻科 経営情報科 生活文化学科 幼稚教育学科 幼児教育学科 保育科 秘匿科 生活科学専攻 生活文化学科／専攻 商科第二部 ワープロデザイン学科 幼兒教育学科 保育科	デジタル技術 ワープロ検定 パソコン操作関係 オフィススペシャリスト 初級、上級シスアド ビジネスマナー マルチメディア検定 インターネット関連 ウェブページ関連 基本情報技術者 DTP検定 CG検定 画像処理検定 データベース コンピューターサービス プレゼンテーション実務士 日本語コミュニケーション 文章能力、デザイン検定 日本語力測定 実用英語技能検定 TOEIC, TOEFL 工業英検 商業英語検定、国連英語 通訳関連 韓国、仏語他能力 漢字検定 硬筆毛筆書写検定 FP技能検定 CAD利用技術者検定 建築CAD検定 トレース検定 (管理)栄養士 調理師 キッチンスペシャリスト 栄養教諭 フードスペシャリスト フードサイエンティスト 製菓衛生士 家庭料理検定 食品衛生関係

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数(100以上 に統計)	
382 里カタリナ大学短期大学部	食物栄養科 健康栄養学科 保育学科 食物栄養科 保健科 英語科	● ● ● ●	デジタル技術
383 高知短期大学	社会科学科第二部 英語科	● ● ● ●	ワープロ検定
384 高知短期大学 王佐女子短期大学	電気電子科 情報システム科 テクノフランシング学科 生活創造学科 保育科	● ● ● ●	パソコン操作関係
385 九州電機短期大学	生活文化学科 食物栄養学科 保育学科 経済科 初等教育科 養護教育科 体育科	● ● ● ●	オフィススペシャリスト
386 西南文字院大学短期大学部	法科第二部 法科第一部 社会福祉学科 社会学科 ビジネス情報学科 情報メディア学科 食物栄養学科 被服学科 保育学科 フーフンソーシング総合学科	● ● ● ●	初級、上級シニア
387 美浜短期大学	生活文化学科 食物栄養学科 保育学科 英語科 国際文化学科 美術科 デザイン科	● ● ● ●	ビジネスマナー
388 新尾瀬賀短期大学	法科第二部 法科第一部 社会福祉学科 社会学科 ビジネス情報学科 情報メディア学科 食物栄養学科 被服学科 保育学科 英語科 フーフンソーシング総合学科	● ● ● ●	マルチメディア検定
389 九州女子短期大学	法科第二部 法科第一部 社会福祉学科 社会学科 ビジネス情報学科 情報メディア学科 食物栄養学科 被服学科 保育学科 英語科 フーフンソーシング総合学科	● ● ● ●	インターネット関連
390 西日本短期大学	法科第二部 法科第一部 社会福祉学科 社会学科 ビジネス情報学科 情報メディア学科 食物栄養学科 被服学科 保育学科 英語科 フーフンソーシング総合学科	● ● ● ●	ウェブページ関連
391 福岡工業大学短期大学部	法科第二部 法科第一部 社会福祉学科 社会学科 ビジネス情報学科 情報メディア学科 食物栄養学科 被服学科 保育学科 英語科 フーフンソーシング総合学科	● ● ● ●	基本情報技術者
392 香蘭女子短期大学	法科第二部 法科第一部 社会福祉学科 社会学科 ビジネス情報学科 情報メディア学科 食物栄養学科 被服学科 保育学科 英語科 フーフンソーシング総合学科	● ● ● ●	DTP検定
393 福岡文学院大学短期大学部	法科第二部 法科第一部 社会福祉学科 社会学科 ビジネス情報学科 情報メディア学科 食物栄養学科 被服学科 保育学科 英語科 フーフンソーシング総合学科	● ● ● ●	CG検定
394 球磨大学福岡短期大学	法科第二部 法科第一部 社会福祉学科 社会学科 ビジネス情報学科 情報メディア学科 食物栄養学科 被服学科 保育学科 英語科 フーフンソーシング総合学科	● ● ● ●	画像処理検定
395 東海大学福岡短期大学	法科第二部 法科第一部 社会福祉学科 社会学科 ビジネス情報学科 情報メディア学科 食物栄養学科 被服学科 保育学科 英語科 フーフンソーシング総合学科	● ● ● ●	データベース
396 九州造形短期大学	法科第二部 法科第一部 社会福祉学科 社会学科 ビジネス情報学科 情報メディア学科 食物栄養学科 被服学科 保育学科 英語科 フーフンソーシング総合学科	● ● ● ●	コンピューターサービス
397 福岡医療短期大学	法科第二部 法科第一部 社会福祉学科 社会学科 ビジネス情報学科 情報メディア学科 食物栄養学科 被服学科 保育学科 英語科 フーフンソーシング総合学科	● ● ● ●	プレゼンテーション実務士
			日本語コミュニケーション
			文章能力・デザイン検定
			日本語力測定
			実用英語技能検定
			TOEIC, TOEFL
			工業英検
			商業英語検定、国連英語
			通訳関連
			韓国、仏語他能力
			漢字検定
			硬筆毛筆書写検定
			FP技能検定
			CAD利用技術者検定
			建築CAD検定
			トレース検定
			(管理)栄養士
			調理師
			キッチンスペシャリスト
			栄養教諭
			フードスペシャリスト
			フードサイエンティスト
			製菓衛生士
			家庭料理検定
			食品衛生関係

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数(100以上に統括)	出場数(100以上に統括)
398 中村学園短期大学	保健福祉学科 家政経済科 幼稚栄養科		デジタル技術
399 純真女子短期大学	現代コミュニケーション学科	●	ワープロ検定
400 精華女子短期大学	家庭学科 生活科 幼児保育科 / 専攻科	● ● ● ● ●	パソコン操作関係
401 现実女子短期大学	幼児保育科 / 専攻科	● ● ●	オフィススペシャリスト
402 福岡女子短期大学	現代教育学科 食物栄養科 音楽科 ビジネス学科 文化コミュニケーション学科 保健学科 幼稚教育科 生活福祉情報科	● ● ● ● ● ●	初級、上級シード ビジネスマナー
403 第二保健短期大学	保健学科 医療学科 看護学科 幼稚教育科 生活福祉情報科	● ● ● ●	マルチメディア検定
404 近畿短期大学	保健学科 医療学科 看護学科 幼稚教育科 福祉学科	● ● ● ●	インターネット関連
405 聖マリアン学院短期大学	保健学科 医療学科 看護学科 幼稚教育学科 福祉学科	● ● ● ●	ウェブページ閲覧
406 光栄短期大学	保健学科 医療学科 看護学科 幼稚教育学科 福祉学科	● ● ● ●	基本情報技術者
407 フリーカレッジ文教短期大学	保健学科 医療学科 看護学科 幼稚教育学科 福祉学科	● ● ● ●	DTP検定
408 在賀短期大学	保健学科 医療学科 看護学科 幼稚教育学科 福祉学科	● ● ● ●	CG検定
409 在賀女子短期大学	文化コミュニケーション学科 人間コミュニケーション学科 心理学科 / 専攻科 保健学科 幼稚教育学科 福祉学科	● ● ● ●	画像処理検定
410 九州龍谷短期大学	文化コミュニケーション学科 人間コミュニケーション学科 心理学科 / 専攻科 保健学科 幼稚教育学科 福祉学科	● ● ● ●	データベース
411 玉木女子短期大学	文化コミュニケーション学科 人間コミュニケーション学科 心理学科 / 専攻科 保健学科 幼稚教育学科 福祉学科	● ● ● ●	コンピューターサービス
412 長崎女子短期大学	文化コミュニケーション学科 人間コミュニケーション学科 心理学科 / 専攻科 保健学科 幼稚教育学科 福祉学科	● ● ● ●	フレゼンテーション英熟士
413 美崎短期大学	文化コミュニケーション学科 人間コミュニケーション学科 心理学科 / 専攻科 保健学科 幼稚教育学科 福祉学科	● ● ● ●	日本語コミュニケーション

短大名	学部、学科、専攻	資格	
		出現数100以上 に統計	
414 長崎純心大学短期大学部	保育科		デジタル技術
415 長崎短期大学	保育科		ワープロ検定
416 矢崎短期大学	英語科		パソコン操作関係
417 中江短期大学	英語科 家政科等		オフィススペシャリスト
418 天守県立芸術文化短期大学	幼児教育学科 国際文化学科 情報コミュニケーション学科 美術科 音楽科	● ●	初級、上級シスアド
419 大分短期大学	園芸科		ビジネスマナー
420 東九州短期大学	家政学科		マルチメディア検定
421 別府大学短期大学部	幼児教育学科 食物栄養科 幼稚園看護科 経営情報文化科 保育科	● ●	インターネット関連
422 南九州短期大学	地域総合科学科		ウェブページ関連
423 聖心ワールドラボ短期大学	国際教養学科		基本情報技術者
424 宮崎女子短期大学	幼児教育学科 初等教育科 言義科／専攻 人間文化学科	●	DTP検定
425 鹿児島県立短期大学	生活科学科 商経学科第一部 商経学科第二部 英語科		CG検定
426 鹿児島純心女子短期大学	生活学科 教養学科		画像処理検定
427 鹿児島女子短期大学	生活科学科 児童教養学科	●	データベース
428 鹿児島国際大学短期大学部	情報文化学科 音楽科	● ●	コンピューターサービス
429 第二効率教育短期大学	幼児教育科		フレゼンテーション実務士
430 冲縄女子短期大学	音楽ビジネス科		日本語コミュニケーション

431 沖縄キリスト教短期大学	短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
			出現数100以上 に統計	
			デジタル技術	
			ワープロ検定	
			パソコン操作関係	
			オフィススペシャリスト	
			初級、上級シニアド	
			ビジネスマナー	
			マルチメディア検定	
			インターネット関連	
			ウェブページ関連	
			基本情報技術者	
			DTP検定	
			CG検定	
			画像処理検定	
			データベース	
			コンピューターサービス	
		●	プレゼンテーション実務士	
			日本語コミュニケーション	
			文章能力、デザイン検定	
			日本語力測定	
			実用英語技能検定	
			TOEIC, TOEFL	
			工業英検	
			商業英語検定、国連英語	
			通訳関連	
			韓国、仏語他能力	
			漢字検定	
			硬筆毛筆書写検定	
			FP技能検定	
			CAD利用技術者検定	
			建築CAD検定	
			トレース検定	
			(管理)栄養士	
			調理師	
			キッチンスペシャリスト	
			栄養教諭	
			フードスペシャリスト	
			フードサイエンティスト	
			製菓衛生士	
			家庭料理検定	
			食品衛生関係	

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格		出張数100以上に納かげ	
		一社連盟会員上場学科	81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120		
1 北海道武蔵女子短期大学	英文学科 教養学科 経済学科		8 13 14	食生活アドバイザー 副産物取扱責任者 危険物取扱者 建築士 木造建築士	
2 札幌国際大学短期大学部	英語コミュニケーション学科 総合生活学科 幼稚教育保育学科 英文学科		15 16 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120	地図関係 公認会計士、国際会計 税理士 販売士 商業施設士、補 救急法救急員認定 色彩能力検定 カラーコーディネーター ハーバーメイキング技術検定 インテリアコーディネーター インテリア設計士 旅行業務取扱主任者 観光英語検定観光実務士 旅行地理検定 サービス接遇検定 看護師 保健師 歯科衛生士 助産師 ヒアルルバー受験資格 衣料管理士 ファッショニビジネス ファッショングラビティ検定 健康管理士、指導士 健康運動実践指導者 ウェルネスデザイナー 臨床検査技師 行政書士 マンションリフォーム 造園管理施工 園芸療法士 園芸装飾技能士 測量士、測量士補	
3 北星字園短期大学部	英語コミュニケーション学科 生活創造学科		● ●		
4 光輝字園女子短期大学	英語コミュニケーション学科 フードプロデュース		● ●		
5 北海道文教大学短期大学部	幼児教育学科 初歩教育科 コミュニケーション学科		● ●		
6 国際大谷短期大学	小倉短期大学		● ●		
7 国際短期大学	保育科 コミュニケーション学科 ビデオ・コミュニケーション能登学科		● ●		
8 文化女子大学室蘭短期大学	英文学科 英語学科 美術学科 音楽学科		● ●		
9 文化女子大学短期大学	コミュニケーション学科		●		
10 北海道自動車短期大学	自動車工業科第一部 自動車工業科第二部 英文学科		● ●		
11 札幌女子短期大学部	経営学科		●		
12 札幌大谷短期大学	保育科 美術科 音楽科		●		
13 脊量字園大学短期大学部	日本語学科 ことじ学科		●		
14 國學院短期大学	国文学科 コミュニケーション学科 経営経済学科		●		
15 國學院短期大学	英語科 英語学科		●		
16 拓殖大学北海道短期大学	幼児教育学科 環境農学科		●		
17 専修大学北海道短期大学	経済学科 環境システム学科 園芸緑地科		●		

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出場数100以上に網掛け	
18 旭川女子大学女子短期大学部	生活学科 幼児教育学科 認知文化学科 社会福祉科	●	食生活アドバイザー
19 帯広大谷短期大学	生活学科 生活科学科	●	劇場物取扱責任者
20 銚路短期大学	生活科学科 幼児教育学科	●	危険物取扱者
21 市立名寄短期大学	生活科学科 幼児教育学科	●	建築士
22 青森中央短期大学	食物栄養学科 幼児保育学科／専攻科福祉専攻	●	木造建築士
23 青森短期大学	ビジネス創造学科 幼児保育学科	●	宅地建物取引主任者
24 青森明の里短期大学	音楽学科 現代コミュニケーション学科	●	社会保険労務士
25 光星学院八戸短期大学	生活科学科 生活福祉学科	●	簿記関係
26 弘前福祉短期大学	生活科学科 被服科	●	公認会計士、国際会計
27 東北女子短期大学	被服科 保育科	●	税理士
28 岩手看護短期大学	看護学科／専攻科	●	販売士
29 盛岡大学短期大学部	食物栄養科 幼児教育科 生活科学科／専攻科	●	商業施設士、補
30 岩手県立大学盛岡短期大学部	国際文化学科 食物栄養学科	●	救急法救急員認定
31 稲城短期大学	幼児教育学科 経営情報学科 生活創造学科／専攻科	●	色彩能力検定
32 岩手県立大学喜古短期大学部	保育科 英文科 英アーツアート開発総合学科	●	カラーコーディネーター
33 商船学院大学女子短期大学部	保育科 生活文化学科 保健科	●	ハターンメイキング技術検定
34 聖和学園短期大学	生活文化学科 保健科 生物生産学科 機械工学科	●	インテリアコーディネーター
35 東北生活文化大学短期大学部	保健科 生活文化学科	●	インテリア設計士
36 宮城城南短期大学	保健科	●	旅行業務取扱主任者
37 秋田県立大学短期大学部	生物生産学科	●	観光英語検定観光実務士
38 聖國学院短期大学	保健科	●	旅行地理検定
39 日本赤十字秋田短期大学	看護学科	●	サービス接遇検定

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現回数100以上に統計	
日本赤十字社田短期大学	介護福祉学科		
秋田公立美術工芸短期大学	工艺美术学科		
40 秋田経済法科大学短期大学部	産業デaign学科		
41 聖路女子短期大学	商経情報学科		
42 聖路女子短期大学	生活文化学科		
43 初田桂城短期大学 (秋田看護福祉大学にある)	文化コミュニケーション学科		
44 山形短期大学	音楽学科		
45 山形県立米沢女子短期大学	看護学科		
46 羽陽学院短期大学	人間福祉学科		
福島学院大学短期大学部	地域社会学科		
47 殿の聖母短期大学	認知文化学科		
48 鶴山女子大学短期大学部	ナショナル英語学科		
49 鶴山女子大学短期大学部	人間生物学科		
50 石津大学短期大学部	英語英文学科		
51 いわき短期大学	日本史学科		
52 つくば国際短期大学	社会情報学科		
53 清波技術短期大学	社会心理学科		

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出場数100以上 に網掛け	
筑波技術短期大学	建築工学科 電子情報学科 機械学科 理学科薬学科 情報処理科	食生活アドバイザー 劇場物取扱責任者 危険物取扱者 ●建築士 木造建築士 宅地建物取引主任者 社会保険労務士 簿記関係 公認会計士、国際会計 税理士 販売士 商業施設士、補 救急法救急員認定 色彩能力検定 カラーコーディネーター ハターンメイキング技術検定 インテリアコーディネーター インテリア設計士 旅行業務取扱主任者 観光英語検定観光実務士 旅行地理検定 サービス接遇検定 看護師 保健師 歯科衛生士 助産師 ピアヘルパー受験資格 衣料管理士 ファッショニビジネス ファッショングループ 健康理士、指導士 健康運動実践指導者 ウェルネスデザイナー 臨床検査技師 行政書士 マンションリフォーム 造園管理施工 園芸療法士 園芸装飾技能士 測量士、測量士補	
東京家政短期女子大学短期大学部			
水戸短期大学	常磐短期大学		
茨城女子短期大学			
宇都宮文星短期大学			
花新学院女子女子短期大学部			
白鷗大学女子短期大学部			
足利短期大学			
佐野短期大学			
国學院大學藝術短期大学			
青葉短期大学			
高崎健康福祉短期大学部			
新潟医学短期大学			
高崎短期大学			
群馬県立医療短期大学			
70			

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上 に繋がる	
群馬県立医療短期大学	看護師実習学科		
群馬社会福祉短期大学	介護福祉学科		
群馬松島短期大学	介護福祉学科		
関東短期大学	日本語文化学科		
	経済経営情報学科		
	こども学科		
群馬アーツ文学園短期大学	書道学科		
桐生短期大学	生活科学科		
	生活テクノロジック学科		
国際学院埼玉短期大学	看護実践学科／看護実践学科		
川口短期大学	幼児保育学科		
浦和大学短期大学部	経営情報学科		
	英語コミュニケーション学科		
	介護福祉科		
	家政科		
正野学園大学短期大学部	音楽科		
埼玉県立大学短期大学部	第1看護学科		
	第2看護学科		
	歯科技術学科		
	歯科衛生学科		
	栄養学科／營養科		
	住居学科		
	社会福祉学科		
	日本文化コミュニケーション学科		
	国際コミュニケーション学科		
	情報メディア学科		
	英語コミュニケーション学科		
	こども学科		
	乳幼児保健学科第二部		
	経営情報美術学科		
	現代文化学科		
	コミュニケーション学科		
	保健学科		
	看護学科		
	臨床検査学科		
	商学科		
城西(天理女子)短期大学(部)			
山形短期大学			
埼玉純貞女子短期大学			
埼玉医科大学短期大学			
埼玉医科大学短期大学			
埼玉女子短期大学			

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出願数100以上に該当	出願数100以下に該当
埼玉女子短期大学			
88 武藏野短期大学	幼稚教育学科		食生活アドバイザー
89 千葉文学園女子大学短期大学部	文学科		劇毒物取扱責任者
90 武藏丘短期大学	健康新生活科		危険物取扱者
91 校草学園短期大学	日本文化表現学科		建築士
92 千葉明徳短期大学	ビジネススマネジメント学科		木造建築士
93 千葉県立衛生短期大学	幼児教育学科第一部、第二部 地域保育学科第一部、第二部 保健師専修学科		宅地建物業取引主任者
94 日本基督教短期大学	英語コミュニケーション学科		社会保険労務士
95 千葉経済大学短期大学部	キリスト教学科		簿記関係
96 植草学園短期大学	ビジネススライフ学科		公認会計士、国際会計
97 東洋女子短期大学	福祉学科		税理士
98 江戸川短期大学	英語コミュニケーション学科		販売士
99 里慈大学短期大学部	文化コミュニケーション学科		商業施設士、補
100 東京経営短期大学	保健科第二部		救急法教員認定
101 昭和学院短期大学	介護福祉学科第一部 介護福祉学科第二部		色彩能力検定
102 千葉敬愛短期大学	総合文化学科		カラーコーディネーター
103 帝京平成短期大学	人間生活学科		パターンメイキング技術検定
104 清和大学短期大学部	看護学科		インテリアコーディネーター
105 三育学院短期大学	英語コミュニケーション学科		インテリア設計士
106 日本大学短期大学部2	看護学科		旅行業務取扱主任者
107 共立女子短期大学	大ヒューマン栄養学科		観光英語検定観光実務士
	人間生活学科		旅行地理検定
	看護学科		サービス接遇検定
	保健科		看護師
	英語コミュニケーション学科		保健師
	総合文化学科		歯科衛生士
	人間生活学科		助産師
	看護学科		ピアヘルパー受験資格
	基礎工学科		衣料管理士
	基礎工学科		ファッションビジネス
	看護学科		ファッション販売能力検定
	看護学科		健康管理士、指導士
	看護学科		健康運動実践指導者
	看護学科		ウェルネステザイナー
	看護学科		臨床検査技師
	看護学科		行政書士
	看護学科		マンションリフォーム
	看護学科		造園管理施工
	看護学科		園芸療法士
	看護学科		園芸装飾技能士
	看護学科		測量士、測量士補

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上に網掛け	
108 日本大学 短期大学部-1	商経学科 初期栄養学科 生活营养学科	食生活アドバイザー 創意物取扱責任者 危険物取扱者 建築士 木造建築士 宅地建物業取引主任者 社会保険労務士 簿記会員 公認会計士、国際会計 税理士 販売士 商業施設士、補 救急法救急員認定 色彩能力検定 カラーコーディネーター ハターンメイキング技術検定 インテリアコーディネーター インテリア設計士 旅行業務取扱主任者 観光英語検定観光実務士 旅行地理検定 サービス接遇検定 看護師 保健師 歯科衛生士 助産師 ピアヘルパー受験資格 衣料管理士 ファッショニングビジネス ファッショニング販売能力検定 健康管理士、指導士 健康運動実践指導者 ウェルネステザイナー 臨床検査技師 行政書士 マンションリフォーム 造園管理施工 園芸療法士 園芸装飾技能士 測量士、測量士補	
109 東京家政学院短期大学 天姿女子大学短期大学部	国文科 英文科 家政科		
111 戸板女子短期大学	服飾芸術科 食物栄養科 国際コミュニケーション学科	●	
112 山脇学園短期大学	言葉科 情報・ソリューション学科	●	
113 東洋大学短期大学部（高専）	生活芸術科 言語文化科	●	
114 駿河音楽短期大学	英語英文学科 音楽文化科	●	
115 胡見学園女子大学短期大学部	生活芸術科 英語英文学科 音楽文化科 幼稚教育科	●	
116 文京学院短期大学	英語英文学科 音楽文化科	●	
117 東京成徳短期大学	ビシヌス心理学科 人間文化学科	●	
118 増美学園短期大学	幼児教育学科 質的美意識学科／専攻科	●	
119 聖徳美濃短期大学	家政学科	●	
120 愛國学園短期大学	環境建設学科第二部	●	
121 江五行科短期大学	服飾学科	●	
122 修野服飾大学短期大学部	国文学科 英文学科 家政学科 児童教育学科 教養学科 芸術学科 生活整形学科	●	
123 青山学院女子短期大学	服装学科 生活整形学科 英文科	●	
124 帝京短期大学	生活整形学科 英文科	●	
125 文化女子大学短期大学部	服装学科 国文科	●	
126 朝渕短期大学	英文科	●	
127 昭和女子大学短期大学部	人間文化学科第二部	●	

短期大学名	学部 学科名、専攻	資格	
		出現数100以上 に統計	出現数100以下 に統計
128 東京農業大学短期大学部	生活文化学科 生活文化学科第二部 食物学科 初等教育学科 生物生産技術学科 環境緑地学科 保健学科 英語学科	●	食生活アドバイザー 創意物取扱責任者 危険物取扱者 建築士 木造建築士 宅地建物取引主任者 社会保険労務士 簿記係 公認会計士、国際会計 税理士 販売士 商業施設士、補 救急法救急員認定 色彩能力検定 ●カラーコーディネーター ハターンメイキング技術検定 ●インテリアコーディネーター ●インテリア設計士 旅行業務取扱主任者 観光英語検定観光実務士 旅行地理検定 サービス接遇検定 看護師 保健師 歯科衛生士 助産師 ヒアルルバ受験資格 ●衣料管理士 ファッショニビジネス ファッショングラフィック能力検定 健康管理士、指導士 健康運動実践指導者 ウェルネスデザイナー 臨床検査技師 行政書士 マンションリフォーム 造園管理施工 園芸療法士 園芸装飾技能士 測量士、測量士補
129 成城大学短期大学部	保健科 体育科 英語科 コミュニケーション学科 ライフデザイン学科 保健学科 能率科第二部 至古学科 子ども学科	●	
130 日本体育大学女子短期大学	造形藝術学科 造形芸術学科 英語コミュニケーション学科 現代コミュニケーション学科 能率科第一部 至古学科 子ども学科	●	
131 美横学園女子短期大学	英語コミュニケーション学科 ライフデザイン学科 保健学科 能率科第二部 至古学科 子ども学科	●	
132 鹿児短期大学	能率科第二部 至古学科 子ども学科	●	
133 目白大学短期大学部	能率科 至古学科 子ども学科	●	
134 宝仙学園短期大学	能率科 至古学科 英語コミュニケーション学科 情報ネットワーク学科 現代コミュニケーション学科	●	
135 番号文化短期大学	能率科 至古学科 英語コミュニケーション学科 情報ネットワーク学科 現代コミュニケーション学科	●	
136 国際短期大学	能率科 至古学科 英語コミュニケーション学科 情報ネットワーク学科 現代コミュニケーション学科	●	
137 東京立正女子短期大学	能率科 至古学科 英語コミュニケーション学科 情報ネットワーク学科 現代コミュニケーション学科	●	
138 文子美術短期大学	能率科 至古学科 英語コミュニケーション学科 情報ネットワーク学科 現代コミュニケーション学科	●	
139 立教女子短期大学	能率科 至古学科 英語コミュニケーション学科 情報ネットワーク学科 現代コミュニケーション学科	●	
140 東京交通短期大学	能率科 至古学科 英語コミュニケーション学科 情報ネットワーク学科 現代コミュニケーション学科	●	
141 文子栄養短期大学	能率科 至古学科 英語コミュニケーション学科 情報ネットワーク学科 現代コミュニケーション学科	●	
142 東京家政短期大学	能率科 至古学科 英語コミュニケーション学科 情報ネットワーク学科 現代コミュニケーション学科	●	
143 須徳短期大学	能率科 至古学科 英語コミュニケーション学科 情報ネットワーク学科 現代コミュニケーション学科	●	
144 日本赤十字式聴覚短期大学	能率科 至古学科 英語コミュニケーション学科 情報ネットワーク学科 現代コミュニケーション学科	●	
145 帝都短期大学	能率科 至古学科 英語コミュニケーション学科 情報ネットワーク学科 現代コミュニケーション学科	●	
146 希朋学園短期大学	能率科 至古学科 英語コミュニケーション学科 情報ネットワーク学科 現代コミュニケーション学科	●	
147 東京女子体育短期大学	能率科 至古学科 英語コミュニケーション学科 情報ネットワーク学科 現代コミュニケーション学科	●	

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上 に継承	
148 日海女子短期大学	教養科 福祉援助学科 保健科	食生活アドバイザー 劇薬物取扱責任者 危険物取扱者 建築士 木造建築士 宅地建物業取引主任者 社会保険労務士 簿記関係 公認会計士、国際会計 税理士 販売士 商業施設士、補 救急法救急員認定 色彩能力検定 カラーコーディネーター パターンメイキング技術検定 インテリアコーディネーター インテリア設計士 旅行業務取扱主任者 観光英語検定観光実務士 旅行地理検定 サービス接遇検定 看護師 保健師 歯科衛生士 助産師 ピアヘルパー受験資格 衣料管理士 ファッショニビジネス ファッショングループ 健康マネジメント士、指導士 健康運動実践指導者 ウェルネステザイナー 臨床検査技師 行政書士 マンションリノベーション 造園施工 園芸療法士 園芸装飾技能士 測量士、測量士補	
149 義塾大学短期大学部	心理学科 ビジネスコミュニケーション学科 日本語コミュニケーション学科 英語コミュニケーション学科 生活福祉学科 食物栄養学科 動物看護学科 國際ビジネスコミュニケーション学科	●	
150 寶美女子短期大学	美容保健学科 美容科 現代ビジネス学科 英語英会学科 初期教育学科 筋骨格形科 こども学科 文化国際学科	●	
151 やまとキョウト短期大学	経営情報学科一部 経営情報学科二部 経営システム学科 都市生活学科 健保栄養学科 貿易栄養学科 保健科	●	
152 帝京大学短期大学	・	●	
153 山野美容芸術短期大学	美容芸術学科 美容保健学科 現代ビジネス学科 英語英会学科 初期教育学科 筋骨格形科 こども学科 経営情報学科一部 経営情報学科二部 経営システム学科 都市生活学科 健保栄養学科 貿易栄養学科 保健科	●	
154 創価女子短期大学	・	●	
155 慶應義塾大学短期大学部	・	●	
156 関川女子短期大学	・	●	
157 東京田中短期大学	・	●	
158 東京都立短期大学	・	●	
159 鹿児島女子短期大学	・	●	
160 川崎市立看護短期大学	看護学科 英文科 幼稚教育科 六箇文化学科 言語文化学科 情報学科	●	
161 洗足学園短期大学	・	●	
162 田園調布学院大学短期大学部	・	●	
163 フィリックス女子短期大学	・	●	
164 開浜創英短期大学	・	●	
165 潤浜美術短期大学	・	●	
166 相模女子大学短期大学部	文ティアフ情報学科 食物栄養学科 生活栄養学科 児童福祉学科	●	
167 和葉短期大学	相模女子大学短期大学部 和葉短期大学	●	

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上 に網掛け	出現数100以上 に網掛け
168 鶴見女子短期大学部	国文科 保育科／専攻科 歯科衛生科 看護科 英語科 商経学科 医療衛生学科 ピューマンコミュニケーション学科 生活プロデュース学科 情報ビジネス学科 総合ビジネス学科 言葉科 初等教育学科 家庭教育学科 国際ビジネス学科 社会教育学科 保健衛生学科 生活環境学科 健康養生学科 看護科 自動車工学科 システムデザイン学科 苗穂技工士学科 歯科衛生士学科 国際教養学科 英文学科 生活科学科／専攻科 幼児教育学科 幼稚園学科 人間認知学科 歯科衛生学科 看護科 幼稚園学科 保健衛生学科 看護科 英語科 商経学科 医療衛生学科 ピューマンコミュニケーション学科 生活プロデュース学科 情報ビジネス学科 総合ビジネス学科 言葉科 初等教育学科 家庭教育学科 国際ビジネス学科 社会教育学科 保健衛生学科 生活環境学科 健康養生学科 看護科 自動車工学科 システムデザイン学科 苗穂技工士学科 歯科衛生士学科 国際教養学科 英文学科 生活科学科／専攻科 幼児教育学科 幼稚園学科 人間認知学科 歯科衛生学科 看護科 幼稚園学科 保健衛生学科 看護科 英語科 商経学科 医療衛生学科 ピューマンコミュニケーショ	食生活アドバイザー 劇薬物取扱責任者 危険物取扱者 建築士 不造建築士 宅地建物取引主任者 社会保険労務士 簿記関係 公認会計士、国際会計 税理士 販売士 商業施設士、補 救急法救急救員認定 色彩能力検定 カラーコーディネーター パターンメイキング技術検定 インテリアコーディネーター インテリア設計士 旅行業務取扱主任者 観光英語検定観光実務士 旅行地理検定 サービス接遇検定 看護師 保健師 歯科衛生士 助産師 ヒアルロマー受験資格 衣料管理士 ファッションビジネス ファッション販売能力検定 健康管理士、指導士 健康運動実践指導者 ウェルネステザイナー 臨床検査技師 行政書士 マンションリフォーム 造園管理施工 園芸療法士 園芸装飾技能士 測量士、測量士補	出典 に網掛け
169 鶴見女子短期大学			
170 神奈川県立短期大学			
171 稲沢市立短期大学			
172 湘南短期大学			
173 聖マリアン女子短期大学			
174 湘北短期大学			
175 昭和音楽大学短期大学部			
176 鶴見女子大学短期大学部			
177 小田原女子短期大学			
178 湘南国際女子短期大学			
179 日本大学短期大学部-3			
180 文教大学女子短期大学部			
181 工学院短期大学			
182 東洋医学高等専修短期大学			
183 新潟工業短期大学			
184 明徳短期大学			
185 埼玉新潟女子短期大学			
186 新潟青陵大学短期大学部			
187 日本歯科大学新潟短期大学			
188 新潟中央短期大学			
189 藤山短期大学			

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出張数100以上 に耐え得る	食生活アドバイザー
190 磐梯短期大学	幼児教育学科 産業造形学科 地域ビジネス学科 看芸介護兒童福祉専攻	劇毒物取扱責任者 危険物取扱者 建築士 木造建築士 宅地建物取引主任者 社会保険労務士 簿記関係 公認会計士、国際会計 税理士 販売士 商業施設士、補 救急法救急員認定 色彩能力検定 カラーコーディネーター ハターンメイキング技術検定 インテリアコーディネーター インテリア設計士 旅行業務取扱主任者 観光英語接客観光実務士 旅行地理検定 サービス接遇検定 看護師 保健師 歯科衛生士 助産師 ヒアルルバ受験資格 衣料管理士 ファッションビジネス ファッション販売能力検定 健康管理士、指導士 健康運動実践指導者 ウェルネステザイナー 臨床検査技師 行政書士 マンションリフォーム 造園管理施工 園芸療法士 園芸装飾技能士 測量士、測量士補	劇毒物取扱責任者 危険物取扱者 建築士 木造建築士 宅地建物取引主任者 社会保険労務士 簿記関係 公認会計士、国際会計 税理士 販売士 商業施設士、補 救急法救急員認定 色彩能力検定 カラーコーディネーター ハターンメイキング技術検定 インテリアコーディネーター インテリア設計士 旅行業務取扱主任者 観光英語接客観光実務士 旅行地理検定 サービス接遇検定 看護師 保健師 歯科衛生士 助産師 ヒアルルバ受験資格 衣料管理士 ファッションビジネス ファッション販売能力検定 健康管理士、指導士 健康運動実践指導者 ウェルネステザイナー 臨床検査技師 行政書士 マンションリフォーム 造園管理施工 園芸療法士 園芸装飾技能士 測量士、測量士補
191 富山県立大学短期大学部	生物資源学科 環境システム工学科 経営実務科 生活デザイン学科 食物栄養学科 英語コミュニケーション学科 教養学科 保育学科 食物栄養学科 人間福祉学科 産業工学科 農業工学科 食品学科 産業構造学科 幼稚教育学科 ビシネス実務学科 生活科学学科 幼児教育学科 言語学科 経営学科 日本史学科 書道学科 農業学科 経済学科 社会学科 経済学科 経済学科 保健学科 生活科学学科 生活科学学科 幼児教育学科 多文化コミュニケーション学科 経済学科	建築士 木造建築士 宅地建物取引主任者 社会保険労務士 簿記関係 公認会計士、国際会計 税理士 販売士 商業施設士、補 救急法救急員認定 色彩能力検定 カラーコーディネーター ハターンメイキング技術検定 インテリアコーディネーター インテリア設計士 旅行業務取扱主任者 観光英語接客観光実務士 旅行地理検定 サービス接遇検定 看護師 保健師 歯科衛生士 助産師 ヒアルルバ受験資格 衣料管理士 ファッションビジネス ファッション販売能力検定 健康管理士、指導士 健康運動実践指導者 ウェルネステザイナー 臨床検査技師 行政書士 マンションリフォーム 造園管理施工 園芸療法士 園芸装飾技能士 測量士、測量士補	建築士 木造建築士 宅地建物取引主任者 社会保険労務士 簿記関係 公認会計士、国際会計 税理士 販売士 商業施設士、補 救急法救急員認定 色彩能力検定 カラーコーディネーター ハターンメイキング技術検定 インテリアコーディネーター インテリア設計士 旅行業務取扱主任者 観光英語接客観光実務士 旅行地理検定 サービス接遇検定 看護師 保健師 歯科衛生士 助産師 ヒアルルバ受験資格 衣料管理士 ファッションビジネス ファッション販売能力検定 健康管理士、指導士 健康運動実践指導者 ウェルネステザイナー 臨床検査技師 行政書士 マンションリフォーム 造園管理施工 園芸療法士 園芸装飾技能士 測量士、測量士補
192 富士大短期大学部			
193 釜次学院短期大学			
194 北陸学院短期大学			
195 石川県立農業短期大学 (石川県立大学へ)			
196 小松短期大学			
197 金城大学短期大学部			
198 仁愛女子短期大学			
199 教養短期大学			
200 山梨県立看護大学短期大学部			
201 山梨学院短期大学			
202 天月短期大学			
203 帝京短期大学			
204 萩野女子短期大学			
205 長野県短期大学			
206 富野経済短期大学			
207 濃飛女子短期大学			
208 濡葉女子短期大学			

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上 に掲げ	
209 信州短期大学	幼児教育科 経営情報学科 ライフルマニメント学科 総合文化学科	食生活アドバイザー 劇毒物取扱責任者 危険物取扱者 理賃士 木造建築士 宅地建物業取引主任者 社会保険労務士 簿記関係 公認会計士、国際会計 税理士 販売士 商業施設士、補 救急法救急員認定 色彩能力検定 カラーコーディネーター ハターンメイキング技術検定 インテリアコーディネーター インテリア設計士 旅行業務取扱主任者 観光英語検定観光実務士 旅行地理検定 サービス接遇検定 看護師 保健師 歯科衛生士 助産師 ピアヘルパー受験資格 衣料管理士 ファッショニビジネス ファッショントラブル能力検定 健康理士、指導士 健康運動実践指導者 ウェルネステザイナー 臨床検査技師 行政書士 マンションリフォーム 造園管理施工 園芸療法士 園芸装飾技能士 測量士、測量士補	
210 正田女子短期大学	幼児教育学科 商学科 経営情報学科 ライフルマニメント学科 総合文化学科		
211 松本大学松商短期大学部	幼稚園教育学科 経営情報学科 ライフルマニメント学科 総合文化学科		
212 長田女子短期大学	幼稚園教育学科 経営情報学科 ライフルマニメント学科 総合文化学科		
213 松本短期大学	幼稚園教育学科 経営情報学科 ライフルマニメント学科 総合文化学科		
214 唐沢豊南短期大学	幼稚園教育学科 経営情報学科 ライフルマニメント学科 総合文化学科		
215 硫黄聖心学院短期大学部	幼稚園教育学科 経営情報学科 ライフルマニメント学科 総合文化学科		
216 硫黄市立女子短期大学	幼稚園教育学科 経営情報学科 ライフルマニメント学科 総合文化学科		
217 硫黄医療技術短期大学	幼稚園教育学科 経営情報学科 ライフルマニメント学科 総合文化学科		
218 中部学院大学短期大学部	幼稚園教育学科 経営情報学科 ライフルマニメント学科 総合文化学科		
219 天道女子短期大学	幼稚園教育学科 経営情報学科 ライフルマニメント学科 総合文化学科		
220 葦海女子短期大学	幼稚園教育学科 経営情報学科 ライフルマニメント学科 総合文化学科		
221 正眼短期大学	人間福祉学科 心理学科 自動車工業学科		
222 中日本自動車短期大学	自動車工業学科		
223 高山短期大学	自動車工業学科		
224 中京短期大学	生活学科 / 専攻 保育科		
225 常葉学園短期大学	日本語日本文学科		

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上に網掛け	
225 東海大学短期大学部(静岡)	英語学科 音楽科 人間環境学科 最初宋體字科 兒童教育字科 経営情報字科 食物学科 第二看護学科 歯科衛生学科 社会福祉学科 介護福祉学科 幼稚教育科第一部 幼稚教育科第二部 幼兒教育科 保育科	食生活アドバイザー 劇薬物取扱責任者 危険物取扱者 建築士 木造建築士 宅地建物業取引主任者 社会保険労務士 簿記関係 公認会計士、国際会計 税理士 販売士 商業施設士、補 救急法救急員認定 色彩能力検定 カラーコーディネーター パターンメイキング技術検定 インテリアコーディネーター インテリア設計士 旅行業務取扱主任者 観光英語検定観光実務士 旅行地理検定 サービス接遇検定 看護師 保健師 歯科衛生士 助産師 ピアヘルパー受験資格 衣料管理士 ファッショニビジネス ファッショングループ 健康管理士、指導士 健康運動実践指導者 ウェルネステザイナー 臨床検査技師 行政書士 マンションリフォーム 造園施工 園芸療法士 園芸装飾技能士 測量士、測量士補	
226 静岡英和学院大学短期大学部	現代ゴミコニアゲーション学科	●	
228 静岡県立大学短期大学部	第二看護学科 歯科衛生学科 社会福祉学科 介護福祉学科 幼稚教育科第一部 幼稚教育科第二部 幼兒教育科 保育科	●	
229 静岡福祉短期大学部	美術教育科 介護福祉学科 ラノボティヤン・認知学科 自動車工業学科	●	
230 浜松学院大学短期大学部	経営学科 英語学科	●	
231 美濃短期大学短期大学部	経営学科 英語学科	●	
232 美知新城大谷大学短期大学部	幼兒教育学科第一部 幼稚教育学科第三部 人間福祉学科 食物栄養学科 幼兒教育学科	●	
233 美知短期大学短期大学部	経営学科 英語学科	●	
234 美知産業大学短期大学部	経営学科 英語学科	●	
235 美知女子短期大学	経営学科 英語学科 幼兒教育学科第一部 幼稚教育学科第三部 人間福祉学科 食物栄養学科 幼兒教育学科	●	
236 美知学東短期大学	経営学科 英語学科 幼兒教育学科 王古デザイン・総合学科 介護福祉学科	●	
237 美知文理大学短期大学部	最初宋體字科 王活文化字科 経営情報科 保健科	●	
238 名古屋文化短期大学	最初宋體字科 王活文化字科 経営情報科 保健科	●	
239 名古屋学院大学短期大学部	英語学科	●	
240 葉邦学院短期大学	英語学科	●	
241 名古屋城短期大学	英語学科	●	
242 南山短期大学	英語学科	●	
243 美知女子短期大学部	英語学科 生活学科 / 勉文科 宋體科	●	
244 名古屋女子大学短期大学部	英語学科 生活学科 / 勉文科 宋體科	●	

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上に網掛け	
246 名古屋女子短期大学	英語科		食生活アドバイザー
247 名古屋学芸大学短期大学部	保育学科		劇毒物取扱責任者
248 豊田保健衛生大学短期大学	国際コミュニケーション学科 ビデオ・ラジオ・音楽学科		危険物取扱者
249 名古屋短期大学	衛生技術科		建築士
250 中京女子大学短期大学部	医療情報技術科		木造建築士
251 名古屋芸術大学短期大学部	現代教育心理学科 英語コミュニケーション学科		宅地建物取引主任者
252 美知江南短期大学	保健科		社会保険労務士
253 名古屋経済大学短期大学部	体育学科		簿記関係
254 名古屋産業短期大学	音楽科		公認会計士、国際会計
255 名古屋経営短期大学	教養学科		税理士
256 二宮女子短期大学	生活科学科		販売士
257 瑞穂文教女子短期大学	社会福祉学科		商業施設士、補
258 篠路国際大学短期大学部	現代幼児学科第一部 商経科		救急法救急員認定
259 三豊短期大学	生活文化学科		色彩能力検定
260 高田短期大学	保健科		カラーコーディネーター
	現代コミュニケーション学科		ハーモニメイキング技術検定
	意形芸術科		インテリアコーディネーター
	ビジネス実務学科		インテリア設計士
	人間情報学科		旅行業務取扱主任者
	生活文化学科第二部ア専攻科		観光英語検定観光実務士
	幼児教育学科第一部		旅行地理検定
	幼児教育学科第三部		サービス接遇検定
	生活文化学科第三部ア専攻科		看護師
	幼児教育学科第一部		保健師
	生活文化学科第三部		歯科衛生士
	ティインクトーク学科第一部		助産師
	法経科第二部		ヒアルルバ受験資格
	生活科学科		衣料管理士
	オフィス情報学科		ファッショントレーナー
	幼児教育学科		ファッショントレーニング
			ファッショントレーニング
			ファッショントレーニング
			健康管理士、指導士
			健康運動実践指導者
			ウェルネスデザイナー
			臨床検査技師
			行政書士
			マンションリフォーム
			造園管理施工
			園芸療法士
			園芸装飾技能士
			測量士、測量士補

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出願数100以上に統計	出願数100以下に統計
261 松坂天文学短期大学部 (三重中京大天文学短期大学部)	食生活栄養学科 幼児教育・保育学科 生活学科	食生活アドバイザー 劇毒物取扱責任者 危険物取扱者 建築士 木造建築士 宅地建物取引主任者 社会保険労務士 簿記関係 公認会計士、国際会計 税理士 販売士 商業施設士、補 救急法救急員認定 色彩能力検定 カラーコーディネーター ハターンメイキング技術検定 インテリアコーディネーター インテリア設計士 旅行業務取扱主任者 観光英語検定観光実務士 旅行地理検定 サービス接遇検定 看護師 保健師 歯科衛生士 助産師 ピアヘルパー受験資格 衣料管理士 ファッションビジネス ファッション販売能力検定 健康管理士、指導士 健康運動実践指導者 ウェルネステザイナー 臨床検査技師 行政書士 マンションリフォーム 造園管理施工 園芸療法士 園芸装飾技能士 測量士、測量土補	
262 滋賀女子短期大学	ビジネスコミュニケーション学科 介護福祉学科		
263 聖隸天文学短期大学部	国文科 初等教育科 生活文化学科 人間福祉学科／専攻科 文化芸術学科／専攻科 環境文化学科 伝教科 文化学科 幼稚教育科 看護科 看護専門学科 生活学科		
264 滋賀文教短期大学		●	●
265 滋賀文化短期大学		●	●
266 池坊短期大学		●	●
267 天谷天文学短期大学部		●	●
268 京都市立看護短期大学		●	●
269 瑞穂短期大学		●	●
270 京都女子天文学短期大学部	初等教育学科 生活图形学科 経営情報学科 家政学科 児童教育学科 生活营养学科 看護教育学科 国際文化学科	●	●
271 京都経済短期大学		●	●
272 京都文教短期大学		●	●
273 聖母女子学院短期大学		●	●
274 龍谷天文学短期大学部		●	●
275 京都光華女子天文学短期大学部	看護福社科／専攻 英語科第二部	●	●
276 京都外國語短期大学部	生活营养学科 美語学科	●	●
277 京都嵯峨美術短期大学	伝教科 生活福社科 看護放射線技術専門学科	●	●
278 京都西山短期大学	看護福社科 看護生活学科 看護教育学科	●	●
279 京都短期大学		●	●
280 京都医療技術短期大学	看護福社科 看護生活学科 看護教育学科	●	●
281 明治薬業天文学医療技術短期大学部		●	●
282 大阪成蹊短期大学	看護教育学科／専攻科 觀光学科	●	●

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上に編出	出現数100以上に編出
283 天阪工業大学短期大学部	表現文化学科 経営会計学科 建築学科 第二部 土木工学科 第二部 電気工学科 第二部 機械工学科 第二部 大同環境学科 初等教育学科 英語科 アーツショーン表現学科 食初学科 (大阪夕陽丘学園短期大学)	●	●
284 天阪信愛女子学院短期大学	幼兒教育学科 国際教養学科 母学科 日本語表現学科 生活情報学科 総合保育学科／専攻科 人間福祉学科 英米文化学科 広報学科 保育学科第1部 経営デザイン学科 デザイン美術学科 児童教養科 人間関係学科 生吉学科	●	●
285 天阪文字院短期大学	英采学科 保育学科第2部	●	●
286 天阪女子学院短期大学 (大阪夕陽丘学園短期大学)	英采学科 保育学科第2部 経営デザイン学科 デザイン美術学科 児童教養科 人間関係学科 生吉学科	●	●
287 天阪ギフト文教短期大学		●	●
288 天阪城南女子短期大学		●	●
289 天阪芸術短期大学	英采学科 保育学科第1部 経営デザイン学科 デザイン美術学科 児童教養科 人間関係学科 生吉学科	●	●
290 常磐女子短期大学		●	●
291 相模女子短期大学		●	●
292 天阪音楽短期大学	音楽科	●	●
293 天阪青山短期大学	生活科学科 児童教育科・保育科 じこはこ文化学科	●	●
294 天阪学院短期大学	経営実務科 国際文化学科 生活科学科 現代社会情報学科	●	●
295 千里金蘭短期大学	生活科学科 生吉学科 児童教養学科	●	●
296 天阪鍼灸短期大学	看護学科 英語コミュニケーション学科	●	●
297 藍野学院短期大学		●	●
298 梅花女子大学短期大学部	看護学科 英語コミュニケーション学科	●	●

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上に割掛け	食生活アドバイザー
299 平安女子学院大学短期大学部	日本語表現科 英語コミュニケーション・ソーシャル・スクール 保健科 家政科 幼稚教育科 国際文化学科 電子情報学科 英米語学科 国際コミュニケーション学科 ライフゲーリング学科 保育学科 リハビリテーション学科 自動車工業科 商経科第二部 家政学科 幼稚教育学科 生活学科 保健科		劇毒物取扱責任者
300 天阪国際大学短期大学部	英語コミュニケーション・ソーシャル・スクール 保健科 家政科 幼稚教育科 国際文化学科 電子情報学科 英米語学科 国際コミュニケーション学科 ライフゲーリング学科 保育学科		危険物取扱者
301 天阪電気通信大学短期大学部	英語コミュニケーション・ソーシャル・スクール 保健科 家政科 幼稚教育科 国際文化学科 電子情報学科 英米語学科 国際コミュニケーション学科 ライフゲーリング学科 保育学科		建築士
302 関西外国语大学短期大学部	英語コミュニケーション・ソーシャル・スクール 保健科 家政科 幼稚教育科 国際文化学科 電子情報学科 英米語学科 国際コミュニケーション学科 ライフゲーリング学科 保育学科		木造建築士
303 四條畷学園短期大学	英語コミュニケーション・ソーシャル・スクール 保健科 家政科 幼稚教育科 国際文化学科 電子情報学科 英米語学科 国際コミュニケーション学科 ライフゲーリング学科 保育学科		宅地建物業取引主任者
304 天阪産業大学短期大学部	英語コミュニケーション・ソーシャル・スクール 保健科 家政科 幼稚教育科 国際文化学科 電子情報学科 英米語学科 国際コミュニケーション学科 ライフゲーリング学科 保育科	●	社会保険労務士
305 近畿大学短期大学部	英語コミュニケーション・ソーシャル・スクール 保健科 家政科 幼稚教育科 国際文化学科 電子情報学科 英米語学科 国際コミュニケーション学科 ライフゲーリング学科 保育科		簿記関係
306 天阪大学短期大学部	英語コミュニケーション・ソーシャル・スクール 保健科 家政科 幼稚教育科 国際文化学科 電子情報学科 英米語学科 国際コミュニケーション学科 ライフゲーリング学科 保育科		公認会計士、国際会計
307 慶應義塾女子短期大学	英語コミュニケーション・ソーシャル・スクール 保健科 家政科 幼稚教育科 国際文化学科 電子情報学科 英米語学科 国際コミュニケーション学科 ライフゲーリング学科 保育科		税理士
308 関西女子短期大学	英語コミュニケーション・ソーシャル・スクール 保健科 家政科 幼稚教育科 国際文化学科 電子情報学科 英米語学科 国際コミュニケーション学科 ライフゲーリング学科 保育科		販売士
309 四天王寺園芸広教大学短期大学部	英語コミュニケーション・ソーシャル・スクール 保健科 家政科 幼稚教育科 国際文化学科 電子情報学科 英米語学科 国際コミュニケーション学科 ライフゲーリング学科 保育科		商業施設士、補
310 天阪女子短期大学	英語コミュニケーション・ソーシャル・スクール 保健科 家政科 幼稚教育科 国際文化学科 電子情報学科 英米語学科 国際コミュニケーション学科 ライフゲーリング学科 保育科	●	救急法救急員認定
311 美谷女子短期大学	英語コミュニケーション・ソーシャル・スクール 保健科 家政科 幼稚教育科 国際文化学科 電子情報学科 英米語学科 国際コミュニケーション学科 ライフゲーリング学科 保育科	●	色彩能力検定
312 天阪千代田短期大学	英語コミュニケーション・ソーシャル・スクール 保健科 家政科 幼稚教育科 国際文化学科 電子情報学科 英米語学科 国際コミュニケーション学科 ライフゲーリング学科 保育科	●	カラーコーディネーター
313 帝京女子短期大学	英語コミュニケーション・ソーシャル・スクール 保健科 家政科 幼稚教育科 国際文化学科 電子情報学科 英米語学科 国際コミュニケーション学科 ライフゲーリング学科 保育科	●	ハターンメイキング技術検定
314 天阪龍谷短期大学	英語コミュニケーション・ソーシャル・スクール 保健科 家政科 幼稚教育科 国際文化学科 電子情報学科 英米語学科 国際コミュニケーション学科 ライフゲーリング学科 保育科	●	インテリアコーディネーター
315 フジル学院大学短期大学部	英語コミュニケーション・ソーシャル・スクール 保健科 家政科 幼稚教育科 国際文化学科 電子情報学科 英米語学科 国際コミュニケーション学科 ライフゲーリング学科 保育科	●	インテリア設計士
316 天阪体育大学短期大学部	英語コミュニケーション・ソーシャル・スクール 保健科 家政科 幼稚教育科 国際文化学科 電子情報学科 英米語学科 国際コミュニケーション学科 ライフゲーリング学科 保育科	●	旅行業務取扱主任者
317 神戸山手短期大学	英語コミュニケーション・ソーシャル・スクール 保健科 家政科 幼稚教育科 国際文化学科 電子情報学科 英米語学科 国際コミュニケーション学科 ライフゲーリング学科 保育科	●	観光英語検定観光実務士
318 神戸女子短期大学	英語コミュニケーション・ソーシャル・スクール 保健科 家政科 幼稚教育科 国際文化学科 電子情報学科 英米語学科 国際コミュニケーション学科 ライフゲーリング学科 保育科	●	旅行地理検定
			サービス接遇検定
			看護師
			保健師
			歯科衛生士
			助産師
			ピアヘルパー受験資格
			衣料管理士
			ファッションビジネス
			ファッション販売能力検定
			健康管理士、指導士
			健康運動実践指導者
			ウェルネスデザイナー
			臨床検査技師
			行政書士
			マンションリフォーム
			造園管理施工
			園芸療法士
			園芸装飾技能士
			測量士、測量士補

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上 に網掛け	
神戸常盤短期大学			食生活アドバイザー
神戸学院女子短期大学 (神戸学院大字へ)	食物栄養学科 初等教育学科 幼稚教育学科 衛生技術科 看護学科		劇場物取扱責任者
神戸松蔭女子学院短期大学	健康文化学科 文芸科 家政科 国際教養科 英語コミュニケーション学科 生活图形学科		危険物取扱者
姫路短期大学	保健科	●	建築士
芦屋女子短期大学	家政学科	●	木造建築士
産業技術短期大学	幼児教育学科 電気電子工学科 情報処理工学科 機械工学科 システムデザイン工学科 生活文化学科	●	宅地建物取引主任者
園田学園女子大学短期大学部	幼稚教育学科 人間教育学科 家政学科	●	社会保険労務士
聖和大学短期大学部	児童教育学科／専攻科 美術・デザイン学科 人間コミュニケーション学科	●	簿記関係
別川学院短期大学	幼稚教育学科 文化情報学科 日本語文化学科 英語コミュニケーション学科 人間關係学科 保健・スポーツ学科	●	公認会計士、国際会計
甲子園短期大学			税理士
武庫川女子大学短期大学部	生活学科 生活图形学科 ライフルデザイン学科 生活情報・福祉学科 幼児教育学科 保健・スポーツ学科	●	販売士
天主教短期大学			商業施設士、補
慶洋看護工業短期大学			救急法救急員認定
近畿大学豊崎短期大学			色彩能力検定
近畿大学豊崎短期大学			カラーコーディネーター
灘川短期大学			ハターンメイキング技術検定

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上に網掛け	
334 聰明女子学院短期大学	幼児教育保育学科 生活学科 福祉支援学科	食生活アドバイザー 劇毒物取扱責任者 危険物取扱者 建築士 木造建築士 宅地建物業取引主任者 社会保険労務士 簿記関係 公認会計士、国際会計 税理士 販売士 商業施設士、補 救急法救急員認定 色彩能力検定 カラーコーディネーター パターンメイキング技術検定 インテリアコーディネーター インテリア設計士 旅行業務取扱主任者 観光英語検定観光実務士 旅行地理検定 サービス接遇検定 看護師 保健師 歯科衛生士 助産師 ●ピアヘルパー受験資格 衣料管理士 ファッショニビジネス ファッショニ販賣能力検定 健康管理士、指導士 健康運動実践指導者 ウェルネスデザイナー 臨床検査技師 行政書士 マンションリフォーム 造園管理施工 園芸療法士 園芸装飾技能士 測量士、測量士補	
335 神戸文化短期大学	幼児教育学科 生活学科 福祉支援学科		
336 兵庫天字短期大学部	保育科第一部 保育科第二部 保育科第三部 美術デザイン学科第一部 美術デザイン学科第二部 美術デザイン学科第三部		
337 駿路日ノ本短期大学	生活教育科 幼稚教育科 美術科	●	
338 奈良佐保短期大学	幼稚教育学科ノ専攻科 児童教育学科第三部 衛生看護学科 福祉学科	●	
339 奈良芸術短期大学	幼稚教育学科第一部 生活文化学科		
340 奈良英文学短期大学部	教養学科	●	
341 奈良文化女子短期大学	幼稚教育学科 生活文化学科 福祉学科		
342 天阪藝術女子大学短期大学部	大商關係学科 生活文化学科		
343 和歌山書道女子短期大学	保育科 国際文化交流学科		
343 山形短期大学	保育科 生活学科	●	
345 山根県立看護短期大学	幼児教育学科 家政科 看護学科	●	
346 川崎厚生短期大学	第二看護学科 放射線技術科 臨床検査科 臨床工学科 介護福祉科	●	
348 中国短期大学	情報ビジネス学科 英語コミュニケーション学科 総合生活学科		

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上 に統計	
349 山陽学院短期大学	音楽科 体育科 食物栄養学科 幼稚園教育学科 生活デザイン学科	食生活アドバイザー 副腫物取扱責任者 危険物取扱者 建築士 木造建築士 宅地建物業取引主任者 社会保険労務士 簿記関係 公認会計士、国際会計 税理士 販売士 商業施設士、補 救急法救急員認定 色彩能力検定 カラーコーディネーター パターンメイキング技術検定 インテリアコーディネーター インテリア設計士 旅行業務取扱主任者 観光英語検定観光実務士 旅行地理検定 サービス接遇検定 看護師 保健師 歯科衛生士 助産師 ピアヘルパー受験資格 衣料管理士 ファッショニングビジネス ファッショングルマニジメント 健康管理事、指導士 健康運動実践指導者 ウェルネステザイナー 臨床検査技師 行政書士 マンションリフォーム 造園管理施工 園芸療法士 園芸装飾技能士 測量士、測量士補	
350 就実短期大学	音楽科 文化コミュニケーション学科 幼稚園教育保育学科 栄養学科 幼児教育学科 音楽科 幼児教育学科 保育学科 施師美術学科 / 美容科 幼稚教育科 / 美容科 音楽学科 地図編集学科 健康新聞学科 生活学科 保育科 食物栄養学科 体育学科 音楽学科 コミュニケーション生活学科 教養学科 食物栄養学科 音楽学科 美術科 食物栄養学科 大間生活学科 食物栄養学科 自動車工業科 幼稚教育科	●	
351 美作短期大学部			
352 佐鳴短期大学			
353 岡山短期大学			
354 岡山市立短期大学			
355 順正短期大学			
356 新見公立短期大学			
357 岡山県立大学短期大学部			
358 福山市立女子短期大学			
359 広島文化短期大学			
360 安田女子短期大学			
361 比治山大学短期大学部			
362 韶華女子短期大学			
363 吉田女子短期大学部			
364 山陽女子短期大学			
365 広島国際学院大学自動車短期大学部			
366 岩国短期大学			

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数(100以上 に統計)	出願件数(100以上 に統計)
367 山口短期大学	ビジネス実務科		
	児童教育学科		
	電子情報学科		
	保健心理学科		
	保育学科		
	音楽文化学科		
	音楽学科		
	生活福祉学科		
	最初未選学科		
	情報システム学科		
	言語コミュニケーション学科		
	商科		
	生活科学科		
	保育科		
	音楽科		
	ビジネス・コミュニケーション科		
	保育学科		
	初等教育科		
	音楽科		
	自動車工業学科		
	経営情報科		
	音楽科		
	秘書科		
	英語科		
	養護教育学科／専攻科		
	最初未選学科		
	経営情報科		
	生活文化学科		
	初等教育学科第Ⅰ部		
	保育科		
	生活文化学科／専攻		
	商科第二部		
	ライフルティアック学科		
	幼兒教育学科		
	保育科		
371 慶應文理大学短期大学部			
372 四國大学短期大学部			
373 徳島工業短期大学			
374 高松短期大学			
375 四国学院短期大学			
376 須磨短期大学			
377 香川短期大学			
378 松山東雲短期大学			
379 松山短期大学			
380 今治明徳短期大学			
381 瀬戸愛媛女子短期大学			

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現回数100以上に絞り	出典
382 聖カタリナ大学短期大学部	食物栄養学科 健康栄養学科 食物栄養学科 幼児教育科 衛生技術科 看護学科 英語科 秘書科	食生活アドバイザー 劇毒物取扱責任者 危険物取扱者 建築士 木造建築士 宅地建物業取引主任者 社会保険労務士 簿記関係 公認会計士、国際会計 税理士 販売士 商業施設士、補 救急法救急員認定 色彩能力検定 カラーコーディネーター パターンメイキング技術検定 インテリアコーディネーター インテリア設計士 旅行業務取扱主任者 観光英語検定観光実務士 旅行地理検定 サービス接遇検定 看護師 保健師 歯科衛生士 助産師 ピアヘルパー受験資格 衣料管理士 ファッショニングビジネス ファッショニング販売能力検定 健康管理士、指導士 健康運動実践指導者 ウェルネステザイナー 臨床検査技師 行政書士 マンションリフォーム 造園管理施工 園芸療法士 園芸装飾技能士 測量士、測量士補	
383 高知短期大学			
384 王佐女子短期大学			
385 高知短期大学			
386 万葉電機短期大学	情報電子科 電気電子科 生活創造学科 生活文化学科 食物栄養学科 看護学科 経済科 初等教育科 體育教育科 体育科 法科第二部 法科第一部 造園科 社会福祉学科 看護学科 情報メディア学科 被服学科 ライフルエンス統合学科 英語科 情報処理学科 国際文化学科 美術科 デザイン科 写真科 医科衛生学科	●	
387 西南文学院大学短期大学部			
388 東京栄短期大学			
389 沼尾愛眞短期大学			
390 万葉女子短期大学			
391 西日本短期大学			
392 福岡工業大学短期大学部			
393 葛蘭女子短期大学			
394 福岡文学院大学短期大学部			
395 美海大学福岡短期大学			
396 九州造形短期大学			
397 九州整形短期大学			
398 福岡医療短期大学			

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上 に網掛け	
398 中村学園大学短期大学部	保健福祉学科 食物栄養科 幼児保育科	●	食生活アドバイザー
399 稲葉女子短期大学	現代コミュニケーション学科		劇場物取扱責任者
400 楠葉女子短期大学	生活科学科 / 専攻科 幼児教育科 / 専攻科	●	危険物取扱者
401 瓜葉女子短期大学	現代教育学科		建築士
402 福岡女子短期大学	食物栄養科 言語科 ビジネス学科 文化コミュニケーション学科 保育学科	● ● ●	木造建築士 宅地建物取引主任者 社会保険労務士 簿記関係
403 第二保育短期大学	生活福祉情報科		公認会計士、国際会計
404 近畿大学九洲短期大学	保育科 看護学科 幼稚園教育科		税理士
405 圭マリック学院短期大学	幼稚園教育科	●	販売士
406 元町天谷短期大学	看護学科 幼稚園教育科	●	商業施設士、補
407 文留栄養女子学院短期大学	幼稚園教育科 健康栄養学科 情報社会学科 生活福祉学科 / 専攻科	●	救急法教員認定
408 左翼短期大学	幼稚園教育科 生活福祉学科 / 専攻科 くらし情報学科	●	色彩能力検定
409 佐賀女子短期大学	文化コミュニケーション学科 人間生活学科 / 専攻科 ことわ学科	●	カラーコーディネーター
410 九州龍谷短期大学	保育学科 人間コミュニケーション学科	●	ハターンメイキング技術検定
411 玉木女子短期大学	幼稚園教育科 看護学科	●	インテリアコーディネーター
412 長崎女子短期大学	看護学科 生活科学科	●	インテリア設計士
413 長崎外国语短期大学	英語学科	●	旅行業務取扱主任者

学部、学科名、専攻	資格 （出現数100以上 に編出）	短期大学名	
		414 長崎純心女子短期大学部	415 長崎短期大学
保育科	食生活アドバイザー	保育科	保育科／専攻
英語科	創薬物取扱責任者	英語科	英語科等攻
家庭教育科	危険物取扱者	家庭教育科	家庭教育科等攻
幼稚教育科	建築士	幼稚教育科	幼稚教育科
商業学科	木造建築士	商業学科	商業学科
幼児教育学科	宅地建物業取引主任者	幼児教育学科	幼児教育学科
国際文化学科	社会保険労務士	国際文化学科	国際文化学科
情報コミュニケーション学科	簿記関係	情報コミュニケーション学科	情報コミュニケーション学科
美術科	公認会計士、国際会計	美術科	美術科
音楽科	税理士	音楽科	音楽科
園芸科	販売士	園芸科	園芸科
家政学科	商業施設士、補	家政学科	家政学科
幼児教育学科	救急法救急員認定	幼児教育学科	幼児教育学科
食物栄養科	色彩能力検定	食物栄養科	食物栄養科
経営情報文化学科	カラーコーディネーター	経営情報文化学科	経営情報文化学科
保健科	ハターンメイキング技術検定	保健科	保健科
地政総合科目	インテリアコーディネーター	地政総合科目	地政総合科目
初等教育科	インテリア設計士	初等教育科	初等教育科
国際教養学科	旅行業務取扱主任者	国際教養学科	国際教養学科
食栄栄養学科	観光英語検定観光実務士	食栄栄養学科	食栄栄養学科
幼児教育学科	旅行地理検定	幼児教育学科	幼児教育学科
保育科	サービス接遇検定	保育科	保育科
初等教育科	看護師	初等教育科	初等教育科
音楽科／専攻	保健師	音楽科／専攻	音楽科／専攻
人間文化学科	歯科衛生士	人間文化学科	人間文化学科
文学科	助産師	文学科	文学科
生活科	ピアヘルパー受験資格	生活科	生活科
商経学科第一部	衣料管理士	商経学科第一部	商経学科第一部
商経学科第二部	ファッショニビジネス	商経学科第二部	商経学科第二部
英語科	ファッショニ販売能力検定	英語科	英語科
生活学科	健康管理士、指導士	生活学科	生活学科
教育学科	健康運動実践指導者	教育学科	教育学科
生活学科	ウェルネスデザイナー	生活学科	生活学科
児童教育学科	臨床検査技師	児童教育学科	児童教育学科
情報文化学科	行政書士	情報文化学科	情報文化学科
音楽科	マンションリフォーム	音楽科	音楽科
運動教育科	造園管理施工	運動教育科	運動教育科
音楽科	園芸療法士	音楽科	音楽科
運動教育科	園芸装飾技能士	運動教育科	運動教育科
音楽科	測量士、測量士補	音楽科	音楽科

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		英語科	保育科
431 沖縄ナリス下教短期大学	食生活アドバイザー	出張認定100以上 に範囲付	
	劇毒物取扱責任者		
	危険物取扱者		
	建築士		
	木造建築士		
	宅地建物業取引主任者		
	社会保険労務士		
	簿記開保		
	公認会計士、国際会計		
	税理士		
	販売士		
	商業施設士、補		
	救急法救急員認定		
	色彩能力検定		
	カラーコーディネーター		
	ハターンメイキング技術検定		
	インテリアコーディネーター		
	インテリア設計士		
	旅行業務取扱主任者		
●	観光英語検定観光実務士		
	旅行地理検定		
	サービス接遇検定		
	看護師		
	保健師		
	歯科衛生士		
	助産師		
	ピアヘルパー受験資格		
	衣料管理士		
	ファッショニビジネス		
	ファッショングラフィック		
	ファッショングラフィック検定		
	健康管理士、指導士		
	健康運動実践指導者		
	ウェルネステザイナー		
	臨床検査技師		
	行政書士		
	マンションリフォーム		
	造園管理施工		
	園芸療法士		
	園芸装飾技能士		
	測量士、測量士補		

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格																																																													
		一出席率(100以上)欄	出場数(100以上)欄	121		122		123		124		125		126		127		128		129		130		131		132		133		134		135		136		137		138		139		140		141		142		143		144		145		146		147		148		149		150	
1 北海道武藏女子短期大学	英文学科 教養学科 経済学科 英語コミュニケーション学科 総合生活学科 幼児教育保育学科 英文学科			管工事施工管理技士																																																											
2 礼泉国際大学短期大学部				ガス、電気アーク溶接技能者																																																											
3 北星学園大学短期大学部				建設機械施工技士																																																											
4 光輝学園女子短期大学	英語コミュニケーション学科 英語保育科 英語教育学科 幼児教育学科 生活創造学科 英語栄養学科 食物栄養学科 ビタミン/コラーゲン/美容学科			建築施工管理技士																																																											
5 北海道文教大学短期大学部				土木施工管理技士技術者																																																											
6 国際大学短期大学				自動車整備士																																																											
7 介護短期大学				車両系建設機械																																																											
8 文比女子大学室蘭短期大学				フォークリフト運転																																																											
9 北海道自動車短期大学				中古自動車査定士																																																											
10 北海道自動車短期大学				電気工事士																																																											
11 礼泉大学女子短期大学部				電気主任技術者																																																											
12 礼泉大学短期大学				消費生活アドバイザー																																																											
13 関愛学園大学短期大学部				織紡製品品質管理士																																																											
14 北海道美井学園大学短期大学部				～寺派教師																																																											
15 國學院短期大学	大問認答学科 じごも学科 国文学科 コミュニケーション学科 英語学科 経営学科			消防設備士																																																											
16 拓殖大学北海道短期大学	環境衛生学科 宿泊学科 経営学科			グレード資格																																																											
17 専修大学北海道短期大学	環境システム学科 園芸学科 園芸地学科			茶道表千家、裏千家																																																											

短 期 大 学 名	学 部、学 科 名、專 攻	資 格	
		出 現 数 1000 以 上 に 請 求	
旭川大字女子短期大学部	生活学科	管工事施工管理技士	
帯広大谷短期大学	初級教育学科 総合文化学科	ガス、電気アーク溶接技能者	
钏路短期大学	社会福祉科	建設機械施工技士	
市立名寄短期大学	生活科学科	建築施工管理技士	
青森中央短期大学	生活科学科	土木施工管理技士技術者	
青森短期大学	幼児教育学科	自動車整備士	
青森明の里短期大学	生活学科	車両系建設機械	
光星学院アリーナ短期大学	音楽科	フォークリフト運転	
弘前短期短期大学	初期保育学科	中古自動車査定士	
東北女子短期大学	現代ビジネス学科	電気工事士	
岩手書道短期大学	幼児保育学科	電気主任技術者	
盛岡大学短期大学部	生活福祉学科	消費生活アドバイザー	
岩手県立大学盛岡短期大学部	被服科	繊維製品品質管理士	
修道短期大学	看護学科	～寺派教師	
岩手県立大学宮古短期大学部	国際文化学科	消防設備士	
高崎学院大学女子短期大学部	食物栄養学科	グレード資格	
聖和学院短期大学	幼児教育学科	茶道表千家、團扇家	
東北生活文化ビッグ短期大学部	経営情報学科	華道師範、華道脇教授	
宮城城南短期大学	生活創造学科	フラワーデザイナー	
秋田県立大学短期大学部	保健科	損害保険募集人資格	
聖國学院短期大学	英文科	C言語プログラミング	
日本赤十字秋田短期大学	平やけ刀刀削発總合学科	イラストレーター	
	保育科	衛生管理者	
	生活文化学科	受胎調節実地指導員	
	保育科	ネイリスト技能検定	
	生物生態学科	美容師	
	農業工学科	社会調査アシスタント	
	保育科	介護支援専門員	
	看護学科	福祉用具専門相談員	
		生きがい情報士	

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出張取扱いに係り	1000以上
日本赤十字学校短期大学	介護福祉学科 工芸美術学科	管工事施工管理技士	
秋田公立美術工芸短期大学	工艺美術学科 産業デザイン学科	ガス、電気アーク溶接技能者	
秋田経済法科大学短期大学部	商経情報学科 生活文化学科	建設機械施工技士	
聖霊女子短期大学	文化コミュニケーション学科 言語学科	建築施工管理技士	
43 秋田経済短期大学 (秋田看護福祉大学になる)	看護学科 人間福祉学科 地域社会学科 総合文化学科 子ども学科	土木施工管理技士技術者	
44 山形短期大学	看護学科 人間福祉学科 国語国文学科 英語英文学科 日本史学科 社会情報学科 健康栄養学科 幼稚教育学科／専攻科 食物栄養学科 保育科第一部 保育科第二部 情報ビジネス科 英語学科 生活学科 家政科 保健科 生活芸術科 音楽科 文化学科 産業情報学科 食物栄養学科 社会福祉学科 幼児教育科／専攻科 人間生活学科 保育科 書護学科 デザイナーズ学科	自動車整備士	
45 羽陽学園短期大学 福島学院大学短期大学部	車両系建設機械 フォークリフト運転 中古自動車査定士 電気工事士 電気主任技術者 消費生活アドバイザー 織維製品品質管理士 ～寺派教師 消防設備士 グレード資格 茶道表千家、裏千家 華道師範、華道伝授 フラワーデザイナー 損害保険募集人資格 C言語プログラミング イラストレーター 衛生管理者 受胎調節実地指導員 ネイリスト技能検定 美容師 社会調査アシスタント 介護支援専門員 福祉用具専門相談員 生きがい情報士		
46 桜の聖母短期大学	●		
47 都山女子大学短期大学部	●		
48 芸津大学短期大学部			
49 いわき短期大学			
50 つてば創価短期大学			
51 筑波技術短期大学			

学部、学科名、専攻	資格	出現数100以上 に統計	
		短期大学名	就業実績
建築工学科	管工事施工管理技士	筑波技術短期大学	
電子情報学科	ガス、電気アーク溶接技能者		
機械学科	建設機械施工技士		
情報処理学科	建築施工管理技士		
経済情報学科	土木施工管理技士技術者		
幼児教育保育学科	自動車整備士		
生活科学科／専攻科	車両系建設機械		
キャリア教育学科	フォークリフト運転		
国文科	中古自動車査定士		
保健科／専攻科	電気工事士		
施設総合文化学科	電気主任技術者		
言葉科／専攻科	消費生活アドバイザー		
人間福祉学科／専攻科	繊維製品品質管理士		
幼児教育科	～寺派教師		
経営科	消防設備士		
幼児教育科第二部	グレード資格		
社会福祉学科	茶道表千家、裏千家		
英米語学科	華道師範、華道協教授		
経営情報科	フラワーデザイナー		
国文学科	損害保険募集人員資格		
商学科	C言語プログラミング		
家政学科	イラストレーター		
初等教育学科	衛生管理者		
日本史学科	受胎調節実地指導員		
現代コミュニケーション学科	ネイリスト技能検定		
栄養学科	美容師		
情報文化学科	社会調査アシスタント		
社会福祉学科	介護支援専門員		
生活学科	福祉用具専門相談員		
書譲学科	生きがい情報士		
児童福祉学科			
保健学科			
新島学園短期大学			
高崎短期大学			
明和短期大学			
群馬県立医療短期大学			

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上 に掲げ	出現数100以上
群馬県立医療短期大学	診療放射線学科	工事施工管理技士	
群馬社会福祉短期大学	介護福祉学科	ガス、電気アーク溶接技能者	
群馬松崎福祉短期大学	大商福利学科	建設機械施工技士	
関東短期大学	日本語文化学科	建築施工管理技士	
経済経営情報学科	土木施工管理技士技術者		
こども学科	自動車整備士		
群馬バニズ学園短期大学	看護学科	車両系建設機械	
群馬短期大学	推字療法学科	フォークリフト運転	
桐生短期大学	生活科学科	中古自動車査定士	
浦和短期大学	生活デザイン科	電気工事士	
浦和短期大学部	看護学科	電気主任技術者	
国際学院埼玉短期大学	看護実践学科	消費生活アドバイザー	
川口短期大学	経営情報科	繊維製品品質管理士	
浦和短期大学部	英語コミュニケーション科	～寺派教師	
介護福祉科	幼児保育学科	消防設備士	
正野学園短期大学部	看護学科	グレード資格	
音楽科	看護学科 / 専攻科	茶道表千家、裏千家	
第1看護学科	看護学科	華道師範、華道教授	
衛生技術学科	看護学科	フラワーデザイナー	
歯科衛生学科	看護学科	損害保険募集人資格	
保育学科	看護学科 / 専攻科	C言語プログラミング	
住居学科	看護学科	イラストレーター	
社会福祉学科	看護学科	衛生管理者	
国際コミュニケーション学科	看護学科	受胎調節実地指導員	
情報コミュニケーション学科	看護学科	ネイリスト技能検定	
情報メディア学科	看護学科	美容師	
英語コミュニケーション学科	看護学科	社会調査アシスタント	
こども学科	看護学科	介護支援専門員	
幼稚保健学科第二部	看護学科	福祉用具専門相談員	
経営情報業務学科	看護学科	生きがい情報士	
現代文化学科			
子育て支援学科			
看護学科			
臨床検査学科			
理学科			
商学科			
埼玉女子短期大学		●	
埼玉短期大学		●	
埼玉短期女子短期大学(部)		●	
城西(女子)短期大学(部)			
山梨学院短期大学			
埼玉医療短期大学			
埼玉女子短期大学			
埼玉女子短期大学			

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出願数100以上に掲出	
埼玉女子短期大学	国際コミュニケーション学科	管工事施工管理技士	
武藏野短期大学	幼稚教育学科	ガス、電気アーク溶接技能者	
千文字学園女子大学短期大学部	文学科	建設機械施工技士	
90 武藏丘短期大学	健魔王活科	建築施工管理技士	
91 株式会社短期大学	日本文化表現学科	土木施工管理技士技術者	
92 千葉明徳短期大学	ビジネススマネジメント学科	自動車整備士	
93 千葉県立衛生短期大学	幼稚教育学科第一部 第二部 地域保育学科第一部 第二部 保健福祉学科	車両系建設機械	
94 日本基督教短期大学	第1看護学科 第2看護学科 栄養衛生学科	フォークリフト運転	
95 千葉経済大学短期大学部	英語コミュニケーション学科 キリスト教学科	中古自動車査定士	
96 横草学園短期大学	ビジネススワイフ学科	電気工事士	
97 東洋女子短期大学	福祉学科 英語コミュニケーション学科	電気主任技術者	
98 江戸川短期大学	文化コミュニケーション学科	消費生活アドバイザー	
99 聖心大学短期大学部	保健科第二部 介護福祉学科第一部 介護福祉学科第二部 総合文化学科	織維製品品質管理士	
100 東京経営短期大学	経営認定学科 人間社会学科	～寺派教師	
101 眞和字院短期大学	大正文庫アート美術学科	消防設備士	
102 千葉歴愛短期大学	初等教育科	グレード資格	
103 帝京平成短期大学	看護学科	茶道表千家、裏千家	
104 清和大学短期大学部	兒童教育学科	華道師範、華道協教授	
105 三喜学院短期大学	英語コミュニケーション学科	フラワーデザイナー	
106 日本大学短期大学部-2	看護学科 応用化学科	損害保険営業人資格	
107 共立女子短期大学	基礎工学科 生活科学科 文科第一部 文科第二部 看護学科	C言語プログラミング イラストレーター 衛生管理者 受胎調節実地指導員 ネイリスト技能検定 美容師 社会調査アシスタント 介護支援専門員 福祉用具専門相談員 生きがい情報士	
共立女子短期大学			

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出張数100回以上に継続	
108 日本大学短期大学部	商経学科 食物栄養学科 生活料学科 国文科 英文科 家政科 食物栄養科 国語コミュニケーション学科 英文科 家政科 食生活科 生活芸術科 情報・ネットワーキング学科 言葉科 生活芸術科 言語文化科 英語英文学科 普話文化コミュニケーション科 幼児教育科 ビジネス心理学科 人間文化学科 幼児教育学科 食物栄養学科／専攻科 家政科 環境建設学科第二部 服飾学科 国文学科 英文学科 家政学科 兒童教育学科 教養学科 芸術学科 生活料学科 服装学科 生活造型学科 国文科 英文科 人間文化学科 人間文化学科第二部	施工管理技士 ガス、電気アーク溶接技能者 建設機械施工技士 建築施工管理技士 土木施工管理技士技術者 自動車整備士 車両系建設機械 フォークリフト運転 中古自動車査定士 電気工事士 電気主任技術者 消費生活アドバイザー 繊維製品品質管理士 ～寺派教師 消防設備士 グレード資格 茶道表千家、裏千家 華道師範、華道級教授 フラワーデザイナー 損害保険募集人資格 C言語プログラミング イラストレーター 衛生管理者 受胎調節実地指導員 ネイリスト技能検定 美容師 社会調査アシスタント 介護支援専門員 福祉用具専門相談員 生きがい情報士	● ●
109 東京家政学院短期大学 天理女子大学短期大学部			
110 戸板女子短期大学			
111 東海大学短期大学 跡見学園女子大学短期大学部			
112 東邦音楽短期大学			
113 東邦音楽短期大学 跡見学園女子大学短期大学部			
114 文京学院短期大学			
115 文京学院短期大学 成徳短期大学			
116 文京学院短期大学			
117 文京学院短期大学			
118 里美学園短期大学			
119 聖霽美養短期大学			
120 美國学園短期大学			
121 攻玉社工科短期大学			
122 衣野服飾大学短期大学部			
123 青山学院女子短期大学			
124 帝京短期大学			
125 文化女子大学短期大学部			
126 駒澤短期大学			
127 路和女子大学短期大学部	人間文化学科		

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上 に範囲付	
東京農業大学短期大学部			管工事施工管理技士
成城大学短期大学部	生活文化学科 生活文化学科第二部		ガス、電気アーケ溶接技能者
日本体育大学女子短期大学	食物科 食物科字科		建設機械施工技士
東邦大学短期大学部	生物生産技術学科		建築施工管理技士
東洋大学短期大学部	環境緑地学科		土木施工管理技士技術者
東洋大学短期大学部	保健学科		自動車整備士
東洋大学短期大学部	保健学科 保健学科		車両系建設機械
東洋大学短期大学部	英語コミュニケーション学科		フォークリフト運転
東洋大学短期大学部	ライフデザイン学科		中古自動車査定士
産能短期大学	能率科第一部		電気工事士
産能短期大学	能率科第二部		電気主任技術者
日大短期大学部	生活科学学科		消費生活アドバイザー
宝仙学園短期大学	子ども学科		織維製品品質管理士
東京文化短期大学	保育学科		～寺派教師
東京文化短期大学	造形学科		消防設備士
東京文化短期大学	生活学科		グレード資格
東京立正女子短期大学	英語コミュニケーション学科		茶道表千家、裏千家
女子美術短期大学部	情報ネットワーク学科		華道師範、華道院教授
立教女子短期大学	現代ゴシックニゲーション学科		フラワーデザイナー
立教女子短期大学	造形学科		損害保険募集人資格
東京交通短期大学	英語コミュニケーション学科		C言語プログラミング
女子栄養短期大学部	幼児教育科ノ専攻		イラストレーター
東京家政短期大学部	運動器第一科		衛生管理者
東京家政短期大学部	運動器第二科		受胎調節実地指導員
東京女子体育短期大学	運動器第三科		ネイリスト技能検定
東京女子体育短期大学	運動器第四科		美容師
淑徳短期大学	国語コミュニケーション学科		社会調査アシスタント
日本赤十字武藏野短期大学	社会福祉学科		介護支援専門員
聖獨孤短期大学部	食物栄養学科		福祉用具専門相談員
同志學園短期大学	營養科		生きがい情報士
東京女子体育短期大学	保健体育学科		
	兒童教育学科		

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上 に該当する	出現数100未満 に該当する
148 日海字園短期大学	幼稚科 福祉援助学科 保育科		
149 駿河大学短期大学部	心理学科 ビジネスコミュニケーション学科 日本語コミュニケーション学科 英語コミュニケーション学科 生活福祉学科		
150 実践女子短期大学	食物栄養学科 動物看護学科 国際コミュニケーション学科		
151 ヤマサギ動物看護短期大学	情報ビジネス学科		
152 帝京大学短期大学	美容芸術学科 美容保健学科 美容福祉学科		
153 山野美容芸術短期大学	美容保健学科 現代ビジネス学科 英語英会話 英語コミュニケーション学科		
154 劇場女子短期大学	幼児教育学科 師道形科		
155 桜美林大学短期大学部	文化国際学科 経営情報学科一部 経営情報学科二部 経営システム学科		
156 鶴川女子短期大学	子ども学科	● ● ●	
157 東京田中短期大学	都市生活学科 健康栄養学科		
158 東京都立短期大学	食育栄養学科 保健科 看護学科 英会話 人間文化学科 言語文化学科 情報学科 造形美術科 文子アート情報学科 生活造形学科		
159 駒沢女子短期大学			
160 川崎市立看護短期大学			
161 洋足字園短期大学			
162 田園調布字園短期大学部			
163 ワリタズ女子短期大学部			
164 横浜創英短期大学			
165 横浜美術短期大学			
166 相模女子大学短期大学部			
167 相模女子大学 短期大学部	食物栄養学科 児童福祉学科		

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上 に繋げ	管工事施工管理技士
168 鶴見女子短期大学部	国文科 保健科／専攻科 歯科衛生科	ガス、電気、アーク溶接技能者	
169 鶴浜女子短期大学	保健科 英語科	建設機械施工技士	
170 神奈川県立外語短期大学	英語学科	建築施工管理技士	
171 福井市立大学 藤葉短期大学部	看護学科	土木施工管理技士技術者	
172 湘南短期大学	看護学科	自動車整備士	
173 圣マリアア女子短期大学	歯科衛生学科 情報ビシネス学科 幼児教育学科 生活フローティング学科	車両系建設機械 フォークリフト運転	
174 湘北短期大学	保健学科 情報ビシネス学科 初等教育学科 生活環境学科	中古自動車査定士	
175 昭和音楽大学短期大学部	国際ビジネスコミュニケーション学科	電気工事士	
176 講書女子大学短期大学部	幼稚園教育学科	電気主任技術者	
177 小田原女子短期大学	看護学科 生活環境学科	消費生活アドバイザー	
178 湘南国際女子短期大学	国際ビジネスコミュニケーション学科	織維製品品質管理士	
179 日本大学短期大学部-3	看護学科 生活環境学科	～寺派教師	
180 文教大学女子短期大学部	国際ビジネスコミュニケーション学科 英語科	消防設備士	
181 上智短期大学	看護学科	グレード資格	
182 東海大学医療技術短期大学	自動車工業科	茶道表千家、裏千家	
183 新潟工業短期大学	システムデザイン学科	華道師範、華道藝術教授	
184 明倫短期大学	国際教養学科 歯科衛生士学科	フラワーデザイナー	
185 境立新潟女子短期大学	英文学科 生活環境学科	損害保険募集人資格	
186 新潟看護短期大学部	幼児教育学科 生活文化学科 保健科／専攻科 国際文化学科 人間総合学科	C言語プログラミング	
187 日本歯科大学新潟短期大学	歯科衛生士学科 幼児教育学科 国際文化学科	イラストレーター	
188 新潟中央短期大学	保健科／専攻科 経営情報学科	衛生管理者	
189 蓼山短期大学	保健科／専攻科	受胎調節実地指導員	

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出所数100以上に掲げ	
190 富山短期大学	食物栄養学科 幼児教育学科 産業造形学科 産業デザイン学科 社会介護凭添福祉専攻	施工事務管理技士 ガス、電気アーク溶接技能者 建設機械施工技士 建築施工管理技士 土木施工管理技士技術者 自動車整備士 車両系建設機械 フォークリフト運転 中古自動車査定士 電気工事士 電気主任技術者 消費生活アドバイザー 織維製品品質管理士 ～寺派教師 消防設備士 グレード資格 茶道表千家、裏千家 華道師範、華道協教授 フラワーデザイナー 損害保険募集人資格 C言語プログラミング イラストレーター 衛生管理者 受胎調節実地指導員 ネイリスト技能検定 美容師 社会調査アシスタント 介護支援専門員 福祉用具専門相談員 生きがい情報士	
191 富山県立大学短期大学部	生物資源学科 生物資源学科		
192 富山県立大学短期大学部	社会介護凭添福祉専攻		
193 星稜女子短期大学	経営実務科 生活実践学科		
194 盛沢学院短期大学	英語コミュニケーション学科 教養学科		
195 北陸学院短期大学	保育学科 食物栄養学科 人間福祉学科 農業工学科 生徒至産学科 農業情報学科 幼稚教育学科 美術学科 ビジネス実務学科		
196 石川県立短期大学 (石川県立大字へ)	農業工学科 生徒至産学科 農業情報学科 幼稚教育学科 美術学科 ビジネス実務学科		
197 介松短期大学	生活科学学科 音楽学科		
198 金城女子短期大学部	日本史学科 書道学科 音楽学科		
199 仁愛女子短期大学	幼児教育学科 経営学科	● ●●	
200 教養短期大学	日本史学科 書道学科 音楽学科		
201 山梨県立看護短期大学	食物栄養学科 保育科		
202 山梨学院短期大学	経営学科		
203 天月短期大学	生活科学科	●	
204 帝京宇都宮短期大学	生活科学科		
205 菅野女子短期大学	幼児教育学科 多文化コミュニケーション学科 経済学科		
207 長野県立短期大学	国際コミュニケーション学科		
208 清葉文学院短期大学			

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格		
		出願数100以上 に編入	出願数100以下 に編入	
信州短期大学	幼児教育科 経営情報学科 ライスマネジメント学科 観光学文化学科	管工事施工管理技士 ガス、電気アーク溶接技能者 建設機械施工技士 建築施工管理技士 土木施工管理技士技術者 自動車整備士 車両系建設機械 フォークリフト運転 中古自動車査定士 電気工事士 電気主任技術者 消費生活アドバイザー 織維製品品質管理士 ～寺派教師 消防設備士 グレード資格 茶道表千家、裏千家 華道師範、華道脇教授 フラワーデザイナー 損害保険募集人資格 C言語プログラミング イラストレーター 衛生管理者 受胎誘節実地指導員 ネイリスト技能検定 美容師 社会調査アシスタント 介護支援専門員 福祉用具専門相談員 生きかい情報士		
正田女子短期大学	商学科			
松本大学松商短期大学部	経営情報学科 ライスマネジメント学科 観光学文化学科 幼児教育学科			
飯田女子短期大学	経営情報学科 家政学科／専攻科 幼児教育学科／専攻科 介護福祉学科			
松本短期大学	幼児保育学科 言語コミュニケーション・ショーン学科 生活学科			
信州聖南短期大学	幼児教育学科第一部 国際英文学科 食物栄養学科			
岐阜聖德学院短期大学	幼児教育学科第三部 英語英文学科 食物栄養学科			
岐阜市立女子短期大学	衛生技術学科 診療放射線技術学科 看護学科／専攻科 歯科衛生科			
岐阜医療技術短期大学	幼稚教育科 看護学科 社会福祉学科		●	
中部学院大学短期大学部	音楽総合科 幼児教育学科 人間社会学科 デザイン美術科		●	
天恒女子短期大学	食物栄養学科 兒童教育学科／専攻科 人間社会科 デザイン藝術科		●	
東海女子短期大学	自動車工業科 自動車工芸科 生活学科／専攻 保健科		●	
正聯短期大学				
高田短期大学				
中京短期大学				
中京短期大学	日本語日本文学科			
常葉大学				
常葉大学短期大学				

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		英語英文科 保育科 音楽科	出張設営料 に精通する
東海大学短期大学部(静岡)		大蔵環境学科 食物栄養学科 児童教育学科 経営情報学科 現代コミュニケーション学科	管工事施工管理技士 ガス、電気アーク溶接技能者 建設機械施工技士 建築施工管理技士 土木施工管理技士技術者 自動車整備士 車両系建設機械 フォークリフト運転 中古自動車販売士 電気工事士 電気主任技術者 消費生活アドバイザー 織維製品品質管理士 ～寺派教師 消防設備士 グレード資格 茶道表千家、裏千家 華道師範、華道教授 フラワーデザイナー 損害保険募集人資格 C言語プログラミング イラストレーター 衛生管理者 受胎機会実地指導員 ネイリスト技能検定 美容師 社会調査アシスタント 介護支援専門員 福祉用具専門相談員 生きがい情報士
静岡英和学院大学短期大学部			
静岡県立大学短期大学部			
静岡幼稚園短期大学部			
浜松学院大学短期大学部		第二看護学科 介護福祉学科 幼兒教育科第二部 初級教育科	
豊橋創造大学短期大学部		歯科衛生学科 社会福祉学科 幼稚教育科 保育科	
愛知新城大学短期大学部		介護福祉学科 幼兒教育科第一部 自動車工業学科	●
愛知大学短期大学部		経営学科 英語科	●
愛知工科大学短期大学部		経営業務科 幼兒教育学科第三部 人間福祉学科	●
愛知産業大学短期大学		食物栄養学科 幼兒教育学科 生活デザイン総合学科 介護福祉学科	●
愛知県短期大学		食物栄養学科 幼兒教育学科第一部 第二部 第三部	●
名古屋文理大学短期大学部		英語文豪学科	
名古屋文化短期大学		生活文化学科 経営情報科	
東邦大学園短期大学部		英語コミュニケーション学科 保健科	●
名古屋柳城短期大学		英語科	
南山短期大学		生活学科 英語科	
愛知県立みよし大学短期大学部		生活学科 英語科	●
名古屋女子大学短期大学部		生活学科 英語科	
	栄養科		

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上に網掛け	
光陵女子短期大学	英語科		管工事施工管理技士
名古屋学芸短期大学	保育学科		ガス、電気アーク溶接技能者
岐阜保健衛生短期大学	国語コミュニケーション学科		建設機械施工技士
名古屋短期大学	英語コミュニケーション学科		建築施工管理技士
中京女子大学短期大学部	ビシヌス情報学科		土木施工管理技士技術者
名古屋芸術短期大学	王活科学科		自動車整備士
愛知江南短期大学	南工技研学科		車両系建設機械
名古屋経済短期大学	医療情報技術科		フォークリフト運転
名古屋造形芸術短期大学	現代教育学科		中古自動車査定士
名古屋経営短期大学	英語コミュニケーション学科		電気工事士
名古屋女子短期大学	保育科		電気主任技術者
名古屋経営短期大学	生活科学科		消費生活アドバイザー
名古屋経済短期大学	体育学科		繊維製品品質管理士
名古屋造形芸術短期大学	音楽科		～寺派教師
名古屋経営短期大学	教養学科		消防設備士
名古屋経済短期大学	生活科学科		グレート資格
名古屋造形芸術短期大学	社会福祉学科		茶道表千家、裏千家
名古屋経営短期大学	現代幼児学科第一部		草道師範、草道脇教授
名古屋女子短期大学	現代幼児学科第三部		フラワーデザイナー
名古屋経営短期大学	商経科		損害保険募集人資格
名古屋造形芸術短期大学	王活文化学科		C言語プログラミング
名古屋経営短期大学	保育科		イラストレーター
名古屋女子短期大学	現代コミュニケーション学科		衛生管理者
名古屋経営短期大学	人間情報学科		受胎調節実地指導員
名古屋女子短期大学	造形芸術科		ネイリスト技能検定
名古屋女子短期大学	王活文化学科第二部／専攻科		美容師
名古屋女子短期大学	幼稚教育学科第一部		社会調査アシスタント
名古屋女子短期大学	幼稚教育学科第三部		介護支援専門員
名古屋女子短期大学	王活文化学科第一部／専攻科		福祉用具専門相談員
名古屋女子短期大学	幼稚教育学科第三部		生きがい情報士
名古屋女子短期大学	テクノニアート学科第一部		
名古屋女子短期大学	王活学科		
名古屋女子短期大学	法隆科第二部		
名古屋女子短期大学	近畿科第二部		
名古屋女子短期大学	生活科学科		
名古屋女子短期大学	アーティス情報学科		
三重短期大学			
高田短期大学			

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出願数100以上に掲げる	
261 松阪大学短期大学部 (三重中京大学短期大学部)	食物栄養学科 幼稚教育・保育学科 生活学科 幼児教育保育学科 ビジネスコミュニケーション学科 介護福祉学科 企業マネジメント学科 国文科 初等教育科 生活文化学科 人間福祉学科／専攻科 文化芸術学科 環境文化学科 伝統文化学科 幼稚学科 幼児教育科 看護科 社会福祉学科 生活学科 初等教育学科 生活造形学科 経営情報学科 家政学科 児童教育学科 生活科学科／専攻科 児童教育学科 国際文化学科 社会福祉学科／専攻 英語学科第一部 美術学科 伝統文化学科 看護成績学科 柔道整復学科 美容生活学科 児童教育学科／専攻科 観光学科	管工事施工管理技士 ガス、電気アーク溶接技能者 建設機械施工技士 建築施工管理技士 土木施工管理技士技術者 自動車整備士 車両系建設機械 フォークリフト運転 中古自動車査定士 電気工事士 電気主任技術者 消費生活アドバイザー 織維製品品質管理士 ～寺派教師 消防設備士 グレード資格 茶道表千家、裏千家 華道師範、華道昭教授 フラワーデザイナー 損害保険募集人資格 C言語プログラミング イラストレーター 衛生管理者 受胎調節実地指導員 ネイリスト技能検定 美容師 社会調査アシスタント 介護支援専門員 福祉用具専門相談員 生きがい情報士	
262 滋賀女子短期大学			
263 聖隸大学短期大学部			
264 滋賀文教短期大学			
265 滋賀文化短期大学			
266 泡沢短期大学			
267 天谷大学短期大学部			
268 京都市立看護短期大学			
269 墓頂短期大学			
270 京都女子大学短期大学部			
271 京都経済短期大学			
272 京都文教短期大学			
273 聖母女学院短期大学			
274 龍谷大学短期大学部			
275 京都光華女子大学短期大学部			
276 京都外国语短期大学			
277 京都嵯峨芸術短期大学部			
278 京都西山短期大学			
279 京都短期大学			
280 京都医療技術短期大学部			
281 明治職業大学医療技術短期大学部			
282 大阪成蹊短期大学 大阪成蹊短期大学			

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出張設立100以上に編掛け	
283 天阪工業大学短期大学部	表現文化学科 経営会計学科 建築学科第一部 工木工学科第二部 電気工学科第二部 機械工学科第二部 人間環境学科 初等教育学科 英語科 フデリッシュ表現学科 養育学科 幼児教育学科 国際教養学科 神学科	● ● ● ●	管工事施工管理技士 ガス、電気アーケル溶接技能者 建設機械施工技士 建築施工管理技士 土木施工管理技士技術者 自動車整備士 車両系建設機械 フォークリフト運転 中古自動車鑑定士 電気工事士 電気主任技術者 消費生活アドバイザー 織維製品品質管理士 ～寺派教師 消防設備士 グレード資格 茶道表千家、裏千家 華道師範、華道院教授 フラワーデザイナー 損害保険募集人資格 C言語プログラミング イラストレーター 衛生管理者 受胎調節実地指導員 ネイリスト技能検定 美容師 社会調査アシスタント 介護支援専門員 福祉用具専門相談員 生きがい情報士
284 天阪高等女子学院短期大学	天阪女子短期大学 (大阪夕陽丘学園短期大学)	● ● ● ●	
285 天阪女子大学短期大学	天阪ギリヤ下教短期大学	● ● ● ●	
286 天阪城南女子短期大学	天阪芸術短期大学	● ● ● ●	
287 天阪芸術短期大学	天阪芸術短期大学	● ● ● ●	
288 天阪城南女子短期大学	天阪芸術短期大学	● ● ● ●	
289 天阪芸術短期大学	天阪芸術短期大学	● ● ● ●	
290 常磐会短期大学	常磐会短期大学	● ● ● ●	
291 相愛女子短期大学	相愛女子短期大学	● ● ● ●	
292 天阪音楽大学短期大学部	天阪音楽大学短期大学部	● ● ● ●	
293 天阪青山短期大学	天阪青山短期大学	● ● ● ●	
294 天阪学院短期大学	天阪学院短期大学	● ● ● ●	
295 千里金蘭大学短期大学部	千里金蘭大学短期大学部	● ● ● ●	
296 天阪英女子短期大学	天阪英女子短期大学	● ● ● ●	
297 藍野学院短期大学	藍野学院短期大学	● ● ● ●	
298 櫻花女子大学短期大学部	櫻花女子大学短期大学部	● ● ● ●	

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上に統計	未統計
299 平安女子学院大学短期大学部	日本語表現科 英語コミュニケーション学科 保育科	管工事施工管理技士 ガス、電気アーク溶接技能者	●
300 天阪国際大学短期大学部	幼稚教育科 国際文化学科	建設機械施工技士 建築施工管理技士	●
301 天阪電気通信大学短期大学部	電子情報学科	土木施工管理技士技術者	●
302 関西外国语大学短期大学部	英米語学科	自動車整備士	●
303 四国短期大学短期大学	国際コミュニケーション学科 ライフルティヤク認定学科 保育学科 リハビリテーション学科 自動車工業科	車両系建設機械 フォークリフト運転 中古自動車査定士	●
304 天阪産業大学短期大学部	商経科第二部 家政学科	電気工事士	●
305 近畿大学短期大学部	幼児教育学科	電気主任技術者	●
306 東大阪大学短期大学部	生活学科	消費生活アドバイザー	●
307 横浜東女子短期大学	保健科	織維製品品質管理士	●
308 関西女子短期大学	歯科衛生学科	～寺派教師	●
309 四天王寺国際伝教大学短期大学部	英語科 生活科 保健科 保健科 生活科 保健科	消防設備士 グレード資格 茶道表千家、裏千家 華道師範、草道院教授 フラワーデザイナー 損害保険募集人資格 C言語プログラミング イラストレーター 衛生管理者	●
310 天阪女子短期大学	幼児教育科 保健科 生活科	受胎調節実地指導員 ネイリスト技能検定 美容師	●
311 天谷女子短期大学	幼児教育科 総合コミュニケーション学科 美容生活文化学科	社会調査アシスタント 介護支援専門員	●
312 天阪女子短期大学	介護福祉学科 介護福祉学科	福祉用具専門相談員 生きがい情報士	●
313 岐文女子短期大学	介護福祉学科 介護福祉学科		
314 天阪健康福祉短期大学	介護福祉学科		
315 フジワラ学院大学短期大学部	介護福祉学科		
316 天阪体育短期大学部	介護福祉学科		
317 神戸山手短期大学	英語文化学科 日本語・日本文化学科 表現芸術学科 総合生活学科		
318 神戸山手短期大学	英語文化学科 日本語・日本文化学科 表現芸術学科 総合生活学科		

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上 に繋がる	
319 神戸常盤短期大学	初期教育学科 幼稚教育学科 衛生技術科 看護学科 健康文化学科 文芸科 家政科 国際教養科 英語コミュニケーション学科	管工事施工管理技士 ガス、電気アーク溶接技能者 建設機械施工技士 建築施工管理技士 土木施工管理技士技術者 自動車整備士 車両系建設機械 フォークリフト運転 中古自動車査定士 電気工事士 電気主任技術者 消費生活アドバイザー 織維製品品質管理士 ～寺派教師 消防設備士 グレード資格 茶道表千家、裏千家 草道師範、草蓮院教授 フラワーデザイナー 損害保険募集人資格 C言語プログラミング イラストレーター 衛生管理者 受胎調節実地指導員 ネイリスト技能検定 美容師 社会調査アシスタント 介護支援専門員 福祉用具専門相談員 生きがい情報士	
320 神戸学院女子短期大学 (神戸学院大学へ)	保育科 幼稚教育学科 生活適応学科 英語コミュニケーション学科		
321 神戸松蔭女子学院短期大学	保育科 幼稚教育学科 電気電子工学科 情報処理工学科 機械工学科 システムデザイン工学科 生活文化学科 幼児教育学科 保健科 家政学科／専攻科 児童教育学科 美術・デザイン学科 人間コミュニケーション学科 家政学科 幼児教育保育学科 文化情報学科 日本語文化学科 英語コミュニケーション学科 人間関係学科 幼児教育学科 保健・スポーツ学科 食生活学科 生活適応学科 ライフデザイン／専修学科		
322 鳴美短期大学			●
323 声屋女子短期大学			●
324 産業技術短期大学			●
325 園田学園女子大学短期大学部			●
326 聖和大学短期大学部			
327 横川学院短期大学			
328 甲子園短期大学			
329 武庫川女子大学短期大学部			●
330 天手前短期大学			
331 東洋質品工業短期大学	看護製薬科 生活情報・福祉学科		
332 近畿大学豊崎短期大学	幼児教育学科（こども学科）		
333 濱川短期大学	大間生活学科		

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現回数100回以上に絞り込む	
334 明女子学院短期大学	初級教育保育学科 英語科 生活学科 福祉支援学科	管工事施工管理技士 ガス、電気アーク溶接技能者 建設機械施工技士 建築施工管理技士 土木施工管理技士技術者 自動車整備士 車両系建設機械 フォークリフト運転 中古自動車査定士 電気工事士 電気主任技術者 消費生活アドバイザー 織維製品品質管理士 ～寺派教師 消防設備士 グレード資格 茶道表千家、裏千家 華道師範、草道院教授 フラワーデザイナー 損害保険募集人資格 C言語プログラミング イラストレーター 衛生管理者 受胎調節実地指導員 ネイリスト技能検定 美容師 社会調査アシスタント 介護支援専門員 福祉用具専門相談員 生きがい情報士	
335 神戸文化短期大学	服飾学科 福祉支援学科		
336 兵庫短期大学部	デaign美術科 保育科第二部 保育科第三部 美術デaign学科第一部 美術デaign学科第三部 幼稚教育科 生活科学科／専攻科		
337 姫路日ノ本短期大学			
338 奈良在保短期大学			
339 奈良芸術短期大学 藝大短期大学部	幼兒教育科 兒童教育学科 教養学科 幼兒教育学科第一部 幼兒教育学科第三部 衛生看護学科 福祉学科		
340 奈良文化女子短期大学	児童教育学科 生活文化学科 国際文化交流学科 生活学科 幼兒教育学科 家政科 保育科		
342 天坂短期女子大学短期大学部	生活文化学科		
343 和歌山短期大学	国際文化交流学科 生活学科		
345 鳥取短期大学	生活文化学科 国際文化交流学科 生活学科 幼兒教育学科 家政科 保育科		
346 鹿児島立憲短期大学	第一看護科 第二看護科 放射線技術科 臨床検査科 臨床工学科 介護福祉科		
347 川崎医療短期大学	情報ビジネス学科 英語コミュニケーション学科 総合生活学科		
348 中国短期大学			

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上に範囲	出現数100以下に範囲
349 山陽学院短期大学	音楽科 体育科 幼児教育学科 食物栄養学科 キャラクターデザイン学科 生活科学科 文化コミュニケーション学科 栄養学科 幼児教育学科	電工事施工管理技士 ガス、電気アーク溶接技能者 建設機械施工技士 建築施工管理技士 土木施工管理技士技術者 自動車整備士 車両系建設機械 フォークリフト運転 中古自動車査定士 電気工事士 電気主任技術者 消費生活アドバイザー 織維製品品質管理士 ～寺派教師 消防設備士 グレード資格 茶道表千家、裏千家 華道師範、華道院教授 フラワーデザイナー 損害保険営業人資格 C言語プログラミング イラストレーター 衛生管理者 受胎調節実地指導員 ネイリスト技能検定 美容師 社会調査アシスタント 介護支援専門員 福祉用具専門相談員 生きがい情報士	電工事施工管理技士 ガス、電気アーク溶接技能者 建設機械施工技士 建築施工管理技士 土木施工管理技士技術者 自動車整備士 車両系建設機械 フォークリフト運転 中古自動車査定士 電気工事士 電気主任技術者 消費生活アドバイザー 織維製品品質管理士 ～寺派教師 消防設備士 グレード資格 茶道表千家、裏千家 華道師範、華道院教授 フラワーデザイナー 損害保険営業人資格 C言語プログラミング イラストレーター 衛生管理者 受胎調節実地指導員 ネイリスト技能検定 美容師 社会調査アシスタント 介護支援専門員 福祉用具専門相談員 生きがい情報士
350 就実短期大学			
351 美作短期大学			
352 佐賀短期大学			
353 長崎短期大学			
354 喬教市立短期大学			
355 順正短期大学			
356 新見公立短期大学			
357 郡山市立女子短期大学			
358 広島文化短期大学	音楽学科 体育科 幼児教育科 保健科 看護学科 地域福祉学科 健康福祉学科 生活学科 体育科 音楽学科 コミュニケーション生活学科 秘書科 認知生活デザイン学科 美術科 言語文化学科 教養学科 体育科 コミュニケーションデザイン学科 大間生活学科 食物栄養学科 自動車工業科 初歩教育科	電工事施工管理技士 ガス、電気アーク溶接技能者 建設機械施工技士 建築施工管理技士 土木施工管理技士技術者 自動車整備士 車両系建設機械 フォークリフト運転 中古自動車査定士 電気工事士 電気主任技術者 消費生活アドバイザー 織維製品品質管理士 ～寺派教師 消防設備士 グレード資格 茶道表千家、裏千家 華道師範、華道院教授 フラワーデザイナー 損害保険営業人資格 C言語プログラミング イラストレーター 衛生管理者 受胎調節実地指導員 ネイリスト技能検定 美容師 社会調査アシスタント 介護支援専門員 福祉用具専門相談員 生きがい情報士	電工事施工管理技士 ガス、電気アーク溶接技能者 建設機械施工技士 建築施工管理技士 土木施工管理技士技術者 自動車整備士 車両系建設機械 フォークリフト運転 中古自動車査定士 電気工事士 電気主任技術者 消費生活アドバイザー 織維製品品質管理士 ～寺派教師 消防設備士 グレード資格 茶道表千家、裏千家 華道師範、華道院教授 フラワーデザイナー 損害保険営業人資格 C言語プログラミング イラストレーター 衛生管理者 受胎調節実地指導員 ネイリスト技能検定 美容師 社会調査アシスタント 介護支援専門員 福祉用具専門相談員 生きがい情報士
359 安田女子短期大学			
360 比治山大学短期大学部			
361 蒜山女子短期大学			
362 蒜山女子短期大学			
363 吴大学短期大学部			
364 甲賀女子短期大学			
365 広島国際学園大学自動車短期大学部			
366 岩国短期大学			

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出願数100以上に納附	
367 山口短期大学	ビジネス実務科 児童教育学科 電子情報学科 柔道整復学科	管工事施工管理技士 ガス、電気アーク溶接技能者	
368 下関短期大学	保育学科 云而文化学科 音楽学科	建設機械施工技士 建築施工管理技士 土木施工管理技士技術者	
369 山口芸術短期大学	音楽学科 生活福祉学科 食初宋慶学科 情報システム学科 言語コミュニケーション学科 商科 生活科 保健科 音楽科	自動車整備士 車両系建設機械 フォークリフト運転 中古自動車査定士 電気工事士 電気主任技術者 消費生活アドバイザー 繊維製品品質管理士 ～寺派教師 消防設備士 グレード資格 茶道表千家、裏千家 華道師範、華道脇教授 フラワーデザイナー 損害保険募集人資格 C言語プログラミング イラストレーター 衛生管理者 受胎調節実地指導員 ネイリスト技能検定 美容師 社会調査アシスタント 介護支援専門員 福祉用具専門相談員 生きがい情報士	
370 宇部プロテティック大学短期大学部	ビジネス実務科 児童教育学科 電子情報学科 柔道整復学科 保育学科 云而文化学科 音楽学科 生活福祉学科 食初宋慶学科 情報システム学科 言語コミュニケーション学科 商科 生活科 保健科 音楽科	管工事施工管理技士 ガス、電気アーク溶接技能者 建設機械施工技士 建築施工管理技士 土木施工管理技士技術者 自動車整備士 車両系建設機械 フォークリフト運転 中古自動車査定士 電気工事士 電気主任技術者 消費生活アドバイザー 繊維製品品質管理士 ～寺派教師 消防設備士 グレード資格 茶道表千家、裏千家 華道師範、華道脇教授 フラワーデザイナー 損害保険募集人資格 C言語プログラミング イラストレーター 衛生管理者 受胎調節実地指導員 ネイリスト技能検定 美容師 社会調査アシスタント 介護支援専門員 福祉用具専門相談員 生きがい情報士	
371 徳島文理大学短期大学部	ビジネス実務科 児童教育学科 電子情報学科 柔道整復学科 保育学科 云而文化学科 音楽学科 生活福祉学科 食初宋慶学科 情報システム学科 言語コミュニケーション学科 商科 生活科 保健科 音楽科	管工事施工管理技士 ガス、電気アーク溶接技能者 建設機械施工技士 建築施工管理技士 土木施工管理技士技術者 自動車整備士 車両系建設機械 フォークリフト運転 中古自動車査定士 電気工事士 電気主任技術者 消費生活アドバイザー 繊維製品品質管理士 ～寺派教師 消防設備士 グレード資格 茶道表千家、裏千家 華道師範、華道脇教授 フラワーデザイナー 損害保険募集人資格 C言語プログラミング イラストレーター 衛生管理者 受胎調節実地指導員 ネイリスト技能検定 美容師 社会調査アシスタント 介護支援専門員 福祉用具専門相談員 生きがい情報士	
372 四国大学短期大学部	ビジネス実務科 児童教育学科 音楽科 柔道整復科 英語科 柔道教育学科／専文科 自動車工業学科	管工事施工管理技士 ガス、電気アーク溶接技能者 建設機械施工技士 建築施工管理技士 土木施工管理技士技術者 自動車整備士 車両系建設機械 フォークリフト運転 中古自動車査定士 電気工事士 電気主任技術者 消費生活アドバイザー 繊維製品品質管理士 ～寺派教師 消防設備士 グレード資格 茶道表千家、裏千家 華道師範、華道脇教授 フラワーデザイナー 損害保険募集人資格 C言語プログラミング イラストレーター 衛生管理者 受胎調節実地指導員 ネイリスト技能検定 美容師 社会調査アシスタント 介護支援専門員 福祉用具専門相談員 生きがい情報士	
373 愛媛工業短期大学	音楽科 柔道整復科 英語科 柔道教育学科／専文科 自動車工業学科	●	
374 高松短期大学	音楽科 柔道整復科 英語科 柔道教育学科／専文科 自動車工業学科	●	
375 四国学院短期大学	音楽科 柔道整復科 英語科 柔道教育学科／専文科 自動車工業学科	●	
376 瀬戸内短期大学	音楽科 柔道整復科 英語科 柔道教育学科／専文科 自動車工業学科	●	
377 香川短期大学	音楽科 柔道整復科 英語科 柔道教育学科／専文科 自動車工業学科	●	
378 松山東雲短期大学	音楽科 柔道整復科 英語科 柔道教育学科／専文科 自動車工業学科	●	
379 松山短期大学	音楽科 柔道整復科 英語科 柔道教育学科／専文科 自動車工業学科	●	
380 明治短期大学	音楽科 柔道整復科 英語科 柔道教育学科／専文科 自動車工業学科	●	
381 今治明徳短期大学	音楽科 柔道整復科 英語科 柔道教育学科／専文科 自動車工業学科	●	
382 義塾女子短期大学	音楽科 柔道整復科 英語科 柔道教育学科／専文科 自動車工業学科	●	

短日期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上 に統括行	
382 聖カタリナ大学短期大学部	健栄栄養学科	管工事施工管理技士	
383 高知短期大学	食物栄養学科 保育学科	ガス、電気アーク溶接技能者	
384 高知短期大学	食物栄養学科 幼稚教育科	建設機械施工技士	
385 王佐女子短期大学	衛生技術科 社会学科第二部	建築施工管理技士	
386 九州電機短期大学	英語科 松香科	土木施工管理技士技術者	
387 西南女学院大学短期大学部	電気電子科 情報システム科 デフノフランニンク学科 生活創造学科	自動車整備士	
388 東筑紫短期大学	保育科 生活文化学科	車両系建設機械	
389 折尾愛媛短期大学	食物栄養学科 保育学科	フォークリフト運転	
390 丸瀬女子短期大学	経済科 初等教育科	中古自動車鑑定士	
391 西日本短期大学	體育科 法律第二部 造園科 社会福祉学科	電気工事士	
392 福岡工業大学短期大学部	栄養学科 法科第二部	電気主任技術者	
393 倉敷女子短期大学	社会学科 保育学科	消費生活アドバイザー	
394 福岡女子学院大学短期大学部	英語科 情報処理学科	繊維製品品質管理士	
395 楠海大学福岡短期大学	国際文化学科	～寺派教師	
396 九州造形短期大学	美術科 デザイン科	消防設備士	
397 福岡医療短期大学	看護学科	グレード資格	
		茶道表千家、裏千家	
		華道師範、華道教授	
		フラワーデザイナー	
		損害保険営業人資格	
		C言語プログラミング	
		イラストレーター	
		衛生管理者	
		受胎誘導実地指導員	
		ネイリスト技能検定	
		美容師	
		社会調査アシスタント	
		介護支援専門員	
		福祉用具専門相談員	
		生きがい情報士	

短期大学名	学部、学科名、専攻	資格	
		出現数100以上 に網掛け	
398 中村学園大学短期大学部	保健福祉学科 家政経済学科 食物栄養科 幼児保育科 現代コミュニケーション学科 看護学科 生活科学科／専文科 幼稚保育学科／専攻科 幼児教育科 現代教育学科 言語科 ビンゴスズ学科 文化コミュニケーション学科 保健学科 幼稚教育科 生活福祉情報科 看護科 表現学科 伝教学科 幼稚教育学科 福利学科 幼稚教育学科 健康栄養学科 情報社会学科 食物栄養学科 主法福社学科／専攻科 幼児教育学科 くらし環境学科 文化コミュニケーシヨン学科 人間生活学科／専攻科 こども学科／専攻科 保健学科 人間コミュニケーション学科 幼稚教育学科 服飾デザイン学科 生活学科 幼児教育学科 英語学科	管工事施工管理技士 ガス、電気アーク溶接技能者 建設機械施工技士 建業施工管理技士 土木施工管理技士技術者 自動車整備士 車両系建設機械 フォークリフト運転 中古自動車査定士 電気工事士 電気主任技術者 消費生活アドバイザー 織維製品品質管理士 ～寺派教師 消防設備士 グレード資格 茶道表千家、農千家 華道師範、華道院教授 フラワーデザイナー 損害保険営業人資格 C言語プログラミング イラストレーター 衛生管理者 受胎調節実地指導員 ネイリスト技能検定 美容師 社会調査アシスタント 介護支援専門員 福祉用具専門相談員 生きがい情報士	
399 純真女子短期大学			
400 精華女子短期大学			
401 筑紫女子短期大学			
402 福岡女子短期大学			
403 第二保育短期大学			
404 近畿大学短期大学			
405 里マリア学院短期大学			
406 九州采信愛文学院短期大学			
407 久留米短期大学			
408 佐賀短期大学			
409 佐賀女子短期大学			
410 九州龍谷短期大学			
411 玉木女子短期大学			
412 長崎女子短期大学			
413 長崎外國語短期大学			

短大名	学部、学科名、専攻	資格	
		出願数1000以上に範囲	に範囲外
414 長崎短期大学短期大学部	保育科 英語科 家政科専攻	管工事施工管理技士 ガス、電気アーク溶接技能者 建設機械施工技士 建築施工管理技士 土木施工管理技士技術者 自動車整備士 車両系建設機械 フォークリフト運転 中古自動車査定士 電気工事士 電気主任技術者 消費生活アドバイザー 繊維製品品質管理士 ～寺派教師 消防設備士 グレード資格 茶道表千家、表千家 華道師範、華道院教授 フラワーデザイナー 損害保険営業人資格 C言語プログラミング イラストレーター 衛生管理者 受胎調節実地指導員 ネイリスト技能検定 美容師 社会調査アシスタント 介護支援専門員 福祉用具専門相談員 生きがい情報士	
415 短崎短期大学	音楽科		
416 商崎短期大学	英語科 家政科専攻		
417 中九州短期大学	商経学科 幼稚教育学科		
418 天分県立芸術文化短期大学	国際文化学科 情報コミュニケーション学科 国芸科 家政学科 美術科 幼児教育学科 動物栄養科 初等教育科 経営情報文化科 保育科 地域総合科学科 幼児教育学科 保健科 初期教育科 音楽科／専攻 人間文化学科 文学科 生活科学科 商業学科第一部 商業学科第二部 英語科 教養学科 王古科学科 兒童教育学科 情報文化学科 音楽科		
419 天分短期大学			
420 東九州短期大学			
421 別府大学短期大学部			
422 南九州短期大学			
423 聖心フルスラ学園短期大学			
424 宮崎女子短期大学			
425 鹿児島県立短期大学			
426 鹿児島県立女子短期大学			
427 鹿児島女子短期大学			
428 鹿児島国際大学短期大学部			
429 第二幼児教育短期大学			
430 沖縄女子短期大学	総合ビジネス科		

431 沖縄カリスマ下教短期大学	短期大学名 英語科 英語科	学部、学科名、専攻	資格	
			出店数100以上 に精通する	
		管工事施工管理技士		
		ガス、電気アーク溶接技能者		
		建設機械施工技士		
		建築施工管理技士		
		土木施工管理技士技術者		
		自動車整備士		
		車両系建設機械		
		フォークリフト運転		
		中古自動車査定士		
		電気工事士		
		電気主任技術者		
		消費生活アドバイザー		
		繊維製品品質管理士		
		～寺派教師		
		消防設備士		
		グレード資格		
		茶道表千家、裏千家		
		華道師範、華道脇教授		
		フラワーデザイナー		
		損害保険募集人資格		
		C言語プログラミング		
		イラストレーター		
		衛生管理者		
		受胎調節実地指導員		
		ネイリスト技能検定		
		美容師		
		社会調査アシスタント		
		介護支援専門員		
		福祉用具専門相談員		
		生きがい情報士		

順位	別表-1 No	資格項目	(資格補足)	別表-1:資格の出現数ランク	●の数 出現数
1	15	保育士	保育士		238
2	16	幼稚園教諭	幼稚園教諭		231
3	36	秘書関連	秘書技能、能力検定、秘書士、秘書英語検定		209
4	37	情報処理関係	(上級、初級) 情報処理士、情報処理技術者、活用能力検定		190
5	7	社会福祉主事任用資格	社会福祉主事任用資格		179
6	42	ワープロ検定	ワープロ検定、word文書		171
7	8	訪問介護員関連	ホームヘルパー訪問介護員、居宅介護従事者		159
8	17	レクリエーション関連	レクリエーションインストラクター		140
9	3	司書	司書		133
10	38	ビジネス実務士	(上級) ビジネス実務士		132
11	72	(管理) 栄養士	(管理) 栄養士		122
12	88	簿記関係	日商簿記検定、簿記能力、実務		115
13	76	フードスペシャリスト	フードスペシャリスト、コーディネーター		112
14	60	実用英語技能検定	実用英語技能検定		103
15	61	TOEIC, TOEFL	TOEIC, TOEFL		91
16	45	初級、上級システムアドミニストレーター	初級、上級システムアドミニストレーター		90
17	40	ビジネス文書関連	ビジネス文書、ビジネスコンピューター		86
18	5	介護福祉士資格	介護福祉士資格、主事任用資格		86
19	44	オフィススペシャリスト	オフィススペシャリストMOUS表計算(エクセル、ワード等)		84
20	26	中学校教諭(家庭)	中学校教諭(家庭)		73
21	12	福祉住環境コーディネーター	福祉住環境コーディネーター		69
22	25	中学校教諭(英語)(仏語)	中学校教諭(英語)(仏語)		65
23	95	カラーコーディネーター	カラーコーディネーター		65
24	94	色彩能力検定	ファッショントピード色彩能力検定		64
25	4	司書教諭	司書教諭		60
26	91	販売士	販売士		59
27	66	漢字検定	漢字検定		57
28	33	医療事務管理士	医療事務管理士、メディカルクラーク		52
29	56	プレゼンテーション実務士	プレゼンテーション実務士		46
30	107	ピアヘルパー受験資格	ピアヘルパー受験資格		45
31	43	パソコン操作関係	パソコン能力検定、キーボード操作技能		42
32	49	ウェブページ関連	ウェブデザイン実務士、HPクリエーター		40
33	32	医療管理秘書士	医療管理秘書士		39
34	99	旅行業務取扱主任者	国内一般旅行業務取扱主任者、IP旅行情報士		39
35	110	ファッショングループ販売能力検定	ファッショングループ販売能力検定		39
36	84	建築士	建築士		38
37	109	ファッショントピードビジネス	ファッショントピードビジネス能力検定		38
38	30	医療秘書実務士	医療秘書実務士		38
39	50	基本情報技術者	基本情報技術者		37
40	52	CG検定	CG検定		36
41	28	養護教諭	養護教諭		36
42	98	インテリア設計士	インテリア設計士、プランナー		35
43	103	看護師	看護師		35
44	97	インテリアコーディネーター	インテリアコーディネーター、プランナー		34
45	24	中学校教諭(国語)	中学校教諭(国語)		32
46	47	マルチメディア検定	マルチメディア検定		32
47	108	衣料管理士	衣料管理士テキスタイルアドバイザー		29
48	2	学芸員	学芸員、学芸員補、文化財アシスト		27
49	19	小学校教諭	小学校教諭		27
50	31	医療秘書士	医療秘書士		27
51	10	ソーシャルワーカー	(保健)児童(厚生)指導員、ソーシャルワーカー		25
52	39	ビジネス能力検定	ビジネス能力検定		25
53	9	スポーツ指導員など	障害児、公認障害者スポーツ指導員、移動介護従事者		24
54	29	公務員試験	公務員試験		24
55	11	介護保険	介護保険実務士、事務管理士		23
56	22	中学校教諭(音楽)	中学校教諭(音楽)		22

57	21	中学校教諭（保健、体育）	中学校教諭（保健、体育）	20
順位	別表-1 No	資格項目	(資格詳細)	出現数
58	58	文書能力、デザイン検定	文書能力、デザイン検定	20
59	6	社会福祉士	社会福祉士	19
60	14	音楽療法士	音楽療法士	19
61	23	中学校教諭（美術）	中学校教諭（美術）	19
62	68	FP技能検定	FP技能検定	19
63	69	CAD利用技術者検定	CAD利用技術者検定	19
64	100	観光英語検定観光実務士	観光英語検定観光実務士	19
65	48	インターネット関連	インターネット検定、ドットコムマスター、IC3IPCとインターネット)	18
66	85	木造建築士	木造建築士	18
67	93	救急法救急員認定	救急法救急員認定	18
68	79	家庭料理検定	家庭料理検定	17
69	96	パターンメイキング技術検定	パターンメイキング技術検定	17
70	90	税理士	税理士	16
71	104	保健師	保健師	16
72	78	製菓衛生士	製菓衛生士	15
73	102	サービス接遇検定	サービス接遇検定	15
74	106	助産師	助産師	15
75	13	福祉レックワーカー	福祉レクリエーションワーカー	14
76	27	中学校教諭（社会）	中学校教諭（社会）	14
77	73	調理師	調理師	14
78	77	フードサイエンティスト	フードサイエンティスト	14
79	86	宅地建物業取引主任者	宅地建物業取引主任者	14
80	65	韓国、仏語他能力	中国語他技能検定、コミュニケーション能力	14
81	51	DTP検定	DTP検定	13
82	53	画像処理検定	画像処理検定	13
83	83	危険物取扱者	危険物取扱者	13
84	89	公認会計士、国際会計	公認会計士、国際会計	13
85	111	健康管理士、指導士	健康管理士、指導士	13
86	122	ガス、電気アーク溶接技能者	ガス、電気アーク溶接技能者	13
87	137	茶道表千家、裏千家	茶道表千家、裏千家	13
88	105	歯科衛生士	歯科衛生士	12
89	138	華道師範、華道脇教授	華道師範、華道脇教授	12
90	1	社旗教育主事、補	社旗教育主事、補	11
91	80	食品衛生関係	食品衛生責任者、監視員、管理者	11
92	82	劇毒物取扱責任者	劇毒物取扱責任者	11
93	87	社会保険労務士	社会保険労務士	11
94	46	ビジネスマナー	ビジネスマナー	10
95	57	日本語コミュニケーション	日本語コミュニケーション、話言葉検定	10
96	92	商業施設士、補	商業施設士、補	10
97	18	キャンプインストラクター	キャンプインストラクター	9
98	136	グレード資格	ヤマハ、カワイ、グレード資格	9
99	35	診療報酬請求事務	診療報酬請求事務	8
100	54	データベース	ビジネスデータベース(access)	8
101	64	通訳関連	ボランティア通訳、通訳英検翻訳士、通訳案内業通訳検定	8
102	81	食生活アドバイザー	食生活アドバイザー	8
103	112	健康運動実践指導者	健康運動実践指導者	8
104	116	マンションリフォーム	マンションリフォームマネージャー	8
105	120	測量士、測量士補	測量士、測量士補	8
106	74	キッチンスペシャリスト	キッチンスペシャリスト	8
107	133	繊維製品品質管理士	繊維製品品質管理士	7
108	20	小学校、児童英語指導者	小学校、児童英語指導者	7
109	34	医事コンピューター技能	医事コンピューター技能検定	7
110	41	デジタル技術	デジタル技術検定、デジタルコンピュータ検定	7
111	59	日本語力測定	日本語力測定	7
112	62	工業英検	工業英検	7

113	71	トレース検定	トレース検定	7
114	114	臨床検査技師	臨床検査技師	7
順位	別表-1 No	資格項目	(資格詳細)	出現数
115	115	行政書士	行政書士	7
116	117	造園管理施工	造園管理施工、管理技術者	7
117	118	園芸療法士	園芸療法士	7
118	135	消防設備士	消防設備士	7
119	139	フランク・デザイナー	フランク・デザイナー、装飾技能士	7
120	55	コンピューターサービス	コンピューターサービス技能評価試験	6
121	63	商業英語検定、国連英語	商業英語検定、国連英語	6
122	67	硬筆毛筆書写検定	硬筆毛筆書写検定	6
123	70	建築CAD検定	建築CAD検定	6
124	75	栄養教諭	栄養教諭	6
125	101	旅行地理検定	旅行地理検定	6
126	113	ウェルネステザイナー	ウェルネステザイナー	6
127	119	園芸装飾技能士	園芸装飾技能士	6
128	121	管工事施工管理技士	管工事施工管理技士	6
129	123	建設機械施工技士	建設機械施工技士	6
130	128	フォークリフト運転	フォークリフト運転	6
131	129	中古自動車査定士	司法書士	6
132	130	電気工事士	不動産鑑定士	6
133	132	消費生活アドバイザー	消費生活アドバイザー	6
134	134	～寺派教師	造園施工技術者	6
135	140	損害保険募集人資格	損害保険募集人資格	6
136	151	生きかい情報士	生きかい情報士	6
137	124	建築施工管理技士	建築施工管理技士	5
138	125	土木施工管理技士技術者	土木施工管理技士技術者	5
139	126	自動車整備士	自動車整備士	5
140	127	車両系建設機械	車両系建設機械	5
141	131	電気主任技術者	電気主任技術者	5
142	141	C言語プログラミング	C言語プログラミング	5
143	142	イラストレーター	イラストレータークリエーター検定	5
144	143	衛生管理者	衛生管理者	5
145	144	受胎調節実地指導員	受胎調節実地指導員	5
146	145	ネイリスト技能検定	ネイリスト技能検定	5
147	146	美容師	美容師	5
148	147	社会調査アシスタント	社会調査アシスタント	5
149	148	介護支援専門員	介護支援専門員、ケアマネージャー	5
150	150	福祉用具専門相談員	福祉用具専門相談員	5

平成15年～19年文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業  
「学術フロンティア推進事業」  
「生涯学習の観点に立った『少子・高齢社会の活性化』に関する総合的な研究」

<研究組織>

研究代表者 福留 強 (聖徳大学生涯学習研究所 所長)  
第5部門主任 清水 英男 (人文学部児童学科)  
学内研究員 水垣 玲子 (人文学部音楽文化学科)  
長江 曜子 (短期大学部総合文化学科)  
片桐 章子 (人文学部音楽文化学科)  
市瀬 陽子 (人文学部音楽文化学科)  
石田 嘉和 (短期大学部総合文化学科)  
研究協力者 田邊 道弘

<学術フロンティア推進事業報告シリーズ バックナンバー案内>

No.	タイトル	発行年月	判型	頁数
1	『少子化に関する地域システムの研究』	2004. 3	A 4	100
2	『韓国の平生学習とまちづくりとまちづくりの推進』	2004. 3	A 4	155
3	『高齢者の生きがい対策と人材活性化に関する研究』	2004. 3	A 4	196 (+ 100)
4	『少子社会における子どものための地域活動の展開』	2005. 3		134 (+ 35)

---

田邊道弘氏には、補遺として「短期大学における資格取得等に関するデータ集」の整備をお願いした。

## 第5部門 「生涯学習指導者の養成と活用に関する研究」報告書

平成15～19年度文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業

「学術フロンティア推進事業」

「生涯学習の観点に立った『少子・高齢社会の活性化』に関する総合的な研究」

---

2005(平成17)年 3月31日 聖徳大学生涯学習研究所 発行

監修 研究代表者 福留 強 (聖徳大学生涯学習研究所 所長・教授)

---

編集監修

第5部門主任 清水 英男

---

聖徳大学 生涯学習研究所 学術フロンティア推進事業

住所：〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 聖徳大学生涯学習研究所

電話：代表 047-365-1111(内線：3936) 直通電話・Fax：047-369-5665

聖徳大学 生涯学習研究所 学術フロンティア推進事業

住所：〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 聖徳大学生涯学習研究所

電話：代表 047-365-1111(内線：3936) 直通電話・Fax:047-369-5665